C145-E482-02

FUJITSU Printer PS5230C

ページプリンタ装置

取扱説明書



安全な使用のために

このマニュアルの取り扱いについて

このマニュアルには、当製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。当製品をご 使用になる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアルに記載されている『安全上 の注意事項』をよく読み、理解されたうえで当製品をご使用ください。また、このマニュアルは、当製品 の使用中、いつでも参照できるように、大切に保管してください。

富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために、細心の注意 を払っております。当製品を使用する際には、本マニュアルの説明に従ってください。

本マニュアルでは、GS1-128 バーコードについて、以下のように記載しています。

• GS1-128	: 以前より、医療用などに使用される GS1-128 コード
	(IEUCC/EAN-128)

 GS1-128(料金代理収納用):公共料金など代理収納GS1-128コード ((旧 UCC/EAN-128)コンビニ料金代理収納用)

はじめに

FUJITSU Printer PS5230C(以降 PS5230C)は、3つのモデルがあります。

PS5230C-Nは、ネットワーク接続だけを標準サポートとし、解像度 600dpi を標準機能としています。

PS5230C-CS と PS5230C-CP は、従来のグローバルサーバのチャネル接続に加えてネットワーク 接続を標準でサポートしています。これからオープン化を検討されている場合でも、この1台があれば環 境に応じて柔軟な対応が可能になります。

本書は、本装置を使用するシステム設計者およびオペレータの手引きにすることを目的として解説したものです。

本書の内容についてよくご理解いただいたうえでご使用ください。特に、オペレータの方は「第2章 操 作」をご一読のうえご使用ください。

2020年12月

警告表示について

このマニュアルでは、お客様の身体や財産に損害を与えないよう、以下の警告表示をしています。

▲警告

「▲警告」は、正しくご使用にならない場合、死亡するまたは重傷を負うことがあり得ることを示しています。

▲注意

「▲注意」は、正しくご使用にならない場合、軽傷または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自身またはその他の使用者などの財産に損害が生じる危険性があることを示しています。

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を 想定して設計・製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空 交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性 が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な 危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・ 製造されたものではございません。 お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、 本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の 担当営業までご相談ください。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると 電波妨害を引き起こすことがあります。 この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本製品は、日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。 したがって、日本国外でのご使用はできません。

部品故障に伴う交換を行う場合、保守員により設定情報の反映を行いますが、お客様で設定された内容など、完全に反映できない場合があります。 その際は設定情報のご確認、再設定をお願いいたします。 またファームウェアについても、ご了承をいただいたうえで最新版を適用させていただく場合があります。

- すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International、Inc. のライセンスを受けて使用している、同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- UNIX は、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Red Hat、RPM および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc.の米 国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、
 Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2012、Windows 8 は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- ・その他各種製品名は、各社の製品名称または商標、登録商標です。
- ・本書に記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示((R)、TM)を付記していません。

※Oracle Solaris を、本書では『Solaris』、『Solaris オペレーティングシステム』、『Solaris Operating System』、『Solaris OS』と記載することがあります。

2013年10月	初	版	
2020年12月	2	版	

お 願 い

● 本書を無断で他に転載しないようお願いします。

● 本書は予告なしに変更されることがあります。

All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 2013-2020

【本書で使用している表記について】 各OS製品を以下のように略記しています。

IPF : Itanium Processor Family

製品名	略称		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Foundation			
Microsoft (R) Windows Server (R) 2012 Standard Windows Server 2012		rver 2012	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Datacenter			
Windows(R) 8			
Windows(R) 8 Pro	Windows 8		
Windows(R) 8 Enterprise			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard	Windows Son or 2008 P2		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise	WINDOWS SE	WINDOWS Server 2008 R2	
Windows(R) 7 Starter			
Windows(R) 7 Home Premium			
Windows(R) 7 Professional	Windows 7		
Windows(R) 7 Enterprise			
Windows(R) 7 Ultimate			
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard	Windows		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise	WINDOWS SE	1 VEI 2008	
Microsoft(R) Windows Vista(TM) Home Premium			
Microsoft(R) Windows Vista(TM) Home Basic			
Microsoft(R) Windows Vista(TM) Enterprise	Windows Vista		
Microsoft(R) Windows Vista(TM) Business			
Microsoft(R) Windows Vista(TM) Ultimate			
Microsoft(R) Windows Server(TM) 2003, Standard Edition			
Microsoft (R) Windows Server (TM) 2003, Enterprise Edition			
Microsoft (R) Windows Server (TM) 2003 R2, Standard Edition			
Microsoft (R) Windows Server (TM) 2003 R2, Effet prise Edition	Windows Server 2003		
Microsoft (R) Windows Server (TM) 2003, Enterprise x64 Edition			
Microsoft (R) Windows Server (TM) 2003 R2, Standard x64 Edition			
Microsoft(R) Windows Server(TM) 2003 R2, Enterprise x64 Edition			
Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition			
Microsoft(R) Windows(R) XP Professional	Windows XF		
Microsoft(R) Windows(R) XP Professional x64 Edition			
Oracle Solaris	Solaris		
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 6	RHEL 6		
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 5	RHEL 5	Pod Hot Enterprise Lieuw	
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) AS v.4	RHEL-AS4 Red Hat Enterprise Linux		
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) ES v.4	RHEL-ES4		
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) AS v.3	RHEL-AS3		
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) ES v.3	RHEL-ES3		

警告マークについて

このマニュアルでは、安全上の注意事項を記述した箇所に、警告表示とともにその内容を示す警告マーク を配置して一目でわかるように配慮しています。

使用している警告マークの意味は以下のとおりです。内容をよく理解したうえで、お読みください。



感電する危険性について記述していることを示します。



高温による障害の危険性について記述していることを示します。



発火する危険性について記述していることを示します。



回転物によって起こる障害の危険性について記述していることを示します。



触れることによって障害が起こる可能性について記述していることを示します。



感電などの危険性があるために、分解することを禁止する記述を示します。



般的な禁止事項を記述していることを示します。



般的な注意事項を記述していることを示します。

安全上の注意事項

▲警告



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。インタフェースケー ブル類も同じです。

感電や火災のおそれがあります。 電源コードの上にものを乗せたり、からみつけたり、足を引っ掛けたりしな いように注意してください。



万ー機器から発熱・発煙・異臭・異常音が発生したら、すぐに電源を切断(メ インスイッチまたはエマージェンシースイッチを切断)したうえで、担当保守 員に連絡してください。

感電や火災のおそれがあります。



●トナー・現像剤を目や口に入れないでください。

トナーの交換時に手についたトナーは速やかに洗い落とし、目やロに入れ ないでください。トナー・現像剤をこぼしたときなどにこの粉塵を長いあ いだ多量に吸い込むと、肺に影響を及ぼす場合がありますので、ご注意く ださい。

また、このようなときには、速やかに医師に相談してください。

●使用済みのトナーおよびトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。

異臭が発生します。廃却時には、不燃物の扱いにしてください。



機械から微弱な磁気がでています。植え込み型医療機器(心臓ペースメーカー および除細動器)をご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。 そして、医師にご相談ください。 ▲注意

オートロード時や印刷中に用紙づまりが発生して用紙づまりの処置をする際に は、搬送経路内に紙片などの残留物が残っていないか十分確認してください。 紙片などの残留物が残ったまま印刷すると、定着部に残った紙片などの残留 物によって用紙焦げ、発煙、未定着障害が発生することがあります。



●装置の電源を切断後でも、温度が下がるまで高温部(定着部ガラス面)には触れないようにしてください。 火傷のおそれがあります。

●装置背面の排気口(ブラインド)からは、約 60℃の熱い空気が排出されてい ます。装置が動作中に装置背面に近づくときは、十分に注意してください。



歯車・ベルトなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないように 注意してください。 巻き込みのおそれがあります。



ネジで止められているカバー類を外さないでください。 感電、火傷、怪我のおそれがあります。



●動作中にカバーを開けて手や指や顔を入れないでください。 怪我(指挟みなど)のおそれがあります。

●装置内の安全スイッチには手を触れないでください。 プリンタ装置が急に作動状態となり、怪我(指挟みなど)のおそれがありま す。

●印刷中の用紙に手を触れないでください。 動いている用紙によって、手を切ることがあります。



●装置内部が高温になるため、通気口をふさがないでください。 火災のおそれがあります。 装置上面にも吸排気口があるので装置の上にものを置かないでください。

- ●20kg 以上のものは一人で運ばないでください。必ず2人以上で運んでください。 腰や手を傷めるおそれがあります。
- ●光源部(フラッシュ光など)を直接見ないでください。 目を傷めるおそれがあります。
- ●コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気 をつけてください。 感電や火災のおそれがあります。また、装置内部に異物が入るのを防ぐた め、装置の上にものを置かないでください。



印刷動作中は、中扉を開けないでください。開けるときは、印刷動作が停止し ていることを確認してください。 印刷動作中に中扉を開くと、危険防止のため印刷動作が停止します。そのあ

●プリンタ装置の現像剤やトナーなどの交換時、用紙の補給および取り出し時には必ず操作手順を守ってください。 怪我のおそれがあります。

- ●用紙づまりの発生時には、必ず操作手順を守って用紙を取り除いてください。 怪我のおそれがあります。
- ●装置が置かれた部屋の換気をしてください。 オゾンなどが発生し、気分が悪くなるおそれがあります。

と印刷ジョブ再スタートが必要となります。

●装置に貼られているラベルに表示されている内容には十分注意し、必ず守っ てください。

感電、火傷、怪我、および火災のおそれがあります。

●印刷終了直後に電源を切断するときは、印刷済み最終ページの用紙をスタッカ部まで排出したあと、定着部の緑色ランプが点灯していることを確認してください。

印刷終了直後に電源を切断すると、定着部の用紙が焦げることがあります。 印刷が終了しても、定着部の温度を下げるために冷却ファンが動作してい ます。安全な温度に下がると定着部の緑色ランプが点灯します。印刷終了 後、定着部の緑色ランプが点灯するまでには最大で約2分かかります。

●プリンタ装置横を通行する際は、給紙機構部にご注意ください。 怪我のおそれがあります。 プリンタを設置する際には、通路際に設置しない、通路際に設置する場合

には十分なスペースを確保し、ポールや看板を立てる、床にライン表示す るなどの措置をご配慮ください。

正しくお使いいただくためのお願い

■ 運搬時の注意

装置を運搬する場合、特別の処置を講じる必要があります。これらの処置を講じないで移設すると、 印字品質に悪影響を及ぼすことがあります。したがって、運搬、移設が必要になった場合は、当社営 業または保守技術員にご相談ください。

■ 設置に対する注意

- (1) 装置背面部には、排気ファンブロアの排気の障害となるものを置かないでください。
- (2) 装置背面側には、塵埃に厳しい装置の設置を避けてください。 また、清掃を行う場合はエアガン等を使用した塵埃の吹き飛ばしは行わず、掃除機で行って ください。
- (3) 装置室内には、塵埃ろ過機能を持った空調設備を設置してください。
- (4) 照明設備直下への設置は避けてください。(装置上面で 500 ルックス以下)
- (5) アンモニアガス、石油系溶剤のガスなどが発生する場所への設置は避けてください。 やむを得ず石油系溶剤使用の印刷装置などと併設する場合は、室内のガス濃度は 20ppm 以下に してください。
- (6)通路際への設置は避けてください。給紙機構部を脚部にぶつけ、怪我をするおそれがあります。 やむを得ず通路際へ設置する場合は、十分なスペースを確保し、ポールや看板を立てる、床にラ イン表示するなどの措置をご配慮ください。
- (7) 設置場所での加湿器を使用する場合は、蒸気式の加湿器を使用してください。 超音波式の加湿器を使用すると白粉が発生し印字障害となりますので、絶対に使用しない でください。
- (8)保守エリアは、装置の保守サービスを実施するのに必要なスペースです。 必ず確保してください。
- (9) バースターの除電ブラシなどの導電性異物を使用している、または発生させる恐れがある機器 や装置は、本装置との間に仕切りを設けるなどの対応を実施してください。 導電性異物が本装置内に混入すると誤動作や壊れる恐れがあります。

■ 電波障害防止について

電波障害防止のため、次のことをお守りください。

- ・カバーを開けたまま使用しない。
- ・指定以外のケーブルを使用しない。

■ 換気について

狭い室内で印刷する場合は、十分に室内の換気を行ってください。

■ 帳票の選択について

「第3章 印刷用紙の規格と印刷データ」を参照のうえ、選択してください。

■ 消耗品の選択について

指定の消耗品以外は印刷品質を損なうことがあります。当社指定の消耗品をご使用ください。 「第4章 消耗品、消耗部品、および添付品」を参照のうえ、選択してください。

■ 操作方法

「第2章 操作」を参照のうえ、正しくお使いください。

■ 運用上の注意

装置の上面部や装置内部(特に定着ユニットやスタッカ部の上面)に用紙、フィルム、溶剤、筆記具 などを置かないでください。装置動作中に振動などにより印刷動作部に落下・進入した場合、用紙づ まり、装置破損、発煙、発火に到る場合があります。ただし、装置内の指定場所(用紙ホッパ・スタ ッカテーブル)に置く印刷用紙は除きます。

また、装置近傍にも発煙、引火、発火しやすいものを置かないようにしてください。

■ ヒートローラ定着器での定着について

本装置で印刷した印刷物をヒートローラ定着型の装置で再度印刷した場合、トナーがオフセットしたり、装置を破損させたりする場合があります。

■ 停電後の電源投入について

本装置は、コントローラ部に UPS を搭載しており、停電時にはシャットダウン動作を行います。 なお、停電時間が長い場合(1 秒以上)、コントローラ・シャットダウン完了画面を表示して停止状態 となります。

本状態から電源を再投入する場合は、副操作パネル部カバー内の POWER ON スイッチを押下してください。

(電源制御をリモートで使用の場合は、ローカルに切り替えてから POWER ON スイッチを押下する 必要があります。)



<コントローラ・シャットダウン完了画面>

安全な使用のため	りに
はじめに	i
警告マークについ	ヽてiv
安全上の注意事項	€∨
正しくお使いいた	こだくためのお願いviii
第1章 装置概要	₽1
1.1 装置概	要1
1.2 システ	ム構成2
1.2.1	システム構成2
1.2.2	接続形態5
1.3 仕様	8
1.3.1	基本仕様8
1.3.2	機能仕様9
1.4 オプシ	ョン機構14
1.5 動作概	要17
1.5.1	印刷動作の概要
1.6 ライン	プリンタモード、
ページ	プリンタモードの印刷機能…19
1.6.1	文字セット管理19
1.6.2	フォームオーバレイ
1.6.3	複写修正21
1.6.4	図形印刷(ベクトル印刷)
	およびイメージ印刷
1.6.5	文字修飾23
1.6.6	バーコード印刷25
1.7 ネット	ワークモードの印刷機能26
1.7.1	Windows環境で使用する
	ソフトウェア27
1.7.2	機能面・運用面における
	留意事項
1.7.2.1	F66XX機能
1.7.2.2	FNPエミュレーション
	機能
1.7.2.3	バーコード印刷に
	ついて
1.7.2.4	二次元コード
	(QRコード
	/マイクロQRコード)
	について

1.7.2.5	LAN-WAN-LAN環境	
	での使用	31
1.7.2.6	ツイストペアケーブル	<u> </u>
	の接続について	31
1.7.2.7	スイッチンクハノとの	
1700	接続について	31
1.7.2.8	JumboFrame	04
1700	リホートに しいて	۲۵
1.7.2.9		
1.7.2.10	印刷半による印子 の の 影響について	20
17011	への <u>影音に</u> JN C	∠د
1.1.2.11	2010の注意争項	32
1.0 90度/。		22
	啊」1茂月已	دد
1.9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	「日月」プロセフ旗曲	34 25
1.9.1	印刷ノロビス城安	
1.9.2		
1.9.3	スカコノドロールユニッド 電 酒	30 26
1.9.4		00
1.9.5		30 26
1.9.0		26
1.9.7	IF-DUA IOT_III (主場佐パウル)	26
1.9.8	回場佐パクル	00
1.9.9		30
第2章 操	作	37
2.1 各部の	名称	37
2.2 主操作	パネルの配置と機能	41
2.2.1	基本タブ	47
2.2.1.1	用紙情報選択	47
2.2.1.2	レイアウト情報選択	48
2.2.1.3	動作モード選択	49
2.2.1.4	クリアプリント/	
	キャンセルボタン	51
2.2.1.5	装置状態の表示	52
2.2.1.6	印刷位置情報の表示	55
2.2.1.7	印刷濃度情報の表示	55
2.2.2	セットアップタブ機能	56
2.2.2.1	ー般タブ	56
2.2.2.2	用紙タブ	64

2.2.2.3	レイアウトタブ71
2.2.2.4	リカバリタブ77
2.2.2.5	消耗品タブ79
2.2.2.6	JEFタブ81
2.2.2.7	FNPタブ
	(ユーザ管理者)
2.2.2.8	LAN接続するための
	基本設定
2.2.2.9	ゲートウェイについての
	補足116
2.2.3	ユーザ設定タブ機能118
2.2.4	画面タブ機能120
2.2.5	副操作パネル126
2.2.6	オートロードパネル128
2.2.7	スタッカパネル130
2.2.8	用紙前進/後退スイッチ132
229	印刷確認スイッチ 132
2210	チャージカウンタ 134
2211	CS SAVEZ T = 135
2212	エマージェンシー
<i> ' _</i>	
2.3 用紙の	セット 136
2.31	田紙をセットする前に 136
232	オートローディングによろ
2.0.2	日紙のセット 137
24 田紙の	周報のビット
2.4 市城の	0 (当手部中た今本) の六海 140
	(月村町四を占む)の文換142
2.5.1	「ノー補和」143 現像剤(E)の方摘 140
2.5.2	
2.3.3	トノー回収谷品の交換138
2.3.4	イットFの父授102
2.5.5	脱煙フィルタの交換
2.5.5 2.6 ドラム	脱煙フィルタの交換167 ユニットの取扱い170
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品	脱煙フィルタの交換167 ユニットの取扱い170 質の調整方法170
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品 2.7.1	脱煙フィルタの交換167 ユニットの取扱い170 質の調整方法170 印刷濃度不良170
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品 2.7.1 2.7.2	 脱煙フィルタの交換167 ユニットの取扱い170 質の調整方法170 印刷濃度不良170 地汚れ(かぶり)171
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品 2.7.1 2.7.2 2.7.3	 脱煙フィルタの交換167 ユニットの取扱い170 質の調整方法170 印刷濃度不良170 地汚れ(かぶり)171 印字抜け171
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品 2.7.1 2.7.2 2.7.3 2.7.4	 脱煙フィルタの交換167 ユニットの取扱い170 質の調整方法170 印刷濃度不良170 地汚れ(かぶり)171 印字抜け171 印刷むら
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品 2.7.1 2.7.2 2.7.3 2.7.4	 脱煙フィルタの交換167 ユニットの取扱い170 質の調整方法170 印刷濃度不良170 地汚れ(かぶり)171 印字抜け171 印刷むら (印刷濃度のむら)172
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品 2.7.1 2.7.2 2.7.3 2.7.4 2.7.5	脱煙フィルタの交換167ユニットの取扱い170質の調整方法170印刷濃度不良170地汚れ(かぶり)171印字抜け171印刷むら(印刷濃度のむら)(印刷濃度のむら)172印字ぼけ(印字不鮮明)172
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品 2.7.1 2.7.2 2.7.3 2.7.3 2.7.4 2.7.5 2.7.6	脱煙フィルタの交換167ユニットの取扱い170質の調整方法170印刷濃度不良170地汚れ(かぶり)171印字抜け171印刷むら(印刷濃度のむら)172印字ぼけ(印字不鮮明)172定着むら173
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品 2.7.1 2.7.2 2.7.3 2.7.4 2.7.5 2.7.6 2.7.7	脱煙フィルタの交換167ユニットの取扱い170質の調整方法170印刷濃度不良170地汚れ(かぶり)171印字抜け171印刷むら172印字ぼけ(印字不鮮明)172定着むら173像の乱れ(伸び・縮み・
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品 2.7.1 2.7.2 2.7.3 2.7.3 2.7.4 2.7.5 2.7.6 2.7.7	脱煙フィルタの交換167ユニットの取扱い170質の調整方法170印刷濃度不良170地汚れ(かぶり)171印字抜け171印刷むら172印字ぼけ(印字不鮮明)172定着むら173像の乱れ(伸び・縮み・重ね印字・ずれ)173
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品 2.7.1 2.7.2 2.7.3 2.7.3 2.7.4 2.7.5 2.7.6 2.7.7 2.7.8	脱煙フィルタの交換167ユニットの取扱い170質の調整方法170印刷濃度不良170地汚れ(かぶり)171印字抜け171印刷むら172(印刷濃度のむら)172口字ぼけ(印字不鮮明)172定着むら173像の乱れ(伸び・縮み・重ね印字・ずれ)173ボイド174
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品 2.7.1 2.7.2 2.7.3 2.7.4 2.7.5 2.7.6 2.7.7 2.7.8 2.7.8 2.7.9	脱煙フィルタの交換167ユニットの取扱い170質の調整方法170印刷濃度不良170地汚れ(かぶり)171印字抜け171印刷むら172(印刷濃度のむら)172印字ぼけ(印字不鮮明)172定着むら173像の乱れ(伸び・縮み・重ね印字・ずれ)173ボイド174高温高湿下での
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品 2.7.1 2.7.2 2.7.3 2.7.4 2.7.5 2.7.6 2.7.7 2.7.8 2.7.9	脱煙フィルタの交換167 ユニットの取扱い170 質の調整方法170 印刷濃度不良170 地汚れ(かぶり)171 印字抜け171 印刷むら (印刷濃度のむら)172 印字ぼけ(印字不鮮明)172 定着むら173 像の乱れ(伸び・縮み・ 重ね印字・ずれ)173 ボイド174 高温高湿下での 印刷品質不良174
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品 2.7.1 2.7.2 2.7.3 2.7.4 2.7.5 2.7.6 2.7.7 2.7.8 2.7.9 2.7.9 2.7.10	脱煙フィルタの交換167ユニットの取扱い170質の調整方法170印刷濃度不良170地汚れ(かぶり)171印字抜け171印刷むら172(印刷濃度のむら)172口字ぼけ(印字不鮮明)172定着むら173像の乱れ(伸び・縮み・重ね印字・すれ)173ボイド174高温高湿下での174その他174
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品 2.7.1 2.7.2 2.7.3 2.7.4 2.7.5 2.7.6 2.7.7 2.7.8 2.7.9 2.7.9 2.7.10 2.8 異常時	脱煙フィルタの交換167ユニットの取扱い170質の調整方法170印刷濃度不良170印刷濃度不良171印字抜け171印刷むら172(印刷濃度のむら)172印字ぼけ(印字不鮮明)172定着むら173像の乱れ(伸び・縮み・重ね印字・ずれ)173ボイド174高温高湿下での174その他174の処理175
2.5.5 2.6 ドラム 2.7 印刷品 2.7.1 2.7.2 2.7.3 2.7.4 2.7.5 2.7.6 2.7.7 2.7.8 2.7.9 2.7.9 2.7.10 2.8 異常時 2.8.1	脱煙フィルタの交換167 ユニットの取扱い170 質の調整方法

2.8.2	再スタート手順	196
2.8.2.1	チャネル接続の場合	196
2.8.2.2	LAN接続の場合	196
2.8.3	用紙づまり(ジャム)時	fΟ
	処理	198
2.8.3.1	用紙づまりの対処を	
	する前に	
2.8.3.2	用紙づまりの対処方法	去.199
2.8.3.3	未定着用紙の除去	
2834	転写部、定着部の用紙	<u></u> -
2.0.0.1	確認が必要となる用約	Æ
	づまりについて	203
20		206
		200
2.9.1	肩が回りのよし娘皮	200
2.9.2	/月师/用□□ 中美动	200
2.9.3		
2.9.4	トノー補給・トノー回り	
	ホトル10近の清掃	208
2.10 電源の	切断について	208
··· · ·· ·· ·· ·· ·· ·· ·· ·· ·· ·· ··		
第3章 印刷用約	出の規格と印刷テータ	209
3.1 基本仕	禄	209
3.1.1	用紙の仕様	209
3.1.2	印刷領域	210
3.1.2.1	印刷可能領域	210
3.1.2.2	印刷、孔あけなどの	
	禁止領域	212
3.2 用紙加	工仕様	213
3.2.1	ミシン目加工・	
	送り孔加工	213
3.2.1.1	ミシン目の名称	213
3.2.1.2	送り孔、ミシン目の	
	精度	214
3.2.1.3	ミシン目デザイン上の	D
	注意事項	215
3.2.1.4	ミシン目加工上の	
	注意事項	217
3.2.1.5	事前確認	218
3,2,2	用紙の梱包条件	218
3.3 用紙基	本仕様についての解説	221
3.3.1	用紙の種類	
332	用紙の坪量と埴料	221
333	用紙の欠陥	222
3.3.4	(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(223
0.0. 4 225		<u>م</u> ک الم
0.0.0		<u>، د</u>
226		220
0.0.0	市心の小刀里交加し カールについて	004
0.07	リールに ノい (

3.3.8	再生紙
3.3.8.1	再生紙取扱上の
	注意事項
3.3.9	推奨紙一覧表
3.4 特殊紙	
3.4.1	プレプリント用紙
	(事前印刷用紙)228
3.4.1.1	デザイン上の注意事項.228
3.4.1.2	インク229
3.4.1.3	取扱上の注意事項230
3.4.1.4	事前確認
3.4.2	タック紙230
3.4.2.1	推奨仕様
3.4.2.2	取扱上の注意事項232
3.4.2.3	事前確認
3.4.3	孔つき用紙232
3.4.3.1	デザイン上の注意事項.232
3.4.3.2	事前確認232
3.4.4	メールシール紙233
3.4.4.1	デザイン上の注意事項.233
3.4.4.2	取扱上の注意事項233
3.4.4.3	事前確認234
3.4.5	シールはがき用紙234
3.4.5.1	デザイン上の注意事項.236
3.4.5.2	取扱上の注意事項236
3.4.5.3	事前確認236
3.4.6	はがき印刷について237
3.4.7	色付き用紙237
3.4.8	エンボス用紙237
3.4.9	シークレットラベル用紙237
3.4.10	透かし入り用紙
3.4.11	透明フィルム238
3.4.12	ノンカーボン紙
3.4.13	OCR紙239
3.4.14	カード媒体240
3.4.14.1	デザイン上の注意事項.241

Э	8.4.14.2	取扱上の注意事項	243
Э	3.4.14.3	装置使用上の注意事項	
		(カード媒体使用時)	.243
Э	3.4.14.4	事前確認	243
3.4	.15	その他特殊用紙	243
3.5	用紙の	形態指針	244
3.5	5.1	用紙の形態	244
3.6	印刷デ	ータの作成	248
3.6	5.1	データ作成上の注意	248
3.6	6.2	印刷パターンについて	249
3.6	6.3	OCR印字	249
3.6	6.4	FCBの取扱い	.250
3.6	6.5	行マージ	251
3.6	6.6	GS1-128(料金代理	
		収納用)バーコード印刷	251
3.6	6.7	二次元コード	
		(QRコード	
		/マイクロQRコード)	252
3.6	6.8	文字間隔の指定について	.259
第4章	消耗品、	消耗部品、および添付品	261
4.1	消耗品		261
4.2	消耗部		262
4.3	消耗品	、消耗部品の廃却	263
4.4	添付品		264
第5章	設置諸元	Ē	265
5.1	設置条	件	265
第6章	トラブル	,事例	269
付録1	PrintWa	alker/EM のご紹介	279
付録2	鉛蓄電池	3のリサイクルについて	280
索	引		281

図表目次

図1.1 外 観 (PS5230C)	1
図1.2 システム構成と接続形態	2
図1.2.1 富士通メインフレーム接続	5
図1.2.2 SPARC Servers、	
SPARC Enterprise、 PRIMEPOWER、	
富士通S series接続	5
図1.2.3 PRIMERGY、PRIMEQUEST 1000	
(Linuxサーバ)接続	6
図1.2.4 PCサーバ(Windows) 接続	6
図1.2.5 Windows PC接続	7
図1.3 情報シーケンスの	
タイムチャート1	7
図1.4 印刷動作概要図1	8
図1.5 Aモード文字セット管理1	9
図1.6 Kモード文字セット管理2	0
図1.7 フォームオーバレイ	
印刷機能の概略2	0
図1.8 複写修正機能の概略2	1
図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の	
図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略	2
図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略	2
図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略2 図1.10 文字サイズ、文字フォントの 拡張(アウトラインフォントに	2
図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略2 図1.10 文字サイズ、文字フォントの 拡張(アウトラインフォントに よる文字の変形例)2	2
 図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略	2
図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略	3
 図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略	2 3 4 3
 図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略	2 3 4 3 4
図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略	2 3 4 3 4 5
 図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略	3 4 3 4 5
 図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略	2 3 4 3 4 5 7
図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略	2 3 4 3 4 5 7 8
図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略	2 3 4 3 4 5 7 8 8
図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略	2 3 4 3 4 5 7 8 8 9
図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略	2 3 4 3 4 5 7 8 8 9 9
図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略	2 3 4 3 4 5 7 8 8 9 9 0
図1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の 概略	2 3 4345 7889901

図2.8 仮想キーボード
(特殊記号入力時)
図2.9 仮想テンキー46
図2.10 16進入力用キーボード46
図2.11 IPアドレス入力用キーボード46
図2.12 基本タブ 用紙情報の選択47
図2.13 基本タブ
レイアウト情報の選択48
図2.14a 未印刷データの削除確認画面
(ホストリカバリモード時)48
図2.14b 未印刷データの削除確認画面
(セルフリカバリモード時)48
図2.15 未印刷データの
変更不可警告画面
図2.16 基本タブ (動作モード選択)49
図2.16.1 NETWORK MODE選択時50
図2.16.2 CHANNEL MODE選択時50
図2.17 基本タブ
クリアプリント/キャンセル51
図2.18 基本タブ スタート状態52
図2.19 基本タブ エラー状態
図2.20 基本タブ
消耗品交換時期表示54
図2.21 基本タブ
印刷位置/濃度情報の表示55
図2.22 セットアップタブ(一般)56
図2.23 一般タブ 印刷位置の設定57
図2.24a 垂直位置の移動範囲
(回転なし/90度回転/
270度回転)
図2.24b 水平位置の移動範囲(回転なし)
(回転なし)58
図2.24c 水平位置の移動範囲
(90度回転)
図2.24d水平位置の移動範囲
(270度回転)
図2.25 オーバレイ位置の移動範囲
(回転なし/90度回転/
270度回転)59
図2.26 印刷濃度調整

図2.27	プリセット値変更60
図2.28	テストプリント61
図2.29	コンビニ-EAN128設定63
図2.30	セットアップタブ(用紙)64
図2.30.1	用紙登録65
⊠2.30.2	2 用紙選択処理
⊠2.30.3	3 用紙削除処理時の確認画面66
図2.30.4	1 用紙情報(詳細)表示67
⊠2.30.5	5 デフォルト用紙コード
⊠2.30.6	69 用紙情報の自動設定
図2.30.7	7 用紙登録時の動作設定
図2.31	セットアップタブ
(レイアウト)71
図2.32	レイアウト情報設定項目
図2.33	レイアウト情報の登録
(基本情報)73
図2.34	レイアウト情報の登録
(論理ページ)74
図2.35	論理ページ レイアウトの説明.74
図2,35,1	論理ページレイアウト
 長	定例75
図2.36	セットアップタブ
(レイアウト選択)
図2.37	レイアウト削除時の確認画面76
図238	セットアップタブ
(リカバリ選択)
⊠239	リカバリ選択画面 78
⊠2.00	セットアップタブ(消耗品) 79
⊠241	定期交換部品 80
⊠242	消耗品交換手順の表示例 80
⊠243	ヤットアップタブ (JFF) 81
⊠2.10	印刷開始制御 82
⊠245	举制扩張解像度印刷設定 83
⊠246	ON Line/OFF Line切替之 84
⊠247	FXT/INT切替之 85
⊠2.11	CHANNEL A/B切替え設定 86
⊠249	印字幅の設定 87
⊠2.10	FAN128日視文字位置
(JFF)の設定 88
₩2.51	第2FPD設定面面 89
⊠2.52	第2FPD選択処理 90
⊠2.02 ⊠2.53	第2FPD削除処理 90
⊠2.50	第2FPDプロテクト設定両面 91
図2.04 図2.55	第211070771 設定画面01 第2FPDコメント編集両面 91
図2.00 図2.56	第2110コスク1 編末回回
×2.00	
図2.01	ビッドアッフタノ(FINP)93 ウットロークマドレフ部中 04
図2.00 図2.50	ホットワークアトレス設定94
⊠2.09 ⊠2.00	ドアドレスヘルHナノキー94 データレート留切
凶Z.OU	, ーッレート迭状

⊠261	デフォルト用紙幅	96
⊠2.62	 シックスパンド / Sharean 論理プリンタ設定 	97
⊠2.62	エミュレーション設定	97
⊠2.60	ENIP設定	99
⊠2.65	FM設定1	100
⊠2.66	FM設定?	100
⊠2.67	66XX铅定	103
⊠2.01 1 1 1 1 2 68	ゲートウェイ	116
⊠2.60	ゲートウェイ接続の例	116
⊠2.00	フーザ設定々ブ	118
⊠2.10	パスワード入力田キーボード	118
⊠2.77	パスワード誤り	119
⊠2.12	ハハジ 「	110
図2.10 図2.71	パフロード変面田エーボード	110
図2.14		120
図2.1J 図2.76	パスク 「夏更儿」	120
図2.70 図2.77		120
図2.11 図2.78	画面タフ	120
図2.70 図2.70	主心のた	100
図2.19 図2.80	ママリノレーション画面 両面き場内	122
図2.00 図2.21	回回肩伸中	123
⊠∠.01 ∓	スクリーノビーハの	101
M N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	- 1 設定 時刻設定の確認両面	124
図2.0Z	時刻設定の確認回回	124
図2.03 図2.94	マジロシビーロ	120
図2.04 110005	シスノム於」の唯祕画面	120
図2.0J 図2.0J	スイック 乱 直友 史 回 回	120
図2.00 図2.07	副採作ハネルの 追 し	120
図2.01 11000	フロードハネルの配直	120
⊠∠.00 ≢	スタッカバネルの	120
天回つの	★世世こ出世	130
区.09 而	用私則進/仮返スイツナの 業	100
		102
⊠2.90	ロ桐唯認ス1ッテの配置	104
×2.92	テヤーシカリノタの配直	104
⊠2.93 ™2.04	田紙相刀1 ト	137
図2.94 図2.05	円紙の加加処理	101
図2.95 M2.06	H紙の表看	138
図2.90 図2.07		138
図2.97 図2.09	円紙の切め処理	139
図2.90	円紙の取面し	140
×2.99	円板のフォーミノク調整	141
図2.101	ニアノ1ノ光王吋の衣小	143
図2.102	. 「ビットアッノ」タノ	143
図2.1U3 一) 「府秋回」 クノ フラノフキテ	111
	アフィノ衣小	144
≝∠.104	· トノー(細粒ノロー ーマニィフヰ)	115
	ニアフィフ ワー	140
MZ.100	, アノー(m和ノロー) 01まテは)	115
(04衣小団/	145

図2.106	現像剤(F)の交換フロー
(=	アライフ時)149
図2.106	現像剤(F)の交換フロー
(_	.アライフ時)150
図2.107	現像剤(F)の交換
メッ	セージ(ニアライフ時)151
図2.108	現像剤(F)の
交換	フロー(06表示時)152
図2.109	現像剤(F)の交換
メッ	セージ(06表示時)154
図2.110	トナー回収容器の
交換	フロー(ニアライフ時)158
図2.111	トナー回収容器の
交換	フロー(05表示時)159
図2.112	キットFの交換フロー
(_	.アライフ時)162
図2.113	キットFの交換フロー
(0,	A表示時)163
図2.114	脱煙フィルタの交換フロー
(=	.アライフ時)167
図2.115	脱煙フィルタの交換フロー
(0)	B表示時)168
図2.116	印刷濃度不良が
生じ	たときの処理170
⊠2.117	地汚れ(かぶり)が
生じ	たときの処理171
図2.118	印字抜けが生じたときの
処理	
図2.119	印刷むらが生じたときの
処理	
図2.120	印字ぼけが生じたときの
処理	
図2.121	定着むらが生じたときの
処理	
図2.122	像の乱れが生じたときの
処理	

図2.123 ボイドが発生したときの	
処理	174
図2.124 主操作パネルの	
表示レイアウト	175
図2.125 用紙づまり処理方法	202
図3.1 印刷可能範囲	210
図3.2 印字禁止領域	212
図3.3 加工禁止領域	212
図3.4 ミシン目の名称	213
図3.5 ミシン目の表示寸法	214
図3.6.1 用紙加工精度	214
図3.6.2 用紙加工精度	215
図3.7 ミシン目の交点	217
図3.8 用紙の変形	218
図3.9 用紙の横倒れ	218
図3.10 用紙箱の形式	219
図3.11 用紙箱の寸法	220
図3.12 水分量変化による	
用紙のカール	224
図3.13 積載方法	225
図3.14 メールシール紙	233
図3.15 シールはがき用紙	234
図3.16 各種シールはがき	235
図3.17 色付き用紙とトナー定着	237
図3.18 ノンカーボン紙	239
図3.19 カード媒体	240
図3.20 カード周辺部の印字禁止範囲	241
図3.21 カード貼り付け禁止範囲	241
図3.22 QRコードシンボル	253
図3.23 マイクロQRコードシンボル	253
図4.1 回収サービス	263
図5.1 外形寸法	266
図5.2 保守エリア	266

《表》

表1.1	基本仕様8
表1.2	チャネル接続機能仕様9
表1.3	ネットワーク接続機能仕様11
表1.4	オプション機構14
表2.1	ランプ表示状態とその意味42
表2.2	プリンタステータスとその意味42
表2.3	操作スイッチとその機能43
表2.4	各タブの機能と権限44
表2.4.1	論理プリンタの状態表示50
表2.5	印刷位置/OVL位置の移動量58
表2.6	矢印ボタンの使い方58
表2.7	初期設定されている
L	ノイアウト情報72
表2.8	副操作パネルの機能127
表2.9	オートロードパネルの機能129
表2.10	スタッカパネルの機能131
表2.11	用紙前進/後退スイッチの
桡	幾能132
表2.12	印刷確認スイッチの機能132
表2.13	チャージカウンタの機能134
表2.14	CS SAVEスイッチの機能135
表2.15	エマージェンシースイッチの
桡	幾能135
表2.16	消耗品交換一覧表142
表2.17	「状態表示」の上位桁の内容.175
表2.18	"Ox"176
表2.19	"1x"182
表2.20	"2x"184
表2.21	"3x"185
表2.22	"5x"186
表2.23	"6x"187
表2.24	"7x"189
表2.25	"8x"190
表2.26	"9x"193
表2.27	"Ax"194

表2.28	残紙片の確認が必要な	
-	L ラーコード	203
表2.29	残紙片確認のための	
>	メッセージ	203
表2.30	清掃頻度	206
表3.1	用紙の基本仕様	209
表3.3	折りミシン目、	
C	中間縦ミシン目加工寸法	215
表3.4	中間横ミシン目加工寸法	216
表3.5	内部ミシン目数の目安	217
表3.6	放置時間	225
表3.7	当社推奨紙	227
表3.8	タック紙の推奨仕様	231
表3.9	用紙の形態	244
表3.10	データ作成上の注意	248
表3.11	FCBと用紙長	251
表3.12	選択可能なモジュール寸法	254
表3.13	QRコード誤り訂正レベル	
L	の型番と最大入力文字数	254
表3.14	QRコード誤り訂正レベル	
Ν	Aの型番と最大入力文字数	255
表3.15	QRコード誤り訂正レベル	
Ģ	2の型番と最大入力文字数	255
表3.16	QRコード誤り訂正レベル	
F	Hの型番と最大入力文字数	256
表3.17	QRコードの型番と	
ų	又納可能なデータビット数	257
表3.18	マイクロQRコードの型番	
5	と最大入力文字数	258
表4.1	消耗品一覧	261
表4.2	消耗部品一覧	262
表4.3	消耗品、消耗部品の廃却	263
表4.4	添付品	264
表5.1	設置条件	265

第1章 装置概要

本章では、本装置の概要と構成、機能、および動作の概要について説明します。

1.1 装置概要

本装置は、LEDと乾式電子写真記録技術とを組み合わせ、富士通日本語情報システム(JEF, JEF/ AP)との互換性を維持したノンインパクトプリンタです。富士通メインフレームのチャネル接続に 加えオープン系におけるネットワーク接続をもこの1台で可能としました。

これからオープン化を検討されている場合でも、このプリンタ1台で対応が可能になります。 さらに、プリンタ装置側の設定変更だけで、アプリケーションに手を加えることなく A4 などの2 up 印刷が可能になりました。これにより印刷時間が短縮され、成果物の生産性が向上します。操作 画面にはタッチ式の大型カラー液晶画面を採用し、グラフィカルな表示で操作性を向上させました。

本装置の外観を図 1.1 に示します。



図 1.1 外 観 (PS5230C)

1.2 システム構成

1.2.1 システム構成

PS5230Cは、3つのモデルによってシステム構成が異なります。 本装置それぞれのモデルのシステム構成を図 1.2 に示します。



[PS5230C-N ページプリンタ装置]

図 1.2 システム構成と接続形態(続く)



[PS5230C-CS ページプリンタ装置]

図 1.2 システム構成と接続形態(続く)



[PS5230C-CP ページプリンタ装置]

図 1.2 システム構成と接続形態(続き)

- (注1) JIS 第1水準漢字、非漢字(3,418 文字)の文字パターン、および 8,192 文字(JIS 第1水準漢字、非漢字を含みます)の文字発生機構を含みます。
- (注2) 2チャネルスイッチ(PS5230A11 または PS5230A32:オプション)により2台の BMC チャネルに接続可能です。
- (注3)高解像度印刷機構(PS5230C21)は、JEF/AP 出力機構(PS5230A23)と400dpi
 出力機構(PS5230C24)のセットです。

1.2.2 接続形態

接続形態を図 1.2.1~1.2.5 に示します。



※ 本接続形態は PS5230C-CS、 PS5230C-CP だけ対象です

*75		世史	
	Iミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	順名
富士通メインフレーム	JEF,	伝送経路 : チャネル	
	JEF/AP		





±76	++. //*			プリンタ	世史
小人下		9-7		サポートサーバ/伝送経路	11月15
富士通メインフ レーム (注 1)	SPARC Servers SPARC Enterprise PRIMEPOWER 富士通 S series	Server2000 ホスト連携 プレミアム PrintWalker/BPC TCP/IP	66XX	サポートサーバ:BSNPS 伝送経路 :TCP/IP	
PC		PrintWalker/BPC TCP/IP	FM (FNP)	サポートサーバ:BSNPS 伝送経路 :TCP/IP	
SPARC Servers SPARC Enterprise PRIMEPOWER 富士通 S series		PrintWalker/BPC TCP/IP	FM(FNP) または 66XX	サポートサーバ:BSNPS 伝送経路 :TCP/IP	

(注 1) 富士通メインフレームと連携する場合の接続を示しています。富士通メインフレームとの連携を行わない場合には、本接続は必要ありません。

図 1.2.2 SPARC Servers、SPARC Enterprise、PRIMEPOWER、富士通 S series 接続



±76	++ <i>V</i>			⊯≠	
小人下		リーハ	Iミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	順乞
PRIMERGY		PrintWalker/LXE	FM	サポートサーバ:BSNPS	
(注1)		TCP/IP	(FNP)	伝送経路 :TCP/IP	
PRIMEQUEST 1000					
(注2)					

(注 1) Red Hat Enterprise Linux AS (v.3 for x86)、Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)、Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)、Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)、Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)、Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)、Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)、Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)、Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)、Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)、Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86) (for

(注 2) Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)、Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)、 Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)、Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)

図 1.2.3 PRIMERGY、PRIMEQUEST 1000(Linux サーバ)接続



#7 L	++ 15			プリンタ	世史
小人 ト		9-M		サポートサーバ/伝送経路	順ち
富士通メインフレーム (注 1)	PRIMERGY PRIMEQEUST (注 2)	HOST PRINT (帳票管理サービス) PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ: PrintWalker/PM 伝送経路 :TCP/IP	
PC	PRIMERGY PRIMEQEUST (注2)	PrintWalker/PM TCP/IP	FM (FNP)	サポートサーバ: PrintWalker/PM 伝送経路 :TCP/IP	
PRIMERGY PRIMEQEUST (注2)		PrintWalker/PM TCP/IP	FM (FNP)	サポートサーバ: PrintWalker/PM 伝送経路 : TCP/IP	

⁽注1)富士通メインフレームと連携時する場合の接続を示しています。富士通メインフレームとの 連携を行わない場合には、本接続は必要ありません。

図 1.2.4 PC サーバ(Windows) 接続

⁽注2) Windows Server 2012、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008、 Windows Server 2003



±75	++. /»		プリンタ		
<i>М</i> ХГ	<u>ب</u>	-//	Iミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	順ち
Windows 8		PrintWalker/PM	FM	サポートサーバ:	
Windows 7		TCP/IP	(FNP)	PrintWalker/PM	
Windows Vista				伝送経路 :TCP/IP	
Windows XP					



1.3 仕様

1.3.1 基本仕様

本装置の基本仕様を表 1.1 に示します。

表 1.1 基本仕様

項目	仕 様
印刷方式	LED 書込みによる乾式電子写真方式
印刷形態	片面印刷装置
解像度	240dpi(標準)、400dpi/600dpi(オプション:注1)
	230PPM (8,250LPM:6LPI時)
印刷速度	(印刷禁止領域を含む)
	※PPM は、A4 縦 2up 換算した印刷速度(注 2)
種類	送り孔付き折畳み印刷用紙(1P)
用	幅 :165.1~457.2mm (6.5~18 インチ) この間連続可変
が サイズ	折畳み長:177.8~355.6mm (7~14 インチ)
紕	この間 12.7mm(1/2 インチ)ステップ
坪 量	64~157g/m²(連量 55~135kg)
	オートローディング機構
給紙	用紙箱の高さ 300mm 以下
	(坪量 64g/m ² の用紙で 3,000 枚相当)
	折畳みスタッカ
排 紙	折り畳んだ用紙の高さ300mm以下
	(坪量 64g/m ² の用紙で 3,000 枚相当)
	ラインフリンタモード/F66XX モード
	・用紙折畳みミシン目前後、次の領域かり刷禁止領域
	行間隔 4.23mm (1/6 インチの場合) ミシン目前後 8.4 /mm (1/3 インチ)
印刷祭止預政	3.18mm (1/8インナの場合)ミシン目前後 6.35mm (1/4インナ)
(注3)	2.12mm (1/12インナの場合)ミジン日則後 6.35mm (1/4インナ)
	ヘーンノリンタモート/ FINP/ FINI モート
	 ・用紙达り刀囘にミンン日の削後、0.35mm(1/41)ナ)以内の視識は印刷
	オリンナル 枚にけ ニマンゴリンクエード イベージゴリンクエード・DMの チャウル
技術 インタフェーフ	
「フラフェース (注 3)	INE L IF/INELDF L = P/IOOAA L = P·· ANI 控結(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)(注 A)
<u> (たい)</u> チャネル切麸ラ	
(注5)	

(注1)・PS5230C-CSとPS5230C-CPの場合

400dpi は、400dpi 出力機構(または高解像度印刷機構)、600dpi は、600dpi 出力機 構が必要です。

・PS5230C-Nの場合

400dpi は、400dpi 出力機構が必要です。

- (注2)18×12インチ用紙の一面にA4縦を2ページ分配置して印刷。
- (注3) ラインプリンタモードおよびページプリンタモードは、PS5230C-CS と PS5230C-CP だけ有効です。
- (注 4) BPP (富士通独自プロトコル) 接続だけサポート。LPD (UNIX 標準プロトコル) については未サポート。
- (注5) チャネル切替えは PS5230C-CS と PS5230C-CP だけ有効です。
- (注6)1シートは、15インチ×11インチ用紙で換算しています。また装置寿命までに消耗品以 外で定期的に交換が必要な部品があります。

1.3.2 機能仕様

本装置の機能仕様を表 1.2 に示します。

※チャネル接続機能は PS5230C-CS、 PS5230C-CP だけ

石口		モード			
		ラインプリンタモード	ページプリンタモード		
印刷 速度	6LPI 8LPI 12LPI	230PPM(A4、2up 換算した印刷速度 (8,250LPM:6LPI、11,000LPM:8LP) 1、16,500LPM:12LPI)		
解像度		240dpi/ (GS1-128 印刷時:600dpi(注 1))	400dpi(注 2)		
文字 サイズ (cpi)	A/N 漢字 罫線	10/12/15cpi (20cpi 個別対応) 7/9/12 ポの各サイズについて 半角、平体、長体、倍角、1/4 角	-3~300point		
	拡大	漢字だけ平体、長体、倍角が可能 n×n 倍拡大(最大 n=16)	縦横独立に拡大が可能		
文字 間隔 (cpi)	A/N 漢字 罫線	10/12/15cpi 2 ドット単位で指定可能 最大 10 ドット	任意指定可能		
行間隔	1	6、8、12LPI (20cpi 個別モード)	任意指定可能 (文字同士の重なりも可能)		
書体	A/N	Gothic、 OCR-A、OCR-B、 Text-1、Text-2、 カタカナ、 アンダライン付 Gothic、 アンダライン付 Text-1、 アンダライン付 Text-2	任意 明朝体、ゴシック体、教科書体 Century Medium Roman、 Century Medium Italic、 Century Bold Roman、 Century Bold Italic、 Motoya Gothic Medium Roman、		
	漢字	明朝体、ゴシック体	Motoya Gothic Medium Italic、 Motoya Gothic Bold Roman、 Motoya Gothic Bold Italic など(注 3)		
	A/N	ラスタフォント	アウトラインフォント(直線近似方式)		
フォント	漢字	拡大縮小ビット付ラスタフォント	ラスタフォント(拡大/縮小ビットなし) *同ーサイズ内での2種の フォーマットの混在は不可		
文字の回転 縦書きモードだけ		縦書きモードだけ	任意指定可能		
CG 容量基本:8,192 文字 拡張出力機構装着時:18,432 文字文字サイズ、書体にの 文字数は変化します		文字サイズ、書体により格納できる 文字数は変化します			
オーバし	1	ドット圧縮方式	ベクトル方式(VDI 方式準拠)		
オーバレイ		4MB	4MB		
<u>メモリ</u> 容	量	拡張オーバレイメモリ装着時:20MB	拡張オーバレイメモリ装着時:20MB		
図形印刷	IJ	F66XX形式 (注 4)	ISO-CGM 準拠		
 イメージ印刷		矩形領域の MH、MR、MMR 圧縮、お よび非圧縮データ (注 4)	矩形領域の MH、MR、MMR 圧縮、お よび非圧縮データ		

表 1.2 チャネル接続機能仕様(続く)

та с	モード					
	ラインプリンタモード	ページプリンタモード				
	NW-7、	NW-7、				
	JAN(標準/短縮)、	JAN(標準/短縮)、				
	CODE39、	CODE39、				
	Industrial 2 of 5.	Industrial 2 of 5.				
	Interleaved 2 of 5.	Interleaved 2 of 5.				
	物流商品コード、	物流商品コード、				
バーコード印刷	Matrix 2 of 5.	Matrix 2 of 5.				
(注 5)	UPC(バージョン A/E)、	UPC(バージョン A/E)、				
	EAN13	EAN13				
	カスタマバーコード、	カスタマバーコード、				
	GS1-128、	GS1-128、				
	GS1-128(料金代理収納用)	GS1-128(料金代理収納用)				
	QR コード(モデル 2)(注 6)	QR コード(モデル 2)(注 6)				
	マイクロ QR コード (注6)	マイクロ QR コード (注 6)				
	全角(3418字)	全角(3418字)				
	明朝体 JIS 第 1 水準	明朝体 JIS 第 1 水準				
	非漢字	非漢字				
	半角(94字)	上記文字種の 7,9,12 ポイント				
	明朝体非漢字	罫線 (全角)(33字)				
	罫線(全角)(33字)					
		EBCDIC(かな)				
	縦書き専用	EBCDIC(英小文字)				
	明朝体(75字)	EBCDIC (ASCII)				
	ゴシック体(75字)					
生置の保有する		上記の文字種、文字サイズを表現する				
え しの 休 月 9 つ	Gothic 10,12,15 condensed	字母				
2721	Gothic with underscored					
	10,12,15 condensed					
	Katakana 10,12,15					
	Format 10,12,15					
	Text-1					
	Text-1 with underscored					
	Text-2					
	Text-2 with underscored					
	OCR-A					
	OCR-B(各64字)					

表 1.2 チャネル接続機能仕様(続き)

表 1.3	ネットワ	ーク接続機能仕様	(続く)

百日		モード						
垆		F66XX モード/	FNPモード					
印刷 速度	6LPI 8LPI 12LPI	230PPM(A4、2up 換算 (8,250LPM:6LPI、11,00	した印刷速度) OOLPM:8LPI、16,500Ll	PM:12LPI)				
解像度		240dpi	240/400dpi (注7)	240/400 (注7) /600dpi (注8)				
文字 サイズ (cpi)	A/N 漢字 罫線	10/12/15cpi7/9/12 ポの各サイズについて半角、平体、長体、倍角、1/4 角、ラベル文字	10/12/18cpi 7/9/10.5/12 ポの 各サイズについて 半角、平体、長体、倍角、 1/4 角	任意指定可能 (1-4096 ドット)				
	拡大	漢字だけ平体、長体、倍 角が可能 n×n 倍拡大(最大 n= 16)	A/N:倍幅が可能 漢字:平体、長体、倍角 が可能	任意指定可能				
文字 間隔 (cpi)	A/N 漢字 罫線	10/12/15cpi 7 ポ:10cpi 9 ポ:5/6/6.6/7.5/8cpi 12 ポ:5/6cpi	任意指定可能	任意指定可能				
行間隔	-	6,8,12LPI	任意指定可能	任意指定可能				
書体	A/N	A/N 20 セット	A/N 文字	欧文 13 書体、OCR-B ゴシック 10				
	漢字	明朝体、ゴシック体	明朝体、ゴシック体	明朝体、ゴシック体				
フォント	A/N 漢字	ラスタフォント	ラスタフォント	アウトラインフォント				
文字の[回転	縦書きモードだけ	縦書きモードだけ	任意指定可能				
オーバ	ノイ	書式オーバレイ (ドット圧縮方式)	マクロ形式	マクロ形式				
オーバI メモリ	ノイ 容量	20MB	4MB	4MB				
図形印刷	刮	文字・線・円·面塗り 描画	文字・線・円·面塗り 描画	文字・線・円·面塗り 描画				
イメー	ジ印刷	矩形領域の MH、MR、MMR 圧縮、 および非圧縮データ	矩形領域の MH、MMR 圧縮、および 非圧縮データ	非圧縮、MH 形式、 MMR 形式、SLC 形式				
バーコード印刷 (注 5)		NW-7、 JAN(標準/短縮)、 CODE39、 Industrial 2 of 5、 Interleaved 2 of 5、 UPC(バージョン A/E) 物流商品コード、 カスタマバーコード、 GS1-128、	NW-7、 JAN(標準/短縮)、 CODE39、 Industrial 2 of 5、 Interleaved 2 of 5、 物流商品コード、 カスタマバーコード	NW-7、 JAN(標準/短縮)、 CODE39、 Industrial 2 of 5、 Interleaved 2 of 5、 物流商品コード、 カスタマバーコード、 GS1-128 (注 9)、 QR コード(モデル 2)、 マイクロ QR コード				

百日	モード							
項日	F66XX モード/	FM-LBP モード	FNPモード					
装置の保有する フォント	明朝体 ・2バイト文字: JIS 非漢字、 第 1 水準/第 2 水準漢 字、 半角・1/4 角文字、 書式文字、 縦特殊文字 ゴシック体 ・2バイト文字: JIS 非漢字、 第 1 水準/第 2 水準漢字 半角・1/4 角文字、 縦特殊文字 ・1 バイト文字: A/N 20 セット	明朝体 ・2 バイト文字: JIS 非漢字、 第 1 水準/第 2 水準漢字 ゴシック体 ・2 バイト文字: JIS 非漢字、 第 1 水準/第 2 水準漢字 ・1 バイト文字	明朝体、ゴシック体 JIS 第 1 /第 2 水準、 拡張漢字、 非漢字 欧文 13 書体 -Swiss 721 SWM Roman -Swiss 721 SWM Roman -Swiss 721 SWM Bold -Swiss 721 SWM Bold -Swiss 721 SWM Bold Italic -Dutch 801 SWM Bold Italic -Dutch 801 SWM Bold -Dutch 801 SWM Bold -Courier SWM 10 Pitch Bold -Courier SWM 10 Pitch Bold -Courier SWM 10 Pitch Bold Italic -Symbol SWA OCR-B					
			コンツク 10					

表 1.3 ネットワーク接続機能仕様(続き)

- (注1) 600dpi 出力機構(PS5230C25)および LP-EAN128 出力機構(PS5230A26)のオプションの手配が必要です。
- (注2) 400dpi 出力機構(PS5230C24)または高解像度印刷機構(PS5230C21)のオ プションの手配が必要です。
- (注3) ページプリンタモードでの書体種は、ホストサポート状況によります。
- (注4) 拡張出力機構(PS5230A12)が必要です。
- (注5) バーコード印刷について
 本装置のバーコード品質はCグレード以上です。
 ・印刷濃度設定:標準濃度(濃度8~12)

バーコードの品質や読み取り性能は、お客様がご使用する帳票(紙質)や印刷濃度、お よびバーコードリーダの性能によって大きな影響を受けます。運用に先立ち十分な事前 確認が必要です。

特に、GS1-128(料金代理収納用)バーコードは、高密度であるため高精細な印字品 質が要求されます。詳細は「2.2.2.1. 一般タブ」の「(5) コンビニ-EAN128 設定 (600dpi)」を参照してください。

(強制拡張解像度印刷)

バーコードは 600dpi 出力機構オプション搭載時、強制拡張解像度印刷を有効にした場合、および GS1-128(料金代理収納用)が印刷される帳票ページでは 600dpi で印刷されます。

強制拡張解像度印刷を無効にした場合と比較して幅が異なりますので、ご注意ください。

(EAN128 目視文字位置設定)

ラインプリンタモード/ページプリンタモードで、 GS1-128(料金代理収納用)を印刷する場合、オペレータパネルの設定に よりバーコード下端からの下部文字印刷を変更可能です。また、FNP モードで印刷 する場合には、オペレータパネルの設定により下部文字サイズを変更することが可能 です。

なお、QRコードの品質は、以下の条件で保証されます。 (240dpiの場合)出力モジュールサイズ4ドット以上 (400dpiの場合)出力モジュールサイズ6ドット以上 (600dpiの場合)出力モジュールサイズ9ドット以上

- (注6) ラインプリンタモードおよびページプリンタモードで、QRコード(モデル2)、マイクロQRコードを印刷するにはQRコード出力機構(PS5230A29)のオプション手配が必要です。
- (注7) ・PS5230C-CS、PS5230C-CPの場合
 400dpi 出力機構(PS5230C24)または高解像度印刷機構(PS5230C21)のオ プションの手配が必要です。
 ・PS5230C-Nの場合
 400dpi 出力機構(PS5230C24)のオプションの手配が必要です。
- (注8) PS5230C-CS、PS5230C-CPの場合は、600dpi 出力機構(PS5230C25)のオ プションの手配が必要です。
- (注9) 400/600dpi時、料金代理収納用のGS1-128バーコードを印刷することができます。

1.4 オプション機構

本装置のオプション機構を表 1.4 に示します。

表 1.4 オプション機構(続く)

		注 1 〇:有効、一:無効				5		
機器名称	型名	ГЪ	dd	F66XX	FM-LBP	dNJ	概要	備考
拡張出力機構	PS5230A12	0	0	_	_		図形・イメージ印刷が可能。 収容文字数を拡張。 JEF (ラインプリンタモー ド)で日本語を印刷する場合 は必須。また JEF/AP(ペー ジプリンタモード)で印刷す る場合は必須。	注2
拡張オーバレイメモリ	PS5230A13	0	0	_	_		基本部と合わせて20M バイト 分のフォームオーバレイデータが 収容可能	注4
高解像度印刷機構	PS5230C21	_	0	Ι	0	0	JEF/AP (ページプリンタモード) 印 刷時に必要なオプション (PS5230A23 と PS5230C24 のセット) <ps5230a12 必須=""></ps5230a12>	
拡張文字パターン機構	PS5230A22	_	0		_		JEF (ラインプリンタモード)で使用 していた、明朝もしくはゴシックフォ ントの7.9.12 ポイント以外に JEF/AP (ページプリンタモード)で 任意の文字サイズ、教科書体や毛筆体 など各種フォントを追加使用する場 合に必要なメモリ。 JEF/AP (ページプリンタモード)印 刷時のみ有効。 <ps5230a12、 PS5230C21 必須></ps5230a12、 	
JEF/AP 出力機構	PS5230A23	_	0	_	_		JEF/AP (ページプリンタモード) 印 刷時に必要なオプション <ps5230a12、 PS5230C24 必須></ps5230a12、 	
400dpi 出力機構	PS5230C24	_	0		0	0	JEF/AP (ページプリンタモード) 印 刷時に必要な オプション FNP/FM の解像度 400dpi 印刷時に必要なオプション	
600dpi 出力機構	PS5230C25	0	_	_	_	0	解像度 240dpi の印刷データを 600dpi に変換して出力可能 FNP の解像度 600dpi 印刷時に 必要なオブション	
LP-EAN128 出力機構	PS5230A26	0	_	_	_		コンビニ-EAN128 印刷を実現 JEF (ラインプリンタモード) 使用時 <ps5230c25 必須=""></ps5230c25>	
QR コード出力機構	PS5230A29	0	0	_	_	—	QR コード印刷時に必要な オプション	
SCCI用2チャネルスイッチ	PS5230A32	0	0	_	_	_	2台のチャネル切替えが可能	注3
パトロールライト	PS5230C41	0	0	0	0	0	黄色回転以 (オペレータ介入を 必要とする時に点以)	注3

[PS5230C-CS ページプリンタ装置]

表 1.4 オプション機構(続く)

[PS5230C-CP ページプリンタ装置]

		注 1 〇:有効、一:無効			:無效	b		
機器名称	型名	ГЪ	dd	F66XX	FM-LBP	HNP	概要	備考
2 チャネルスイッチ	PS5230A11	0	0	Ι	Ι	_	2台のチャネル切替えが可能	
拡張出力機構	PS5230A12	0	0			_	図形・イメージ印刷が可能。 収容文字数を拡張。 JEF (ラインプリンタモー ド)で日本語を印刷する場合 は必須。また JEF/AP(ペー ジプリンタモード)で印刷す る場合は必須。	注2
拡張オーバレイメモリ	PS5230A13	0	0		_	_	基本部と合わせて 20M バイト 分のフォームオーバレイデータが 収容可能	注4
高解像度印刷機構	PS5230C21	_	0	_	0	0	JEF/AP (ページプリンタモード)印 刷時に必要な オブション (PS5230A23 と PS5230C24 のセット) <ps5230a12 必須=""></ps5230a12>	
拡張文字パターン機構	PS5230A22	_	0	_	_	_	JEF (ラインプリンタモード)で使用 していた、明朝もしくはゴシックフォ ントの7.9.12 ポイント以外に JEF/AP (ページプリンタモード)で 任意の文字サイズ、教科書体や毛筆体 など各種フォントを追加使用する場 合に必要なメモリ。 JEF/AP (ページプリンタモード)印 刷時のみ有効。 <ps5230a12、 PS5230C21 必須></ps5230a12、 	
JEF/AP 出力機構	PS5230A23	_	0		_	_	JEF/AP (ページプリンタモード) 印 刷時に必要なオプション <ps5230a12、 PS5230C24 必須></ps5230a12、 	
400dpi 出力機構	PS5230C24	_	0	_	0	0	JEF/AP (ページプリンタモード)印 刷時に必要なオプション FNP/FM の解像度 400dpi 印刷時に必要なオプション	
600dpi 出力機構	PS5230C25	0	_	_	_	0	解像度 240dpi の印刷データを 600dpi に変換して出力可能 FNP の解像度 600dpi 印刷時に 必要なオブション	
LP-EAN128 出力機構	PS5230A26	0	_	_	_	_	コンビニ-EAN128 印刷を実現 JEF (ラインプリンタモード) 使用時 <ps5230c25 必須=""></ps5230c25>	
QR コード出力機構	PS5230A29	0	0	—	_	_	QR コード印刷時に必用な オプション	
パトロールライト	PS5230C41	0	0	0	0	0	黄色回転灯 (オペレータ介入を必要とする時に点 灯)	注3
表 1.4 オプション機構(続き)

注1 〇:有効、一:無効 FM-LBP 機器名称 型名 概要 備考 F66XX FNP JEF/AP(ページプリンタモード) 印刷時に必要なオプション 400dpi 出力機構 PS5230C24 Ο Ο — FNP/FM の解像度 400dpi 印刷時に必要なオプション 黄色回転灯 パトロールライト PS5230C41 Ο Ο Ο (オペレータ介入を 注3 必要とする時に点灯)

[PS5230C-N ページプリンタ装置]

(注1) JEF LP (ラインプリンタモード) /JEF PP (ページプリンタモード) /F66XX モード / FM-LBP モード/FNP モードのいずれで利用可能かを示しています。

(注2)基本部と合わせて最大18,432文字分の文字パターンが収容可能。

(注3) プリンタ装置本体と同時手配が必要です(現地増設不可)。

(注4)チャネル接続印刷時の導入推奨オプションです。

1.5 動作概要

本装置の印刷動作の概要を以下に示します。

1.5.1 印刷動作の概要

印刷動作は、すべてのページ単位で次の4つのサイクルからなります。図 1.3 に情報シーケンスの タイムチャートを示します。



- ① 情報転送サイクル(富士通メインフレーム→ページバッファ)
- ② 記録サイクル (ページバッファ→感光ドラム)
- ③ 転写サイクル (感光ドラム→用紙)
- ④ 定着サイクル(用紙上の像を熱定着)

下記に、この流れの概略を示します。

情報転送サイクル

富士通メインフレームから本装置内のページバッファ(PB)に1ページ分のデータを転送しま す。富士通メインフレームと本装置間のデータ転送の単位はチャネルコマンド単位です。1チ ャネルコマンドにより転送される情報は、1行分の印刷データと紙送り情報、または紙送り情 報だけです。

富士通メインフレームから転送された印刷データは、まず、本装置内の中間バッファ(IB)に 格納されます。この時点で、本装置はチャネルエンドを報告します。

IB にデータを受け取ると、コマンドに従って処理が行われます。印刷データ内の制御文字の判別と図形文字コードを内部コードに変換して PB へ格納します。

さらに、コマンドコードにより改行制御を行ったのち、コマンドの終結(デバイスエンド)を 報告します。

また、PB に空きがないときは、コマンドの終結が引き延ばされます。

1ページ分のデータが PB に格納されると、情報転送サイクルが終了して、次のページの情報 転送サイクルが始まります。 ② 記録サイクル

1ページ分のデータを PB から取り出し、LED によって感光ドラム上に文字パターンを記録します。

PBに1ページ分のデータがたまると、本装置は記録サイクルを開始します。記録サイクルは、 1ページの中で行単位の出力を連続して行います。

1ページの記録サイクルを終了した時点で、PB上において次のページの情報転送サイクルが 完了していると、すぐに次のページの記録サイクルを開始します。

③ 転写サイクル

感光ドラムに記録された1ページ分の情報を印刷用紙に転写します。

記録サイクルで感光ドラム上に記録された情報が、ドラムの回転により転写位置までくると、 転写サイクルが開始されます。記録サイクルが2ページ以上連続して実行された場合、その転 写サイクルも連続して実行されます。

記録サイクルがとぎれると、転写サイクルでは用紙の一時停止(感光ドラムと用紙の引離し) が行われます。

なお、ラインプリンタモードでは 6LPI、8LPI の場合は印刷用紙のミシン目の前後2行、12LPI の場合は前後3行、ページプリンタモードでは前後 6.35mm は転写が不完全になるため、印刷禁止領域となっています。

④ 定着サイクル

印刷用紙に転写された情報を順次定着します。

転写された用紙が定着部まで移動すると、自動的に定着サイクルが開始され、定着が完了する とスタッカへ送られます。

用紙上に転写されただけの像は定着されていないので、そのまま取り出すことはできません。



図 1.4 印刷動作概要図

1.6 ラインプリンタモード、ページプリンタモードの印刷機能

文字セット管理、フォームオーバレイ、複写修正、図形印刷、イメージ印刷、文字修飾、バーコー ド印刷について述べます。

本印刷機能は PS5230C-CS、 PS5230C-CP の機能になります。

1.6.1 文字セット管理

ラインプリンタモードのAモード文字セット管理を図 1.5 に、Kモード文字セット管理を図 1.6 に 示します。

(1) Aモード文字セット管理(英数かなモード)

装置内蔵のハードディスク(HD)に収容されている 20 セットの文字パターンセットと、富 士通メインフレームのイメージライブラリに格納されている文字セットを、自由に組み合せて 同時に使用することができます。なお、同時に組み合せられる文字セットは最大4セットです。



PB :ページバッファ

- ATT :Aモード変換テーブル
- WCGM :ライタブル・キャラクタ・ジェネレータ(Aモード CG)
- RIP :画像展開制御機構
- BMM :ビットマップメモリ
- (注)異なるフォントを同一ページ内に混在することが可能

図 1.5 Aモード文字セット管理

(2) Kモード文字セット管理(漢字モード)

装置内蔵のハードディスク(HD)に収容されている第1水準漢字とJIS 非漢字(計3,418字)の他に、富士通メインフレームからのローディングで明朝体、ゴシック体、半角、および1/4角合わせて標準構成で8,192文字、拡張出力機構搭載時で18,432文字が同時に使用できます。



図 1.6 Kモード文字セット管理

1.6.2 フォームオーバレイ

フォームオーバレイ印刷機能の概略を図 1.7 に示します。

フォームオーバレイとは、固定データ、項目、および罫線などの帳票フォーマットを印刷データと重ねて印刷することです。



図 1.7 フォームオーバレイ印刷機能の概略

1.6.3 複写修正

ラインプリンタモードでは、図 1.8 に示すようにページバッファに格納した印刷データに対し、その複写ごとに一部の領域を他のデータに置き換えて(修正して)印刷することができます。 ただし、ページプリンタモードからの出力ではできません。



図 1.8 複写修正機能の概略

- 1.6.4 **図形印刷(ベクトル印刷)およびイメージ印刷** 図形印刷およびイメージ印刷機能の概略を図 1.9 に示します。
 - 図形印刷(ベクトル印刷)
 次に示す図形出力機能を持ち、ビジネスグラフや図形を出力することができます。
 - 線分の出力(実線、点線、鎖線、破線)
 - 円、円弧、扇形の出力
 - グラフテキストの出力
 - 面塗り(矩形、三角形、円、扇形の面塗り)
 - (2) イメージ印刷

矩形領域のイメージ情報を出力することができます。この機能を用いるイメージ情報の圧縮方式は、MH、MR、および MMR 方式です。



図 1.9 図形印刷、イメージ印刷機能の概略

1.6.5 文字修飾

(1) 文字サイズ、文字フォントの選択

ラインプリンタモードの場合は、7ポ、9ポ、12 ポ文字の全角、半角、1/4 角、倍角、平体、 および長体などの固定的な文字サイズから選択し、かつ明朝体とゴシック体のどちらかの文字 フォントを選択します。

ページプリンタモードでは、字高、文字幅、字幅などの指定により任意の文字サイズが選択で きます。また、明朝体、ゴシック体に加えてイタリック体、教科書体などの各種の書体を選択 することができます。



図 1.10 文字サイズ、文字フォントの拡張(アウトラインフォントによる文字の変形例)

(2) 文字の回転、文字列(行)の傾き

ラインプリンタモードの場合は、縦書き指定することによって文字を反時計回りに 90 度回転 します。また、文字列の傾きは水平方向だけです。

ページプリンタモードでは、文字の回転および文字列の傾きを任意に指定することができます。



印刷例を図 1.11 に示します。

[縦書き,水平]

図 1.11 文字の回転、文字列(行)の傾き(印字例)

1.6.6 バーコード印刷

バーコード印刷を指定することにより、次に示す形式のバーコードパターンを印刷することができ ます。

- NW-7
 - JAN (標準、短縮)
 - CODE39
 - Industrial 2 of 5
 - Interleaved 2 of 5
 - 物流商品コード(標準、拡張)
 - Matrix 2 of 5
 - UPC (バージョンA、E)
 - EAN-13
 - カスタマバーコード
 - GS1-128(料金代理収納用含む)
 ラインプリンタモードで使用する場合、600dpi 出力機構 (PS5230C25)、LP-EAN128
 出力機構 (PS5230A26) オプションが必要です。
 - QRコード、マイクロQRコード PS5230A29 オプションが必要です。

バーコード読取装置の読取り仕様によっては、本装置で印刷した帳票の読取り率が異なるので、運 用に先立ち十分な事前確認が必要です。

1.7 ネットワークモードの印刷機能

(1) FNP エミュレーション機能を標準サポート、FM-LBP エミュレーション機能、F66XX 機能 を標準サポート。

富士通メインフレーム、PRIMEQUEST、SPARC Servers、SPARC Enterprise、PRIMEPOWER、 富士通 S series、PC サーバ、Linux サーバ、Windows PC に接続し、LAN 経由で印刷を行 うことが可能です。

- 400dpi印刷は、PS5230C-CS、PS5230C-CPは400dpi出力機構(PS5230C24) または高解像度印刷機構(PS5230C21)が必要です。PS5230C-Nは400dpi出力機構(PS5230C24)が必要です。
- 600dpi印刷は、PS5230C-CS、PS5230C-CPだけ、600dpi出力機構(PS5230C25) が必要です。
- (2) オープン環境での大量印刷に対応
 SPARC Servers、SPARC Enterprise、PRIMEPOWER、富士通 S series、PC サーバ、Linux サーバを 遠隔地に配置することにより、オープン環境での大量集中印刷が可能になります。
- (3) プリンタ管理ソフトウェア製品群「PrintWalker」の提供 ネットワークプリンタの運用向上を図るプリンタ管理ソフトウェア製品群「PrintWalker」に より、業務印刷にも対応できる印刷システムを構築できます。
 - ■プリンタジョブ管理ソフトウェア「PrintWalker/PM」の機能(Windows 用. 装置添付) PC サーバ連携時に使用します。
 - 用紙づまりなどが発生しても、続きからの印刷や指定ページからの印刷が可能です。
 - PC 端末でプリンタに発生したエラー内容の確認ができます。
 - ・ 印刷依頼した PC 端末でプリンタの印刷開始/終了を確認できます。
 - ・ プリンタがエラー状態で停止している場合でも印刷要求の操作(保留/削除)が可能です。
 - ■プリンタジョブ管理ソフトウェア「PrintWalker/LXE 」の機能(Linux 用. 装置添付) Red Hat Enterprise Linux から印刷を行う場合に使用します。
 - 用紙づまりなどが発生しても、続きからの印刷が可能です。
 - PC 端末でプリンタに発生したエラー内容の確認ができます。
 - ■プリンタジョブ管理ソフトウェア「PrintWalker/BPC」の機能(Solaris 用.装置添付) Solaris から印刷を行う場合に使用します。
 - 用紙づまりなどが発生しても、続きからの印刷や指定ページからの印刷が可能です。
 - PC 端末でプリンタに発生したエラー内容の確認ができます。
 - ・ プリンタがエラー状態で停止している場合でも印刷要求の操作(保留/削除)が可能です。
- (4) Windows Server 2012 / Windows 8 / Windows Server 2008 R2 / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Vista / Windows Server 2003 / Windows XP 対応プリンタドライバを標準添付しています。

1.7.1 Windows 環境で使用するソフトウェア

PS5230C 用プリンタドライバ、VSP リクエスタ、PrintWalker/PM などは、Windows 環境で PS5230C を使用する場合に有効な「ソフトウェア」です。

これらのソフトウェアはお客様によるインストールが可能です。

(1) PrintWalker/PM

Windows Server 2012 / Windows 8 / Windows Server 2008 R2 / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Vista / Windows Server 2003 / Windows XPからの印刷において、プリンタに異常が発生したときに Windows PC へメッセージを表示させたり、高信頼なリカバリ機能を提供するソフトウェアです。

PS5230C へ印刷を行う PC にインストールします。プリンタドライバをインストールする前に インストールしてください。

また、PrintWalker/PM のユーティリティである外字フォント登録コマンド (F5EQTFLD.EXE)を使用することで、Windows上の外字エディタで作成した外字フォン トを、プリンタ装置に登録することができます。

プリンタ装置に登録された外字フォントは FNP エミュレーション印刷時に可能です。

(2) PS5230C 用プリンタドライバ

Windows Server 2012 / Windows 8 / Windows Server 2008 R2 / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Vista / Windows Server 2003 / Windows XPから印刷を行う場合に必要な、PS5230C専用プリンタドライバです。

(3) VSP リクエスタ

VSP リクエスタは、GS/PRIMEFORCE から HOST PRINT(帳票管理サービス)連携による F66XX 印刷を行う場合にサーバとプリンタ装置間の資源(文字、オーバレイ)のやりとりを行うソフ トウェアです。

(4) PrintWalker/EM

PS5230C の運用管理をリモートで行うソフトウェアです。また、Systemwalker Desktop Patrol や Systemwalker Desktop Keeper と連携し、プリンタの消費電力量や印刷量などの 印刷環境を見える化します。

※(1)~(4)のインストール方法およびプリンタへの文字資源の登録については、添付の PrintWalker CD-RM 内の README.TXT を参照してください。

1.7.2 機能面・運用面における留意事項

1.7.2.1 F66XX 機能

日本語ラインプリンタ装置(NLP)へ出力していたデータをF66XX モードへ印刷する場合、以下の点で NLP 装置とは異なりますのでご注意ください。

〔機能面の違い〕

- (1) 基本的には OPR へ印刷可能な出力データの範囲は、F66XX モードへも印刷可能となります。 (OPR 相当の連続紙印刷装置)
- (2) KING (グラフ/図形/ラベル印刷) のデータを印刷することはできません。
- (3) ダイナミックロード機能による未定義文字の印刷はできません。ユーザ定義文字などは、事前にサーバへダウンロードしてから運用してください。
- (4) 追加文字セットによる文字パターンのプレローディング機能は使用できません。
- (5) COMPACT 出力については、半角文字を使用する印刷以外は、出力できません。(OPR へ出 力できる範囲だけ出力可能)
- (6) コピー修飾機能を使用して印刷することはできません。
- (7) マークフォームの使用はできません。
- (8) バーコード印刷は、下記のバーコード種だけサポートしており、Matrix 2 of 5、UPC(バージョンA、E、E 圧縮形式)、EAN-13 は未サポートです。
 - NW-7
 - JAN(標準、短縮)
 - CODE 39
 - Industrial 2 of 5
 - Interleaved 2 of 5
 - ・物流商品コード(標準、拡張)
 - ・カスタマバーコード
 - ・GS1-128(料金代理収納用を除く)
- (9) SPARC Servers/SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通 S series 接続において、オーバレイの ADJUST によるテスト印刷機能は使用することができません。

〔運用面の違い〕

- (1) NLP 装置は直接 GS/PRIMEFORCE ホストのライタから印刷中の操作ができましたが、F66XX モードでは各サーバからの操作となります。
 - エラー発生時の再スタート手順が、GS/PRIMEFORCE ホストからの操作とは違いますので各サー バからの再スタート手順を確認してください。
- (2) 帳票で使用する資源(文字・オーバレイ・FCB など)は、事前にサーバへダウンロードしてから運用してください。
- (3) NLP 装置にあった [CANCEL] ボタンがないため、装置の [CANCEL] ボタンによる出力の キャンセル操作はできません。

1.7.2.2 FNP エミュレーション機能

SPARC Servers、SPARC Enterprise、PRIMEPOWER、富士通 S series と接続する場合、接続用ソフトウェア PrintWalker/BPC を使用することにより、FM-LBP エミュレーションに加え simple、cobol から FNP エミュレーションでの印刷が可能になります。

FNP エミュレーションでは、アウトラインフォント搭載および高解像度化されたことにより、 FM-LBP エミュレーションと比較して表現力が大幅に向上しました。

従来、表現しきれなかった微妙な印字位置の差、文字サイズの差、線幅の差を表現できるようになったため、従来の FM-LBP エミュレーションで印刷していた帳票の印字結果と比較して印字位置がずれたように見える場合があります。従来資産を FNP エミュレーションに移行する場合には注意が必要です。

また、PRIMERGY(Linux)、PRIMEQUEST 1000(Linux)との接続では、接続用ソフトウェア 「Printawalker/LXE」によるFNPエミュレーションでの印刷となります。

以下に、FM-LBP エミュレーションから FNP エミュレーションに移行する際の注意点を記載します。

(1) 書式文字(罫線文字)間が補間されません。

機能差異	・lp オプションの"-y keisen"が無効となります。
代替方法	オーバレイを使用することで代替できます。
影響する印刷	simple データ、cobol データの印刷

(2) 自然改行しません。

機能差異	・"-y ppm"を指定しても、用紙右端で自然改行しません。
代替方法	simple の場合、"fold"コマンドで事前に帳票を整形してください。
影響する印刷	simple データ、cobol データの印刷

(3) 自然改頁しません。

機能差異	・simple データ、cobol データの印刷
代替方法	simple の場合、"pr"コマンドで事前に改頁を挿入してください。
影響する印刷	simple データ、cobol データの印刷

(4) 文字ピッチが異なる場合があります。

機能差異	・simple データ、cobol データの印刷
代替方法	ありません
影響する印刷	simple データ、cobol データの印刷

(5) 点線印刷時に線端を"円"で定義した場合、点線の両端は円形となるが、中間部分の線端は四角 になります。

機能差異	・オーバレイ
代替方法	ありません
影響する印刷	simple データ、cobol データの印刷

(6) 下線の印字位置が FM-LBP エミュレーションと異なる場合があります。

機能差異	 • UVPI(cobol 印刷)の HL(強調)オーダおよび SGR(強調)オー ダ指定時の印刷
代替方法	ありません
影響する印刷	cobolからの印刷

(7) 縦特殊対象文字が FM-LBP エミュレーションと異なるため、縦書き印刷時に FM-LBP エミュレーションと異なる場合があります。

機能差異	・UVPI(cobol 印刷)の VWF(漢字縦書き指定)オーダ指定時の印刷
	・オーバレイ
代替方法	ありません
影響する印刷	cobolデータの印刷

(8) FM-LBP エミュレーションと異なり、印刷できない文字があります。

機能差異	・simple データ、cobol データの印刷
代替方法	外字登録を行うことで印刷できます。
影響する印刷	simple データ、cobol データの印刷

(9) FM-LBP エミュレーションと比較して、行に対して垂直方向の文字印字位置が異なります。

機能差異	・simple データ、cobol データの印刷
代替方法	ありません
影響する印刷	simple データ、cobol データの印刷

(10) 罫線を縦書きまたは罫線を拡大(長体、平体、倍角)にすると、他の罫線とずれて印刷される場合があります。

機能差異	・罫線の縦書き印刷時、罫線の拡大印刷時
代替方法	オーバレイを使用することで代替できます。
影響する印刷	cobol データの印刷

- 1.7.2.3 バーコード印刷について
 - (1) プリンタが持つバーコードの印刷機能を利用する場合は、印刷するバーコードのバー幅は3ドット以上の幅で作成してください。それより小さいバー幅では、読み取り率が低くなります。
 - (2) Windows アプリケーションからバーコードを印刷する場合は、イメージデータとして印刷されるため、運用に先立ち十分な読み取りテストが必要となります。
 GS1-128(料金代理収納用)の場合は、「2.2.2.1.一般タブ」の「(5)コンビニ-EAN128設定(600dpi)」を参照してバーコード印刷データを作成してください。推奨設定は白黒補正です。

1.7.2.4 二次元コード(QRコード/マイクロQRコード)について

本装置では、二次元コードの印刷領域を指定して、そのサイズに入る最大の二次元コードのシンボ ルサイズを以下のモジュール寸法(シンボルを構成する単位セル)から算出して印刷します。

運用に先立ち十分な読取りテストを行って二次元コードのシンボルサイズを決定してください。 一般的に、このモジュール寸法が大きいほど読み取り率が高くなるため、可能な限り大きな印刷領 域を指定されることを推奨します(推奨:0.38mm 以上)。

詳細は「3.6.7 二次元コード(QRコード/マイクロQRコード)」を参照願います。

モジュール寸法 (mm)	0.21	0.25	0.32	0.34	0.38	0.42	0.51	0.53	0.64	0.74	0.76
240dpi	0	×	0	×	×	0	×	0	0	0	×
400dpi	×	0	0	×	0	×	0	×	0	×	0
600dpi	×	0	×	0	0	×	0	×	0	×	0
								0.1			

〇:選択可 X:選択不可

1.7.2.5 LAN-WAN-LAN 環境での使用

本装置はサーバとの接続を維持するために、装置〜サーバ間で定期パケットを送受信することによってポーリング処理やリトライ処理を行っています。これらの定期パケットは本装置とサーバとの接続形態にもよりますが、約30秒間隔で送信されるものや、約2〜3分間隔で送信されるものなどいくつか存在します。

そのため装置~サーバ間は常時接続状態が維持されることになるため、回線接続維持に課金がされるWANなどが、装置~サーバ間のネットワーク環境に存在する場合は接続費用が発生します。

上記の課金を防止するためには、装置~対象サーバ間は必ず課金のかからないネットワーク環境(同 ーセグメントや専用線など)としてください。

なお、上記の定期パケットは 100~200 バイト程度であり、LAN トラフィックに影響を及ぼすことはありません。

1.7.2.6 ツイストペアケーブルの接続について

静電気が帯電しているツイストペアケーブルをそのまま本装置に接続すると、本装置が誤動作したり、壊れたりすることがありますので注意してください。

1.7.2.7 スイッチングハブとの接続について

本装置とスイッチングハブは、オートネゴシエーションでの接続を推奨します。 スイッチングハブをオートネゴシエーション以外に設定する場合、本装置は半二重(Half)で動作

するため、スイッチングハブも半二重(Half)に設定する必要があります。

1.7.2.8 JumboFrame のサポートについて

本装置は JumboFrame をサポートしていません。JumboFrame ネットワークに接続した場合、 動作を保証できないため注意してください。

※JumboFrame とは

標準(IEEE802.3)では、MAC フレームの情報フィールド長は最大 1500 バイトと規定され ていますが、この長さを 9000 バイト程度まで拡張したものを JumboFrame と呼びます。

1.7.2.9 JOB 名表示について

本装置は NetWork モードにおいて、PrintWalker の設定によりオペレータパネルのメッセージエ リアに JOB 名の表示を行うことができます。ただし、JOB 名表示には下記の留意事項がありますの

- で、運用時に注意してご使用ください。
- (1) JOB 名は、指定されたドキュメント名(ファイル名)の先頭16文字を全角で表示します。
 16文字以降の文字は表示されませんのでドキュメント名(ファイル名)の付け方に注意してください。
- (2) JOB 名は、印刷が終了しても表示されます。次のジョブが指定されることにより、表示が切り替わります。
- (3) 動作モード(CHANNEL MODE/NETWORK MODE)を変更した場合は、ジョブ名は消去されます。
- (4) 本装置のオペレータパネルに表示できない文字コードが指定された場合は、空白で表示されます。 オペレータパネルに表示できない文字コードは S-JIS コードの以下の範囲になります。

81AD~81B7	81C0~81C7	81CF~81D9
81E9~81EF	81F8~81FB	8241~824E
8259~825F	827A~8280	829B~829E
82F2~82FC	8397~839E	83B7~83BE
83D7~83FC	8461~846F	8492~849E
84BF~889E	9873~989E	EAA5~FCFC

1.7.2.10 印刷率による印字品質への影響について

印字率(※)が極めて低い印刷(0.5%以下)を大量に連続で行った場合、現像剤内のトナー入れ替わりが滞り、トナー劣化などの要因で定着性低下が発生する場合があります。 ※ページ内に印刷(トナー付着)されている割合

参考)1件の宛名印刷(郵便番号、住所、氏名、電話番号など全角約70文字)を9ポで15 インチ×11インチ用紙に印刷した場合、約0.2%の印字率となります。

このような印刷を大量に実施する場合は、印字パターンの検討(プレプリントをオーバレイに変更す るなど)または低印字率の業務間に印字率の高い業務を印刷するなどの考慮が必要です。

1.7.2.11 その他の注意事項

- (1) 本装置は、MS-DOS からの直接印刷には対応していません。
- (2) WSMGR やK端末エミュレータなどにより GS/PRIMEFORCE または PRIMERGY6000 サーバからのデ ータを PC 上で FM-LBP エミュレーションに変換し、PS5230C プリンタドライバを経由せず本 プリンタに出力する運用はサポートしていません。 よって、印刷結果については保証できません。
- (3) Windows からの印刷で、TrueType フォントをデバイスフォントで代替して印刷した場合、文 字フォントの取込み処理が発生するため、1枚目の印刷が遅い場合があります。

1.8 90 度/270 度回転機能、2up 印刷機能

本装置では、物理ページ(実際の用紙)1ページに、論理ページ(上位装置から受信したページイ メージ)2ページ分を面付けして印刷する「2up」印刷を行うことができます。

操作パネル上のセットアップから、1 up/2 up、および回転なし/90 度回転/270 度回転の選択を 行います。(詳しい操作方法は、「2.2.2.3 レイアウトタブ」を参照してください。)

「90度回転/270度回転」を指定した場合、印刷データは時計回りに90度/270度回転します。





指定が可能なのは、図 1.12 に示す6種類です。 また、使用可能な用紙サイズ(印刷可能領域)は、以下のとおりです。 用紙幅:142.24~431.8(mm) 用紙長:88.9 ~355.6 (mm) なお、2up 印刷時、縮小印刷は行いません。

1.9 構成

本装置のユニット配置図を図 1.13 に示します。

装置構成は大きく分けると、記録部を中心に、光学部、現像部、転写部、トラクタ部、定着部、ス タッカ部、制御部、電源、主操作パネル、および副操作パネルから構成され、一筐体内に実装されて います。

印刷過程について簡単に説明すると、まず、印刷すべきイメージが光学部により記録の中心である 感光ドラムに露光され、潜像(電気的に像は形成されるが目に見えない)が形成されます。この潜像 は、現像部でトナーにより可視像化され、転写部において可視像が用紙に転写されて、定着器で定着 後、スタッカ部に積み重ねられます。

ー方、感光ドラムの表面は、用紙への転写終了後にクリーニングされ、前帯電器により次の印刷す べきイメージを露光する準備として全表面への均一な帯電がなされます。

なお、クリーニングされた不用トナーは、回収系によりトナー回収ボトルに回収されます。



図 1.13 ユニット配置図

1.9.1 印刷プロセス概要

本装置の印刷プロセス概要を図 1.14 に示します。

印刷過程は、まず①前帯電器により記録部の中心である感光ドラムの全表面への均一な前帯電がな され、次に②印刷すべきイメージが光学部により感光ドラムに露光され、潜像(電気的に像は形成さ れるが目には見えない)が形成されます。③この潜像は、現像部によりトナーで可視像化されて、④ 転写部において可視像が用紙に転写され、⑤定着部で定着後にスタッカ部で積み重ねられます。

ー方、⑥感光ドラムの表面は、用紙へ転写終了後にクリーニングされ、前帯電器により次の印刷す べきイメージを露光する準備として再び均一な前帯電がなされます。

なお、⑦クリーニングされた不用トナーは、回収系により回収されます。



1.9.2 用紙搬送部

トラクタ部、転写部、オートロード部、定着部、およびスタッカから構成されます。

(1) トラクタ部

第1、第2トラクタとバックテンションユニットで構成されます。

(2) 転写部

転写帯電器とこれを駆動するための周辺機構より構成されます。

- (3) オートロード部オートロード動作の補助とガイドのためのユニットで、A、B2つの部分より構成されます。
- (4) 定着部フラッシュ定着方式で、フラッシュランプと構造部品類から構成されています。
- (5) スタッカ部 用紙の折畳み機構と昇降機能を持った引出し式のスタッカテーブルから構成されています。

1.9.3 メカコントロールユニット

用紙送りの制御、記録部や定着部の制御などの各種回路が収容されています。

1.9.4 電源

低電圧電源、高圧電源、定着用電源から構成されます。 低電圧電源は光学部(LED)、検出センサ、制御系各部に、高圧電源は帯電器用に、定着用電源は コンデンサを介して定着器のフラッシュランプに供給されます。

1.9.5 IPP-BOX

イーサネットやチャネルから来る各種の情報処理や印刷画像生成、IOT-UIの制御、および印字データを出力するためのメカコントロールユニットとのインタフェース機能を有します。

1.9.6 UPS

停電時、バッテリにより、IPP-BOX への一定時間の電源供給を保証し、システムの保護を行うための無停電電源装置です。

1.9.7 IF-BOX

イーサネットやチャネルなどのインタフェースケーブルを接続します。

1.9.8 IOT-UI (主操作パネル)

15 インチのカラーTFT 液晶パネルとタッチパネルを有するユーザオペレーション用のパネルモジュールです。

1.9.9 副操作パネル

電源の投入・切断、および保守に必要なスイッチ、表示などから構成されています。

第2章 操 作

本章では、本装置の各部の名称、主操作パネル、副操作パネル、スタッカパネル、オートロードパネル、用紙の装着、用紙取出し、消耗品の交換および異常時の処置について説明します。

2.1 各部の名称

本装置の各部の名称を図 2.1~図 2.5.2 に示します。





図 2.2 機構部



図2.3 背面



図 2.4 右側面各部



図 2.5.1 スタッカ各部



図 2.5.2 ドラム付近(中扉内側)

2.2 主操作パネルの配置と機能

本装置の主操作パネルは装置右側上面にあります。印刷に必要な操作および装置の各種設定は、操作パネルで行います。

主操作パネルは液晶ディスプレイであり、このパネルには、操作に必要なボタンおよびスイッチ、 表示ランプが配置されています。

また、プリンタの状態やエラーが発生したときのメッセージなども表示されます。

主操作パネルは指先で軽くタッチしてください。ペンなどの硬いもので触れるとパネル面を損傷す るおそれがありますので、ご注意ください。

以下に、主操作パネルの機能を説明します。

(1) 画面に表示される内容について



図 2.6 主操作パネルの表示

a) タイトルバー

タイトルバーには、以下に示す情報が表示されます。

- 製品名
- マシン名
- 操作権限

(注) タイトルバーには、「ただいま処理中です」と表示されることがあります。この表示は設 定変更などにおける内部処理中であることを示します。この表示が消えたあとに、次の操 作を行ってください。

b) メニュータブ

メニュータブは、スタート状態では「基本」タブだけ、ストップ状態では「基本」の他、「セッ トアップ」、「ユーザ設定」、「画面」タブが表示されます。

c) メニューエリア

基本操作メニューが表示されます。 なお、この基本タブはユーザ権限により操作可能なタブだけ表示されます。

d) サブメニューエリア

サブメニュータブは、選択したメニュータブに応じて操作可能な各種タブが表示されます。

41

e) 表示・操作エリア

このエリアには、サブメニューエリアに表示されるサブメニュータブに応じた操作画面が表示されます。

f) ランプ

データランプ、消耗品ランプ、リカバリランプにより、装置の状態が表示されます。

種類	表示色/状態	意味
データ	(消灯)	スタート状態(印刷待ち/印刷中)
		ストップ状態で印刷データなし
	オレンジ/点灯	ストップ状態で印刷データあり(セルフリカバリデ
		ータを含む)
	オレンジ/点滅	ストップ状態で印刷(未完成ページ)データあり
	緑/点灯	ストップ状態でリカバリ用データだけあり
消耗品	(消灯)	-
	黄/点灯	ニアライフの消耗品あり
	オレンジ/点灯	寿命となった消耗品あり
リカバリ	(消灯)	エラー発生によりドラム上の潜像またはページバッ
		ファ内のデータが印刷されなかったことを示しま
		す。このデータはプリンタ側で復旧できないので、
		ホスト側は適当なページ分までさかのぼって再スタ
		ートする必要があります。
	オレンジ/点灯	ページバッファ内に未印刷データが残ったままスト
		ップ状態になったことを示す警告表示です。
		プリンタ内の未印刷データを失わないために以下の
		点に注意してください。
		・プリンタの電源を切断しない。

表 2.1 ランプ表示状態とその意味

g) プリンタステータス

プリンタのステータス情報を表示します。

なお、プリンタ装置のステータスには、以下に示す種類があります。

表 2.2 プリンタステータスとその意味

ステータス	表示色	意 味
初期化中	青	プリンタの初期化状態。
ストップ	黄	印刷停止状態。
スタート	緑	印刷可能状態。
印刷中	青	印刷中状態。
用紙排出中	青	[イジェクト]スイッチを押したときの用紙排出処理中状態。
用紙幅測定中	青	用紙幅測定中状態。
クリアプリント中	青	[クリアプリント]ボタンを押したときのクリアプリント中
		状態。
システムエラー	赤	装置システム内部で致命的なエラーが発生した状態。
エラー	赤	装置内でエラーが発生したことを意味する。
		エラーの内容により、[リセット]スイッチでエラー解除を
		行ったあと、[スタート]スイッチで印刷指示を行う場合と
		リセット不要エラーがある。
プリンタ準備中	青	プリンタ準備中状態。
クリーニング中	青	クリーニング中状態。
オートロード中	青	オートロード中状態。
メンテナンス	オレンジ	保守作業モード中であることを意味する。

h)時計

現時刻を表示します。

i) メッセージエリア

ステータスコードとステータスコードが意味するメッセージを表示します。 なお、表示されるステータスコードとメッセージについては、「2.8.1 主操作パネルの表示と 復旧手段」を参照してください。

j)リカバリモード表示

リカバリモードを表示します。以下の2種類があります。

- HOST RECOVERY
- ・ SELF RECOVERY 各モードの意味については、「2.2.2.4 リカバリタブ」を参照してください。

k)操作スイッチ

プリンタ操作を行うスイッチであり、以下に示す種類があります。 表 2.3 操作スイッチとその機能

スイッチ		機能		
ストップ スイッチ	🚫 ストップ	印刷を一時停止します。 [ストップ]スイッチは、印刷待ち/印刷中状態の場合に 使用可能です。本スイッチを押したあとは、停止中状態 に遷移します。		
スタート スイッチ	() ۲۶-۲	印刷を開始可能状態に遷移させます。 [スタート]スイッチは、停止中、かつエラーなし状態の 場合だけ有効です。 [スタート]スイッチを押したあと、印刷可能な状態に遷 移できる場合には、READY 状態に遷移します。		
リセット スイッチ	🥑 リセット	リセット操作が必要なエラー発生時に、エラー状態を解除するときに使用します。		
イジェクト スイッチ	ミン イジェクト	用紙排出を行います。 用紙排出機能は、停止中状態の場合だけ使用可能です。		
電源 OFF スイッチ	⁸ ① 電 源	プリンタ装置の電源をOFF にします。 副操作パネルの MAIN FRAME REMOTE/LOCAL ス イッチを REMOTE でご使用の場合には、NETWORK MODE であっても富士通メインフレームからの電源 切断が有効となります。 スイッチを LOCAL 側に切り替えることで、富士通メ インフレームからの電源切断を無効にできます。		

なお、上記操作スイッチは、操作不可の状態時には無効化(グレーアウト)表示されます。

- (注1)スタート/ストップスイッチが両方ともグレーアウトし、押せない場合は保守技術員 に連絡してください。
- (注2) セルフリカバリモードにおいて、エラーが発生してリカバリランプが点灯時にリセットスイッチを押した場合、リカバリ選択画面が表示されリカバリの処理(ホストリカバリ/セルフリカバリ)を選択できます。
 - ※ ただし、以下の場合にはリカバリ選択画面は表示されません。

・データ受信から用紙に出力されるまでにデータエラーが発生した場合。

(この場合、ホストにデータ再送要求を報告し、ホストからのリカバリが行われます)

(備考)スイッチやボタンを押したとき、「現在実行できません。しばらくしたあと、再度実 行して下さい。」のメッセージが表示された場合、しばらく時間をおいて再度、処理を 行ってください。

(2) 操作機能概要

操作パネルでは、メニュータブ単位に操作画面を表示します。 以下にメニュータブ構成と機能概略を示します。 なお、各タブは、ユーザのログオン権限(一般ユーザ/ユーザ管理者/メンテナンス管理者)に応

じて操作可能な機能だけ表示され、各サブタブ機能内においても、権限により制限されます。

第1タブ	第2タブ	機能説明	参照会	先
基本	—	データ/消耗品/リカバリランプを表示	2.2	f)
		印刷位置調整値情報の表示	2.2.1.6	
		印刷濃度情報の表示	2.2.1.7	
		動作モード選択(Channel/Network)	2.2.1.3	
		レイアウト情報表示/選択	2,2,1,2	
		用紙情報表示/選択	2.2.1.1	
		クリアプリント/キャンセルボタン	2.2.1.4	
セットアップ	一般	印刷濃度情報の表示/設定	-	(2)
(注1)		印刷位置調整値情報の表示/設定		(1)
		テストプリント	2.2.2.1	(4)
		コンビニ-EAN128 設定	-	(5)
	用紙	用紙情報登録		(1)
		用紙情報選択	1	(2)
		用紙情報削除		(S)
		用紙情報の詳細	2.2.2.2	(4)
		デフォルト用紙コードの設定	-	(5)
		用紙情報の自動設定	-	(6)
	レイアウト	レイアウト情報登録		(1)
		レイアウト情報選択	2.2.2.3	(2)
		レイアウト情報削除	-	(S)
	リカバリ	ホストリカバリ/セルフリカバリ	0004	(1)
		ジャムセパレータ印刷	2.2.2.4	(2)
	消耗品	消耗品状態の参照と交換操作(ユーザ消耗品)		<u> </u>
		定期交換部品表示(保守作業用)	2.2.2.5	
		消耗品ログボタン	1	
	JEF	JEF、JEF/AP モード共通設定		
	(注2)	JEF モード関連設定	2.2.2.6	
		JEF/AP モード関連設定	1	
	FNP	ネットワーク関連設定		(1)
	(注3)			\sim
				(S)
		論理プリンタ設定	2.2.2.7	(4)
		FNP モード関連設定		(5)
		FM-LBP モード関連設定	1	(6)
		F66XX モード関連設定]	(7)
ユーザ設定	_	操作権限変更操作とパスワード変更操作	222	
(注1)			۷.۷.۷	
画面	_	壁紙設定、スクリーンセーバ設定、		
(注1)		画面清掃、キャリブレーション、	224	
		スイッチ配置変更	<u>د.د.+</u>	
		時刻設定(注 4)		

表 2.4 各タブの機能と権限

(注1) ストップ状態時だけ表示されます。

(注2) PS5230C-CS、PS5230C-CP だけ表示します。

(注3) 一般ユーザ権限でログインした場合には、表示されません。

(注4) 一般ユーザ権限でログインした場合には、操作できません。

(3) キー入力

操作パネル内での文字/数字入力時には、以下に示す仮想キーボードおよび仮想テンキーが表示され、入力することができます。

a) 仮想キーボード

英数字を入力する操作が必要な場合に表示されます。 文字入力を行うと入力文字確認エリアに表示されます。



図 2.7 仮想キーボード

なお、[Shift] ボタンを押すと、以下に示すように特殊記号などの入力可能な文字に変更されます。



図 2.8 仮想キーボード(特殊記号入力時)

b) 仮想テンキー

数字を入力する操作が必要な場合に表示されます。 数字入力を行うと入力文字確認エリアに表示されます。

用紙幅	(142. 24 -	472, 44)	
472.44			
7	8	9	Clr
4	5	6	
1	2	3	× キャンセル
0		·	✓ OK

図 2.9 仮想テンキー

c) その他の入力画面

その他の入力としては、16進の入力やIPアドレス入力用キーボード画面があります。

垂直位置(0x00 - 0x0F)	IPTドレス
Clr	0.0.0.0
7 8 9 E F	7 8 9 CIr
4 5 6 C D	4 5 6
1 2 3 A B	1 2 3 ×++>セル
0 VOK *+ャンセル	0 . 🗸 OK

図 2.10 16 進入力用キーボード 図 2.11 IP アドレス入力用キーボード

2.2.1 基本タブ

印刷状態の参照、装置の操作などを行う運用画面であり、以下に示す機能があります。

- 用紙情報選択
- ・ レイアウト情報選択
- 動作モード選択
- ・ [クリアプリント] ボタン/[キャンセル] ボタン操作
- 装置状態の表示
- 印刷位置情報の表示
- 印刷濃度情報の表示

2.2.1.1 用紙情報選択

セットアップで登録した用紙情報を選択します。

富士通メインフレームから用紙コードが指定されない場合は、本設定情報で印刷されます。 用紙情報選択は、ストップ状態でだけ操作可能です。

[変更] ボタンを押すとセットアップ画面に遷移し、用紙情報の設定を行うことができます。



図 2.12 基本タブ 用紙情報の選択

2.2.1.2 レイアウト情報選択

セットアップで登録したレイアウト情報を選択します。印刷データの回転や面付けを指定します。 デフォルトで登録されている OOO、125~127 の4 種類の他、セットアップタブで追加登録した レイアウト情報の中から選択することができます。

レイアウト情報選択は、ストップ状態でだけ操作可能です。

[変更]ボタンを押すとセットアップ画面に遷移し、レイアウト情報の設定を行うことができます。 データランプ(オレンジ色)点灯中に操作を実行すると、CHANNEL MODE の場合は未印刷データ の消去に関するメッセージ(図 2.14 a/b)が、NETWORK MODE の場合は設定変更ができない ことを示すメッセージ(図 2.15)が表示されます。

>>> PS5230	ザ
□□ 認念 1 セットアップ 💏 ユーザ設定 🔄 画面	
用紙情報: 000: DEFAULT ・ 変更 レイアウト情報: 1000: DEFAULT ・ 変更	LUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUU
動作モード選択: CHANNEL MODE NETWORK MODE	垂直位置 4 水平位置 05 オーバレイ 08 濃度 L ● ● ● ● ● ● H
<u>ストップ</u>	
⁰ ① 電 源 📃 🚺 イジェクト 🧭 リセット	スタート マストップ
図 2.13 基本タブ レイアウ	2ト情報の選択
確認	図 2.14a 未印刷データの削除確認 画面(ホストリカバリモード時)
確認	図 2.14b 未印刷データの削除確認 画面(セルフリカバリモード時)

- a) [はい] ボタン 未印刷データを消去し、設定を変更して用紙タブ画面に戻ります。
- b) [いいえ] ボタン

未印刷データを消去せず、設定も変更せずに用紙タブ画面に戻ります。



図 2.15 未印刷データの変更不可警告画面

a) [OK] ボタン

設定を変更せず用紙タブ画面に戻ります。

設定を変更する場合は、上位側でジョブを削除し、再度上記画面から設定を変更してください。

2.2.1.3 動作モード選択

本プリンタで印刷するデータを指定します。以下のモードが選択可能です。

- CHANNEL MODE(※): 富士通メインフレームとの連携です。
- NETWORK MODE: Windows および Linux、Solaris との連携です。

※ PS5230C-CS、PS5230C-CP だけ有効です。 PS5230C-N はグレーアウトしており、選択できません。

動作モード選択は、ストップ状態でだけ操作可能です。

動作モードが変更されると、下部の状態表示が変更されます。

データランプ(オレンジ色)点灯中に操作を実行すると、CHANNEL MODE の場合は未印刷データの消去に関するメッセージが、NETWORK MODE の場合は設定変更ができないことを示すメッセージが表示されます。

メッセージの意味と対処方法は「2.2.1.2 レイアウト情報選択」を参照してください。



図 2.16 基本タブ(動作モード選択)



動作モード選択:	
CHANNEL MODE	
NETWORK MODE	

図 2.16.1 NETWORK MODE 選択時

図 2.16.2 CHANNEL MODE 選択時

また、Network Mode 時は論理プリンタの状態が表示されます。表示内容を以下に示します。

状態	論理プリンタ表示	ステータス	データランプ	状態表示
スタート(オンライン)		スタート	データ	
ストップ(オフライン)		ストップ	データ	
印刷中	2	印刷中	データ	
上位装置電源断 リクエスタ接続不可		-	データ	上位装置電源断 リクエスタ接続不可
データエラー	2	-	データ	データエラー=XX
論理プリンタ未設定	非表示	-	-	

ご注意:

- (1) 副操作パネルの MAIN FRAME REMOTE/LOCAL スイッチを REMOTE でご使用の場合には、NETWORK MODE であっても富士通メインフレームからの電源切断が有効となります。 スイッチを LOCAL 側に切り替えることで、富士通メインフレームからの電源切断を無効にできます。(PS5230C-CS、PS5230C-CP だけ)
- (2) CHANNEL MODE で運用時に富士通メインフレーム側で CPU-STOP を行った場合や、富士 通メインフレームが CLOCK-STOP 状態のときにオートスタートの状態で装置が立ち上がっ た場合は、スタート/ストップスイッチの切り替えができません。 CPU-STOP を行われる場合で、ネットワーク運用を行う場合は、あらかじめ NETWORK MODE へ切り替えたあとで、CPU-STOP を行うようにしてください。

[クリアプリント] ボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示され、[はい]ボタンを 押すと、クリアプリント動作を行います。

クリアプリント動作とは、ストップ状態において、それまでにページ完成したデータまでを転写位 置まで印刷する機能です。

クリアプリント時にページ完成されていないデータが存在している場合は、データランプがオレン ジで点滅します。

[クリアプリント] / [キャンセル] ボタンは、通常時には下図に示すように隠れており、操作する ことはできません。

ー度ボタン部分を押すとボタンが表示され、操作可能となります。

なお、数秒放置するとボタンは隠れます。

[キャンセル] ボタンを押すと、確認のポップアップメッセージが表示され、[はい]ボタンを押す と、ページバッファにあるデータを削除します(取扱いにはご注意ください)。ただし、セルフリカバ リで運用していた場合、セルフリカバリ用のデータは削除されません。

- (注1) [キャンセル] ボタン、[クリアプリント] ボタンは、ネットワークモード(NETWORK MODE)では機能しません。
- (注2) [クリアプリント] ボタンを操作すると印刷行位置が初期化されます。このため [クリアプリント] ボタン操作後、印刷される行が変更され正しい位置に印刷されない場合があるため ご注意ください。[クリアプリント] ボタンの操作により正しい位置に印刷されなかった場 合は、ジョブの再起動による出力が必要です。



図 2.17 基本タブ クリアプリント/キャンセル
2.2.1.5 装置状態の表示

「データ」、「消耗品」、「リカバリ」ランプの表示状態により、装置のエラーや消耗品寿命などの情報を表示します。各ランプの表示状態の詳細については、「表 2.1 ランプ表示状態とその意味」を参照してください。また、エラー発生箇所や消耗品発生箇所が、装置のイラストの上に表示されます。

>>> PS5230		🥳 一般ユーザ
		88:88
用紙情報: 「000: DEFAULT レイアウト情報:		第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第1111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111
THE AUGUST IN TRACT		イーテータ リカバリ
動作モード選択: CHANNEL MODE NETWORK MODE	垂直位置 4 水平位置 05 オーバレイ 08 濃度 L ● ● ③ ● H	印刷設定変更
スタート HOST RECOVERY		
[●] ① 電源) リセット	ト 👿 ストップ

図 2.18 基本タブ スタート状態

>>> PS5230		🎆 一般ユーザ
		88:88
用紙情報: 000: DEFAULT レイアウト情報: 000: DEFAULT		消耗品 データ リカバリ
動作モード選択: CHANNEL MODE NETWORK MODE	垂直位置 4 水平位置 05 オーバレイ 08 濃度 L ● ● ③ ● ● H	印刷設定変更
ER21-01 Image: square square HOST RECOVERY Image: square	◇用紙づまり◇ 装置内に残紙片が無いことを確認し、ミシン 用紙のミシン目を合わせ、山谷を確認、選択	・目位置表示に従い Rして下さい。
[®] ① 電 源 📃 イジェクト 🧭) リセット	ト 🕥 ストップ

図 2.19 基本タブ エラー状態

エラーが発生した場合、画面左下にエラーコード、右下にはエラーメッセージを表示します。 データランプとリカバリランプがオレンジに点灯(または点滅)し、エラー発生の箇所がイラスト上 に表示されます。

>>> PS5230	
🛄 383 👔 セットアップ 🞇 ユーザ設定 🛛 画面	88:88
用紙情報: 000: DEFAULT	
レイアウト情報: 000: DEFAULT <u>変更</u>	
動作モード選択: CHANNEL MODE NETWORK MODE	垂直位置 4 水平位置 05 オーバレイ 08 濃度 L ● ● ③ ● ● H
HOST RECOVERY INF CHANNEL MODE A	の消耗品があります
¹⁰ ① 電 源 📃 イジェクト 🥑 リ・	セット ヘン スタート マストップ

図 2.20 基本タブ 消耗品交換時期表示

消耗品のニアライフ発生時には「消耗品」ランプが黄色に、消耗品が寿命となった場合にはオレンジ に点灯し、装置のイラスト上に、交換対象となる消耗品の箇所が表示されます。

2.2.1.6 印刷位置情報の表示

現在設定されている印刷位置の情報が表示されます。 また、[印刷設定変更]ボタンを押すと、セットアップ画面に遷移し、印刷位置が変更できます。 印刷位置の変更方法は、「2.2.2.1 (1)印刷位置調整機能」を参照してください。

2.2.1.7 印刷濃度情報の表示

現在設定されている印刷濃度値の情報が表示されます。 また、[印刷設定変更]ボタンを押すとセットアップ画面に遷移し、印刷濃度が変更できます。 印刷濃度の変更方法は、「2.2.2.1 (2)印刷濃度調整機能」を参照してください。

PS5230 PS5230 If セットアップ Solution If セットアップ Solution If モットアップ Solution If モットアップ If モットアップ If モットアップ If モットアップ If モットアップ If モットアップ If モットアップ If モットアップ If モットアップ If モットアップ If モットアップ If モット If エー If エー	■ #2-#
用紙情報: 000: DEFAULT <u>変更</u> 変更	
レイアウト情報: 000: DEFAULT <u>変更</u>	消耗品 データ リカバリ
動作モード選択: CHANNEL MODE NETWORK MODE	垂直位置 4 水平位置 05 オーバレイ 08 濃度 L ● ● ● ● H ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
HOST RECOVERY CHANNEL MODE A	
[®] ① 電源 👔 🚺 👔 👔 👔 👔 👔	zット スタート ストップ
	↓ セットアップタ: ² (曲会時1000年)に移動

図 2.21 基本タブ 印刷位置/濃度情報の表示

2.2.2 セットアップタブ機能

セットアップタブは、印刷位置や用紙情報などを登録/設定する画面であり、以下の7つのサブメニ ュータブがあります。

これらの設定は、印刷停止状態(ストップ状態)時に変更することができます。

- 一般 : 印刷位置および印刷濃度情報設定変更
- 用紙
 :用紙情報登録/選択/削除
- レイアウト : 面付け/回転
- リカバリ : リカバリモード設定
- 消耗品 : ユーザ消耗品交換/定期交換部品 (注1)
- JEF : 印字幅、印刷開始制御、チャネルモードなどの設定
- FNP : ネットワーク (IP アドレス) 設定 (注 2)

(注1)消耗品タブについては、消耗品エラー状態時にも操作することができます。

(注2) 一般ユーザ権限でログオンしている場合、表示されません。

2.2.2.1 一般タブ

ー般タブは、印刷位置と濃度情報、テストプリント、コンビニ-EAN128の設定を変更することができます。

- ・ 印刷位置変更:垂直/水平/オーバレイ方向オフセット値の設定/変更
- 濃度変更:濃度値設定変更
- ・ プリセット値変更:濃度プリセット値設定変更
- ・ テストプリント:印字幅値変更と実行
- コンビニ-EAN128 設定: 白黒補正の変更



図 2.22 セットアップタブ(一般)

(1) 印刷位置調整機能

印刷位置調整機能は、印刷位置(垂直/水平オフセット量およびオーバレイの水平オフセット量) を設定することができます。

設定値はそれぞれ 16 進表示で示されます。



図 2.23 一般タブ 印刷位置の設定

印刷位置の基準点は、垂直位置=4、水平位置=5の位置であり、オーバレイ=8の設定時、 用紙左端より 0.7 インチの位置に印刷されます。(印刷開始制御が「F モード(標準)」の場合) この基準点からの垂直/水平位置を指定することにより、表 2.5 に記載している範囲内で印刷 位置を変化させることができます。

内容		垂直方向	水平方向(注4)	オーバレイ
設定可能値の範囲		'O' ~ 'OxF'	'O' \sim 'OxBF'	'0' ∼ '0x78'
移動の最小的	単位	1/60(インチ)	1/60(インチ)	1/120(インチ)
初期値(基準	隼点)	'4'	'5'	'8'
基準点に対 する	回転 なし	下方向に最大 16 ドット 1.69mm(4/60 インチ)	左方向に最大 20 ドット 2.11mm(1/12 インチ)	左方向に最大 16 ドット 1.69mm(1/15 インチ)
移動方向・		'0' ~ '3'	'O'~'4'	'O'~ '7'
設定値 (注1)		上方向に最大 44 ドット 4.65mm (11/60 インチ) '5' ~ 'F'	右方向に最大 744 ドット 78.74mm (3.1 インチ) '6' ~ 'BF'	右方向に最大 224 ドット 23.7mm(14/15 インチ) '9' ~ '78'
90度 回転 (注2)		下方向に最大16ドット 1.69mm (4/60インチ) '0' ~ '3'	上方向に最大 20 ドット 2.11mm(1/12 インチ) '0' ~ '4'	左方向に最大 16 ドット 1.69mm(1/15 インチ) '0' ~ '7'
		上方向に最大44 ドット 4.65mm (11/60 インチ) '5' ~ 'F'	下方向に最大744 ドット 78.74mm (3.1 インチ) '6'~ 'BF'	右方向に最大224 ドット 23.7mm(14/15 インチ) '9' ~ '78'
	270度 回転 (注 3)	下方向に最大 16 ドット 1.69mm(4/60 インチ) '0' ~ '3'	下方向に最大 20 ドット 2.11mm(1/12 インチ) '0' ~ '4'	左方向に最大 16 ドット 1.69mm(1/15 インチ) '0' ~ '7'
		上方向に最大 44 ドット 4.65mm (11/60 インチ) '5' ~ 'F'	上方向に最大 744 ドット 78.74mm(3.1 インチ) '6' ~ 'B F'	右方向に最大 224 ドット 23.7mm(14/15 インチ) '9' ~ '78'
移動対象とな	る	文字・図形・イメージ・	文字・図形・イメージ	文字・図形・イメージ・
データ種別		オーバレイ		オーバレイ

表 2.5 印刷位置/OVL 位置の移動量

(注1)移動ドット数は240dpi 換算値です。

(注2) レイアウトタブで90度回転を選択した場合の移動方向・設定値です。

(注3) レイアウトタブで270度回転を選択した場合の移動方向・設定値です。

(注4)水平方向の印刷位置は、オーバレイ位置の設定の影響を受けるため注意が必要です。

矢印のボタンは、表 2.6 に示すように使用してください。

表 2.6 矢印ボタンの使い方

調整ボタン		+(プラス)オフセット値を設定する。
		- (マイナス)オフセット値を設定する。
初期化ボタン	初期化	水平/垂直/オーバレイオフセット値を 「初期値(4,5,8)」にリセットする。





図 2.24a 垂直位置の移動範囲 (回転なし/90 度回転/270 度回転) 図 2.24b 水平位置の移動範囲(回転なし)

Ο

Ο

Ο

Ο

Ο

Ο

Ο

Ο

Ο



図 2.24c 水平位置の移動範囲(90 度回転)

図 2.24d 水平位置の移動範囲(270 度回転)



図 2.25 オーバレイ位置の移動範囲 (回転なし/90 度回転/270 度回転)

(2) 印刷濃度調整機能

印刷濃度調整機能は、5段階で設定することができます。 設定値を変更する場合には、下記画面の矢印ボタンを押して変更することができます。 (左方向(L)が淡く、右方向(H)が濃く設定されます。) 以下で示す『標準範囲』内の設定時、現在設定中の濃度が数字で表示され、『標準範囲』以外を 設定した場合には、黄色で表示されます。



図 2.26 印刷濃度調整

(3) プリセット値変更

5 つの濃度値は装置出荷時に定められた標準値がプリセットされていますが、より細かい濃度 設定を可能とするため、そのプリセット値の変更が可能です。 上記濃度設定画面において、[プリセット値変更]ボタンを押すことにより、プリセット値変更 画面が表示され、各値の設定値を調整することができます。 本装置は 15 段階の濃度設定があります。印刷内容・目的に合わせてご使用ください。 このとき、濃度 1 < 2 < 3 < 4 < 5 の関係がくずれるような設定は無効となります。

- (注)・通常は標準範囲である '8' ~ '12' の範囲内でご使用ください。
 - 特にバーコードなどの印字精度が必要な場合に使用します。 ・『標準範囲』以外は、印刷内容・目的に応じてご使用ください。 ただし、『標準範囲』以外の濃度を使用する場合、試し印刷をしたうえでご使用ください。 ーより濃い範囲では線が太くなり、小さな文字が見にくくなる場合があります。 ーより淡い範囲では線が細くなり、つながらなくなる場合があります。
 - ・濃度設定により、トナー消費量が増減します。

濃度プリセッ	・ト変更			
濃度5:	12	•	•	設定
濃度4:	11	•	•	
濃度3:	10	•	•	キャンセル
濃度2:	9	•	•	
濃度1:	8	•	•	

図 2.27 プリセット値変更

a) [設定] ボタン

指定した濃度プリセットを有効にして、一般タブに戻ります。

b) [キャンセル] ボタン 指定した内容をキャンセルして、一般タブに戻ります。 (4) テストプリント

本装置の印刷状態を確認するために使用します。 印字幅は以下の中から選択することができます。

- ・ 6.4 インチ
- ・ 9.6 インチ
- ・ 13.6 インチ
- ・ 17.0 インチ

印字幅を選択して、[実行]ボタンを押すとテストプリントが実行されます。

P\$5230			🧊 一般ユーザ
基本	லில்லி 🎇 ユーザ設定 🛛 📺 டி ப		88:88
-殿1 用約	氏 レイアウト ジカバリ 🖳 洋	¥耗品 🔣 JEF	
印刷位置: <u> 垂直位置</u> 水平位置 オーバレイ 初期化	4 7 8 05 4 5 08 1 2 0 0	9 E F 6 C D 3 A B	テストプリント: ED時J編: 6.4インチ ・ 6.4インチ 実行
濃度: L	H 3 0 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		コンビニ-EAN128設定: 補正: 白黒補正 y
HOST RECOVERY	ストップ ・ ・ ・ : : CHANNEL MODE A		
⁰① 電源	🛃 イジェクト 🥑	リセット	スタート マストップ

図 2.28 テストプリント

(5) コンビニ-EAN128 設定(600dpi)

GS1-128(料金代理収納用)バーコードは、高密度(省スペース、表現文字種類が多い、基本モジュールサイズは JAN コードの最小 0.26mm に対し 0.169mm(65%))であるため 十分な印字品質管理が必要です。 このため、600dpi で印刷する場合は、印刷用紙や環境による線幅変化および読み取りリーダ の特性などを考慮して3種類の設定が可能です。 実運用に先立ち、最適な設定と最適な印刷濃度を設定して運用をされることを推奨します。

- ・バーコードの幅の指定と運用時の濃度設定の目安
 - 1)白黒補正: ※本装置の推奨設定モードです
 - ・濃度設定:8~12(推奨:10)

黒のバーコード幅:3、7、11、15ピクセル(論理エレメント幅-1ピクセル) 白のバーコード幅:5、9、13、17ピクセル(論理エレメント幅+1ピクセル) で印刷するモードです。

• 留意事項:

3種類の設定の中でCグレード以上のバーコード品質評価基準を得やすい設定モードです。

- 2) 補正なし: ※濃度設定値の定期的な確認が必要です
 - 濃度設定:3~5

黒/白のバーコード幅:4、8、12、16 ピクセル (論理エレメント幅) で印刷するモードです。

• 留意事項:

黒のバーコード線幅が太く(白のバーコード線幅が細く)印刷されます。 印刷用紙や印刷環境などの要因によって黒バーが細く印刷される場合や、印刷濃度設定 を本装置の推奨濃度設定範囲(8~12)未満で使用する場合に使用します。ただし、濃 度設定を薄めに設定した場合、印刷用紙の特性や印刷環境による線幅の変化がより大き くなりますので、事前に、かつ定期的に検証して濃度設定値を設定されることを推奨し ます。

3) 白補正 : ※料金代理収納には向きません・濃度設定:8~12

黒のバーコード幅:4、8、12、16 ピクセル(論理エレメント幅) 白のバーコード幅:5、9、13、17 ピクセル(論理エレメント幅+1 ピクセル) で印刷するモードです。

• 留意事項:

黒と白のバーコード線幅がほぼ同じで印刷される特徴があります。 しかし、この設定は他の設定に比して料金代理収納に於けるデコード容易性でマージン が少なくなります。印刷出力結果を検証できない環境では推奨できません。料金代理収 納以外の用途にご使用ください。 データランプ点灯中に操作を実行すると、CHANNEL MODE の場合は未印刷データの消去に 関するメッセージが、NETWORK MODE の場合は設定変更ができないことを示すメッセージ が表示されます。

メッセージの意味と対処方法は「2.2.1.2 レイアウト情報選択」を参照してください。

バーコードの品質や読み取り性能は、使用する帳票(紙質)やバーコードリーダの性能によって 大きな影響を受けます。運用に先立ち十分な事前確認を行ってください。

PS5230			🌍 一般ユーザ
基本 1	1 29 b7 🔊 🕅 1-4 12 🗔 i	画面	88:88
	用紙 レイアウト グリカバリ	💭 消耗品 🔚 JEF	
印刷位置:		9 E F	テストプリント: 印刷幅: [6.4インチ -
水平位置			
			€.4 <u>7</u> 2 7 →
濃度:		y h (đ	<u></u> コンビニ-EAN128設定:
			補正: 白黑補正 ,
	ストップ		
HOST RECOVERY		A	
•① 電源	1 ジェクト	🕢 של איז	スタート マストップ

図 2.29 コンビニ-EAN128 設定

- (注1)設定は 600dpi で印刷する GS1-128 (料金代理収納用) バーコードに対して有効になります。
- (注2) FNP モードの印刷では 600dpi で印刷する GS1-128 バーコードに対しても有効になります。
- (注3) Windows 系のサーバなど GDI(Graphic Device Interface)からの印刷では有効になりません。

2.2.2.2 用紙タブ

現在の用紙情報に名前をつけて保存したり、保存した用紙情報を削除したりする機能です。

- 登録:装置に用紙情報を登録します。
- 選択:装置に登録した用紙一覧から、装置で使用する用紙を選択します。
- 削除:装置に登録した用紙情報を削除します。
 - (ただし、登録名"DEFAULT"については削除できません)
- 詳細:詳細ダイアログを表示します。(PS5230C-CP、PS5230C-CSのみ)

P\$52 3	0								뺽 一般ユーザ
基本	1 tentrof	🔊 ユ–	ザ設定		画面				88:88
————————————————————————————————————		アウト	ر ار	カバリ		消耗品 🔚	JEF		
相力源:						_ '	·		
功壮趣分		IDE	FAULT						
番号 用	紙情報名	垂直	水平	ΩVI	濃度	1			デフォルト 用紙コード
000* DI	EFAULT	04	05	08	3		🕌 登録		
001									
002							🔀 選択		
003									
004							前除	用紙情報の自動設	定: 無効
005									
000							📶 詳細		詳細設定
*	デフォルトデータで	す。削	除はで	きまた	t.h.,				
]
		۲	ッ :	プ					
				ODE					
HUST KEU		MININ		UDE	A				
			1:5-	ታኑ		11445		78-6	() 7 h w 7
		2	コンコ	יז ע.		9 6 9 F			

図 2.30 セットアップタブ(用紙)

(1) 登録処理

登録する番号の行を選択して[登録]ボタンを押すと、図 2.7 および図 2.8 に示す仮想キーボ ードが表示されますので、登録する用紙名を入力します。

仮想キーボードの [OK] ボタンを押すと、入力した用紙情報の登録名を有効にして用紙タブ 画面に戻ります。

[キャンセル] ボタンを押すと、指定した内容をキャンセルして用紙タブ画面に戻ります。 入力できる文字種は英大文字と数字、"-"(ハイフン)、および"*"(アスタリスク)だけです。 「水平」、「垂直」、「OVL」、および「濃度」の設定は、このとき一般タブで指定されている値 が設定されます。

変更したい場合は、一般タブに戻って設定値を変更のうえ、再度本画面で登録操作を行ってく ださい。

全体で 512 種類まで登録できます。

(ただし、初期値で"DEFAULT"が登録されていますので、追加できる用紙は 511 種類となります)

VI P59230	🌍 一般ユーザ
■ 基本 賞 ひかんアックカ デューザ設定 ■ 面 面	88:88
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
現在選択中の用紙情報: 000 DEFAULT	
────────────────────────────────────	デフォルト 用紙コード
001	
002 🖉 🖉 🖓 選択	
005 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	设定: 無効 🗸
007 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	詳細設定
* デフォルトデータです。削除はできません。	
◎① 電 源	() ストップ

図 2.30.1 用紙登録

(2) 選択処理

使用する用紙情報の行を選択して [選択] ボタンを押すと、装置で使用する用紙情報が選択されます。

ここで選択した用紙情報は、基本タブの用紙情報からも変更できます。

PS5230			デジューザ
	🌠 ユーザ設定 🛛 🔙 🛛	i d a	88:88
<u>.</u> -#	イアウト 🌅 リカバリ	💭 消耗品 🛛 🔚 JEF	
現在選択中の用紙情報: 000	DEFAULT		
番号 用紙情報名			テノオルト 用紙コード
000* DEFAULT	04 05 08 3	登録 日本 日本	
001			
002		▲ (🕅 選択)	
004			
004		● 前除	用紙情報の自動設定: 無効 🛓
006			
007		詳細	詳細設定
* デフォルトデータで	す。削除はできません	<i>V</i> ₀	
<u></u>	ь 		
^ ^			
HOST RECOVERY	IANNEL MODE /	Δ	
◎① 電 源	参 イジェクト(ジリセット	スタート マストップ

図 2.30.2 用紙選択処理

(3) 削除処理

登録済みの用紙情報を削除する機能です。

削除可能な番号を一覧から選択した場合にだけ、[削除] ボタンが操作できるようになります。 [削除] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

確認			
3 選択	くしたデータを削除し	レます。よろしいですか?	
	はい	いいえ	

図 2.30.3 用紙削除処理時の確認画面

a) [はい] ボタン

選択した用紙情報を削除して、用紙タブ画面に戻ります。

b) [いいえ] ボタン

選択した用紙情報を削除せず、用紙タブ画面に戻ります。

(4) 詳細表示

登録済みの用紙情報の詳細を表示する機能です。

表示可能な番号を一覧から選択した場合にだけ、[詳細]ボタンが操作できるようになります。 [詳細]ボタンを押すと、次のダイアログが表示されます。

用紙情報(詳細) 00	IO:DEFAULT		
垂直位置: 04	水平位置: 05	オーバレイ: 08	
濃度: 3			
JEF設定:			
印字幅設定:	13.6インチ	印刷開始制御:	Fモード (標準)

図 2.30.4 用紙情報(詳細)表示

表示する内容は、以下のとおりです。

- 垂直位置
- •水平位置
- ・オーバレイ
- 濃度
- 印字幅設定
- •印刷開始制御

[閉じる] ボタン 詳細表示ダイアログを閉じて、用紙タブ画面に戻ります。

(5) デフォルト用紙コード

デフォルト用紙コード設定では、用紙情報の自動設定「有効」を設定した場合に、ホストから 指定された用紙コードのうち、用紙コード情報名「DEFAULT」の設定値を使用する用紙コー ドを指定します。

[デフォルト用紙コードの設定]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

デフォルト用紙コード設定	1		
デフォルトロ: STD.			🗙 閉じる
デフォルト1: 0000	変更	削除	
デフォルト2:	変更	削除	

図 2.30.5 デフォルト用紙コード

装置内にはデフォルト用紙コードが、最大3つまで定義できます。

<デフォルト用紙コード>

- ・デフォルトO:"STD." →固定(設定/変更/削除不可)
- ・デフォルト1:"0000 "(OxFOFOFOFO) →可変(設定/変更/削除可能)
- ・デフォルト2:未定義 →可変(設定/変更/削除可能)

「保守」-「JEF」-「共通設定」メニューの「用紙情報の自動設定」の設定が、「無視」を 選択している場合は、上位ホストから、上記で定義されたデフォルト用紙コードが通知されて も、無視して現在の用紙情報に従って動作します。

「保守」-「JEF」-「共通設定」メニューの「用紙情報の自動設定」の設定が、「初期化指定」を選択している場合は、上位ホストから、上記で定義されたデフォルト用紙コードが通知されると、レコード番号「000」の用紙情報で動作します。

なお、「保守」メニューの設定内容を変更する場合は、弊社保守技術員にご連絡ください。

[変更] ボタン

仮想キーボード画面が表示されます。

[削除] ボタン

設定されているデフォルト用紙コードが削除され、空欄になります。

[閉じる] ボタン

「用紙タブ」画面に戻ります。

(6) 用紙情報の自動設定

ホストから用紙コードが指定されたときに、該当する用紙コードを検索し、その「垂直」「水平」 「オーバレイ」「濃度」の値を設定するかどうかを選択します。以下が選択可能で、デフォルト は「無効」です。

- ・ 無効:ホストから指定された用紙コードを検索せずに無視します。
- 有効:ホストから指定された用紙コードを検索し、あれば設定変更します。

本設定項目は、「保守」--「JEF」-「共通設定」タブで新規に追加する設定項目である「用 紙コードコマンド」が「使用する」の場合にだけ操作可能となります。

なお、「保守」メニューの設定内容を変更する場合は、弊社保守技術員にご連絡ください。

P\$5230						뺽 一般ユ	ーザ
□ ■ 基本	- = 💦 🕏 T	-ザ設定 🏾 🏹	〕画面			88:	88
	₩ ₩ [★] レイアウト	ジリカバリ	🕎 消耗品	1 E F			
現在恐辺中の用							
現住進州中の开		FAUL I					
番号 用紙情報	名	水平 OVI	濃度	_		デフォル 用紙コー	ь к
000* DEFAULT	04	05 08	3	A Save	登録		
001					_		
002					選択		
003							$\sim \parallel$
004				V 😽	削除用紙情	報の自動設定: 無効	¬Ν
005							
000			L		詳細	詳細設定	.
	ォルトデータです。削	除はできま†	+ hin				
	スト	ップ					
HOST RECOVERY		el mode	Α				
• ① 電 源		イジェクト	📀 IJ	セット	\Diamond	スタート マス	トップ

図 2.30.6 用紙情報の自動設定

[詳細設定] ボタン

用紙登録時の動作設定ダイアログを表示します。このボタンは「用紙情報の自動設定」が「無効」のときはグレーアウトします。

用紙登録時の	動作設定	
印刷位置:	有効	
濃度:	有効	•
JEF設定:	有効	•
設定	キャンヤル	初期化
HA AC		

図 2.30.7 用紙登録時の動作設定

- ・印刷位置 : 登録されている印刷位置を有効にするかどうか選択します。
 - :登録されている濃度を有効にするかどうか選択します。
- JEF 設定

• 濃度

: 登録されている JEF 設定(印刷最大幅、印刷開始制御)を有効にする かどうかを選択します。

2.2.2.3 レイアウトタブ

用紙幅/用紙長や面付け、回転の設定を行います。

データランプ(オレンジ色)点灯中に選択および削除の操作を実行すると、CHANNEL MODE の 場合は未印刷データの消去に関するメッセージが、NETWORK MODE の場合は設定変更ができない ことを示すメッセージが表示されます。

メッセージの意味と対処方法は「2.2.1.2 レイアウト情報選択」を参照してください。

>>> PS	5230			🌍 一般ユーザ				
1	La 🏹 Coy (あっかり 🖏 コーザ設定 🛛 🖼 🖷 🖷	1 25	88:88				
-	一般 月紙 □ №⑦№ □ IJカバリ 💭 消耗品 🔣 JEF							
現在	現在選択中のレイアウト情報: 000 DEFAULT							
番号	レイアウト名	用紙幅 用紙長 面付 回転						
000*	DEFAULT	000.00 000.00 1-up 0						
001	lmp001	431.80 279.40 1-up 0		登録				
002								
003								
004				以 医尔				
005								
006			1 V	前除				
007								
*	出荷時デー	タです。変更、削除はできませ	<i>`</i> ん。					
		7 k - 2						
HOST								
0	電 源	ミン イジェクト	🧭 リセット	> スタート 🕥 ストップ				

図 2.31 セットアップタブ(レイアウト)

番号「OOO」「125」~「127」はあらかじめ初期設定がされており、変更や削除はできません。 それぞれの初期設定については、下表のとおりです。

来旦	登録名	面付け	回転 (注 2)	用紙幅 (mm)	用紙長 (mm)	論理ページ 1		論理ページ2	
留ち		数(注 1)				X 位置	Y位置	X位置	Y位置
000	DEFAULT	1	0	00.000	00.000	00.00	00.000	_	_
125	A4-2up-Rotate	2	90	431.80	304.80	00.000	00.000	215.90	00.000
126	B5-2up-Rotate	2	90	381.00	266.70	00.000	00.000	190.50	00.000
127	14Hx8.5W-2up	2	0	431.80	355.60	000.000	00.000	215.90	00.000

表 2.7 初期設定されているレイアウト情報

(注 1) "1"は 1up、"2"は 2up を示します。

(注 2) "O" は回転なし、"90" は 90 度回転を示します。また、270 度回転を追加登録した場合、 レイアウト情報は "270" と表示します。

本項目で指定できる値は、下図のとおりです。



x1:論理ページ1のX位置、y1:論理ページ1のY位置 x2:論理ページ2のX位置、y2:論理ページ2のY位置 w1:論理ページ1の用紙幅、11:論理ページ1の用紙長 w2:論理ページ2の用紙幅、12:論理ページ2の用紙長

図 2.32 レイアウト情報設定項目

(1) 登録処理

登録する番号の行を選択して[登録]ボタンを押すと、以下の登録画面が表示されます。 登録名や数値を設定する場合には、[変更]ボタンを押すと仮想キーボードおよび仮想テンキー が表示され、設定ができるようになります。 全体で128種類まで登録できます。

(ただし、初期値で4種類が登録されていますので、追加できるレイアウト情報は124種類 となります)

a) 基本情報

レイアウト情報設定			
登録名: Imp001	変更		設定
1	_	用紙幅: 431.80 (mm) 変更 用紙長: 279.40 (mm) 変更	キャンセル
		面付数: 1-up _	
		回転: 回転なし 🛓	

図 2.33 レイアウト情報の登録(基本情報)

「基本情報」画面では、用紙幅/用紙長と面付数、回転の指定ができます。

登録名

登録するレイアウトの登録名を設定します。ただし、番号 000、125~127 の登録名は変更できません。

•	用紙幅/用紙長
	使用する用紙幅と用紙長を 1/100mm 単位で入力します。
	使用可能な用紙サイズは、以下のとおりです。
	用紙幅:142.24~431.8(mm)
	用紙長:88.9~355.6(mm)
	ただし、用紙長は 0.5 インチ (12.7mm) 単位で設定してください。 0.5 インチ単位でない
	場合は、端数は切り上げとなります。
•	面付数
	面付け情報を設定します。"1up"または"2up"が選択できます。
•	回転

- ロ刷方向を時計回りに回転させるかどうかを設定します。 "回転なし"、 "90 度回転" 、または"270 度回転"が選択できます。
- (注) "2up"を選択した場合、用紙サイズに収まるように縮小印刷する機能はありません。

b) 論理ページ1、論理ページ2

	ノイアウト情報設	定		
登録	名: Imp001		変更 基本 1 2	設定
	1	2	X位置: 000.00 (mm) 変更 Y位置: 000.00 (mm) 変更 論理用紙: 幅: 215.90 (mm) 変更	キャンセル
			長さ: 279.40 (mm) 変更	

図 2.34 レイアウト情報の登録(論理ページ)

「論理ページ」画面では、「論理ページ 1」、「論理ページ 2」の印刷開始位置および論理用紙の サイズを指定できます。

• X 位置/Y 位置

「論理ページ1」、「論理ページ2」の印刷開始位置を設定します。

それぞれ、1/100mm単位で入力します。なお、2up時のX位置は、「論理ページ1」、「論理ページ2」の両方とも、物理用紙左端からのオフセット量となります。設定可能な範囲は、用紙幅、用紙長と論理ページの用紙幅、用紙長の関係で以下のようになります。

- X 位置:-20~(用紙幅-50.8)(mm)
- Y位置:-20~(用紙長-88.9)(mm)
- 論理用紙

「論理ページ1」、「論理ページ2」の用紙長/用紙幅を設定します。

 $m_1 \ge 50.8 \text{ (mm)}, m_2 \ge 88.9 \text{ (mm)}$

それぞれ、1/100mm 単位で入力します。設定可能な用紙サイズは、以下のとおりです。 用紙幅:50.8~431.8 (mm)

用紙長:88.9~431.8(mm)

(注)基本情報画面で設定された用紙幅、用紙長と論理ページは、以下のような位置/サイズに 設定する必要があります。



図 2.35 論理ページ レイアウトの説明

実際に以下の値を設定した場合は、図2.35.1のようなレイアウトになります。

2up 印刷時のレイアウト設定(90 度回転)				
用紙幅:430.00mm				
用紙長:304.80mm				
論理ページの用紙幅:297.00mm				
論理ページの用紙長:210.00mm				
X1 (論理ページ 1 の X 位置): 1.00mm				
Y1 (論理ページ 1 の Y 位置):3.70mm				
X2(論理ページ 2 の X 位置):214.80mm				
Y2(論理ページ2のY位置):3.70mm				

- 「図 2.33 レイアウト情報の登録(基本情報)」の回転なし/90 度回転/270 度回転の設定 によって、用紙から見た論理ページの用紙幅/用紙長の位置関係が逆転します。
- 90 度回転/270 度回転を設定しても、用紙から見た起点は変わりません。



図 2.35.1 論理ページレイアウト設定例

(2) 選択処理

使用するレイアウト情報の行を選択して [選択] ボタンを押すと、装置で使用するレイアウト 情報が選択されます。

ここで選択したレイアウト情報は、基本タブのレイアウト情報からも変更できます。

>> PS	5230			🌍 一般ユーザ
 <i>t</i>	4 1 Cordo	🄊 🄊 ユーザ設定 🛛 🯹 画面		88:88
	-般 月紙	- いかが 2 リカバリ 🖳 消	耗品 JEF	
現在	E選択中のレイアウ	ト情報: 000 DEFAULT		
番号	レイアウト名	用紙幅 用紙長 面付 回転		ן ו
000*	DEFAULT	000.00 000.00 1-up 0		
001	lmp001	431.80 279.40 1-up 0		🛃 登録
002				
003				ト選択
004				
005				
005				1 削除
001	山井中二方	マオー 赤市 制心け ふきませく		
	出有時7-9	です。支史、削除はでさません。		
		ストップ		
HOST	RECOVERY	CHANNEL MODE A		
•	〕電 源	1 ジェクト	リセット 🔹 🔿 スタ	-ト () ストップ

図 2.36 セットアップタブ (レイアウト選択)

(3) 削除処理

登録済みレイアウト情報を削除します。

ただし、あらかじめ初期設定されている番号 000、125~127 は削除できません。 [削除] ボタンを押すと以下のメッセージを表示します。

確認					
🕜 選択したデータを削除します。よろしいですか?					
	はい	いいえ			

図 2.37 レイアウト削除時の確認画面

a) [はい] ボタン

選択したレイアウト情報が削除され、レイアウトタブに戻ります。

b) [いいえ] ボタン

選択したレイアウト情報を削除せず、レイアウトタブに戻ります。

2.2.2.4 リカバリタブ

(1) リカバリ処理

リカバリタブでは、エラー発生後のリカバリ方法について以下の2つから選択することができます。

・ ホストリカバリ

プリンタ装置側でリカバリをせず、富士通メインフレームやビジネスサーバなどの上位装 置からのデータ再送によるリカバリとなります。

・ セルフリカバリ

富士通メインフレームやビジネスサーバなどの上位装置からのデータ再送によるリカバリをせず、プリンタ装置内でのリカバリとなります。

データランプ(オレンジ色)点灯中に操作を実行すると、CHANNEL MODE の場合は未印刷 データの消去に関するメッセージが、NETWORK MODE の場合は設定変更ができないことを 示すメッセージが表示されます。

メッセージの意味と対処方法は「2.2.1.2 レイアウト情報選択」を参照してください。

>>> PS5230				🌍 一般ユーザ
🛄 基本 🕌 🕹 🔊 🗐 그 – 1	げ設定 🛛 🥡 画面			88:88
- 般 用紙 レイアウト	- ODINO 🖳 11#6	a 📑 Jef		
		1		
ホストリカパリ	ジャムセパレータ印	刷:		
	U74			
セルフリカバリ				
<u></u>	<mark>, プ</mark>			
⁰① 電源	イジェクト 🕜 リ・	セット	<u>م ا و کړ (ا</u>	マンストップ

図 2.38 セットアップタブ(リカバリ選択)

(注1) セルフリカバリを選択時にリカバリが必要なエラーが発生した場合、[リセット]スイ ッチを押すと、以下のホストリカバリとセルフリカバリ選択画面(図2.39)が表示 されます。この画面で、ホストリカバリを選択する場合は[ホストリカバリ]ボタンを、 セルフリカバリを選択する場合は[セルフリカバリ]ボタンを押してください。リカバ リ選択画面は自動的に閉じます。

選択画面でホストリカバリを選択した場合、本エラーだけホストからデータの再送を 行います。

なお、図 2.39 のリカバリ選択画面が表示されているときに、画面の[ホストリカバリ]ボタンまたは[セルフリカバリ]ボタンを押さずにスタッカパネルの[リセット]スイッチを押した場合は、セルフリカバリを行います。リカバリ選択画面は無効となりますので、[キャンセル]ボタンを押して選択画面を閉じてください。

また、セルフリカバリを選択時にリカバリが必要なエラーが発生した場合に、パネル

の[リセット]スイッチを押さずにスタッカパネルの[リセット]スイッチを押した場合、 セルフリカバリを行います。図 2.39 のリカバリ選択画面は表示されません。 データ受信から用紙に出力されるまでのデータエラーは、ホストにデータ再送要求を 報告し、ホストからのリカバリが行われます。この場合、図 2.39 のリカバリ選択画 面は表示されません。

- Utyl	
ホストリカバリ	ホストからのリカバリデータを再送する
セルフリカバリ	装置でデータをリカバリして継続する
	キャンセル

図 2.39 リカバリ選択画面

- (注2)本装置の電源を切断した場合、装置内でデータを保持できないためセルフリカバリは 実行できなくなりますので、ご注意ください。 データ受信から用紙に出力されるまでのデータエラーは、ホストにデータ再送要求を 報告し、ホストからのリカバリが行われます。この場合リカバリランプは点灯します が、リカバリ選択画面は表示されません。
 - 例:x'80エラー、x'87エラー
- (注3) エラー発生時に、セルフリカバリ機能を使用して Windows/Linux/Solaris から印刷 中のジョブを中断終了させた場合、セルフリカバリ機能で印刷保証されているページ の印刷中はプリンタの状態が PrintWalker/PM、PrintWalker/LXE、 PrintWalker/BPC 側に通知されない場合があります。
- (注4)動作モード(CHANNEL MODE/NETWORK MODE)を切り換える場合は、切り 換える前に[イジェクト]ボタンを押して用紙排出を行うことを推奨します。 セルフリカバリ運用時に、動作モード(CHANNEL MODE/NETWORK MODE) を選択したあとにホストリカバリが発生した場合、動作モード切り換え時にスタッカ まで出力されていないデータはリカバリの対象になりませんので、ご注意ください。
- (2) ジャムセパレータ印刷

リカバリが必要なエラーが発生した場合、再印刷するときにセパレータを印刷するかどうかが 選択できます。以下が選択でき、初期値は「しない」となります。

- ・する
- ・しない
- (注1)ジャムセパレータによる出力ページは、印刷量としてカウントされます。
- (注2)ジャムセパレータによる出力ページは、レイアウト情報の設定は無効となり、 1-up/回転なしで出力されます。

2.2.2.5 消耗品タブ

消耗品タブは、装置のユーザ交換可能な以下の消耗品に関する状態を表示するとともに、消耗品交換時の操作を行う画面です。なお、現像剤に関しては、独自の交換手順がありますので、詳しくは、 後述する現像剤交換手順(2.5.2 現像剤(F)の交換)を参照してください。

以下の5種類の消耗品に対して、[開始]ボタンを押すと、それぞれの手順を画面に表示します。 詳しくは、次ページの「(1)消耗品の交換」を参照してください。

- トナー(F)
- トナー回収容器
- 現像剤(F)
- キットF
- ・ 脱煙フィルタ

P\$5230				🌍 一般ユーザ
- # # # @ @ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	🖁 ユーザ設定 🛛 🔙 画面			88:88
一手一般	アウト 🦳 リカバリ 🖳 🕯	JEF		
消耗品名	残量(%) 消耗品交换(乍業		
	開始	消耗品ログ		
トナー回収容器	000 開始			
○ 現像剤(F)	000 開始	宁期 杰倫部品		
シー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	000 開始 …			
	<u></u>			
 	トップ			
HOST RECOVERY	ANNEL MODE A			
* ① 電 源	🛓 イジェクト 🥑	リセット	<u>()</u>	マンストップ

図 2.40 セットアップタブ(消耗品)

各消耗品単位に、現在の状態を緑(残量が十分にある)/黄(ニアライフ)/赤(寿命)の表示色で区別し、その残量を表示します。

なお、トナーについては残量を表示しません。

消耗品を交換する場合には、消耗品ごとに[開始]ボタンを押してください。 交換完了後は、各消耗品の交換画面の中にある[完了]ボタンを押してください。

また、[定期交換部品]ボタンを押すと、その他の消耗品(定期交換部品)の状態表示および交換時の 操作画面が表示されます。

消耗品名	残量 (%)
🔊 KƏAZ=VFF 🍳	
	000
フラッシュランプ (F)	000
🥌 オゾンフィルタ 🛛 🥥	000
· 定期保守	000

図 2.41 定期交換部品

(1) 消耗品の交換

交換する消耗品の [開始] ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。 この画面のメッセージに従って交換作業を行うことができます。 1 画面ごとに [次へ] ボタンがありますので、表示されている操作が終わると [次へ] ボタン を押して、次の画面に進んでください。 最終画面には [完了] ボタンがありますので、作業が完了したら [完了] ボタンを押してくだ さい。「図 2.40 セットアップタブ(消耗品)」の画面に戻ります。 複数の消耗品を連続して交換することもできます。

なお、すべての消耗品の交換作業が完了したら、「図 2.40 セットアップタブ(消耗品)」画面の[消耗品ログ]ボタンを一度だけ押してください。

その後、[スタート] スイッチを押して、装置をスタート状態に戻します。

(注) 現像剤の交換については、途中でキャンセルができません。



図 2.42 消耗品交換手順の表示例

2.2.2.6 JEF タブ

JEF タブは、動作モードが「CANNEL MODE」接続に関する設定/操作を行う画面です。 本設定/操作は PS5230C-CS、PS5230C-CP でだけ有効です。 設定項目は、以下のとおりです。

- 共通設定
- JEF
- JEF/AP

なお、JEF/APは JEF/AP オプションがインストールされていない場合は表示されません。



図 2.43 セットアップタブ (JEF)

(1)印刷開始制御

```
印刷開始位置のモード(Fモード(標準)/Iモード)を設定します。
以下の2つが選択可能であり、初期値は「Fモード(標準)」です。
```

- Fモード(標準)
- ・ Iモード

なお、Fモード/Iモードの詳細は3.1.2 項を参照してください。

データランプ点灯中に操作を実行すると、CHANNEL MODE の場合は未印刷データの消去に 関するメッセージが、NETWORK MODE の場合は設定変更ができないことを示すメッセージ が表示されます。

メッセージの意味と対処方法は「2.2.1.2 レイアウト情報選択」を参照してください。

PS5230			🎲 一般ユーザ	
■ 基本 🔐 🤇	シットアック 💏 ユーザ設定 🗔 画面		88:88	
一般 用紙 レイアウト ジリカバリ 및 消耗品 話 JBP*				
印刷開始制御	Fモード(標準) チャネル設定:			
強制拡張解像度E	마刷: 無效 · ON Line	Channel Channel Enable A	EXT	
	OFF Line	B Channel	JEF/AP	
	~ ~ ~ /			
HOST RECOVERY				
⁰① 電源	🛃 イジェクト 🧭	リセット	> スタート () ストップ	

図 2.44 印刷開始制御

(2) 強制拡張解像度印刷設定

富士通メインフレームから GS1-128 (料金代理収納用) バーコードを受信時の印刷方法を選 択します(初期値:無効)。なお、本機能を有効とするには、600dpi 出力機構および LP-EAN128 出力機構の装着が必須です。 以下の2つが選択可能です。

- ・ 無効:富士通メインフレームより GS1-128(料金代理収納用)バーコードを受信した場合、 GS1-128(料金代理収納用)バーコードが印字されるページは 600 dpi で印字し ます、GS1-128(料金代理収納用)バーコードが印字されないページは 240 dpi で印字します。
- 有効: GS1-128(料金代理収納用) バーコードの受信の有無にかかわらず、JEF に関する 印刷をすべて 600dpi で処理します。

600 dpi と 240 dpi の切替が行われると、印刷が一時停止し、スループットが低下します。 スループットを優先する場合は、「有効」を選択してください。 600dpi の印刷では、バーコードおよび OCR 文字は 600dpi の出力イメージで出力し、それ 以外の印刷は、従来装置と同じ 240dpi の出力イメージを 600dpi に変換して出力します。 GS1-128(料金代理収納用)バーコードが印字されないページにおいて従来装置との印字互

データランプ点灯中に操作を実行すると、CHANNEL MODE の場合は未印刷データの消去に 関するメッセージが、NETWORK MODE の場合は設定変更ができないことを示すメッセージ が表示されます。

メッセージの意味と対処方法は「2.2.1.2 レイアウト情報選択」を参照してください。

換を優先する場合は、「無効」を選択してください。



図 2.45 強制拡張解像度印刷設定

(3) ON Line/OFF Line ボタン

プリンタ装置をオンライン状態/オフライン状態へ遷移させます。 ボタンが緑で表示されている側が現在の選択状態です。 また、[ON Line]選択時で、かつ装置状態がオンライン状態になっている場合には、そのとき のチャネル状態に応じて"Channel Enable"ランプが緑に点灯します。



図 2.46 ON Line/OFF Line 切替え

(4) EXT/INT

チャネル A/B の切替えモードを選択します。

[INT] ボタンを押すと、[Channel A/B] ボタンでチャネルの切替えができます。 [EXT] ボタンを押すと、チャネルインタフェース側に接続されている外部装置の制御信号に より、チャネルの切替えを行います。



図 2.47 EXT/INT 切替え

(5) Channel A/Channel B

チャネル A/B を切り替えます。

また、装置がオンライン状態の場合には、"Channel Enable"ボタンの有効なチャネルモード 側が緑に点灯します。



図 2.48 CHANNEL A/B 切替え設定

(注1) [Channel A/B] ボタンでプリンタ装置を別システムに切り替える場合には、そのシステムで使用中のライタプログラムを停止してから切り換えてください。また、切り換え先のライタも再起動してください。前記手順を省略すると、その後の正常な出力が得られなくなります。
 各ライタプログラムの停止の操作については、ライタプログラムのマニュアルを参照してください。

(6) 印字幅設定

ラインプリンタモード時の印刷最大幅を設定します。 以下の2つが選択可能であり、初期値は「16.5 インチ」です。

- ・ 13.6 インチ
- ・ 16.5 インチ

データランプ点灯中に操作を実行すると、CHANNEL MODE の場合は未印刷データの消去に 関するメッセージが、NETWORK MODE の場合は設定変更ができないことを示すメッセージ が表示されます。

メッセージの意味と対処方法は「2.2.1.2 レイアウト情報選択」を参照してください。

PS5230				🌍 一般ユーザ
□■ 基本	1 Conference in a main and a main and a main a m			88:88
·····································	用紙	耗品 🔣 JEF 🕇		
印字幅設定: EAN128目視文号	13.6インチ ・ 字位置: 7mn ・			☆ 共通設定 ■ JEF
				JEF/AP
第2FPD:	第2 F PD 設定			
	ストップ			
HOST RECOVERY				
⁹ ① 電 源	🛃 イジェクト 🧭	リセット	スタート	() ストップ

図 2.49 印字幅の設定
(7) EAN128 目視文字位置(JEF)

JEF 印刷時のGS1-128(料金代理収納用)バーコードの目視文字の位置を設定します。 以下の2つが選択可能であり、初期値は「7mm」です。

- 7mm
- 9.5mm

なお、本機能を有効とするには、LP-EAN128 出力機構および 600dpi 出力機構の装着が必須です。

データランプ点灯中に操作を実行すると、CHANNEL MODE の場合は未印刷データの消去に 関するメッセージが、NETWORK MODE の場合は設定変更ができないことを示すメッセージ が表示されます。

メッセージの意味と対処方法は「2.2.1.2 レイアウト情報選択」を参照してください。

PS5230				🌍 一般ユーザ
□■ 基本 👔 🕄	39167分 💏 ユーザ設定 🛛 🯹 画面			88:88
<u></u> 一般 用	紙 レイアウト リカバリ 🛄 ;	肖耗品 🔚 JBF 🕇		
印字幅設定: EAN128目視文字位	13.6インチ ・ 立置: 7mm ・			共通設定 」
第2FPD:	第2 F PD 設定			
	ストップ			
HOST RECOVERY				
⁹ ① 電 源	🏼 🖉 नग्रंग्र्य नि	リセット	スタート	マストップ

図 2.50 EAN128 目視文字位置(JEF)の設定

(8) 第 2FPD 設定

第2FPD 設定は、従来のフロッピィ運用をあらかじめハードディスクに登録しておき業務に必要な第2FPD 選択し運用を行うものです。フロッピィを直接プリンタに読み込むことはできません。第2FPD の新規登録は、ブランク FPD を選択することで富士通メインフレームから登録が可能となります。従来の第2FPD をハードディスクに登録する際は、保守技術員専用のツールを用いて行います。

なお、ブランク FPD は、新しい第 2FPD を作成するときに選択してください。 ブランク FPD を選択したまま運用すると、ER85-52 となる場合があります。

本装置に登録された文字パターンデータ(第2FPD)の中から、使用する文字セットの選択や 削除を行います。[第2FPD 設定]ボタンを押すと、次の画面が表示されます、 本装置に登録されたデータの一覧から、使用する第2FPD を選択します。 また、番号「000」、「100」、および「101」はあらかじめ登録されており、削除やプロテク

ト状態の変更、コメントの編集はできません。

- 選択
- 削除
- ・ プロテクト
- コメント編集

ブランク FPD を選択した状態で、第2FPD の書込みにおいてエラーが発生した場合、'DATA' のラベル名で第2FPD が作成されます。この第2FPD は、削除、上書きが可能です。

第2	FPD設定					
選択□	中の第2FPD: 101*	ノーデッキ				🗙 閉じる
番号	ラベル名	プロテクト	コメント			
101*	ノーデッキ				《 进扒	
100*	ブランクFPD					
000*	JIS2				前除	
001						
002					ブロテクト	
003						
004				l 🐳	コメント編集	
005					A de ser construction as a ser construction of the series	
*	. プロテクト変更処理	里、削除、コ	メント編集はできません。			

図 2.51 第 2FPD 設定画面

a)選択

表示されている一覧リストから、使用する第2FPDを選択して[選択]ボタンを押すと、本装置で使用する第2FPDが選択されます。

第2	FPD設定		
選択中	中の第2FPD: 000	JIS2	🗙 閉じる
番号	ラベル名	プロテクト コメント	3210
101*	ノーデッキ		A KEN
100*	ブランクFPD		
000*	JIS2		
001			
002			マ プロテクト
003			
004			→ コメント編集
005			La de constante de la desta
*	. プロテクト変更処	理、削除、コメント編集はできません	

図 2.52 第 2FPD 選択処理

b)削除

表示されている一覧リストから、削除する第2FPDを選択して[削除]ボタンを押すと、本装置に登録されている第2FPDが削除され、ブランクフロッピィ扱いとなります。 ただし、「プロテクト」が「あり」の第2FPD、および初期状態で登録されている、番号「000」、「100」、および「101」については、削除できません。

確認			
🕜 選択	てしたデータを削除	します。よろしいですか?	
	はい	いいえ	

図 2.53 第 2FPD 削除処理

c) プロテクト

表示されている一覧リストから、プロテクトの設定をする第 2FPD を選択して [プロテクト] ボタンを押すと、選択されている第 2FPD のプロテクト状態を変更でき、書込み可/不可の設 定ができます。

なお、初期状態で登録されている、番号「OOO」、「100」、および「101」については、プロ テクト状態の変更はできません。

64.01	CDD=A 🗢					
	FPD設定					
選択□	中の第2FPD: 101*	ノーデッキ				▼ 閉じる
番号	ラベル名	プロテクト	コメント		Q122	
101*	ノーデッキ					
100*	ブランクFPD					
000*	JIS2				1 削除	
001	DATA	有効				
002					プロテクト	
003						
004				V V	コメント編集	
005					A. Groud control of the second	
*	. プロテクト変更処理	観、削除、コ	メント編集はできません。			

(注)プロテクト有効時でも削除は可能です。

図 2.54 第 2FPD プロテクト設定画面

d) コメント編集

表示されている一覧リストから、コメント編集をする第2FPDを選択して[コメント編集]ボ タンを押すと、選択されている第2FPDのコメントを変更できます。

仮想キーボードが表示され、最大14文字までの英数字および記号を入力することができます。 なお、初期状態で登録されている、番号「OOO」、「100」、および「101」については、コメ ント編集はできません。

第2	PD設定					
選択□	中の第2FPD: 101*	ノーデッキ				🗙 閉じる
番号	ラベル名	プロテクト	コメント		Rt#:	
101*	ノーデッキ				N JEIN	
100*	ブランクFPD					
000*	JIS2				🍟 削除	
001	DATA	有効	TEST			
002					プロテクト	
003						
004					コメント編集	
005					Al de cale reasonaire an Bi de cale reasonaire	
*	. プロテクト変更処	理、削除、コ	メント編集はできません。	1		

図 2.55 第 2FPD コメント編集画面

(9) EAN128 目視文字位置(JEF/AP)

JEF/AP 印刷時の GS1-128(料金代理収納用)バーコードの目視文字の位置を設定します。 以下の2つが選択可能であり、初期値は「7mm」です。

- 7mm
- 9.5mm

データランプ点灯中に操作を実行すると、CHANNEL MODE の場合は未印刷データの消去に 関するメッセージが、NETWORK MODE の場合は設定変更ができないことを示すメッセージ が表示されます。

メッセージの意味と対処方法は「2.2.1.2 レイアウト情報選択」を参照してください。

P\$5230				🌍 一般ユーザ
■ 基本	லோலிலில் 🎇 ユーザ設定 🛛 📺 🛯 🖬 🖉			88:88
	用紙 レイアウト ジカバリ 🛄 消	(#a 🔚 Jep^		
EAN128目視文书	字位置: 7mm			井通設定 JEF JBF/AP
,	ストップ			
HOST RECOVERY				
*① 電源	👱 イジェクト 📀	リセット	スタート	() ストップ

図 2.56 EAN128 目視文字位置(JEF/AP)の設定

2.2.2.7 FNP タブ (ユーザ管理者)

FNP タブは、動作モード「NETWORK MODE」接続に関する設定/操作をする画面です。 以下の設定項目があります。

- ネットワークアドレス設定
- データレート
- ・ デフォルト用紙幅
- ・ 論理プリンタ設定
- FNP 設定
- FM設定
- 66XX設定

なお、本タブは、利用者権限が「一般ユーザ」モードでログインしている場合には、表示されません。「ユーザ管理者」のパスワードの初期値は"PRINTERADMIN"(すべて大文字)です。

本タブで変更した内容は、装置の再起動後に有効となります。

PS5230		🌍 ユーザ管理者
📑 基本 👔 வேல் 🔊 ユーザ設定 🔄 画 โ	а	88:88
-般 用紙 レイアウト リカバリ] 消耗品 👫 JEF 🔛 🕅 🕅	
ネットワークアドレス設定: IPアドレス: 0.0.0.0 オットマスク: 0.0.0 デフォルトルータ: 0.0.0 データ	ウェイ1 - ウェイ1: 0.0.0 ドレス1: 0.0.0 レート: オート	
変更した内容は、次回電源投入時に反映されます。	変更	
FNP/FM設定: デフォルト用紙幅: ^{17.5インチ}		
Aトップ HOST RECOVERY		
⁸ ① 電 源	ジリセット	マ ストップ

図 2.57 セットアップタブ (FNP)

[変更]ボタンを押すと、設定画面に遷移します。

(1) ネットワークアドレス設定

TCP/IP での通信を行う際に必要な、各種ネットワークアドレスの設定をします。 以下の設定項目があります。

- IP アドレス
- ネットマスク
- ・ ゲートウェイアドレス
- ・ デフォルトルータ
- ・ データレート

ネットワーク設定	
ネットワークアドレス設定:	ゲートウェイ1
IP7ドレス: 0.0.0.0	変更 ゲートウェイ1: 0.0.0 変更
ネットマスク: 0.0.0.0	<u>変更</u> 宛先アドレス1: 0.0.0.0 変更
デフォルトルータ: 0.0.0.0	<u>変更</u> データレート: オート
	設定キャンセル初期化
	設定キャンセル初期化

図 2.58 ネットワークアドレス設定

- [設定] ボタン
- 入力した各値を設定して、元の表示画面に戻ります。
- ー[キャンセル]ボタン
 入力した各値を破棄して、元の表示画面に戻ります。
- ー [初期化] ボタン 初期値に戻ります。
- a) IP アドレス

LAN インタフェースに割り当てる IP アドレスを設定します。 [変更] ボタンを押すと、下記の IP アドレス入力キーが表示されます。 IP アドレスを入力し [OK] ボタンを押すと、入力画面が閉じて値がセットされます。

1P7	ドレス		
Û	. 0	. 0	. 0
7	8	9	Clr
4	5	6	
1	2	3	× キャンセル
()	·	✓ OK

図 2.59 IP アドレス入力用テンキー

b) ネットマスク

ネットマスクを設定します。

[変更] ボタンを押すと、ネットマスクの IP アドレス入力用テンキーが表示されます。 ネットマスク値を入力し [OK] ボタンを押すと、入力画面が閉じて値がセットされます。

c) デフォルトルータ

デフォルトルータとするゲートウェイアドレスを設定します。

[変更] ボタンを押すと、デフォルトルータの IP アドレス入力用テンキーが表示されます。 デフォルトルータの IP アドレスを入力し [OK] ボタンを押すと、入力画面が閉じて値がセッ トされます。 設定およびその意味については、「2.2.2.9 ゲートウェイについての補足」を参照してくださ

い。

d) ゲートウェイアドレス

他ネットワークと通信を行うゲートウェイアドレスを設定します。

ゲートウェイアドレスの設定には、宛先アドレス(通信相手が存在するネットワークアドレス) と自ネットワークのゲートウェイアドレスの設定が必要です。

ゲートウェイアドレスは、最大4つまで設定できます。

設定したいゲートウェイアドレスを選択し[変更]ボタンを押すと、ゲートウェイアドレスの IP アドレス入力用テンキーが表示されます。

各ゲートウェイの IP アドレスを入力し [OK] ボタンを押すと、入力画面が閉じて値がセット されます。

設定およびその意味については、「2.2.2.9 ゲートウェイについての補足」を参照してください。

(2) データレート

LAN インタフェースのデータレートを設定します。 以下の3 つから選択できます。

- ・ オート
- 10Base-T
- 100Base-TX

ネットワーク設定	
ネットワークアドレス設定:	ゲートウェイ1
IPアドレス: 0.0.0.0	変更 ゲートウェイ1: 0.0.0 変更
ネットマスク: 0.0.0.0	<u>変更</u> 宛先アドレス1: 0.0.0.0 変更
デフォルトルータ: 0.0.0	変更
	7-90-1: 1-1
	設定キャンセル初期化

図 2.60 データレート選択

- (注1)本装置とスイッチングハブは、オートネゴシエーション以外に設定する場合、半二重 (Half)で動作するため、スイッチングハブも半二重(Half)に設定する必要があり ます。
- (注2) ギガビットイーサネット(1000Base-T)は、オート設定時だけサポートされます。
- (3) デフォルト用紙幅

FNP/FM印刷時に、上位側から用紙サイズの指定がなかった場合のデフォルト用紙幅を設定します。

「17.5 インチ」固定となります。

>>> P\$5230			🌍 ユーザ管理者
📑 基本 👔 包からですが 🐩 ユーザ設た	t 🕞 هم		88:88
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	リカバリ 💭 消耗品 📑 JEF	🛜 FNP ⁺	1
ネットワークアドレス設定: IPアドレス: 0.0.00 ネットマスク: 0.0.00 デフォルトルータ: 0.0.00 変更した内容は、次回電源投入時に反映さ	ゲートウェイ1 _ ゲートウェイ1: 0.0.0 宛先アドレス1: 0.0.0 データレート: オート されます。	変更	 ・
	<u></u>		
	プ		
*① 電源 21ジ	ェクト 🕜 リセット	<u>م جو</u> ر	() ストップ

図 2.61 デフォルト用紙幅

(4) 論理プリンタ設定

論理プリンタを設定します。画面右側の「論理プリンタ」タブを押下すると、以下のような画面が表示されます。

P\$5230			🌍 ユーザ管理者
□ 基本	しゅしいがか 💏 ユーザ 設定 🔄 画面		88:88
·	用紙 レイアウト ジリカバリ 💭 消耗品	a 🔣 jef 🔛 FOP	
番号 サポー 000 なし 001 なし	トサーパ エミュレーション ボート番号 P7 	7 ドレス* ボート番号* - - * リクエスタサーバの情報 変更	 ♣ットワーク ➡ ₱₽₽₽₽₽₽ ➡ ₱ ₽₽₽₽₽₽ ➡ ₱ ₽ ₽ ➡ ₱ ₽
	7 6 11 7		
HOST RECOVERY			
⁰① 電源	👤 イジェクト 🕢 リ۱	セット 🔹 スター	-ト 🕥 ストップ

図 2.62 論理プリンタ設定

論理プリンター覧から選択し[変更]ボタンを押すと、エミュレーションの設定変更ダイアログが表示されます。本設定内容は、次回電源投入時に反映されます。

- 論理プリンタ1:FNP/FM
- 論理プリンタ2:66XX

論理プリンタ設定		
サポートサーバ: PrintWalker/PM -	リクエスタサーバ設定:	1
エミュレーション: FNP/FN	IP7 F123: 0.0.0.0	変更
ボート番号: 09313 変更	ボート番号: 06670	変更
·	10 = +++++++++++++++++++++++++++++++++++	21118/1
	設 在 ++>とル	TU ANTL

図 2.63 エミュレーション設定

<設定項目>

- a) サポートサーバ
 - ・なし(論理プリンタなし) ※ 初期値
 - BSNPS
 - •PrintWalker/PM
- b)ポート番号

印刷用のポート番号を設定します。1~65535までの値が設定可能です。 初期値は「9313」です。

c) リクエスタサーバ設定

エミュレーションが「66XX」でサポートサーバが「PrintWalker/PM」の場合だけ設 定可能です。設定不可のときはグレーアウトされます。 VSPリクエスタが動作しているサーバのIPアドレスとポート番号を設定します。 初期値は「6670」です。

[設定] ボタンを押すと、論理プリンタが設定されます。

(5) FNP 設定

「セットアップ」タブー「FNP」タブを選択し、画面右側の「FNP」タブを押下すると、以下の画面が表示されます

PS5600				🌍 ユーザ管理者
基本	390 kア 🔊 ユーザ設定 🛛 🯹 画面			88:88
一般	用紙	消耗品 🔣 JEF 🔛 🖗	0P*	
EAN128目視文号	ਞサイズ: <mark>\$ポイント</mark> -			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	ストップ			
HOST RECOVERY				
⁰① 電源	躗 イジェクト 📀	リセット	() スタート	() ストップ

図 2.64 FNP 設定

- <設定項目>
 - (a) EAN128 目視文字サイズ

EAN128 目視文字の大きさを設定します。

以下が選択可能です。初期値は「9ポイント」です。

- ・9ポイント
- 可変

(6) FM 設定

「セットアップ」タブー「FNP」タブを選択し、画面右側の「FM」タブを押下すると、以下の画面が表示されます。

P\$5230						🌍 ユーザ管理者
■ 基本 ¥ 🕅 🐼	からアックラ 🚿 ユーザ設	定 🛛 画面				88:88
	t V1791	リカバリ 🛄 消	耗品 🔚 JEF	🔛 FNP^		
				2		
用紙長: 11.0	インチ 変更	印刷開始位置:	原点移動指定	•		(二) 論理プリンタ
解像度:	240dp i	行ピッチ:	6LPI	•		F N P
漢字書体:	明朝	ANK文字ピッチ:	10CP1	•		
漢字フォント:	10.5ポイント 、	解像度切り替え	: 自動	•		
	ストッ	プ				
HOST RECOVERY		MODE A				
8 ① 電源	<u></u> 19	፣ ወ 🖉	リセット		> スタート	() ストップ

図 2.65 FM 設定 1

ここで、右上の[2]ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

P\$5230				🌍 ユーザ管理者
- 基本	(39) いかが) 🚿 ユーザ設定 🛛 🟹 西	۵ diala d		88:88
••••••••••••••••••••••••••••••••••••••	用紙] 消耗品 🔚 JEF 🔛 🕼	'NP ¹	
]	🖶 ネットワーク
左端余白:	05.0 (mm) 変更 漢字 7ポ	有効フォント: イント: ^{有効} ・		論理プリンタ
上端余白:	00.0 (mm) 変更 9ボ	イント: 有効 ・		FNP
コピーオー	パレイ: あり 127	ポイント: 「 ^{有効} 」		6 6 X X
	ストップ			
HOST RECOVERY	™TT: CHANNEL MODE A			
• ① 電 源	ミン イジェクト	シリセット	<u>م</u>	() ストップ

図 2.66 FM 設定 2

<設定項目>

a) 用紙長

用紙長を選択します。選択可能範囲は 3.5~14.0 インチ(0.5 インチ刻み)で 初期値は、11.0インチです。

- b)解像度
 - 解像度を設定します。
 - ・240dpi ※ 初期値
 - •400dpi 注)
 - 注) 高解像度印刷機構(PS5230C21) がない場合は、グレーアウトします。 400dpi選択時に高解像度印刷機構がアンインストールされた場合、自動的に 240dpiに設定し直します。

c)漢字書体

- 漢字書体を設定します。
- 明朝 ※ 初期値
- ・ゴシック
- d)漢字フォント

漢字フォントサイズを設定します。

- ・7.0ポイント
- ・9.0ポイント
- ・10.5ポイント ※ 初期値
- ・12.0ポイント

e)印刷開始位置

- 印刷開始位置の設定を行います。
- •原点移動指定 ※ 初期値
- ・ドットプリンタ仕様
- f) 行ピッチ
 - 行ピッチを設定します。
 - •6LPI ※ 初期値
 - •8LPI
- g)ANK文字ピッチ
 - ANK文字ピッチを設定します。
 - •10CPI ※ 初期値
 - •12CPI
- h)解像度切り替え
 - 解像度の切り替えを設定します。
 - ・手動
 - 自動 ※ 初期值
- i)左端余白

左端の余白を設定します。[変更] ボタンを押すと、「j) 上端余白」と同様の画面を表示します。 設定可能範囲は、0.0mm~50.0mm で初期値は「5.0mm」です。 j)上端余白

上端の余白を設定します。 設定可能範囲は、0.0mm~50.0mm で初期値は「0.0mm」です。

- k) コピーオーバレイ設定
 - コピーオーバレイを設定します。
 - ・なし
 - あり ※ 初期値
-) 有効漢字フォント 漢字文字サイズ指定コマンドの設定を有効とするか無効とするかを設定します。 7ポイント、9ポイント、12ポイントがあり、それぞれ以下が選択可能です。
 ・無効
 - 有効 ※ 初期値はすべて「有効」。

(7) 66XX 設定

「セットアップ」タブー「FNP」タブを選択し、画面右側の「66XX」タブを押すと、以下の 画面が表示されます。

P\$5230			🌍 ユーザ管理者
🛄 基本 👔	ほかんびがえ 💏 ユーザ設定 🛄 画面		88:88
	月紙 レイアウト ジリカバリ 🖳 消耗品	a jef 🌇 Fr	P*
66XX共通:			+ ネットワーク
印刷開始制徒	』: 「Fモード (標準)」		論理プリンタ
拡張66XX :			F N P
印字幅設定:			F M
EANIZ6日代)			
יז אלאנגעישאני 			
<u></u>			
	ストップ		
HOST RECOVERY			
*① 電源	🗶 イジェクト 🕢 リ	セット	スタート マストップ

図 2.67 66XX 設定

<設定項目>

a)印刷開始制御

印刷開始制御を設定します。

- Fモード(標準) ※ 初期値
- ・Iモード

b)印字幅設定

ラインプリンタモード時の印刷最大幅を設定します。

- ・13.6 インチ
- ・16.5 インチ ※ 初期値

c)EAN128 目視文字位置

JEF 印刷時の GS1-128 バーコードの目視文字の位置を設定します。

- •7mm ※ 初期值
- 9.5mm

d) 強制拡張解像度印刷

富士通メインフレームから GS1-128 (料金代理収納用) バーコードを受信時の印刷方法 を選択します (初期値:無効)。なお、本機能を有効とするには、600dpi 出力機構および LP-EAN128 出力機構の装着が必須です。

以下の2つが選択可能です。

- ・無効:富士通メインフレームより GS1-128(料金代理収納用)バーコードを受信した場合、強制拡張解像度印刷設定エラーが発生します。GS1-128(料金代理収納用)バーコードが印字されないページは 240 dpi で印字します。
- ・有効:GS1-128(料金代理収納用)バーコードの受信の有無にかかわらず、JEFに 関する印刷をすべて 600dpi で処理します。

600 dpi と 240 dpi の切替が行われると、印刷が一時停止し、スループットが低下 します。スループットを優先する場合は、「有効」を選択してください。 600dpi の印刷では、バーコードおよび OCR 文字は 600dpi の出力イメージで出力 し、それ以外の印刷は、従来装置と同じ 240dpi の出力イメージを 600dpi に変換し て出力します。GS1-128(料金代理収納用)バーコードが印字されないページにお いて従来装置との印字互換を優先する場合は、「無効」を選択してください。

2.2.2.8 LAN 接続するための基本設定

ここでは、本装置をLAN接続するための基本設定例を説明します。

本装置をLAN接続するためには、「セットアップ」ー「FNPタブ」においてネットワーク設定と、論理プリンタ設定を行う必要があります。実際の設定/操作方法については「2.2.2.7 FNPダブ(ユーザ管理者)」を参照願います。

なお、設定した値は装置の電源再投入により有効となります。

- Windows Server 2012 / Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2003のPrintWalker/PMによるFNP/FMエミュレーション印刷
 - ⇒ (2) Windows Server 2012 / Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2008 / Windows Server 2003のPrintWalker/PMによる FNP/FM/F66XXを設定する場合
- Windows Server 2012 / Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2008 / Windows Server 2003のPrintWalker/PMによるH0ST PRINTの帳票管理サービスを使用したF66XXエミュレーション印刷
 - ⇒ (2) Windows Server 2012 / Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2008 / Windows Server 2003のPrintWalker/PMによる FNP/FM/F66XXを設定する場合
- O Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows XP のPrintWalker/PMによるFNP/FMエミュレーション印刷
 - ⇒ (3) Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows XP の PrintWalker/PMによるFNP/FMを設定する場合
- O LinuxサーバのPrintWalker/LXEによるFNPエミュレーション印刷
 - ⇒ (4) PrintWalker/LXE、PrintWalker/BPCによるFNP/FM/F66XXを設定する場合
- O UNIXサーバのPrintWalker/BPCによるFNP/FM/F66XXエミュレーション印刷
 - ⇒ (4) PrintWalker/LXE、PrintWalker/BPCによるFNP/FM/F66XXを設定する場合

- ネットワーク設定(共通設定)
 ネットワーク設定には、以下の設定があります。
 - ① Pアドレス
 ② ネットマスク
 ③ ゲートウェイアドレス1~4
 ④ デフォルトルータ
 ⑤ データレート設定
 - IPアドレス LANインタフェースのIPアドレスを設定します。
 - ネットマスク ネットマスクを設定します。
 - ③ ゲートウェイアドレス1~4
 ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを4つまで設定でき、次項④のデフォルトルータ設定を合わせると最大5つまで設定できます。
 ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

IP アドレス

・ ネットマスク

設定およびその意味については、「2.2.2.9 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

④ デフォルトルータ設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項 ③のゲートウェイアドレス1~4の設定とは意味が異なります。 設定およびその意味については、「2.2.2.9 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

⑤ データレート設定

使用するLANインタフェースのデータレート(オート/10Base-T/100Base-TX)を設定します。

データレート設定の初期値は"オート"です。特に問題がない場合はこの設定で使用してくだ さい。もし変更する場合は、接続先ネットワーク機器の設定も変更する必要があります。

注)ギガビットイーサネット(1000Base-T)はオート設定時だけサポートされ、固定設定 はできません。 (2) Windows Server 2012 / Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2008 / Windows Server 2003のPrintWalker/PMによるFNP/FM/F66XXを設定する場合

以下の設定が必要となります。

A. 論理プリンタ設定

本装置では"論理プリンタ1"、"論理プリンタ2"の2つの論理プリンタが設定できます。 これらの論理プリンタには、以下のように印刷可能なエミュレーションが固定的に割り当てら れています。

- ・ 論理プリンタ1:FNP/FM
- 論理プリンタ2:66XX

使用するエミュレーションによって、設定を行うべき論理プリンタが異なりますので、ご注意 ください。

論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

1 サポートサーバ
 2 ポート番号
 3 リクエスタサーバアドレス
 4 ポート番号(リクエスタサーバ)

- サポートサーバ
 "PrintWalker/PM"を選択します。
- ② ポート番号

ポート番号を設定します。PrintWalker/PMのポート番号の初期値は09313です。特に問題がない場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合、上位装置のポート番号も変更する必要があります。

③ リクエスタサーバアドレス

VSPリクエスタと通信を行うために、VSPリクエスタをインストールしたリクエスタサーバのIPアドレスを設定します。 ただし、論理プリンタのエミュレーションが"66XX"でない場合、本項目を設定する必要は ありません(設定項目はグレーアウトされています)。

④ ポート番号(リクエスタサーバ) リクエスタサーバのポート番号を設定します。リクエスタサーバのポート番号の初期値は O6670です。特に問題がない場合、この設定で使用してください。もし変更する場合、上位 装置のポート番号も変更する必要があります。 ただし、論理プリンタのエミュレーションが"66XX"でない場合、本項目を設定する必要は ありません(設定項目はグレーアウトされています)。 B. PrintWalker/PMのインストール

PrintWalker/PMをインストールします。

※すでにインストールされている場合でも、バージョンによってはメッセージが表示されな いなどの不具合がありますので、なるべく新しい版数のものをインストールしてください。 インストール手順は、装置添付のPrintWalker CD-ROM内のドキュメントを参照くださ い。

【注意】印刷時はメッセージ連携(到着通知パネルなど)の起動が必要です。

- C. 上位装置(PrintWalker/PM)側の設定
 PrintWalker/PMをインストールし、その機能を使用します。
 基本的な設定は以下のとおりです(
 : ウィンドウ名を示します)。
 - C-1. Windows Server 2012の場合
 - a) "コントロール パネル"→ "システムとセキュリティ"→ "管理ツール"→ "印刷の管理"を選択し、「印刷の管理」を開きます。

※「印刷の管理」を使用するためには、事前に「サーバーの役割」に「印刷とドキュメントサービス」、「役割サービス」に「プリントサーバー」を追加する必要があります。

- b) 「印刷の管理」の左側ツリーで"プリント サーバー"→ "目的のプリント サーバー"→
 "プリンター"を選択し、マウスの右クリックメニューから"プリンターの追加"を選択して「ネットワーク プリンターのインストール ウィザード」を開き、設定を開始します。
 - ① "新しいポートを作成して、新しいプリンターを追加する"を選択します。
 - ② "ポートの種類"には "VSP Network FMPort"または "VSP Network Port"を選択します。どちらを選択するかは、プリンタのエミュレーション設定によって異なります。エミュレーションとの対応は、以下のとおりです。
 ・エミュレーションが FNP/FM の場合 → "VSP Network FMPort"
 ・エミュレーションが 66XX の場合 → "VSP Network Port"
 該当するポートを選択し、"次へ"ボタンをクリックします。
 これにより、「ポート追加」のウィンドウが開きます。
 - ③ 「ポート追加」において、"ポート情報"タブ内の必要情報を設定します。
 - ・ポート名 → 任意の名前を設定します(1バイト系文字6文字以上32文字以下で設定してください)。
 - ・プリンタ指定 → プリンタの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
 - ・論理プリンタ → プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。

"OK"ボタンをクリックします("OK"ボタンをクリックしたあと、しばらく時間が かかる場合があります)。

④ 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。 プリンタドライバのインストールは、引き続き「ネットワーク プリンターのインスト ール ウィザード」に沿って行います。詳細については、プリンタドライバの "Readme.txt"を参照願います。

- C-2. Windows Server 2008 R2の場合
 - a) "コントロール パネル"→ "管理ツール"→ "印刷の管理"を選択し、「印刷の管理」を 開きます。

※「印刷の管理」を使用するためには、事前に「サーバーの役割」に「印刷とドキュメン ト サービス」、「役割サービス」に「プリント サーバー」を追加する必要があります。

- b) 「印刷の管理」 左側ツリーで "プリント サーバー" → "目的のプリント サーバー" → "プ リンター"を選択し、マウスの右クリックメニューから "プリンターの追加"を選択して 「ネットワーク プリンターのインストール ウィザード」を開き、設定を開始します。
 - ① "新しいポートを作成して、新しいプリンターを追加する"を選択します。
 - ② "ポートの種類"には "VSP Network FMPort"または "VSP Network Port"を選択します。どちらを選択するかは、プリンタのエミュレーション設定によって異なります。エミュレーションとの対応は、以下のとおりです。
 ・エミュレーションが FNP/FM の場合 → "VSP Network FMPort"
 ・エミュレーションが 66XX の場合 → "VSP Network Port"
 該当するポートを選択し、"次へ"ボタンをクリックします。
 これにより、「ポート追加」のウィンドウが開きます。
 - ③ 「ポート追加」において、"ポート情報"タブ内の必要情報を設定します。
 - ・ポート名 → 任意の名前を設定します(1バイト系文字6文字以上32文字以下で設定してください)。
 - ・プリンタ指定 → プリンタの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
 - ・論理プリンタ → プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。

"OK"ボタンをクリックします("OK"ボタンをクリックしたあと、しばらく時間が かかる場合があります)。

④ 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に 選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。 プリンタドライバのインストールは、引き続き「ネットワーク プリンターのインスト ール ウィザード」に沿って行います。詳細については、プリンタドライバの "Readme.txt"を参照願います。

C-3. Windows Server 2008の場合

- a) "コントロール パネル"→ "プリンタ"を選択し、「プリンタ」を開きます。
- b) 「プリンタ」内の"プリンタのインストール"をクリックまたは"プリンタの追加"をダ ブルクリックして「プリンタの追加」を開き、設定を開始します。
 - ① "ローカル プリンタを追加します"を選択します。
 - ② "新しいポートの作成"を選択し、"ポートの種類"には"VSP Network FMPort" または"VSP Network Port"を選択します。どちらを選択するかは、プリンタのエミュレーション設定によって異なります。エミュレーションとの対応は以下のとおりです。
 ・エミュレーションが FNP/FM の場合 → "VSP Network FMPort"
 ・エミュレーションが 66XX の場合 → "VSP Network Port"
 該当するポートを選択し、"次へ"ボタンをクリックします。
 これにより、「ポート追加」のウィンドウが開きます。

- ③ 「ポート追加」において、"ポート情報"タブ内の必要情報を設定します。
 - ・ポート名 → 任意の名前を設定します(1バイト系文字6文字以上32文字 以下で設定してください)。
 - ・プリンタ指定 → プリンタの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
 - ・論理プリンタ → プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。

"OK"ボタンをクリックします("OK"ボタンをクリックしたあと、しばらく時間が かかる場合があります)。

④ 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に 選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。 プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンタの追加」に沿って行います。 詳細については、プリンタドライバの"Readme.txt"を参照願います。

C-4. Windows Server 2003の場合

- a) "コントロール パネル"→ "プリンタと FAX"を選択し、「プリンタと FAX」を開きます。
- b) 「プリンタと FAX」内の"プリンタのインストール"または"プリンタの追加"をクリ ックして「プリンタの追加ウィザード」を開き、設定を開始します。
 - ① 「プリンタの追加ウィザード」で、"次へ"ボタンをクリックします。
 - ② "このコンピュータに接続されているローカル プリンタ"を選択し、"プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする"のチェックを無効にします。 "次へ"ボタンをクリックします。
 - ③ "新しいポートの作成"を選択し、"ポートの種類"には"VSP Network FMPort" または"VSP Network Port"を選択します。どちらを選択するかは、プリンタのエミュレーション設定によって異なります。エミュレーションとの対応は以下のとおりです。
 ・エミュレーションが FNP/FM の場合 → "VSP Network FMPort"
 ・エミュレーションが 66XX の場合 → "VSP Network Port"
 該当するポートを選択し、"次へ"ボタンをクリックします。
 これにより、「ポート追加」のウィンドウが開きます。
 - ④ 「ポート追加」において、"ポート情報"タブ内の必要情報を設定します。
 - ・ポート名 → 任意の名前を設定します(1 バイト系文字 6 文字以上 32 文 字以下で設定してください)。
 - ・プリンタ IP アドレス →プリンタの IP アドレスを設定します (IPv6 プロトコルイン ストール環境ではホスト名も指定可能です)。
 - ・論理プリンタ →プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。
 "OK"ボタンをクリックします("OK"ボタンをクリックしたあと、しばらく時間がかかる場合があります)。
 - ⑤ 設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。 プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンタの追加ウィザード」に沿って行います。詳細については、プリンタドライバの"Readme.txt"を参照願います。

(3) Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows XP のPrintWalker/PMによる FNP/FMを設定する場合

以下の設定が必要となります。

A. 論理プリンタ設定

本装置では"論理プリンタ1"、"論理プリンタ2"の2つの論理プリンタが設定できます。 これらの論理プリンタには、以下のように印刷可能なエミュレーションが固定的に割り当てら れています。

- ・ 論理プリンタ1:FNP/FM
- ・ 論理プリンタ2:66XX

本設定では、"論理プリンタ1"のみ設定してください。 論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

① サポートサーバ ② ポート番号 ③ リクエスタサーバアドレス ④ ポート番号(リクエスタサーバ)

- サポートサーバ
 "PrintWalker/PM"を選択します。
- ② ポート番号

ポート番号を設定します。PrintWalker/PMのポート番号の初期値は09313です。特に問題がない場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合は、上位装置のポート番号も変更する必要があります。

- ③ リクエスタサーバアドレス
 設定する必要はありません(設定項目はグレーアウトされています)。
- ④ ポート番号(リクエスタサーバ)
 設定する必要はありません(設定項目はグレーアウトされています)。
- B. PrintWalker/PMのインストール

PrintWalker/PMをインストールします。

※すでにインストールされている場合でも、バージョンによってはメッセージが表示されな いなどの不具合がありますので、なるべく新しい版数をインストールしてください。 インストール手順は、装置添付のPrintWalker CD-ROM内のドキュメントを参照くださ い。

【注意】印刷時はメッセージ連携(到着通知パネルなど)の起動が必要です。

C. 上位装置 (PrintWalker/PM) 側の設定

- C-1. Windows 8の場合
 - a) "コントロール パネル"→ "デバイスとプリンターの表示"を選択し、「デバイスとプリ ンター」を開きます。
 - b) 「デバイスとプリンター」内の"プリンターの追加"をクリックして「プリンターの追加」
 を開き、設定を開始します。
 - ① "探しているプリンターはこの一覧にはありません"を選択します。
 - ② "ローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを手動設定で追加する"を選択し、"次へ"ボタンをクリックします。
 - ③ "新しいポートの作成"を選択して"ポートの種類"には"VSP Network FMPort"
 を選択し、"次へ"ボタンをクリックします。
 これにより、「ポート追加」のウィンドウが開きます。
 - ④ 「ポート追加」において、"ポート情報"タブ内の必要情報を設定します。
 - ・ポート名 → 任意の名前を設定します(1バイト系文字6文字以上32文字以下で設定してください)。
 - ・プリンタ指定 → プリンタの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
 - ・論理プリンタ → プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。

"OK"ボタンをクリックします("OK"ボタンをクリックしたあと、しばらく時間が かかる場合があります)。

⑤ 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。 プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンターの追加」に沿って行います。 詳細については、プリンタドライバの"Readme.txt"を参照願います。

C-2. Windows 7の場合

- a) "コントロール パネル"→"デバイスとプリンターの表示"を選択し、「デバイスとプリ ンター」を開きます。
- b) 「デバイスとプリンター」内の"プリンターの追加"をクリックして「プリンターの追加」
 を開き、設定を開始します。
 - ② "ローカル プリンターを追加します"を選択します。
 - "新しいポートの作成"を選択して"ポートの種類"には"VSP Network FMPort" を選択し、"次へ"ボタンをクリックします。
 これにより、「ポート追加」のウィンドウが開きます。

- ③ 「ポート追加」において、"ポート情報"タブ内の必要情報を設定します。
 - ・ポート名 → 任意の名前を設定します(1バイト系文字6文字以上32文字以下で設定してください)。
 - ・プリンタ指定 → プリンタの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
 - ・論理プリンタ → プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。

"OK"ボタンをクリックします("OK"ボタンをクリックしたあと、しばらく時間が かかる場合があります)。

④ 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。 プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンターの追加」に沿って行います。 詳細については、プリンタドライバの"Readme.txt"を参照願います。

C-3. Windows Vistaの場合

- a) "コントロール パネル"→ "プリンタ"を選択し、「プリンタ」を開きます。
- b) 「プリンタ」内の"プリンタのインストール"をクリックして「プリンタの追加」を開き、
 設定を開始します。
 - ① "ローカル プリンターを追加します"を選択します。
 - "新しいポートの作成"を選択して"ポートの種類"には"VSP Network FMPort" を選択し、"次へ"ボタンをクリックします。 これにより、「ポート追加」のウィンドウが開きます。
 - ③ 「ポート追加」において、"ポート情報"タブ内の必要情報を設定します。
 - ・ポート名 → 任意の名前を設定します(1バイト系文字6文字以上32文字以下で設定してください)。
 - ・プリンタ指定 → プリンタの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
 - ・論理プリンタ → プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。

"OK"ボタンをクリックします("OK"ボタンをクリックしたあと、しばらく時間が かかる場合があります)。

④ 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。 プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンタの追加」に沿って行います。 詳細については、プリンタドライバの"Readme.txt"を参照願います。

C-4. Windows XPの場合

- a) "コントロール パネル"→ "プリンタと FAX"を選択し、「プリンタと FAX」を開きます。
- b) 「プリンタと FAX」内の"プリンタのインストール"または"プリンタの追加"をクリ ックして「プリンタの追加ウィザード」を開き、設定を開始します。
 - ① 「プリンタの追加ウィザード」で、"次へ"ボタンをクリックします。

- ② "このコンピュータに接続されているローカル プリンタ"を選択し、"プラグ アンド プレイプリンタを自動的に検出してインストールする"のチェックを無効にし、"次へ" ボタンをクリックします。
- ③ "新しいポートの作成"を選択して"ポートの種類"には"VSP Network FMPort"
 を選択し、"次へ"ボタンをクリックします。
 これにより、「ポート追加」のウィンドウが開きます。
- ④ 「ポート追加」において、"ポート情報"タブ内の必要情報を設定します。
 - ・ポート名 → 任意の名前を設定します(1バイト系文字6文字以上32文
 字以下で設定してください)。
 - ・プリンタ IP アドレス →プリンタの IP アドレスを設定します(IPv6 プロトコルイン ストール環境ではホスト名も指定可能です)。
 - ・論理プリンタ →プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。 "OK"ボタンをクリックします("OK"ボタンをクリックしたあと、しばらく時間が かかる場合があります)。
- ⑤ 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。 プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンタの追加ウィザード」に沿って行います。詳細については、プリンタドライバの"Readme.txt"を参照願います。

(4) PrintWalker/LXE、PrintWalker/BPC による FNP/FM/F66XX を設定する場合

以下の設定が必要となります。

※Linuxサーバ接続では、エミュレーションとしてFNPをサポートしています。 ※UNIXサーバ接続では、エミュレーションとしてFNP/FM/F66XXをサポートしています。

A. 論理プリンタ設定

本装置では"論理プリンタ1"、"論理プリンタ2"の2つの論理プリンタが設定できます。 これらの論理プリンタには、以下のように印刷可能なエミュレーションが固定的に割り当てら れています。

- ・ 論理プリンタ1:FNP/FM
- 論理プリンタ2:66XX

使用するエミュレーションによって、設定を行うべき論理プリンタが異なりますので、ご注意 ください。

論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

- 1 サポートサーバ
 2 ポート番号
 3 リクエスタサーバアドレス
 ④ ポート番号(リクエスタサーバ)
- サポートサーバ
 "BSNPS"を選択します。
- ② ポート番号 ポート番号を設定します。PrintWalker/LXE、PrintWalker/BPCのポート番号の初期値は 09313です。特に問題がない場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合は、 上位装置のポート番号も変更する必要があります。
- ③ リクエスタサーバアドレス
 設定する必要はありません(設定項目はグレーアウトされています)。
- ④ ポート番号(リクエスタサーバ)
 設定する必要はありません(設定項目はグレーアウトされています)。
- B. 上位装置 (PrintWalker/LXE、PrintWalker/BPC) 側の設定

設定については、以下のマニュアルを参照願います。

- ・Linuxサーバ:PrintWalker/LXE インストールガイド
- ・UNIXサーバ:PrintWalker/BPC インストールガイド

2.2.2.9 ゲートウェイについての補足



図 2.68 ゲートウェイ

LAN①に接続されている装置が、LAN①に接続されている(同一LAN 上)その他の装置と、LAN 通信を行う場合はゲートウェイは必要ありませんが、他の LAN(LAN②~⑥)の装置と通信を行う 場合には、ゲートウェイが必要となります。

本装置では、最大5つまでのゲートウェイをサポートしています。

本装置のセットアップでは、ゲートウェイの設定とデフォルトルータの設定があり、ゲートウェイ設定は4つまで、デフォルトルータ設定は1つとなっています。

また、ゲートウェイ設定には、宛先アドレスとゲートウェイアドレスの設定があります。

"ゲートウェイアドレス 1~4" と デフォルトルータ設定"について説明します。



図 2.69 ゲートウェイ接続の例

- (1) 本装置が LAN ②上の装置と通信を行う場合には、ゲートウェイの設定は必要ありません。
- (2) 本装置がホストAと通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 - 宛先アドレス:ホストAの接続されているネットワークアドレスを設定します。
 - ・ ゲートウェイアドレス:GateWay1 のアドレス(IP アドレス)を設定します。
- (3) 本装置がホストBと通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 - 宛先アドレス :ホストBの接続されているネットワークアドレスを設定します。
 - ・ ゲートウェイアドレス : GateWay2 のアドレス (IP アドレス)を設定します。
- (4) 本装置がホストCと通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 - 宛先アドレス :ホストCの接続されているネットワークアドレスを設定します。
 - ・ ゲートウェイアドレス :GateWay1 のアドレス (IP アドレス)を設定します。
- (5) デフォルトルータは、仮に本装置に上記(1)~(4)のような設定をしている場合に、設定しているゲートウェイのどれにもあてはまらないようなデータを処理する場合に使用されるゲートウェイのことです。そのようなデータは、デフォルトルータに設定されているゲートウェイとデータ通信を行うこととなります。
- ※ゲートウェイアドレス1~4の設定では、本装置と通信を行う相手が接続されているネットワーク と、そのネットワークへの経路となるゲートウェイが明確になっている場合に設定します。
- ※デフォルトルータは、すでに設定されているゲートウェイアドレスでは処理できないデータを処理 する場合に使用されます。

また、本装置の接続されているネットワークに、ゲートウェイが1つしか接続されていなければ、 デフォルトルータにそのゲートウェイアドレスを設定しておくだけで、特にゲートウェイアドレス 1~4に設定をしなくても、他のネットワークと通信を行うことができます。

2.2.3 ユーザ設定タブ機能

ユーザ設定タブは、オペレータの操作権限の変更操作を行う画面です。

- ユーザ権限は以下の3種類から選択することができます。
 - ・ 一般ユーザ
 - ユーザ管理者
 - メンテナンス管理者
- 各ユーザ権限に許される機能については、「2.2(2) 操作機能概要」を参照してください。

PS5230A		W i	💡 1-9'848
1 基本	*************************************		88:88
ユーザ選択:			
	-182-7 💏		
٩ (ユーザ営計分 🍞 パスワード変更)	
\$	ンテナンス管理者		
	ストップ		
HOST RECOVERY			
*① 電源	👤 イジェクト 📀 リセッ	۲ ♦ کو کړ	رد الا 🕥

図 2.70 ユーザ設定タブ

ユーザを変更する場合には、変更したいユーザ選択ボタンを押します。

「ユーザ管理者」および「メンテナンス管理者」を選択した場合、パスワード入力画面が開くので パスワードを入力してください。パスワードの文字数は16文字以内です。入力可能な文字は、グレ ーアウトしていない入力可能な文字すべてです。

🗞 パスワード入力
ユーザ管理者のパスワードを入力 してください。
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 - ^
QWERTYUIOP@[
A S D F G H J K L ; :]
Z X C V B N M , . / \
Shift VOK #++>セル

図 2.71 パスワード入力用キーボード

「ユーザ管理者」のパスワードの初期値は"PRINTERADMIN"(すべて大文字)です。

(注) 本パスワードは一般利用者に公開せず、パスワードは定期的に変更してください。

パスワードを入力し [OK] ボタンを押した際、パスワードが誤っていると次の画面が表示され、 ユーザ権限の遷移は行われません。

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
🔀 パスワードが違います。
ОК

図 2.72 パスワード誤り

「一般ユーザ」を指定した場合および入力したパスワードが正しい場合は、次の画面が表示されま す。

変更したユーザ権限は、タイトルバーに表示されます。

1	ユーザ権限を変更しま	ました。	
	-	ок	

図 2.73 ユーザ権限変更

「ユーザ管理者」については、パスワードを変更することができます。

パスワードを変更する場合には、ユーザ管理者を選択して[パスワード変更]ボタンを押すと、パ スワード変更画面が表示されます。

[パスワード変更] ボタンを押すと下図に示す仮想キーボードが表示されるので、新しいパスワードを入力して [OK] ボタンを押します。

パスワードは最大16文字まで入力できます。

なお、[OK] ボタンを押したあと、再び下図の確認用画面が表示されます。再度パスワード情報を 入力することによって、パスワードは変更されます。



図 2.74 パスワード変更用キーボード

パスワードの変更が成功すると、次の画面が表示されます。



図 2.75 パスワード変更完了

なお、パスワードの確認に失敗すると、下記の画面に示すメッセージが表示され、パスワード変更 操作は取り消されます。



図 2.76 パスワード変更失敗

2.2.4 画面タブ機能

画面メニューでは、パネル表示に関する調整や設定を行うことができます。 設定できる項目は以下のとおりです。

- 壁紙設定
- ・ キャリブレーション
- 画面清掃
- ・ スクリーンセーバ
- 時刻設定
- スイッチ配置変更

>>> PS5230A	11 🤤 2-7528
■ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	* <u>88:88</u>
壁紙:なし 設定	スクリーンセーバ: モード: なし 記動時間: 030 分 ブ 📐
タッチパネル設定: キャリプレーション 画面清掃 ア	システム設定: 時刻設定
ストップ HOST RECOVERY	
[®] ① 電源 📃 イジェクト 🥑	リセット 🕢 スタート 🕥 ストップ

図 2.77 画面タブ

(1) 壁紙設定

壁紙を選択して[設定]ボタンを押すと、パネルのバックグラウンドの表示を変えることができます。

>>> PS5230A	■ 1 - 19世紀 ■ 1 - 19世紀 ■ 1 - 19世紀
■ 8 基本	スクリーンセーバ: ・ ・ ・ モード: なし・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ストップ HOST RECOVERY	
¹⁸ ① 電源 📃 イジェクト 🧭	リ <mark>セット</mark> () ストップ

図 2.78 壁紙設定

a) 壁紙

パネルの背景に表示するビットマップを選択します。 選択したビットマップは、Sample エリアに表示されます。

b) [設定] ボタン

選択した壁紙に変更され、即時に反映されます。

- (2) タッチパネル設定
 - a) キャリブレーション

タッチパネル上で、左下、右下、右上の3点を触れることにより、タッチパネル上の感知ポジ ションを修正(キャリブレーション)します。 画面の指示に従って、パネルに触れてください。 なお、キャリブレーションは、装置の再起動後に有効となります。



図 2.79 キャリブレーション画面

b)画面清掃

[画面清掃]ボタンを押すと画面が真っ暗になるので、その間にパネル上を指定の清掃用具で 清掃します。

[清掃終了] ボタンを押すと、元の画面に戻ります。



図 2.80 画面清掃中

- [清掃終了]ボタン 画面清掃モード画面を終了して、画面メニューに戻ります。
- (注)[清掃終了]ボタンは、画面清掃の邪魔にならないよう、一定の速度で画面を反時計回りに移動 します。
(3) スクリーンセーバ

スクリーンセーバを設定すると、設定時間内にパネル操作がない場合は、パネル画面上にスク リーンセーバを起動します。

PS5230A		W	😭 ユーザ管理者
山田 基本 日本 セットアップ	📸 1-982 🕠 🛄	*	88:88
^{毀紙: なし} ・ 設定	Sample	スクリーンセーパ: モード: なし 起動時間: ScreemSV	R
タッチパネル設定: キャリフレーション	画面清掃	システム設定: 時刻設定 ・	スイッチ配置… ○ このでの
HOST RECOVERY	トップ HANNEL MODE A		
⁹ ① 電 源	躗 イジェクト 📀	リセット	スタート マストップ ストップ マ

図 2.81 スクリーンセーバのモード設定

a) モード

スクリーンセーバのモードを選択します。

b)起動時間

スクリーンセーバが起動される時間を設定します。 初期値は30分で、1~120分まで設定可能です。 なお、上記設定可能値以外を指定した場合、最小値または最大値が設定されます。

- (4) システム設定
 - a)時刻設定(ユーザ管理者)

時刻の設定を行います。

[時刻設定]ボタンを押すと次の画面が表示されます。[はい]ボタンを押すと時刻設定画面に 移動します。

確認							
?	時刻画	画面に移動 電源再投入	します。 が必要	,時刻設 です。よ	定を行った場 ろしいですか	合、終了時)?	
		はい			いいえ		
	۲X	2.82	時刻	設定の	確認画面		

設定は、ユーザ管理者だけが可能です。データランプが点灯中は設定できません。 また、設定後は、電源の再投入をしてください。(副操作パネルの MAIN FRAME REMOTE /LOCAL スイッチを REMOTE でご使用の場合、富士通メインフレームより電源を切断し再 投入してください。)

時刻	設定					
	2004 年 12 月 01 日 11 時 38 分 45 秒	Y	2005 年 ////////////////////////////////////	設 定 キャンセル		
	図	2.83	時刻設定画面			
[OK] ボタンを	[OK] ボタンを押してシステムを終了してください。					
	情報					
	🚺 時刻設定	を行いま	した。システムを終了します。			
	ОК					

図 2.84 システム終了の確認画面

(注)時刻は、最大2025年12月31日まで設定可能です。

b) スイッチ配置

パネル下部側に位置するスイッチ群の配置を変更することができます。

[スイッチ配置] ボタンを押すと次の画面が表示され、スイッチの配置を変更できます。 リストから、移動する項目を選択して▲ボタンや▼ボタンにより、配置場所を移動します。

スイッチ配置		
 ① 電源 ① ゴジェクト ② リセット 		設 定 キャンセル
		初期化
電源スイッチ機能: 有効	•	

図 2.85 スイッチ配置変更画面

- ・ [設定]ボタン
 指定したスイッチ配置を確定し、画面メニューに戻ります。
- [キャンセル]ボタン
 変更したスイッチ配置を破棄して、画面メニューに戻ります。
- 〔初期化〕ボタン
 このボタンを押すと、工場出荷時のスイッチ配置に戻ります。

【電源スイッチ機能】
 電源スイッチボタンを有効にするかどうかを選択します。
 「有効」:トップ画面において、電源スイッチが有効になります。
 「無効」:トップ画面において、電源スイッチが常にグレーアウトされ無効となります。
 電源スイッチ機能の設定変更は、ユーザ管理者/メンテナンス管理者権限でだけ可能です。

2.2.5 副操作パネル

•

副操作パネルは、装置右側面の上部にあり、小扉を開けて使用します。 副操作パネルの配置を図 2.86 に、副操作パネルの機能を表 2.8 に示します。











表 2.8 副操作パネルの機能

名称	7		機	能	有効条件
REMOTE/LC (スイッチ)	DCAL	本装置の電 ることがで	፤源投入・切断モ ⁵きます。	ードを切り替え	常時有効です。
POWER ON (スイッチ)		本スイッチ の電源が投	を操作すること 入されます。(注	により、本装置 1)	REMOTE/LOCALスイッチ が LOCAL 側にあるとき、常 時有効です。
POWER OFF (スイッチ)		本のまんにたりしゃでま入す、ス電たALAたりしゃらすで。イ源、RMの見のすで。すりの見の見の見の見のした。	を操作すること を操作するこ。 スイッチを操作する スイッチを操作す マクリアをすり なたのの なたのの なたのの なたのの なたのの でら の でら の の で ら の の で の の の の の の の の の の の の の	により、本装置 することにより、 なす。押しないです。 がした、 とにた シ し し し た い し た い し た い し た い し た に よ り 、 た に よ り 、 た に よ り 、 た に よ り 、 の す 。 一 た の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の で の の で の	REMOTE/LOCAL スイッチ が LOCAL 側にあるとき、有 効です。
POWER (表示)		点灯により、本装置の電源が投入中である ことを示します。		_	
ALARM (セグメント 表示)	0	P_RDY	装置の電源が打 とき、正常であ す。	殳入されている ることを示しま	—
	1	INPUT	装置の入力電》 ます。	原の異常を示し	_
	2	LV1	入力制御電源の す。	D異常を示しま	_
	3	UPS	UPS の異常を	示します。	—
	4	FV1	フラッシュ電》 ます。	原の異常を示し	_
	6	C-COV	フラッシュ定ネ 部の保護カバ- します。	皆用コンデンサ − オ − プンを示	_
	8	нусоу	高圧コネクタ語 オープンを示し	部の保護カバー ,ます。	_
	A	ADPE	ADP ボードの す。)異常を示しま	—
	С	IPHW	コントローラ語 ア異常を示しま	邪のハードウェ さ。	_
	U	UPC	UPC ボードの す。)異常を示しま	_

(注1)本装置のオプション搭載状況により、システムの立ち上がり時間が異なります。

2.2.6 オートロードパネル

オートロードパネルは、装置右側面上部にあります。

オートロードパネルのスイッチ配置を図 2.87 に、各スイッチの機能を表 2.9 に示します。



標準装置の場合

図 2.87 オートロードパネルの配置

名称	機能	有効条件
用紙ロード	用紙がトラクタにセットされているとき、このスイッ	停止中に有効で
ロードスイッチ	チを押すことにより、用紙は自動的にスタッカテーブ	す。本スイッチの
	ルまで送られます。本機能をオートロードと呼びます。	発光ダイオードが
	このとき、主操作パネルの表示は オートロード中	点灯中は、用紙が
	となります。用紙がスタッカまでセットされてい	自動的に送られて
	る場合は、用紙幅測定を行います。このとき、主操作	いる状態を表しま
	パネルの表示は 用紙幅測定中 となります。	す。
用紙ロード	オートロード動作を緊急停止する必要が生じたとき、	オートロード動作
中止スイッチ	このスイッチを押します。	中に有効です。
用紙長	現在使用している用紙長を表示します。	-
(表示)		
長いスイッチ	このスイッチを押すことにより、用紙長の表示が 1/2	停止中で装置内に
	インチごとに大きくなります。	紙がない時に有効
	(ロードスイッチを押すことにより設定されます。)	です。
短いスイッチ	このスイッチを押すことにより、用紙長の表示が 1/2	停止中で装置内に
	インチごとに小さくなります。	紙がない時に有効
	(ロードスイッチを押すことにより設定されます。)	です。
用紙	このスイッチを押すことにより、用紙がスタッカ側へ	停止中に有効で
前進スイッチ	1/2 インチ長送られます。	す。
	さらに押し続けると、連続的に用紙が送られます。	
用紙	│ このスイッチを押すことにより、用紙がホッパ側へ	停止中に有効で
後退スイッチ	1/2 インチ長送られます。さらに押し続けても、1/2	す。
	インチ長以上は動きません。	
	(注)用紙のミシン目を合わせる場合は、データの未	
	定着部分をなくすため、必ず本スイッチを押し	
	て合わせてください。	
山谷選択スイッチ	│ このスイッチを押すことにより、スイングガイドの動	停止中に有効で
	く方向を選択します。	す。
	(用紙づまり時に用紙長をトラクタの目盛りに合わせ	
	たあとで、指定位置での用紙ミシン目の山、谷を選択	
	するときに使用します。)(2.3.2 参照)	
山、谷	指定位置でのミシン目の山、谷方向を表示します。	-
(表示)		

表 2.9 オートロードパネルの機能

2.2.7 スタッカパネル

スタッカパネルは、スタッカ部上部に配置し、装置正面のスタッカ右カバーを開けて使用します。 スタッカパネル、用紙引き力切替レバーの実装位置と配置を図 2.88 に、それぞれの機能を表 2.10 に示します。



標準装置の場合



スタッカパネル



用紙ガイド (退避ポジション位置)

図 2.88 スタッカパネルの実装位置と配置

表 2.10 ス	、タッカバネ	ルの機能
----------	--------	------

名 称	機	能	有効条件
プリンタ	このスイッチを押すことに	より、プリンタはレディ状態になり	状態表示" 00 "の
スタート	ます。通常の動作では、ス	、タートとして使用されます。	ときまたは " OX "
スイッチ			で、その状態の原
			因が解消されたと
			き有効となりま
			す。LED 点灯中
			は、レテイ状態を
プロンタ	ニのフイッチを畑オと 宝	22日の動作が終了したあとに停止し	衣しより。 フタートの IED
フリンターマトップ	このスイッチを持すこ、美		
スイッチ	ます。		点り中に自然です。
プリンタ	このスイッチを押すことに	より、表示状態が" 00 "となります。	・。 ノットレディ中に
リセット		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	有効です。
スイッチ			
テーブル	このスイッチを押すことに	より、用紙の折り畳み動作に適した	印刷動作に無関係
オート	高さにテーブルが自動的に	上下します。このとき、用紙ガイド	です。
スイッチ	が設定値まで移動します。		本スイッチの
			LED 点灯中は、テ
			ーフルのオート状
	ーのフィッチを押まったに	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	態を表します。
テーノル	このス1 ツナを押りことに ます	より、テーノルの上下動作が停止し	印刷動作に無関係
ストップ	æ 9 °		て y 。 木 フ イ ッ チ の
24.97			
			ーブルのストップ
			状態を表します。
テーブル	このスイッチを押すことに	より、テーブルが下降します。この	印刷動作に無関係
ダウン	とき、用紙ガイドが、ポシ	ジョン位置まで開き停止します。	です。
スイッチ			本スイッチの
			LED 点灯中は、テ
			ーブルのダウン状
			態を表します。
用紙引き力	(1) 使用する用紙に応じて	、下表により用紙引き力切替レバー	停止中に使用しま
切替レバー	(スカッフローラ切替	ドレバー)位置を選択します。	ਰ.
		(日紙を使用りる場合でり。使用りる)	
	「「「「「「「」」」」。 「「」」「「」」 「「」」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「	{ししくにさい。 = 11 黒ユミシン日本の切断笑が発生	
	强りさる场古・八カレ、វ 弱すぎる提合・田紙バタい	り宜のミシノ日での切倒寺が光王」	
		<u>「里しほ里」</u> は破か田紙を使田する堤合	
	1 	<u>い/かゆの飛いでににつうるがの口</u> 64a/m ² ~82a/m ²	
	1	$(55ka \sim 70ka)$	
		$82a/m^2 \sim 157a/m^2$	
		(70kg~135kg)	

2.2.8 用紙前進/後退スイッチ

用紙前進/後退スイッチ装置正面上部にあります。 用紙前進/後退スイッチの配置を図 2.89 に、それぞれの機能を表 2.11 に示します。



図2.89 用紙前進/後退スイッチの配置

表 2.11 用紙前進/後退スイッチの機能

名	称	機能	有効条件
前進		このスイッチを押すことにより、用紙がスタッカ側へ 1/2 イン	停止中に有効です。
		チ長送られます。	
		さらに押し続けると、連続的に用紙が送られます。	
後退		このスイッチを押すことにより、用紙がホッパ側へ 1/2 インチ	停止中に有効です。
		長送られます。さらに押し続けても、1/2 インチ長以上は動き	
		ません。	

2.2.9 印刷確認スイッチ

出力ジョブの印刷開始時の印刷位置および印刷状態を確認するために、印刷ページを印刷確認領域 で自動的に印刷停止させることにより印刷確認操作/作業を容易にする機能です。

印刷確認スイッチ装置正面上部にあります。

印刷確認スイッチの配置を図 2.90 に、機能を表 2.12 に示します。



図 2.90 印刷確認スイッチの配置

表 2.12 印刷確認スイッチの機能

名 称	機能能	有効条件		
印刷確認	本スイッチを押すことにより、プリンタはレディ状態になり、	停止中に有効です。		
(注1)	印刷開始された確認該当ページが印刷確認領域で自動停止し、			
	ノットレディ状態となります。			
	LED 点滅中は、印刷確認有効状態を表します。			
	確認該当ページが確認位置で印刷停止後または印刷確認無効状			
	態時、LED は消灯します。			
(注1)下記の場合、印刷状態確認機能は無効となります。				

- ・レディ状態に遷移できない状態で印刷確認スイッチを押した場合
- ・印刷確認 LED 点滅状態で印刷確認スイッチが押された場合
- ・印刷確認 LED 点滅状態でストップ操作された場合
- ・印刷確認 LED 点滅状態でエラーがが発生した場合
- ・印刷確認 LED 点滅状態で電源断した場合

印刷確認機能が有効になると、印刷開始ページの先頭部分が印刷確認基準位置を超えた時点の印刷 長単位で自動停止します。

印刷確認領域を図 2.91 に示します。

印刷確認領域は搬送部出口から定着部入口までの領域、印刷確認基準位置は定着部入口から 6 インチの位置となります。



図 2.91 印刷確認領域

2.2.10 チャージカウンタ

チャージカウンタは装置右側面の上部、副操作パネルにあります。(図 2.86 参照) チャージカウンタの配置を図 2.92 に、チャージカウンタの機能を表 2.13 に示します。



COUNTER SW

図 2.92 チャージカウンタの配置

表 2.13 チャージカウンタの機能

名称	機能能	有効条件
COUNTER	印刷量のカウントを行います。 用紙送り方向に 26 インチ長印刷するごとに + 1 進みます。	-
COUNTER SW ON (スイッチ)	プリンタ使用時に設定します。	-
COUNTER SW OFF (スイッチ)	保守作業時に設定します。	-

2.2.11 CS SAVE スイッチ

本装置の CS SAVE スイッチは、装置右側面の上部、副操作パネルにあります。(図 2.98 参照) CS SAVE スイッチの機能を表 2.14 に示します。

表 2.14 CS SAVE スイッチの機能

名 称	機能	有効条件
CS SAVE	装置の制御情報を装置内の記憶媒	カウンタキーOFF
	体に書き込むことができます。	時

2.2.12 エマージェンシースイッチ

本装置のエマージェンシースイッチは、装置右側面の上部、副操作パネルの左上部にあります。 その機能を表 2.15 に示します。

このスイッチは、操作者または装置が危険な状態になるなどして、電源を直ちに切断したい場合に 使用します。

このスイッチを一度押すと、印刷の保証なしに直ちに電源が切断されます。



表 2.15 エマージェンシースイッチの機能

名 称	機能	有効条件
UNIT EMERGENCY	緊急電源切断スイッチ	常時

2.3 用紙のセット

- 2.3.1 用紙をセットする前に
 - 用紙をセットする前に、必ず次の事項を確認してください。
 - ・用紙づまり対処後に用紙をセットする場合

用紙補給の操作手順を行う前に、すべての用紙搬送経路を清掃してください。

- ・用紙幅の違う用紙をセットする場合
 - プリンタの清掃をしてから、新しい用紙をセットしてください。
- ・セットする用紙と用紙箱の状態の確認

用紙づまりやプリント品質の低下が発生しないように、用紙の状態を確認してください。



ポリ袋から用紙を取り出してセットする場合や、ポリ袋を切り取 った場合には、ポリ袋の破片が用紙に付着しないように注意して ください。用紙に付着したポリ袋の破片は、用紙づまりやプリン ト品質の低下の原因となります。 ポリ袋の破片



以下に用紙のセット手順を説明します。

スタッカ部の各部が次の状態にあることを確認します。

- a. スタッカテーブル上に用紙が残っておらず、テーブルスイッチがオート状態にあること。
- b. 用紙引き力切替えレバー(スカッフローラ切替レバー)が、使用する用紙厚に対応した位置 にあること。(2.2.7 参照)

用紙箱を装着します。

標準装置の場合

- a.用紙箱をホッパ部の下に置き、用紙箱ガイドに付き当てます。
- b. 右側ガイドのツマミを回してネジをゆるめます。
- c.右側ガイドを移動して用紙箱右側面に突き当てます。
- d.ツマミを回してネジを締め、右側ガイドを固定します。



2.3.2 オートローディングによる用紙のセット

用紙先端を図 2.94 のようにします。





用紙を搬送部に装着します。 標準装置の場合

a.ブラシ開閉レバーを開方向に回し、用紙ガイドとブラシを開状態にします。

b. 用紙を用紙ガイドの下に通して装着します。(図 2.95 参照)

137

c.ブラシ開閉レバーを閉じ、用紙ガイドとブラシが閉状態となっていることを確認します。



図 2.95 用紙の装着

トラクタカバーを開けます。

用紙先端をトラクタ上の「用紙先端位置」の白線に合わせ、用紙スプロケット穴を手前側トラ クタピンに挿入します。

奥側トラクタピンをトラクタ合わせつまみにより、用紙幅(奥側スプロケット穴)に合わせま す。

トラクタ部にセットした用紙の張りが強すぎると,用紙外れや搬送不良による用紙づまりが発生します.用紙にゆるみを持たせるためには,まず,用紙をピンと張った状態にセットし,用紙の 具合を見ながらトラクタ合わせつまみを[狭]の方向に回して調整します.

・ オートロードパネルの"用紙長"表示が使用する用紙長に合っていることを確認します。

オートロードパネルの用紙ロードスイッチを押します。これにより用紙は自動的に転写部、定 着部を経て、スタッカに送り込まれ、初期セットが完了します。万一、用紙搬送中において用 紙が引っ掛かった場合は、オートロードパネルの用紙ロード中止スイッチを押し、用紙を停止 させてその原因を取り除き、用紙破れがあった場合、紙片が搬送部内に残っていないか点検し 再度実施してください。



図 2.96 トラクタ部

(1) 用紙づまりが発生したときなどは以下の操作を行ってください。

ミシン目をトラクタの目盛りに合わせます。

ミシン目の山谷とオートロードパネル上の山谷表示ランプが同じになるよう「山谷選択」ス イッチを押します。

注) で目盛りに合わせたときにミシン目の山谷と山谷表示が合っていても山谷スイッチを 押してください。

(2) 用紙切断時の注意事項

用紙を途中で切断して排出する必要のある場合は、下記の点に注意してください。

a. 用紙に損傷やストレスを与えないように切断してください。用紙の一部に損傷があると用紙排 出の際に残留紙片となり、次の印刷時に障害となる場合があります。

b.切断した用紙は用紙箱に戻して次の操作を行ってください。

c. 用紙の切断は下記の位置で行ってください。

標準装置の場合

用紙ガイドより外側で切断します。(図 2.97 参照)



図 2.97 用紙の切断処理

2.4 用紙の取出し



20kg(用紙 3000 枚)以上の媒体を運ぶときは、必ず2人以上また は運搬台車をお使いください。

テーブルスイッチをダウンすると用紙の取出し位置でストップします。

用紙の途中でそのジョブが終わり用紙を取り出す場合は、折畳み部分を用紙1~2枚分残して ペーパーナイフで切断します。

最終用紙がスイングガイド内に残った状態で停止した場合は、用紙を引き降ろしてたたんでく ださい。

スタッカテーブルの取手を持って、テーブルを引き出します。(図 2.98 参照)

用紙をテーブルから取り出してからテーブルを元に押し込み、残っている用紙がスタッカテー ブルの右辺に沿うようセットし直します。

テーブルスイッチをオートにします。

スタッカテーブルが十分上方へ到達するように、テーブル上の用紙のフォーミングを調整しま す。(図 2.99 参照)



図 2.98 用紙の取出し

テーブル上昇時()用紙が左右側にずれて()スタッカノットレディとなることがあります。(の部分で用紙がガイドに当たる。)

その場合は、スタッカテーブル停止後、用紙を元に戻してください。



図 2.99 用紙のフォーミング調整



 ・スタッカテーブルの上下動作中またはテーブルオート/ダウンス イッチ操作時はスタッカ内部に手を入れないでください。
 ・スタッカテーブルの下に手などを入れないでください。
 怪我(指挟みなど)のおそれがあります。



装置内の安全スイッチには手を触れないでください。 プリンタ装置が急に作動状態となり、怪我(指挟みなど)のお それがあります。

ペーパーナイフの取り扱い

・ペーパーナイフは指定の場所に置いてください。

・他の場所に置かれますと、テーブルに挟まれ破損する場合があり危険です。



図 2.100 ペーパーナイフの置き場

2.5 消耗品(消耗部品を含む)の交換

本装置の消耗品の交換時期は、パネルのメッセージエリア、および表示・操作エリアのランプで表示されます。表示には、寿命が近づいた場合のニアライフ表示と寿命であることを示す状態表示があります。各消耗品の状態表示と意味を表 2.16 に示します。

項	消耗品(ニアライフ表示)	作業内容
1	トナーを補給してくださ	トナーを補給してください。
	<i>د</i> ۱.	
2	トナーを補給してください。	トナー補給および以下のどちらかN個の消耗品を交換してく
	N個の消耗品があります。	ださい。
		・現像剤(F)
		・トナー回収容器
		・キットF
		・脱煙フィルタ
3	N個の消耗品があります。	以下のどちらかN個の消耗品を交換してください。
		・現像剤(F)
		・トナー回収容器
		・キットF
		・脱煙フィルタ

表 2.16 消耗品交換一覧表

(注1)ニアライフとは、消耗品が寿命に近づいたことを意味します。

(注2)消耗品がニアライフ状態でも、印刷は継続して行うことができます。寿命になると印刷 を停止します。 (1) ニアライフ表示時の処置方法

>>> P\$5230	₩ % -61-9	10
用紙情報: 000: DEFAULT レイアウト情報: 000: DEFAULT 動作モード磁祝: CHANNEL MODE NETWORK MODE		表示・操作エリア のランプ点灯
スタート HOST RECOVERY III CHANNEL MODE) IJセット 🕢 スタート 河 スト	メッセージエリア へのメッセージ表示 ップ

[ストップ]スイッチを押し、装置をストップ状態にします。

図 2.101 ニアライフ発生時の表示

「セットアップ」タブを表示させます。



図 2.102 「セットアップ」タブ

PS5230				-81-V
	🖁 ユーザ酸定 🗖 i	580		88:88
	יאמע אליד	D SOURCE TEF	FNP	
消耗品名	残量 [5] 消耗品多	3換作業	_	
🔔 トナー (F) 🍛	開始	消耗	品ログ	
トナー回収容器	000 188%			
🖉 सक्रम (F) 🗳	000 19896			
🛹 ‡ 🤉 ト F 🛛 🧕	000 19896	定期交	8.#B	
	000 88%			
	ļ			
Υ				
	1 - 10 - 10	-		
	r 2 2			
HOST RECOVERY	ANNEL MODE	N		
*() 2	2 イジェクト	🥑 リセット	スタート	() ストップ
			¥	
t i	本ボタ: 品ログ	ンは富士通 <mark>メインフ</mark> を採取するように通	レーム に対して、消耗 知するためのボタンで	
残量表示ラン	ブ す。			
	一連の	父撄操作元 」 後に一度	をたけ押してくたざい。	

「セットアップ」タブの「消耗品」タブを表示します。

図 2.103 「消耗品」タブ ニアライフ表示

残量表示ランプが緑で表示される消耗品は、残量が十分にあるものを意味します。 残量表示ランプが黄で表示される消耗品は、「ニアライフ」を意味します。 残量表示ランプが赤で表示される消耗品は、「寿命」を意味します。

交換したい消耗品の [開始]ボタンを押します。 これ以降の詳細手順は、「2.5.1 項」以降を参照してください。 また、操作完了後は上記の画面に戻りますので、一度だけ [消耗品ログ]ボタンを押してく ださい。 2.5.1 トナー補給



(1) ニアライフ時

印刷中に、「トナー(F)を補給して下さい」が表示されたとき、下記手順でトナーの補給が できます。



図 2.104 トナー補給フロー(ニアライフ時)

(2) 状態表示"04"が表示されたとき、下記手順でトナーの補給ができます。



(3) トナー(F)補給作業トナー(F)補給作業は、以下の手順で行います。

パネルの「トナー (F)」に対応する[開始] ボタンを押します。



右前カバーを開けます。



新しいトナーカセットをトナーカセット 受け台の溝に滑り込ませ、突き当たる位置 まで押し込みます。



トナーカセットロックレバーを持ち上げ てトナーカセットをロックします。

補給部蓋を手前に引き出します。





トナーがすべて落ちたことを確認します。

補給部蓋を奥に突き当たるまで押し込み ます。





補給部蓋

トナーカセットロックレバーを引き下げ ます。



空のトナーカセットを取り外します。

右前カバーを閉じます。



パネルの[完了] ボタンを押して、次に[消 耗品ログ] ボタン、[スタート]スイッチを 順に押します。

PS5230					-E1-7
	📆 ユーザ設定				88:80
	170h Un	UKU 🖳 🎫 🟆	JEF 🙀 F	NP	
海机品名	残量的 清	用品交換作業			
🔔 トナー (F) 🌑		Mite	消耗品ログ		
10 FF-BR88	000	Mit	S		
👌 सक्षम (F) 🗳	000	MH:			
🛹 ‡ y k F 💊	000	Mili	定期交换部品		
	000	网络	67		
2	トップ				
HOST RECOVERY	IANNEL MO	DE A			
20 6 15	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	5 L 🙆 11 40 L		A 70-L	@ 7 b
	1913	029F		-6Y	(Xry)

2.5.2 現像剤(F)の交換



現像剤を目や口に入れないでください。 現像剤の交換時に手についた現像剤は速やかに洗い落とし、目 や口に入れないでください。また、誤って口に入れてしまった ときには、速やかに医師に相談してください。

中扉を開くときは、印刷動作が停止していることを確認してく ださい。

(1) ニアライフ時

ストップ状態(状態表示"00")で「セットアップ」タブの「消耗品」タブを表示し、現像剤(F)が 黄/赤色の表示がされたとき、下記手順で処理します。



図 2.106 現像剤(F)の交換フロー(ニアライフ時) (続く)



図 2.106 現像剤(F)の交換フロー(ニアライフ時) (続く)



(注)現像剤の交換中に電源が切断され、再投入されたときと、現像剤の交換がエラーで中断し、 [リセット]ボタンを押したとき、下記メッセージを表示します。



図 2.107 現像剤(F)の交換メッセージ(ニアライフ時)

(2)状態表示"06"時

状態表示"06"が表示されたとき、下記手順で処理してください。 〔注意〕現像剤交換における現像剤の排出および投入のときは、現像剤飛散防止のため現像器 ユニットをドラム側に上げた状態のままで行ってください。



図 2.108 現像剤(F)の交換フロー(06 表示時) (続く)



図 2.108 現像剤(F)の交換フロー(06 表示時) (続く)



図 2.108 現像剤(F)の交換フロー(06 表示時) (続き)

(注)現像剤の交換中に電源が切断され、再投入されたときと、現像剤の交換がエラーで中断し、 [リセット]ボタンを押下したとき、下記メッセージを表示します。



図 2.109 現像剤(F)の交換メッセージ(06 表示時)

(3) 現像剤(F)の交換作業

パネルの「現像剤 (F)」に対応する[開始] ボタンを押します。



装置背面右カバーを開き、空ボトルを取り 出します。



空ボトル

装置正面の左前カバーと右前カバーを開 き、次に中扉を開きます。

装置正面右下の現像剤排出口に空ボトル をセットし、[次ページ]ボタンを押します。



装置正面右中央の現像剤排出レバーロックレバーを上に上げてロックを解除し、排 出レバーを手前方向に引いてオープン側 にしたあと、[次ページ]ボタンを押します。



現像剤排出は約3分で終了しますが、現像 剤が現像剤ボトルに表示している排出量 確認ラインまで回収されていることを確 認してください。

- ・確認ラインまで回収されていないときは [前ページ]ボタンを押します。
- ・確認ラインまで回収されているときは [次ページ]ボタンを押します。
- ・排出された現像剤は不燃物回収サービス を実施しております。 詳細については、「4.3 消耗品、消耗部品 の廃却」を参照ください。



排出レバーをクローズ側に戻し、ボトルを 現像剤排出口から外します。



装置正面右中央の現像剤投入口の蓋を開 けてジョーゴをセットしたあと[次ページ] ボタンを押し、新しい現像剤をジョーゴロ より投入します。



ジョーゴを外し、現像剤投入口に蓋をして 中扉および左前カバーと右前カバーを閉 じ、現像剤空ボトルを装置背面右カバーの 内に収納します。 パネルの[完了] ボタンを押して、次に[消 耗品ログ] ボタン、[スタート]スイッチを 順に押します。

P\$5230				2	-E1-7
	9 📸 =- 1980 B				88:8
	W701	J.M.KU 🖳 🖽	JEF FNP		
消耗品名	務課 10	消耗品交换作案			
F= (F)	3	Mile	消耗品ログ		
	000	Mile	53		
्री सक्स (F)	000	F010			
#+21F	000	MIN	定期交换部品		
三/ 股重フィルタ	000	MHG	63		
	ストッ	7			
	CHANNEL A	ADDE A			
NOT RECOVERT	or a little of			_	
· ** ① * 章	2 イジ:	בסר 📀 ודי	/F 🔷	> スタート	(T) 2 トッ

2.5.3 トナー回収容器の交換



トナーを目や口に入れないでください。 トナーの交換時に手についたトナーは速やかに洗い落とし、目 や口に入れないでください。トナーをこぼしたときなどにこの 粉塵を長いあいだ多量に吸い込むと、肺に影響を及ぼすことが ありますので、ご注意ください。また、このようなときには、 速やかに医師に相談してください。

(1) ニアライフ時

ストップ状態(状態表示"00")で「セットアップ」タブの「消耗品」タブを表示し、トナー回収容器の交換表示がされたとき下記手順で処理します。



図 2.110 トナー回収容器の交換フロー(ニアライフ時)

(2) 状態表示 "05"時状態表示 "05"が表示されたとき、下記手順で処理してください。



図 2.111 トナー回収容器の交換フロー(05 表示時)
(3) トナー回収容器の交換作業

パネルの「トナー回収容器」に対応する[開 始] ボタンを押します。



背面左カバーを開きます。

トナー回収容器の両サイドに手をかけ、手 前に引き出します。



回収容器

蓋

蓋

容器の蓋をスライドさせて閉じます。

トナー回収容器を添付のビニール袋に入 れます。



新しいトナー回収容器の蓋をスライドさ せて開き、蓋の突出部を切り込みのある部 分で折り曲げます。



新しいトナー回収容器を装着します。

トナー回収容器はトナー補給後の空ト ナーカセットを使用します。



パネルの[完了] ボタンを押して、次に[消 耗品ログ] ボタン、[スタート]スイッチを 順に押します。

PS5230				₩ -E2-7
. ax // 00000	1 1- HOE	C7 88		
	1000	(I) mmmel II	trans Directions I	
	1470F		JEF SFNP	
消耗品名	務業的河	用品交換作業		
A ht- (F)		Mite	消耗品ログ	
			KA	
1 P2-BK8B	1000	P096	-	
G RRM (F)	000	Mitta		
	000	NO16	定期交换部品	
三/ 脱環フィルタ	000	Milia	Gri Th	
	ストップ	· · · · · ·		
DST RECOVERY	CHANNEL MO	DE ZA		
0	1.1	51 🖉 11 de 1		
	1/1:	7 VE91		

2.5.4 キットFの交換



トナーを目や口に入れないでください。 トナーの交換時に手についたトナーは速やかに洗い落とし、目 や口に入れないでください。トナーをこぼしたときなどにこの 粉塵を長いあいだ多量に吸い込むと、肺に影響を及ぼすことが ありますので、ご注意ください。また、このようなときには、 速やかに医師に相談してください。

中扉を開くときは、印刷動作が停止していることを確認してく ださい。

(1) ニアライフ時

ストップ状態(状態表示"00")で「セットアップ」タブの「消耗品」タブを表示し、キットFの 交換表示がされたとき、下記手順で処理します。



図 2.112 キットFの交換フロー(ニアライフ時)

(2) 状態表示"0A"

状態表示"0A"が表示されたとき、下記手順で処理します。



図 2.113 キットFの交換フロー(0A 表示時)

(3) キットF(クリーナブラシ、ブレード)の交換作業

パネルの「キットF」に対応する[開始] ボ タンを押します。



装置正面の右前カバーと左前カバーを開き、次に中扉を開きます。





 クリーナ プラシ蓋

キットFに添付の回収袋の口を、クリーナ ブラシ実装部の入口にセットします。

回収袋の奥に接着された回収棒を図のよ うに持ち、クリーナブラシ心棒の中に押し 込みます。



- 回収袋



1

回収棒をクリーナプラシとともに徐々に 引き戻し、回収袋の中に回収します。

回収袋の口をブラシ実装部から取り外し ます。

新しいクリーナブラシをブラシ実装部内 に挿入し、十分奥まで押し込みます。

クリーナブレードのノブを持って手前に 引き出します。

新しいクリーナブレードをガイドに沿っ て挿入し、十分奥まで押しつけて装着しま す。この場合クリーナブレードに塗布して あるカイナ(白い粉)を拭かないでくださ い。

新しい クリーナ プレード

クリーナ ブラシ

クリーニング ブレード

クリーナプラシ蓋を取り付け、ツマミネジ を締めて固定します。

中扉および左前カバーと右前カバーを閉 めます。 パネルの[完了] ボタンを押して、次に[消 耗品ログ] ボタン、[スタート]スイッチを 順に押します。

PS5230	-		Щ e	😭 -82-7
	8 2-9882 🗔 i			88:88
	701	I SOLO I LEF	FNP FNP	
消耗品名	残量10 消耗品3	調作業		
🔔 トナー (F) 🗳	5010		80 <i>7</i>	
10 FT-BR88	000 88%			
👌 सक्स (F) 🕥	000			
#+2hF 🥥	000	定期交	R86	
一 設置フィルタ 3	000	<u> </u>	3	
2	トップ			
HOST RECOVERY	ANNEL MODE	A .		
* (1) * *	2 1ÿェクト	📀 שלאר	スタート	() ストップ

- 2.5.5 脱煙フィルタの交換
 - (1)ニアライフ時

ストップ状態(状態表示"00")で「セットアップ」タブの「消耗品」タブを表示し、脱煙フィルタの交換表示がされたとき、下記手順で処理します。



図 2.114 脱煙フィルタの交換フロー(ニアライフ時)

(2)状態表示"0B"時 状態表示"0B"が表示されたとき、下記の手順で処理します。



図 2.115 脱煙フィルタの交換フロー(0B 表示時)

(3) 脱煙フィルタの交換作業

パネルの「脱煙フィルタ」に対応する[開始] ボタンを押します。



スタッカ左カバーを開けます。

脱煙フィルタカバーを開けます。



脱煙フィルタを手前に引き出します。



・脱煙フィルタ

新しい脱煙フィルタの上面表示を上にして、ボックス内に挿入します。

脱煙フィルタカバーを閉じ、ロックします。

スタッカ左カバーを閉じます。

パネルの[完了] ボタンを押して、次に[消 耗品ログ] ボタン、[スタート]スイッチを 順に押します。



2.6 ドラムユニットの取扱い

感光ドラムを取り扱う場合や保管しておく場合、特に次の点に注意する必要があります。

(1) 感光ドラム表面には絶対に素手で触らないでください。

(2) 火気、および酸・アルカリ・金属蒸気などの影響を受ける環境の元に置かないでください。

(3) 野外に放置しないでください。

また、感光ドラム周辺の部品(例えば、キットF)を着脱するときは、感光ドラムに傷をつけないように注意してください。

2.7 印刷品質の調整方法

印刷品質の調整は、以下の処理フローに従って処理します。

2.7.1 印刷濃度不良

印刷濃度不良が生じたときの処理を図 2.116 に示します。



図 2.116 印刷濃度不良が生じたときの処理

2.7.2 地汚れ(かぶり)

地汚れとは、印刷面全体または部分的にトナーのチリが発生することをいいます。地汚れが発生したときの処理を図 2.117 に示します。



図 2.117 地汚れ(かぶり)が生じたときの処理

2.7.3 印字抜け

印字抜けが生じたときの処理を図 2.118 に示します。(ミミズ状の抜け、縦筋状の抜け)



図 2.118 印字抜けが生じたときの処理

2.7.4 印刷むら(印刷濃度のむら) 印刷むらが生じたときの処理を図 2.119 に示します。



図 2.119 印刷むらが生じたときの処理

2.7.5 印字ぼけ(印字不鮮明)

印字ぼけとは印字の輪郭が不鮮明になることをいいます。 印字ぼけが発生したときの処理を図 2.120 に示します。



図 2.120 印字ぼけが生じたときの処理

2.7.6 定着むら

定着むらが生じたときの処理を図 2.121 に示します。



図 2.121 定着むらが生じたときの処理

2.7.7 像の乱れ(伸び・縮み・重ね印字・ずれ) 像の乱れが生じたときの処理を図 2.122 に示します。



図 2.122 像の乱れが生じたときの処理

2.7.8 ボイド

ボイドとはトナーが付着すべき黒印刷の部分が一部白点状に抜ける状態です。 ボイドが発生したときの処理を図 2.123 に示します。



図 2.123 ボイドが発生したときの処理

2.7.9 高温高湿下での印刷品質不良

温度や、湿度が高いとき印刷濃度設定を1または2で使用してください。(2.2.2.1 (2)および(3) 参照)

2.7.10 その他

湿度が高いとき室内温度を急に低下させると、装置が結露して印刷が不鮮明になったり、用紙づま りが発生しやすくなったりするので注意してください。

2.8 異常時の処理

本装置は、異常で停止した場合、主操作パネルに「状態表示」と「メッセージ表示」を行います。 この内容に従って適切な処置をとる必要があります。状態表示は2桁で表し、上位桁はエラー発生原 因の機構を示し、下位桁は詳細原因を示します。上位桁の内容を表 2.17 に示します。

表示	エラー発生原因の機構
Ox	定常状態(正常状態および用紙や消耗品の補給、カバーの開閉忘れなど
	に関する通知)
1x	紙送り、転写機構エラー
2x	定着機構エラー
Зx	スタッカエラー
4x	用紙処理装置(BTS)エラー
5x	フォームオーバレイデータ処理エラー
6x	ドラム、プロセス機構エラー
7x	光学系エラー
8x	制御部エラー
9x	帯電器、電源部エラー
Ax	ヒューズ断、サーキットプロテクタトリップ、ファンサーマルアラーム

表 2.17 「状態表示」の上位桁の内容

2.8.1 主操作パネルの表示と復旧手段

操作パネルの表示レイアウトを図 2.124 に、状態表示、メッセージ表示に対応する復旧手段を表 2.18~表 2.27 に示します。

再スタートの手順については「2.8.2 再スタート手順」を参照してください。



状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
-			スタート	印刷が可能な 状態を示しま す。	
			印刷中	印刷中を表し ます。	
		トナーを補給して下さい。	スタート	トナーが残り 少なくなった ことを表しま す。	トナーを補給します。
		◇上位装置電源断◇	スタート	ホストの電源 が投入されて いなケーブルが 接続されてい ません。	ホストの電源を投入するか またはケーブルを接続しま す。
	(注1)	データエラー=XX XX: Iラ-コード 12: SA オ-タ 13: SLD オ-タ' 14: オ-タ'-インバリッド 17: フォ-ムズ・オ-バレイ バッファフル 18: フォ-ムズ・オ-n゙レ/ n゙タ-ンなし 1A: フォ-ムズ・オ-n゙レ/ データュラ- 10: 印刷モ+ド 指定ミス /縮刷モ+ド15- /MPL・TM 指定ェラ- 1E: フォ-ムズ・オ-n゙レ/ 1D エラ- 1E: フォ-ムズ・オ-n゙レ/ 1D エラ- 1F: フォ-ムズ・オ-n゙レ/ 41,2´ェラ- 20: レングスエラ- 23: コマンドシ-ケンスエラ- 25: 文字セット 1D エラ- 26: 文字-L* 未定義 2A: 文字ロ-ディング・タイムアウトエラ- 28: オ-n゙レ/ロ-ディンガ・タイムアウトエラ- 34: イメ-ジデ-タェラ-	スタート	印刷データに 異常がありま す。	[ストップ] スイッチを押 します。
-	(注1)	リクエスタ接続不可	スタート	リクエスタサ ーバとの接続 ができなかっ たため、資源の ダウンロード に失敗しまし た。	リクエスタサーバの電源を 投入するかまたは LAN ケ ープルを接続します。その 後、プリンタ装置を再起動 します。 復旧しない場合は、[セット アップ] - [FNP] タブ にて、ネットワークアドレ ス設定や、論理プリンタの 設定を確認します。
PL			プリンタ 準備中	電源投入後、装置が初期状態 から印刷可能 状態までの期間を表します。	START 状態になるまで待 ちます。
	(注2)	66XXの資源ロード中	プリンタ 準備中	リクエスタサ ー バ か ら 、 66XX 用文字 資源をダウン ロードしてい ます。	START 状態になるまで待 ちます。

表 2.18 "Ox"(続く)

(注1) F66XX モードの場合のみ発生

(注2) F66XX 用論理プリンタのサポートサーバ設定が、「PrintWalker/PM」であり、かつ装置立ち上げ時の動作モードが Network Mode の場合に表示されます。

表 2.18 "Ox"(続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
00			ストップ	[ストップ] ス イッチが押さ れました。	[スタート] スイッチを押 します。
		印刷データが残っています。	ストップ	印刷 データが プリンタ内に 残っているこ とを表します。	
		トナーを補給して下さい。	ストップ	トナーが残り 少なくなった ことを表しま す。	トナーを補給します。
		トナーを補給して下さい。 N個の消耗品があります。	ストップ	トナーが残り ナーくなき、消がなっし、 ががあるし、 りたま 個交こ。	トナーを補給します。 消耗品タブを確認して該当 する消耗品を交換します。
01	ER01-01	◇ペーパーエンド◇ 用紙を補給して下さい。	エラー	印刷すべき用 紙がなくなり ました。	新しい用紙をセットし、パ ネルの [スタート] スイッ チを押します。
	ER01-04	◇用紙コード未登録◇ 指定された用紙情報が登録されてい ません。用紙コード:XXXX	エラー	指定された用 紙情報が登録 されていませ ん。	パネル [セットアップ] - [用紙]タブより、用紙情 報の登録を行ってくださ い。
02	ER02-01	◇スタッカフル◇ スタッカ内の用紙を取り出して下さ い。	エラー	スタッカテー ブル上の収容 枚数が規定量 になりました。	スタッカテーブル上の用紙 を取り出し、パネルの[ス タート]スイッチを押しま す。
04	ER04-01	◇トナー(F)エンプティ◇ 右前カバーを開き、オペレータガイ ドに従いトナーホッパFにトナーを 補給して下さい。	エラー	トナーホッパ 内のトナーが 少なくなりま した。	オペレータガイドに従って トナーを補給します。その 後、パネルの [スタート] スイッチを押します。
05	ER05-01	◇トナー回収容器フル◇ 開始ボタンを押し、交換操作を行っ て下さい。	エラー	トナー回収容 器内のトナー が規定量にな りました。	パネルの消耗品タブ画面の [開始]ボタンを押し、メッ セージに従って交換操作し たあと、パネルの [スター ト] スイッチを押します。
	ER05-02	◇トナー回収容器未装着◇ 背面のトナー回収容器カバーを開 き、トナー回収容器を装着して下さい。	エラー	トナー回収容 器のハンドル が、適当な位置 にセットされ ていません。	ハンドルの位置を確認し、 再セットします。その後、 パネルの[スタート]スイ ッチを押します。
	ER05-04	◇トナーシャッタFオープン◇ 右前カバーを開き、トナーシャッタ Fを閉じて下さい。	エラー	トナー補給部 の蓋が開いて いました。	トナー補給部の蓋を押し込 み、パネルの [スタート] スイッチを押します。
06	ER06-01	◇現像剤(F)劣化◇ 開始ボタンを押し、交換作業を行っ て下さい。	エラー	現像剤が交換 時期になりま した。	パネルの消耗品タブ画面の [開始]ボタンを押し、メッ セージに従って交換操作し たあと、パネルの [スター ト] スイッチを押します。
08	ER08-02	◇定着器カバーオープン◇ 定着器を閉じて下さい。	エラー	定着器上カバ ーが閉じてい ません。	定着器上カバーを閉じて、 パネルの [スタート] スイ ッチを押します。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
08	ER08-03	◇定着器カバーオープン◇ 定着器を閉じ、用紙位置、用紙の山 谷を確認、選択して下さい。	エラー	印刷中に定着 器が開きまし た。	定着器上カバーを閉めま す。その後、パネルの[リ セット]スイッチを押しま す。次に用紙を正規の位置 に合わせ、オートロード// ネルの山谷選択スイッチを 押して、指定位置での用紙 ミシン目の山谷を合わせま す。その後、パネルの[ス タート]スイッチを押しま す。
	ER08-04	◇スカッフローラレバーリリース◇ レバーを使用中の用紙厚にして下さい。	エラー	用紙引き力切 替えレバー (ス カッフローラ 切替えレバー) がリリースの 位置にありま す。	用紙引き力切替えレバー (スカッフローラ切替えし バー)を使用中の用紙厚の 位置にして、パネルの[ス タート]スイッチを押しま す。
	ER08-05	◇スカッフローラレバーリリース◇ レバーを使用中の用紙厚にし、用紙 位置を確認して下さい。	エラー	印刷中に用紙 引き力切替ス レバー (スカッ フローラ 切替 えレバー)が リースの位置 にあります。	用紙引き力切替えしバー (スカッフローラ切替えし バー)を使用中の用紙厚の 位置にします。パネルの[リ セット]スイッチを押した あと、用紙を正規の位置に 合わせ、オートロードパギ ルの山谷選択スイッチを挑 して、指定位置での用紙 シン目の山谷を合わせ、/ ネルの[スタート]スイッ チを押します。(注)
	ER08-10	◇スカッフピンチローラユニット◇ スカッフピンチローラユニットを閉 じて下さい。	エラー	スカッフピン チローラユニ ットが閉じて いません。	スカッフピンチローラユニ ットを閉じ、パネルの[ス タート]スイッチを押しま す。
	ER08-11	◇ピンチローラユニットオープン◇ スカッフピンチローラユニットを閉 じ、用紙位置を確認して下さい。	エラー	印刷中にスカ ッフピンチロ ーラユニット が開きました。	スカッフピンチローラユニ ットを閉じます。パネルの [リセット] スイッチを担 したあと、用紙を正規の位 置に合わせ、オートロート パネルの山谷選択スイッチ を押して、指定位置での用 紙ミシン目の山谷を合わせ ます。その後、パネルの[ス タート] スイッチを押しま す。
	ER08-13	◇トラクタカバーオープン◇ トラクタカバー/用紙除去レバーを 正しい位置にして下さい。	エラー	トラクタカバ ーが閉じてい ません。	トラクタカバーを閉じ、F 紙除去レバーを正しい位置 にしてパネルの[スタート スイッチを押します。

表 2.18 "Ox"(続く)

表 2.18	"Ox"	(続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
08	ER08-14	◇トラクタカバーオープン◇ トラクタカバー/用紙除去レバーを 正しい位置にし、用紙位置、山谷を 確認して下さい。	エラー	印刷中にトラ クタカバーが 開きました。	トラクタカバーを閉じ、用 紙除去レバーを正しい位置 にしてパネルの[リセット] スイッチを押したあと、用 紙を正規の位置に合わせ、 オートロードパネルの山谷 選択スイッチを押して、指 定位置での用紙ミシン目の 山谷を合わせ、パネルの[ス タート] スイッチを押しま す。(注)
	ER08-15	◇オートロードガイドオープン◇ オートロードガイドを閉じて下さ い。	エラー	オートロード ガイドが閉じ ていません。	オートロードガイドを閉 じ、パネルの[スタート] スイッチを押します。
	ER08-16	◇オートロードガイドオープン◇ オートロードガイドを閉じ、用紙位 置、用紙の山谷を確認、選択して下 さい。	エラー	印刷中にオガイレトロが見た。	オートロードガイドを閉 じ、パネルの[リセット] スイッチを押したあと、用 紙を正規の位置に合わせ、 オートロードパネルの山谷 選択スイッチを押して、指 定位置での用紙ミシン目の 山谷を合わせ、パネルの[ス タート] スイッチを押しま す。(注)
09	ER09-01	◇スタッカノットレディ◇ スタッカパネルのオートスイッチを 押して下さい。	エラー	スタッカのテ ーブルがオー トの位置にあ りません。	スタッカパネルのオートス イッチを押します。パネル の[スタート]スイッチを 押します。
	ER09-02	◇スタッカテーブル未セット◇ スタッカテーブルを押し込んでスタ ッカパネルのオートスイッチを押し て下さい。	エラー	スタッカのテ ーブルが引き 出されていま す。	スタッカテーブルを正規の 位置まで押し込みます。ス タッカパネルのオートスイ ッチを押します。その後、 パネルの[スタート]スイ ッチを押します。
	ER09-03	◇スタッカ安全スイッチ作動◇ 操作に注意し、スタッカパネルのオ ートスイッチを押して下さい。	エラー	スタッカテー ブルの安全ボ タンが作動し ました。	スタッカテーブルの上・下 の安全を確認し、スタッカ パネルのオートスイッチを 押します。その後、パネル の[スタート]スイッチを 押します。
	ER09-05	◇用紙長ガイドアップ◇ スタッカテーブルの用紙位置を合わ せて下さい。	エラー	スタッカテー ブルの用紙が 正しい位置に ありません。	用紙長目盛りに用紙を合わ せて、スタッカパネルのオ ートボタンを押します。そ の後、パネルの[スタート] スイッチを押します。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
0A	EROA-01	◇クリーナブレード(F)未装着◇ 右前/左前カバーと中扉を開き、キ ットFのクリーナブレードを装着し て下さい。	エラー	クリーナブレ ードが装着さ れていません。	クリーナブレードを装着 し、パネルの [スタート] スイッチを押します。
	EROA-03	◇キットF劣化◇ 消耗品タブ画面の開始ボタンを押 し、交換操作を行って下さい。	エラー	クリーナブレ ード、クリーナ ブラシが交換 時期になりま した。	パネルの消耗品タブの[開始]ボタンを押し、画面表示に従ってクリーナブレードとクリーナブラシを交換します。 その後、パネルの[スタート]スイッチを押します。
OB	EROB-01	◇脱煙フィルタ劣化◇ 消耗品タブ画面の開始ボタンを押 し、交換操作を行って下さい。	エラー	脱煙フィルタ が交換時期に なりました。	パネルの消耗品タブの [開 始] ボタンを押し、画面表 示に従って脱煙フィルタを 交換します。その後、パネ ルの [スタート] スイッチ を押します。
OD	EROD-02	◇スプライスガイドピンアップ◇ スプライスレバーをダウン側にして 下さい。	エラー	スプライスガ イドピンがア ップしていま す。	スプライスレバーを左に回 してダウン側にします。そ の後、パネルの [スタート] スイッチを押します。
	EROD-03	◇スプライスガイドピンアップ◇ スプライスレバーをダウン側にし、 用紙位置用紙の山谷を確認し、選択 して下さい。	エラー	スプライスガ イドピンパ す。	スプライスレバーをダウン 側にし、パネルの[リセッ ト]スイッチを押したあと、 用紙を正規の位置に合わ せ、オートロードパネルの 山谷選択スイッチを押し て、指定位置での用紙ミシ ン目の山谷を合わせ、パネ ルの[スタート]スイッチ を押します。(注)
	EROD-04	◇用紙パスノットレディ◇ 用紙を正しくセットして下さい。	エラー	用紙がスタッ カテーブルま で装着されて いません。	オートロードで用紙をスタ ッカテーブルまで装着しま す。その後、パネルの[ス タート]スイッチを押しま す。
	EROD-06	◇山谷未確認◇ ミシン目位置表示に従い用紙のミシ ン目を合わせ、山谷を確認、選択し て下さい。	エラー	用紙づまりな どの発生後に、 山谷ボタンが 押されていま せん。	用紙のミシン目を合わせた あと、オートロードパネル の山谷選択スイッチを押し て、指定位置での用紙ミシ ン目の山谷を合わせます。 その後、パネルの[スター ト]スイッチを押します。

表 2.18 "Ox"(続く)

表 2.18 "Ox"(続き)

態 、`	エラード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
	EROD-07	◇用紙パスノットレディ◇ 用紙を取り除き、オートロードを行 って下さい。	エラー	すでに用紙が 装着されてい るのにロード ボタンが押さ れました。	用紙を取り除いて再セット するかまたはパネルの[リ セット]スイッチを押した あと、前進/後進ボタンを押 して、用紙を正規の後、山谷 選択スイッチを押して山谷 を合わせます。その後、パ ネルの[スタート]スイッ チを押します。 ※ER27-2Bが発生したあ と、用紙を取り除かずに装 置を起動した場合、 EROD-O7 が表示されま す。この場合、「2.8.3 用 紙づまり(ジャム)時の処 理」で示す手順で用紙を取 り除いてください。
1	EROD-08	◇用紙幅測定未終了◇ 用紙幅測定が終了していません。 オートロードスイッチを押して下さい。	エラー	用紙をマニュ アルでセット したあとに、オ ートロードス イッチが押さ れていません。	オートロードスイッチを押 します。 その後、パネルの[スター ト]スイッチを押します。
1	EROD-10	◇バックテンションカバーオープン ◇ バックテンションカバーを閉じて下 さい。	エラー	バックテンシ ョンカバーが 開いています。	バックテンションカバーを 閉めてパネルの[スタート] スイッチを押します。
	EROD-70	◇定着部用紙チェック◇ 定着器カバーを開けて定着器を引き 出し、残紙片がないことを確認し、 定着器を戻して定着器カバーを閉じ て下さい。	エラー	定着部の残紙 片の確認が必 要になりまし た。	定着器カバーを開けて定着 器を引き出します。装置内 に残紙片がないことを確認 し、残紙片があれば取り除 きます。定着器を戻して定 着器カバーを閉じたあと、 パネルの[リセット]スイッ チを押します。その後、[ス タート] スイッチを押しま す。
	EROD-71	◇転写部用紙チェック◇ 中扉と転写ユニットを開き、転写部 に残紙片が無いことを確認して下さ い。	エラー	転写部の残紙 片の確認が必 要になりまし た。	中扉と転写ユニットを開き ます。転写部に残紙片がな いことを確認し、残紙片が あれば取り除きます。転写 ユニットと中扉を閉じたあ と、パネルの[リセット] スイッチを押します。

				-	
状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
12	ER12-01	◇オートロードタイムアウト◇ 用紙を取り除き、装置内に残紙片が無 いことを確認し、再度オートロードを 行って下さい。	エラー	オートロード の内にした。 でした。	パネルの [リセット] スイ ッチを押し、用紙づまりの 用紙を取り除きます。装置 内に残紙片がないことを確 認します。再度用紙を用紙 セット位置にセットして [オートロード]スイッチを 押します。
13	ER13-02	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	ピンチローラ 圧着モータの 過電流を検出 しました。	リカバリランプが点灯のと き、パネルの [リセット] スイッチを押して用紙を正 規の位置に合わせます。そ
	ER13-04	◇装置エラー◇ 詳細情報×××××××××××× リセットを押して下さい。	システム エラー	ピンチローラ 圧着モータの 動作異常を検 出しました。	の後、パネルの[スタート] スイッチを押します。 リカバリランプが未点灯の とき、印字状態、用紙の位 置を確認して、正常であれ ばパネルの[リセット][ス タート]スイッチを押しま す。 再発生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER13-06	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	印刷起動時、ピ ンチローラが ホームポジシ ョンに停止し ていませんで した。	
16	ER16-16	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	バックテンシ ョンモータの 回転異常を検 出しました。	リカバリランプが点灯のと き、パネルの [リセット] スイッチを押して用紙を正 規の位置に合わせます。そ の後、パネルの [スタート] スイッチを押します。
19	ER19-4C	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	転写ガイドの 密着位置アラ ームを検出し ました。	リカバリランプが未点灯の とき、印字状態、用紙の位 置を確認して、正常であれ ばパネルの[リセット][ス タート]スイッチを押しま す。 再発生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER19-4D	 ◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××× リセットを押して下さい。 	システム エラー	転写ガイドの 分離位置アラ ームを検出し ました。	
1B	ER1B-0B	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××× リセットを押して下さい。	システム エラー	用紙幅検出動 作のアラーム を検出しまし た。	パネルの [リセット] スイ ッチを押し、用紙づまりの 用紙を取り除きます。再度 用紙をトラクタにセットし てオートロードスイッチを 押します。

表 2.19 "1x"(続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
1D	ER1D-09	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	紙送りモータ のディテント アラームを検 出しました。	リカバリランプが点灯のと き、パネルの[リセット] スイッチを押して用紙を正 規の位置に合わせます。そ
1E	ER1E-08	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	紙 送 り モ ー タ の ア ラ ー ム を 検出 し ま し た 。	の後、パネルの[スタート] スイッチを押します。 リカバリランプが未点灯の とき、印字状態、用紙の位 置を確認して、正常であれ ばパネルの[リセット][ス タート]スイッチを押しま す。 再発生する場合は、保守技 術員に連絡してください。

表 2.19 "1x"(続き)

表 2.20 "2x"(続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
20	ER20-01	◇用紙づまり◇ 装置内に残紙片が無いことを確認 し、ミシン目位置表示に従い用紙の ミシン目を合わせ、山谷を確認、選 択して下さい。	エラー	オートロード の内にした。 でした。	パネルの[リセット]スイ ッチを押し、用紙づまりの 用紙を取り除きます。装置 内に残紙片がないことを確 認し、再度用紙を用紙セッ ト位置にセットして[オー トロード]スイッチを押し ます。
21	ER21-01	◇用紙づまり◇ 装置内に残紙片が無いことを確認 し、ミシン目位置表示に従い用紙の ミシン目を合わせ、山谷を確認、選 択して下さい。	エラー	定着器入口付 近で用紙がバ タついたかま たは用紙がつ まりました。	装置内に残紙片がないこと を確認し、残紙片があれば 取り除きます。また定着器 ガラスの汚れがないことを 確認し、汚れていれば清掃 します。パネルの[リセッ ト]スイッチを押したあと、
	ER21-02	◇用紙づまり◇ 装置内に残紙片が無いことを確認 し、ミシン目位置表示に従い用紙の ミシン目を合わせ、山谷を確認、選 択して下さい。	エラー	用紙切れが発 生しました。	用紙を正規の位置に合わ せ、オートロードパネルの 山谷選択スイッチを押し て、指定位置での用紙ミシ ン目の山谷を合わせます。 その後、[スタート] スイッ チを押します。
22	ER22-32	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	定着器内の温 度が上がりす ぎです。	リカバリランプが点灯のと き、パネルの[リセット] スイッチを押して用紙を正 規の位置に合わせます。そ の後、パネルの[スタート]
24	ER24-28	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	No.1の定着用 フラッシュラ ンプがフラッ シュしません。	スイッチを押します。 リカバリランプが未点灯の とき、印字状態、用紙の位 置を確認して、正常であれ
	ER24-29	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	No.2の定着用 フラッシュラ ンプがフラッ シュしません。	はハネルの[リゼット]」ス タート]スイッチを押しま す。 再発生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
25	ER25-2A	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××× リセットを押して下さい。	システム エラー	フラッシュ用 コンデンサの 充電電圧が規 定値に達して いません。	

表 2.20 "2x"(続き)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
26	ER26-2C	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	定着用フラッ シュランプの フラッシュ周 期が異常です。	電源を再投入し、再発生す る場合は保守技術員に連絡 してください。
27	ER27-2B	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××× リセットを押して下さい。	システム エラー	紙送り停止中 に規定回数を 超えてフラッ シュしました。	電源を再投入し、再発生す る場合は保守技術員に連絡 してください。 再起動中、用紙除去などの 操作はしないでください。

表 2.21 "3x"

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
32	ER32-01	◇スタックミス◇ スタッカ内の用紙を積み直して下さ い。	エラー	スタッカテー ブル上の用紙 の折畳みが異 常です。	テーブル上の用紙を取り出 すか、折畳みを正常な状態 にしたあと、スタッカパネ ルの[オート]スイッチを押 し、パネルの[リセット]、 [スタート] スイッチを押 します。

表 2.22 "5x"

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
50	ER50-XX (注3)	◇オーバレイデータエラーが発生し ました◇ 詳細情報××××××××××××× リセットを押して下さい。	エラー	オーバレイ データエラー XX=01,02, 04,08,10, 20,40,80	[リセット] スイッチを押 してください。再度発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
55	ER55-60 (注3)	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××× リセットを押して下さい。	エラー	ページサイズ オーバーエラ ー	
	ER55-80 (注3)	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××× リセットを押して下さい。	エラー	物理ページ サイズエラー	
	ER55-81 (注3)	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××× リセットを押して下さい。	エラー	論理ページ 印字位置指定 エラー	
	ER55-90	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	エラー	ページ作成 エラー	
	ER55-91	◇装置エラー◇ 詳細情報×××××××××××××× リセットを押して下さい。	エラー	ページ作成 エラー (FORM)	
	ER55-92	◇装置エラー◇ 詳細情報×××××××××××××× リセットを押して下さい。	エラー	ページ作成 エラー (FONT)	
	ER55-A0	◇強制拡張解像度印刷設定エラー◇ 強制拡張解像度印刷設定が無効になっています。 設定を確認して下さい。	エラー	GS1-128(料 金代理収納用) が指定されま したが、強制拡 張解像度印刷 が無効です。	

(注3)チャネルモードの場合のみ発生

表 2.23	"6x"	(続く)
1, 2,20	0/	

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
60	ER60-31	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	現像器の現像 ローラの回転 が異常です。	リカバリランプが点灯のと き、パネルの [リセット] スイッチを押して用紙を正
	ER60-41	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	現像器の攪拌 モータの回転 が異常です。	規の位置に合わせます。そ の後、パネルの [スタート] スイッチを押します。
	ER60-42	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	現像器の回収 マグローラの 回転が異常で す。	とき、印字状態、用紙の位置を確認して、正常であればパネルの[リセット][スタート]スイッチを押しま
	ER60-26	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××× リセットを押して下さい。	システム エラー	現像剤温度の 異常を検出し ました。	す。 再発生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
62	ER62-24	◇装置エラー◇ 詳細情報×××××××××××× リセットを押して下さい。	システム エラー	印刷濃度が濃 くなりすぎま した。	リカバリランプが点灯のと き、パネルの[リセット] スイッチを押して用紙を正 規の位置に合わせます。そ の後、パネルの[スタート] スイッチを押します。 リカバリランプが未点灯の とき、印字状態、用紙の位 置を確認して、正常であれ
	ER62-25	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××× リセットを押して下さい。	システム エラー	印刷濃度がう すくなりすぎ ました。	タート]スイッチを押します。 再発生する場合は、保守技術員に連絡してください。
64	ER64-23	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××× リセットを押して下さい。	システム エラー	トート内セト出ぎ検規て、キャッシュを使って、いたので、した。そので、いたので、した。そので、いたので、した。そので、いたので、した。そので、した。そので、した。そので、した。そので、した。そので、した。 しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん し	リカバリランプが点灯のと き、パネルの[リセット] スイッチを押して用紙を正 規の位置に合わせます。そ の後、パネルの[スタート] スイッチを押します。 リカバリランプが未点灯の とき、印字状態、用紙の位 置を確認して、正常であれ ばパネルの[リセット][ス タート]スイッチを押しま す。 再発生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
65	ER65-40	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	クリーナプラ シの回転異常 を検出しまし た。	

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
66	ER66-35	◇装置エラー◇ 詳細情報×××××××××××× × リセットを押して下さい。	システム エラー	除電 L E D 1 の点灯異常を 検出しました。	
	ER66-36	◇装置エラー◇ 詳細情報×××××××××××× × リセットを押して下さい。	システム エラー	除電 L E D 2 の点灯異常を 検出しました。	
68	ER68-30	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××××××××××××××××××××××××××	システム エラー	ドラムの回転 が異常です。	リカバリランプが点灯のと き、パネルの[リセット] スイッチを押して用紙を正 規の位置に合わせます。そ の後、パネルの[スタート] スイッチを押します。 リカバリランプが未点灯の とき、印字状態、用紙の位 置を確認して、正常であれ ばパネルの[リセット][ス タート]スイッチを押しま す。 再発生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
6A	ER6A-01	◇中扉オープン◇ 中扉を閉じて下さい。	エラー	パネルの [スタ ート] スイッチ を押したとき、 中扉が開いて いました。	中扉を閉じ、パネルの「ス タート] スイッチを押しま す。
	ER6A-02	◇中扉オープン◇ 中扉を閉じ、用紙位置を確認して下 さい。	エラー	印刷中に中扉 が開きました。	ジョブを再スタート後、パ ネルの[リセット]スイッ チを押して用紙を正規の位 置に合わせます。その後、 パネルの[スタート]スイ ッチを押します。

表 2.23 "6x"(続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
60	ER6C-43	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××××××××××××××××××××××××××	システム エラー	トナー補給モ ータの異常を 検出しました。	リカバリランプが点灯の とき、パネルの[リセット] スイッチを押して用紙を 正規の位置に合わせます。 その後、パネルの[スター ト] スイッチを押します。 リカバリランプが未点灯 のとき、印字状態、用紙の 位置を確認して、正常であ ればパネルの[リセッ ト][スタート]スイッチを 押します。 再発生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER6C-44	 ◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××××××××××××××××××××××××××	システム エラー	トナー攪拌モ ータの異常を 検出しました。	
6E	ER6E-48	 ◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××××××××××××××××××××××××××	システム エラー	転写ワイヤク リーナの異常 を検出しまし た。	
	ER6E-49	 ◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××××××××××××××××××××××××××	システム エラー	前帯電器ワイ ヤクリーナの 異常を検出し ました。	

表 2.23 "6x"(続き)

表 2.24 "7x"

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
76	ER76-33	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××× リセットを押して下さい。	システム エラー	LEDヘッド の温度が上が りすぎです。	リカバリランプが点灯のと き、パネルの [リセット] スイッチを押して用紙を正
	ER76-37	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××× リセットを押して下さい。	システム エラー	LEDヘッド の異常を検出 しました。	規の位置に合わせます。その後、パネルの[スタート] スイッチを押します。
7D	ER7D-17	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××× リセットを押して下さい。	シス テム エラー	モータドライ バボードの過 電流を検出し ました。	らがパリランクが未点灯の とき、印字状態、用紙の位 置を確認して、正常であれ ばパネルの[リセット][ス タート]スイッチを押しま
	ER7D-4F	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××× リセットを押して下さい。	システム エラー	プロセスボー ドの過電流を 検出しました。	す。 再発生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
	ER7D-9F	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	メカコンボー ドの過電流を 検出しました。	
	ER7D-F5	◇装置エラー◇ 詳細情報××××××××××××× リセットを押して下さい。	システム エラー	UPCボード のインタフェ ース異常を検 出しました。	

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処 置
80	ER80-XX	 ◇装置エラー◇ ER80-XX 詳細情報XXXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。 	システム エラー	CHC チェック XX=00~0B	[リセット] スイッチを押 してください。
82	ER82-00	担当CEにご連絡下さい。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XX	システム エラー	メモリエラー	電源を再投入し、再度発生 する場合は保守技術員に 連絡してください。
	ER82-61	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	メモリエラー	[リセット] スイッチを押 してください。
	ER82-61	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX 担当CEにご連絡下さい。	システム エラー	メモリエラー	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
84	ER84-01	◇コマンドシーケンスエラーが発生 しました◇	エラー	IMG コマンド シーケンスエ ラー	[リセット] スイッチを押 して再発生する場合、プロ グラムのデータを確認し
	ER84-02		エラー	図形コマンド シーケンスエ ラー	てください。
	ER84-04		エラー	QR コードコマ ンドシーケン スエラー	
	ER84-80		エラー	キャンセルコ マンドシーケ ンスエラー	
85	ER85-52	◇フロッピィ異常◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXXX 第2FPDを確認して下さい。	シス テム エラー	FPD データ形 式異常 (IPL 時)	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
86	ER86-00	担当CEにご連絡下さい。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	システム エラー	展開異常	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER86-50	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	シス テム エラー	UI 制御エラー	[リセット] スイッチを押 してください。
87	ER87-00	担当CEにご連絡下さい。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX	システム エラー	メモリエラー/ インタフェー スエラー/展開 異常	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER87-C1	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	シス テム エラー	作業域不足	[リセット] スイッチを押 してください。
	ER87-D1	 ◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。 	システム エラー	作業域不足	
	ER87–XX	担当CEにご連絡下さい。 XXXX	システム エラー	RIP インタフェ ース異常 (IPL 時) XX=10~14, 20, 21	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。
	ER87–XX	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	RIP インタフェ ース異常 (IPL 時以外) XX=10~14, 20, 21	[リセット] スイッチを押 してください。

表 2.25 "8x"(続く)

表 2.25 "8x"(続く)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
89	ER89-XX	担当CEにご連絡下さい。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XX	システム エラー	MPU 異常 ※IPL 完了後の 検出時は、1度 だけ自動IPLを 行ってくださ い。	電源を再投入し、再度発生 する場合は、保守技術員に 連絡してください。
8A	ER8A-52	◇FPD異常◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXXX 第2FPDを確認して下さい。	システム エラー	HD/FPD ハードエラー (IPL 時)	電源を再投入し、再度発生 する場合は、保守技術員に 連絡してください。
	ER8A-52	◇FPD異常◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX 第2FPDを交換して下さい。	システム エラー	HD/FPD ハードエラー (IPL 時以外)	第2FPD を交換後、[リセット] スイッチを押してく ださい。再発生する場合 は、保守技術員に連絡して ください。
	ER8A-60	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX 担当CEにご連絡下さい。	システム エラー	HD/FPD ハードエラー (IPL 時)	電源を再投入し、再度発生 する場合は、保守技術員に 連絡してください。
	ER8A-60	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	HD/FPD ハードエラー (IPL 時以外)	[リセット] スイッチを押 してください。 再発生する 場合は、保守技術員に連絡 してください。
	ER8A-61	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX 担当CEにご連絡下さい。	シス テム エラー	HD/FPD ハードエラー (IPL 時)	電源を再投入し、再度発生 する場合は、保守技術員に 連絡してください。
	ER8A-61	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	シス テム エラー	HD/FPD ハードエラー (IPL 時以外)	[リセット] スイッチを押 してください。 再発生する 場合は、保守技術員に連絡 してください。
	ER8A-00	担当CEにご連絡下さい。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XX	シス テム エラー	HD/FPD ハードエラー	電源を再投入し、再度発生 する場合は、保守技術員に 連絡してください。
80	ER8C-00	◇2重 IP アドレスを検出しました。 ◇	システム エラー	2重 IP アドレ ス定義	LAN インタフェースの IP アドレス設定を確認して ください。
	ER8C-XX	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	システム エラー	メカ制御部の 異常	電源を再投入し、再発生す る場合は、保守技術員に連 絡してください。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
8D	ER8D-4E	◇電源断処理中◇	電源断 処理中	電源断処理中	_
	ER8D-XX	担当CEにご連絡下さい。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XX	システム エラー	PDIC ボード異 常またはメカ 制御部の異常。 XX=30~35, 40~43	リカバリランプが点灯の とき、パネルの[リセット] スイッチを押して用紙を 正規の位置に合わせます。 その後、パネルの[スター
	ER8D-XX	◇装置エラー◇ 詳細情報XXXXXXXXXXXXX リセットを押して下さい。	システム エラー	PDIC ボード異 常またはメカ 制御部の異常。 XX=80, B1~B6、F1 ~F9,FF	ト] スイッチを押します。 リカバリランプが未点灯 のとき、印字状態、用紙の 位置を確認して、正常であ ればパネルの[リセッ ト][スタート]スイッチを 押します。 再発生する場合は、保守技 術員に連絡してください。
8E	ER8E-XX	◇システムリセットが発行されました◇	エラー	XX=00~09	[リセット] スイッチを押 してください。
8F	ER8F-XX	担当CEにご連絡下さい。 XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XXXX XX	システム エラー	PDIC ボード異 常。 XX=10,11, 20, 30, 31, 40, 50, 51	電源を再投入し、再発する 場合は、保守技術員に連絡 してください。

表 2.25 "8x"(続き)

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置				
90	ER90-38	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	システム エラー	前帯電器が挿 入されていな いかまたは断 線しています。	リカバリランプが点灯のと き、各帯電器、現像器の清 掃または交換を行います。 ジョブを再スタート後パネ				
	ER90-21	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	シス テム エラー	前帯電器の汚 れを検出しま	ルの [リセット] スイッチ を押して用紙を正規の位置				
	ER90-22	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	システム エラー	した。	に合わせます。その後、バ ネルの[スタート]スイッ チを押します。 リカバリランプが未点灯の とき、各帯電器、現像器の 清掃、または交換を行いま す。印字状態、用紙の位置 を確認して正常であれば、 パネルの[リセット][スタ ート]スイッチを押します。 再発生する場合は、保守技 術員に連絡してください。				
91	ER91-3A	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	システム エラー	転写帯電器が 挿入されてい ないかまたは 断線していま す。					
93	ER93-3B	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	シス テム エラー	AC 分離電圧 が異常です。	リカバリランプが点灯のと き、パネルの[リセット] スイッチを押して用紙を正 規の位置に合わせます。そ の後、パネルの[スタート] スイッチを押します。 リカバリランプが未点灯の とき、印字状態、用紙の位 置を確認して、正常であれ ばパネルの[リセット][ス タート]スイッチを押しま す。 再発生する場合は、保守技 術員に連絡してください。				
94	ER94-39	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	シス テム エラー	現像バイアス 電圧が異常で す。					
95	ER95-20	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	システム エラー	前帯電器の汚 れを検出しま した。					

表 2.26 "9x"

状態 エラー 装置状態 状態内容 メッセージ表示 阢 置 コード コート A1 ERA1-90 ◇装置エラー◇ システム 電源を再投入し、再発する 脱煙ブロアイ エラー ンバータのア リセットを押して下さい。 場合は、保守技術員に連絡 ラームを検出 してください。 しました。 ERA1-97 ◇装置エラー◇ システム 脱煙ブロアの リセットを押して下さい。 エラー 回転異常を検 出しました。 A2 ERA2-91 ◇装置エラー◇ システム 定着器冷却ブ 電源を再投入し、再発する リセットを押して下さい。 エラー ロアのアラー 場合は、保守技術員に連絡 ムを検出しま してください。 した。 **A**3 ERA3-A0 ◇装置エラー◇ システム 用紙長ガイド リカバリランプが点灯のと モータの異常 リセットを押して下さい。 エラー き、パネルの [リセット] スイッチを押して用紙を正 を検出しまし 規の位置に合わせます。そ た。 の後、パネルの[スタート] ERA3-A1 ◇装置エラー◇ システム スイングガイ スイッチを押します。 ドモータの異 リセットを押して下さい。 エラー リカバリランプが未点灯の 常を検出しま とき、印字状態、用紙の位 した。 置を確認して、正常であれ ばパネルの[リセット][ス タート]スイッチを押しま す。 再発生する場合は、保守技 術員に連絡してください。 ERA3-A2 ◇装置エラー◇ システム スタッカテ ブルモータの エラー リセットを押して下さい。 回転が異常で す。 ERA3-A3 ◇装置エラー◇ システム スタッカテ-ブルモータの エラー リセットを押して下さい。 過電流を検出 しました。 ERA3-A4 ◇装置エラー◇ システム スタッカテー ブルが、制御で リセットを押して下さい。 エラー きなくなりま した。

表 2.27 "Ax"(続く)

表 2.27	"Ax"	(続き)
P/ C.C.I	/ / /	

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	装置状態	状態内容	処置
AF	ERAF-82	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	システム エラー	転写オゾンフ ァンのアラー ムを検出しま した。	リカバリランプが点灯のと き、パネルの[リセット] スイッチを押して用紙を正 規の位置に合わせます。そ の後、パネルの[スタート] スイッチを押します。 リカバリランプが未点灯の とき、印字状態、用紙の位 置を確認して、正常であれ ばパネルの[リセット][ス タート]スイッチを押しま す。 再発する場合は、保守技術 員に連絡してください。
	ERAF-83	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	システム エラー	前帯電器ファ ンのアラーム を検出しまし た。	
	ERAF-84	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	システム エラー	チョークコイ ル冷却ファン のアラームを 検出しました。	
	ERAF-85	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	システム エラー	モータドライ バボード冷却 ファン1のア ラームを検出 しました。	
	ERAF-86	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	システム エラー	モータドライ バボード冷却 ファン2のア ラームを検出 しました。	
	ERAF-98	◇装置エラー◇ リセットを押して下さい。	システム エラー	コントローラ 部冷却ファン のアラームを 検出しました。	

(注) 電源投入による装置起動中に下記のメッセージがでた場合、保守技術員に連絡してください。
2.8.2 再スタート手順

2.8.2.1 チャネル接続の場合

(1) リカバリランプが点灯している場合 ページバッファ内のデータは自動的にクリアされます。システムコンソールのメッセージでバ ックアップページ数が示された場合、このページ数にはページバッファ内の印刷されなかった ページ数と記録位置から定着器までの長さに相当するページ数(実際の印刷の有無に無関係) が含まれます。 このシステムコンソールに表示されたページ数で十分な場合には、その値でジョブを再スター トし、装置をレディとします。この場合、記録位置から定着器までの長さに相当するページ数 分が2度出力されるので注意してください。 また、定着器以降で不良のページがあるならば、その値とシステムコンソールに表示された値 の記述でで不良のページがあるならば、その値とシステムコンソールに表示された値

の和でジョブを再スタートし、装置をレディとします。ただし、クリアプリント(ファンクションキー操作)での印刷中に点灯した場合、バックアップページ数は通知されませんので注意してください。

(2) リカバリランプが未点灯の場合

ページバッファにデータが残っていると次の再スタートにより、まず、残っていたデータが印刷され、その直後に再スタートされたデータが連結して印刷されます。

再スタート開始時のデータを容易に区別するためには、次の手順でページバッファに残っていたデータをあらかじめ印刷してください。

- エラー発生原因を取り除き、[リセット]スイッチ、[クリアプリント]ボタン(ファンクションキー操作)を押します。
- ② 印刷終了後、[イジェクト] スイッチを押します。
- ③ ジョブ再スタート後、[スタート] スイッチを押します。
- (3) 印刷中に電源断となった場合 電源投入後、正常であればジョブを再スタートします。正常に動作しない場合は、保守技術員 に連絡してください。

2.8.2.2 LAN 接続の場合

用紙づまり、印刷中のカバーオープン/インタロックなどが発生したときの再スタート手順を示しま す。

 (1) SPARC Servers/SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通 S series 接続の場合 ページバッファ内のデータはクリアされます。
 エラー発生原因を取り除いて[リセット]スイッチを押し、用紙を正規の位置に合わせて山谷 選択スイッチを押します。
 次に[スタート]スイッチを押し、データ受信可能状態にします。

SPARC Servers/SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通 S series 側の設定により、再スタートには以下の2通りの方法があります。

- 上記[スタート]スイッチを押し、データ受信可能状態で自動的に SPARC Servers/SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通S series 側よりデータ送信を再開します。
- SPARC Servers/SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通 S series 側より、手動(コンソール上)で コマンド発行によりデータ送信を再開します。

また、エラーの内容により、記録位置から定着器までの長さに相当するページ数分が2度出力 されるので、注意が必要です。(用紙づまり、印刷中のカバーオープン/インタロックなど) 〔印刷中に電源断となった場合〕

電源投入後は、先の SPARC Servers/SPARC Enterprise/PRIMEPOWER/富士通 S series 側より、手動で 印刷を再開します。

 (2) Windows サーバ接続の場合(PrintWalker/PM による印刷) ページバッファ内に残っているデータは、クリアされます。
 エラー発生原因を取り除いて[リセット]スイッチを押し、用紙を正規の位置に合わせて山谷 選択スイッチを押します。
 次に[スタート]スイッチを押して、データ受信可能状態にします。この状態で自動的にデー タ送信を再開します。Windows サーバ上の PrintWalker/PM 画面には、エラー(JAM な ど)が発生した JOB に対して異常終了が通知されます。
 また、エラーの内容により、記録位置から定着器までの長さに相当するページ数分が2度出力 されるので、注意が必要です。(用紙づまり、印刷中のインタロックなど)

〔印刷中に電源断となった場合〕

電源切断時も Windows サーバ側にエラーが通知され、電源再投入後にサーバ側より再スタートを行います。

2.8.3 用紙づまり(ジャム)時の処理

ここでは、プリンタ内に用紙がつまったときの対処方法について説明します。



- ●定着器の緑ランプが消灯中は、定着器内の用紙を引き出すと発火する可能性があります。表示ランプが点灯後、定着器を開放し用紙を引き出してください。
 - 装置停止直後の定着器内の用紙は非常に高温になっています。こ の状態で用紙を引き出すと空気に触れて発火するおそれがありま すので、用紙状態に異常がみられた場合も、定着器の表示ランプ が点灯するまでは用紙を引き出したり動かしたりしないでくださ い。
- ●紙片などの残留物は用紙焦げの原因となります。用紙づまりを処理 するときは、定着器内と周辺に紙片などの残留物が残っていないこ とを十分に確認してください。

定着器内および前後の搬送路に紙片などの残留物が残ったまま印 刷を行うと、未定着の障害となるほか、用紙焦げが発生するおそ れがあります。用紙づまりを処理するときは、紙片などの残留物 が残っていないことを十分に確認してください。

内部が見えない状態で処理を行うと紙片などの残留物が残ること があります。残留用紙を処理する場合は定着器を開放してから行 ってください。

用紙づまりが発生したとき、特に注意しなければならないことは、用紙づまりの処理の過程で未定 着印字部分(用紙に転写されているが、定着部を通過していない未定着の印字部分)の用紙を定着部 に通さないよう注意する必要があることと、必ず処理後定着部窓ガラスが汚れていないことを確認し てください。

もし、誤って未定着部分を通した場合は、定着部窓ガラスの清掃を行ってください。

2.8.3.1 用紙づまりの対処をする前に

用紙づまりの対処をするときは、必ず次のことを守ってください。



- 万一、発煙を伴う用紙づまりが発生した場合
 - エマージェンシースイッチを押して、プリンタの電源をオフに してください。
 - ・至急弊社保守技術員にご連絡ください。
 - ・この場合は、決して前面のカバーを開けないでください。
- 定着器の取り扱いについて
- **秋**山注意
- ランプが消灯中は、定着器内の用紙を引き出すと発火する可能
 性があります。
- ランプが点灯してから定着器を開放し、用紙を引き出してください。
- ・紙片などの残留物は用紙焦げの原因となります。用紙づまりを 対処するときは、定着器内と周辺に紙片などの残留物が残って いないことを十分に確認してください。



高温注意のラベル貼付箇所は、火傷をするおそれがあります。温度 が下がるまで触れないでください。



・ 定着器を閉じるときは、指を挟み込まないように注意してください。

- ・ バッフル部の操作を行う場合は、バッフルを押さえながら操作をし、手を挟まないように注意してください。
 - ・転写部から定着ユニットの間にある用紙上のトナーは、用紙に定着されていません。未定着のトナーには、手を触れないでください。
 - 未定着のトナーがある用紙をオートロードパネルで操作しないでください。
 - 未定着のトナーがある用紙のミシン目位置を再調整しなければならない場合は、必ず用紙を後退させてください。用紙を前進させると、その長さ分のトナーの未定着部分が生じます。
- 2.8.3.2 用紙づまりの対処方法

以下の手順によって搬送系各部の用紙状態を確認し、用紙づまりの発生原因および紙片などを取り 除きます。

用紙破れがあった場合、紙片が残っているときは、これを確実に取り除いてください。特に転写帯 電部に紙片が引っ掛かったままになっていると、印字不良の原因となりますので注意してください。

- (1) トラクタ部の確認(図 2.1 参照)
 - ① トラクタカバー(手前、奥)を開けます。
 - バックテンションカバーのロックカナグ をつまみながらカバーを開けます。
 - ③ 用紙の状態を確認したら、トラクタカバー、 バックテンションカバーをゆっくり閉じ ます。
- (2) オートロードA部の確認(図2.2参照)
 オートロードガイドのトッテを持って、突き
 当たる位置まで開きます。



(3) 転写部の確認(図 2.5.2 参照)
 転写ユニットのトッテを手前に起こし、これ
 を持って突き当たる位置まで転写ユニットを
 開きます。



(4) サクションフィーダ部の確認(図2.2参照)
 サクションフィーダ上にある定着器前カバーのトッテを持ってカバーを開けます。



サクションフィーダ部

(5) 定着部の確認(図 2.2 参照)

 定着部の緑色ランプが点灯していること を確認のうえ、トッテを持って定着器カバ ーを開きます。

- ② ランプハウスユニットのトッテを持って ユニットを手前に引き出します。 用紙搬送部に紙片が残っていないことを 確認し、ランプハウスユニットを突き当た る位置までゆっくりと押し込みます。
- ③ 定着出ロガイドのツマミネジをゆるめて、 出ロガイドを開きます。
 用紙の状態を確認したら出ロガイドをゆっくりと閉じて、ツマミネジを締めます。







 (6) スタッカ部の確認(図 2.5.1 参照)
 ピンチローラユニットのロックカナグをつま みながらトッテを持ってユニットを開けます。
 用紙の状態を確認したら、ユニットをロックのかかる位置までゆっくりと閉めます。



2.8.3.3 未定着用紙の除去

- (1) スタッカ右カバーを開き、スタッカテーブルスイッチをダウンにして、10cm 下げたところでス トップにします。
- (2) ペーパーナイフで用紙の最上部の折畳み部分を切断します。
- (3) 用紙引き力切替レバーをリリースします。
- (4) 用紙の除去
 - A. 用紙の破損が少ない場合の用紙の除去 用紙の破損が少なく、トラクタによる用紙搬送が可能な場合は以下の手順で用紙を取り出します。
 - ① リセットスイッチを押します。
 - ② トラクタ部手前とサクションフィーダ部で用紙を切断します。(図 2.125 参照)
 - ③ 定着部側の用紙――定着部入口から手で引き抜きます。
 - ④ サクションフィーダ部側の用紙――図 2.125 に示す方向に手で引きながら前進スイッチを 押し、ゆっくりと用紙を引き抜きます。



B. 用紙の破損が大きい場合の用紙の除去

用紙が途中で切断している場合や、破損が大きくてトラクタによる搬送ができない場合は、切 断箇所に近い開口部(トラクタ部、オートロードガイド部、転写部、サクションフィーダ部、定 着部、スタッカ部)より用紙を取り出します。

この場合、転写部と定着部の間の用紙上には未定着印字があるので、この間の用紙は必ず 図 2.133 に示す方向に取り出します。

トラクタから用紙を取り出す手順は下記に よります。

- トラクタカバーを開けて、トラクタのピンから用紙を外します。
- バックテンションカバーのロックカナグ をつまみながらユニットを開けます。
- ③ 用紙除去レバーを奥に押して第二トラク タカバーを開け、トラクタのピンから用 紙を外します。
- ④ 用紙を取り除きます。



- (5) 開いた各開閉部をゆっくりと閉じます。
- (6) 「2.3 用紙のセット」に準じて用紙の装着をやり直します。
- (7) リセット、スタートスイッチを押します。



- ●各開閉部を閉じるときは、指を挟まないように注意してください。
- ●転写部付近でジャム処理をする場合、感光ドラムに手を触れたり傷をつけたりすることのないよう+分注意してください。
- ●未定着印字により搬送系が汚れることを防ぐため、図 2.133 に 示す方向には未定着用紙を取り出さないでください。

2.8.3.4 転写部、定着部の用紙確認が必要となる用紙づまりについて

ここでは、「用紙づまり」を対処したあと、残紙片を確認するメッセージ表示の内容について説明します。

表 2.28 に示すエラーコードの「用紙づまり」では、用紙づまりの対処後、オートロードのタイミン グで残紙片確認のためのメッセージを表示します。

メッセージはオートロードの前後に転写部用と定着部用の表示が2回表示されます。

(表 2.29 にエラーメッセージを示します)

このメッセージが表示された場合は、メッセージに従って残紙片の確認を行ってください。

状態コード	エラーコード	メッセージ表示
20	ER20-01	◇用紙づまり◇ 装置内に残紙片が無いことを確認し、ミシン目位置表示に従
		い用紙のミシン目を合わせ、山谷を確認、選択して下さい。
21	ER21-01	◇用紙づまり◇ 装置内に残紙片が無いことを確認し、ミシン目位置表示に従 い用紙のミシン目を合わせ、山谷を確認、選択して下さい。
	ER21-02	 ◇用紙づまり◇ 装置内に残紙片が無いことを確認し、ミシン目位置表示に従い用紙のミシン目を合わせ、山谷を確認、選択して下さい。
12	ER12-01	◇オートロードタイムアウト◇ 用紙を取り除き、装置内に残紙片が無いことを確認し、再度 オートロードを行って下さい。

表 2.28 残紙片の確認が必要なエラーコード

表 2.29 残紙片確認のためのメッセージ

状態コード	エラーコード	メッセージ表示	表示タイミング
OD	EROD-70	◇定着部用紙チェック◇ 定着器カバーを開けて定着器を引き出し、残紙片がないことを確認し、定着器 を戻して定着器カバーを閉じて下さい。	オートロード動作完 了時
	EROD-71	◇転写部用紙チェック◇ 中扉と転写ユニットを開き、転写部に残 紙片が無いことを確認して下さい。	オートロードSW 押下 時(※)

※「用紙づまりの対処方法」で転写部を確認済みの場合など、表示されない場合があります。

A.「EROD-70:定着部用紙チェック」が表示された場合 以下の手順で定着部の用紙確認をしてください。

 定着部の緑色ランプが点灯していること を確認のうえ、トッテを持って定着器カバ ーを開きます。

 ランプハウスユニットのトッテを持ち、ユ ニットを手前に引き出します。

③ 天井カバーを上に上げます。

 ④ 用紙搬送部に紙片が残っていないことを 確認し、ランプハウスユニットを突き当た る位置までゆっくりと押し込みます。



定着器カバー

緑ランプ

-ランプ ハウスユニット



B.「EROD-71:転写部用紙チェック」が表示された場合 以下の手順で転写部の用紙確認をしてください。

1 転写ユニットのトッテを手前に起こします。



② 起こした転写ユニットのトッテを手前に 持ち、突き当たる位置まで転写ユニットを 開きます。



転写ユニット

・転写ユニット トッテ

 ③ 転写部に紙片が残っていないかを確認し ます。



④ 転写部の下に紙片が落ちていないかを確認します。



2.9 清掃

2.9.1 清掃箇所および頻度

本装置の清掃箇所には、定着部、トナー補給・回収系があります。各部の清掃頻度を表 2.30 に示します。

表 2.30 清掃頻度

清掃箇所	清掃頻度
定着部	始業点検時(注)
トナー補給・回収系	適宜

(注)用紙づまり発生時は、その都度必要に応じて行います。

2.9.2 清掃用品

清掃時には、以下のような用具、用品が必要です。

- (1) ポリエチレン手袋 (3) 真空掃除機
- (2) 清掃用不織布 (4) スクレーパ
- 2.9.3 定着部



- (1) 取扱い時の注意事項
 - a. 清掃作業は、危険防止のため必ず定着器前面の緑ランプが点灯していることを確認後、作業 します。
 - b. ガラスを破損しないよう注意してください。
 - c. 電源を落とした場合は、ランプが消灯するので十分冷えてから清掃作業を始めます。
- (2) 定着部窓ガラスの清掃

定着器のガラス面が汚れていると、定着不良、地汚れが生じるので定期的に点検清掃をする必要があります。また、印字出力に伴い、窓ガラスにトナーが付着することがあるため、始業時に点検して汚れていれば清掃する必要があります。ただし、用紙づまり発生時にはその都度必要に応じて清掃します。

清掃は以下の手順に従って行います。

- ① 右前カバーと左前カバーを開きます。
- 2 トッテを持って定着器カバーを開きます。



③ ランプハウスユニットのトッテを持って ユニットを手前に引き出します。



- ④ 窓ガラスおよび紙搬送路に汚れがないか点検します。スクレーパ(添付品)でガラス面に付着しているトナーを清掃します。清掃時、スクレーパの刃でガラス面を傷つけないように注意して作業してください。窓ガラスの汚れがひどく、清掃しても取れないような場合は、保守技術員に連絡してください。
- ⑤ ランプハウスユニットを突き当たる位置までゆっくりと押し込みます。
- ⑥ 定着器カバーを閉じ、左前カバーと右前カバーを閉じます。



引き出したランプハウスユニットを下から みたところ

2.9.4 トナー補給・トナー回収ボトル付近の清掃



トナーの補給、回収作業において誤って周囲にトナーを飛散させた場合は、清掃用不織布で拭き取 るか真空掃除機で吸い取ります。

2.10 電源の切断について



- ●電源を切断(リモート操作、ローカル操作とも)するときは、定着部の緑色ランプが点灯していることを確認してください。なお、印刷終了後、定着部の緑色ランプが点灯するまでには最大で約3分かかります。
- ●印刷終了直後に電源を切断すると、定着部の用紙が焦げることが あります。(印刷が終了しても、定着部の温度を下げるために冷 却ファンが動作しています。安全な温度に下がると定着部の緑色 ランプが点灯します。)

第3章 印刷用紙の規格と印刷データ

本章では、本装置で使用する印刷用紙の規格および印刷データ作成上の注意について説明します。 プリンタ用紙の製造においては、印字品質を保証するのに必要な範囲内に用紙の特性を管理するた めに多大な費用を要します。ランニングコストを下げるために安価な用紙を使用しがちですが、用紙 の品質管理の悪さに起因する予期せぬ障害を生じることがあり、その結果生じる装置稼働率の低下に よって用紙購入費の低減分を帳消しにしてしまうことがあります。

反対に高価な用紙を使っても、用紙が目的に合った特性を持っていない場合にはやはり問題を生じ る場合があります。用紙は電子写真式プリンタ(ページプリンタ)に合った特性を持ち、高い信頼性 と良い印字品質を得ることができるように設計されていなければなりません。

本装置の性能を十分に活用するためには、本章に記載した事項をすべて満たしている必要がありま す。用紙が本書の規格に合致しない場合の不具合とそれによる損害について、富士通株式会社は一切 の責任を負いかねます。また、装置への適合性を最も適切に判断するために、用紙メーカと事前に十 分な議論をし、同品質の用紙と実際の装置を用いた事前印刷テストをその用紙の大量購入前に行うこ とが必要です。

この事前印刷テストは、特にプレプリント用紙を含む特殊用紙を使用する際には重要となります。 また、事前テストの結果が良好であっても、用紙製造工程のバラツキによって異なる製造ロットの 用紙で問題が発生することがあります。したがって当社は、その製造工程が完全に管理された用紙を ご使用になるよう推奨いたします。

3.1 基本仕様

3.1.1 用紙の仕様

本装置に適用できる用紙の基本仕様を表 3.1 に示します。なお、本仕様は一般的な基本仕様を示したものであり、用紙銘柄などにより多少異なる場合があるため、運用に先立ち十分な事前確認が必要です。

項目	住 様	参照	
紙質	NIP 紙、上質紙、再生紙	3.3	
形態	送り孔付き折畳み連続印刷用紙	3.2	
使用可能な用紙	横寸法 165.1~457.2mm(6.5~18 インチ)		
サイズ	この間連続可変		
	縦寸法 177.8~355.6mm(7~14 インチ)(折畳み方法)		
	この間 12.7mm(1/2 インチ)ステップ		
用紙坪量	64~157g/m ² (連量 55~135Kg)	3.3	
(連量)注1	ただし、タック紙などの場合は貼り合わせた総合坪量		
水分量	5.5±0.5%	3.3.5	
表面固有抵抗	1×10 ⁹ ~1×10 ¹² Ω	3.3.5	
用紙箱の大きさ	箱の高さは 300mm を超えないこと 3.2.2		
梱包条件	防湿フィルム梱包またはこれに類する防湿効果を持つもの 3.2.2		
保管条件	10~30°C、30~70%RH	3.3.7	
(注す)注意・四六に(700~4 004) の田紙 たす 000 地手わた とちの手 さたまし ささ			

表 3.1 用紙の基本仕様

(注1) 連量:四六版(788×1,091mm)の用紙を1,000枚重ねたときの重さを表します。

3.1.2 印刷領域

3.1.2.1 印刷可能領域

図 3.1 に示す印刷領域を超えた印刷品質は保証できません。

また、印刷領域内であっても、ミシン目、糊塗布、カット、凹凸などが存在する場合は、印刷品質 が低下します。

〔F モード標準〕



図 3.1 印刷可能範囲(1/2)

(注1)幅方向の印刷領域

図は幅 457.2mm(18 インチ、最大幅)の用紙の場合は印刷領域です。

- a. 幅 165.1~454.66mm(6.5~17.9 インチ)の用紙の場合
 用紙両側の送り孔センタより装置手前側で 9.14mm(0.36 インチ)と装置奥側で
 9.14mm(0.36 インチ)の範囲を除いた内側の部分を印刷領域と考えます。この領域がフォ ームオーバレイ用として使用できる基本寸法です。
- b. 幅 457.2mm(18 インチ)の用紙の場合
 用紙両側の送り孔センタより装置手前側で 9.14mm(0.36 インチ)と装置奥側で
 11.68mm(0.46 インチ)の範囲を除いた内側の部分を印刷領域と考えます。この領域
 424.18mm(16.7 インチ)がフォームオーバレイ用として使用できる基本寸法です。
- (注 2) 印字幅 419.1mm(16.5 インチ)は、(注 1)の印刷領域内で可能です。
 移動できる範囲は左に 2.11mm(0.083 インチ)、右に 78.74mm(3.1 インチ)です。
 ただし、本図に示す印刷範囲を超えた部分は保証できません。

〔ーード〕



図 3.1 印刷可能範囲(2/2)

(注 1) 幅方向の印刷領域
 図は幅 457.2mm(18 インチ、最大幅)の用紙の場合は印刷領域です。

図は幅437,200010177、取入幅/の用料の適日は印刷項項です。

- a. 幅 165.1~452.12mm(6.5~17.8 インチ)の用紙の場合 用紙両側の送り孔センタより装置手前側で 7.89mm(0.31 インチ)と装置奥側で 9.14mm(0.36 インチ)の範囲を除いた内側の部分を印刷領域と考えます。この領域がフォ ームオーバレイ用として使用できる基本寸法です。
- b. 幅 457.2mm(18 インチ)インチ(最大幅)の用紙の場合
 用紙両側の送り孔センタより装置手前側で 7.89mm(0.31 インチ)と装置奥側で
 13.13mm(0.52 インチ)の範囲を除いた内側の部分を印刷領域と考えます。この領域
 424.18mm(16.7 インチ)がフォームオーバレイ用として使用できる基本寸法です。
- (注 2) 印字幅 419.1mm(16.5 インチ)は、(注 1)の印刷領域内で可能です。
 移動できる範囲は左に 2.11mm(0.083 インチ)、右に 78.74mm(3.1 インチ)です。
 ただし、本図に示す印刷範囲を超えた部分は保証できません。

3.1.2.2 印刷、孔あけなどの禁止領域

中間ミシン目、糊塗布、カット孔などの加工部分では用紙にバリや凹凸が存在するため、転写不良 による印字抜けなどの障害原因となります。したがって、このような部分の近傍は印字禁止領域とな りますので帳票設計時には注意してください。

また、装置性能の確保上、用紙左側の一部にはミシン目、孔あけ、プレプリント加工ができない領 域があります。

該当する禁止領域例を図 3.2、図 3.3 に示します。

(1) 印字禁止領域(折り畳みミシン目、中間ミシン目など)



図 3.2 印字禁止領域

(2) 加工禁止領域(縦ミシン目、孔あけ、プレプリント加工)



図 3.3 加工禁止領域

3.2 用紙加工仕様

3.2.1 ミシン目加工・送り孔加工

連続帳票には、用紙の折り畳みや後処理のためのミシン目と、用紙を正確に搬送するための送り孔 が設けられています。

ミシン目には用紙の横方向に設けられて用紙の折り畳みに用いる折りミシン目、折りミシン目の間 に設けられる中間横ミシン目、用紙の縦方向(搬送方向)に設けられる縦ミシン目があります。

本装置に使用される連続帳票には、ミシン目の加工基準推奨値ならびに送り孔加工精度が規定され ています。ミシン目のタイ・カット比が適切でない場合やミシン目の膨らみが大きい場合、送り孔加 工精度が適性でない場合には、紙切れや印刷装置の紙送り性能、用紙の折り畳みに影響し、性能が著 しく損なわれる場合があります。

3.2.1.1 ミシン目の名称



図 3.4 ミシン目の名称

(1) ミシン目寸法の表示方法



図 3.5 ミシン目の表示寸法

3.2.1.2 送り孔、ミシン目の精度

送り孔は用紙の両端に設けます。半抜け状態の孔または抜きかすが用紙の間に挟まって残っている 用紙は、用紙搬送不良や抜きかすによる脱字現象が発生する可能性があるので、使用できません。

(1) 送り孔加工精度

送り孔加工精度は、図 3.6.1 および図 3.6.2 によります。



- A:送り孔のセンタと対応する端辺との距離
- B: 連続する2つの孔の中心間の距離 ※センタラインに沿って存在する中心距離254mm(10インチ)を超えない任 意の2つの送り孔の中心距離の累積誤差は±0.3mm以下のこと。
- C: 孔の中心のセンタに対するずれの量
- D:送り孔の直径
- E: 左右の対応する孔の中心のずれ量
- F: 折り畳みミシン目と隣接する送り孔のセンタとの距離



(2) 送り孔の直径



孔の縁が菊形状になっている送り孔は、最小径が上記のD寸法とし、最大径は4.5mmを超えないようにします。

図 3.6.2 用紙加工精度

3.2.1.3 ミシン目デザイン上の注意事項

(1) 推奨ミシン目寸法

折りミシン目、中間縦ミシン目、中間横ミシン目の加工基準推奨値を表 3.3、表 3.4 に示します。

ミシン目加工寸法が同一であっても、用紙の銘柄や加工条件の違いによって折り畳み特性、切 離し特性が変わる場合はあるため、この基準を目安に事前確認をする必要があります。

用紙連量	55kg から 75kg まで	75kg を超え 135kg まで
ミシン目種類	$(64 \sim 88 \text{g/m}^2)$	$(88 \sim 157 g/m^2)$
	0820	0815
	0825	0820
まるシントロ	0830	0823
別りミンノ日	1025	0825
		1020
		1025
	0715	0715
	0815	0815
中間縦ミシン目	1020	0820
	1030	0825
	1040	0830

表 3.3 折りミシン目、中間縦ミシン目加工寸法

帳票5 用紙坪量	中間横ミシン目 加エ寸法	1015	0815	0820	0825	0830
	3.5 インチ					
	4.0					
64g/m ² から	4.5					
105g/m ² まで	5.0					
(連量 55kg を超え	5.5					
90kg まで)	6.0					
	6.5					
	7.0					
	3.5					
	4.0					
105g/m ² を超え	4.5					
128g/m ² まで	5.0					
(連量 90kg を超え	5.5					
110kg まで)	6.0					
	6.5					
	7.0					
	3.5					
	4.0					
128g/m ² を超え	4.5					
157g/m ² まで	5.0					
(連量 110kg を超え	5.5					
135kg まで)	6.0					
	6.5					
	7.0					

表 3.4 中間横ミシン目加工寸法

備考 1. は推奨中間横ミシン目範囲を示します。

備考2. 中間ミシン目の加工条件は、折りミシン目より折り特性が弱く(折れにくく)なるようなタイ/カット比率(タイ部に対してカット部の小さいもの)を選びます。また、 用紙の両端に約2~3mm タイ部を設けます。(図3.7参照)

〔折りミシン目〕 〔中間ミシン目〕 良い例:タイ÷カット < タイ÷カット悪い例: $タイ÷カット \ge タイ÷カット$

備考 3. OCR 用紙の場合は、一般上質紙より硬いため、この基準値より若干タイ/カット比率を小さい方向にします。

(2) 折りミシン目および中間横ミシン目と用紙の両端面との交点には、必ず約 2~3mm のタイ部 を設けてください。また、折りミシン目および中間横ミシン目と縦ミシン目との交点にも、必 ずタイ部を設けてください。



図 3.7 ミシン目の交点

- (3) 中間ミシン目の凹凸やバリの存在が印字品質低下の原因となります。凹凸やバリのない用紙を 使用すると共に、ミシン目近傍の印字を避けたデザインとしてください。余白の目安は約2mm です。(図 3.2 参照)
- (4) 中間ミシン目から裁断したときに印字データが分割されてしまうことを防ぐため、ミシン目近傍に重要なデータを印字することは避けてください。余白の目安は約 2mm です。(図 3.2 参照)
- (5) 当社装置には構造上、縦ミシン目を設けることのできない領域が規定されているものがありま すので注意してください。(図 3.3 参照)
- (6) 中間横ミシン目の本数が多くなると、用紙のバタツキやスタッカ障害の原因となります。中間 横ミシン目の本数はできるだけ少なくしてください。多くなる場合は、タイ/カット比率を工 夫すると共に、十分に事前確認をする必要があります。

内部横ミシン	縦ミシン
1 本以下	3本以下
2 本以下	3 本以下
2 本以下	4 本以下
	内部横ミシン 1本以下 2本以下 2本以下

表 3.5 内部ミシン目数の目安

*内部横ミシンは折り畳みミシン目より2インチ以上離してください。

3.2.1.4 ミシン目加工上の注意事項

(1) ミシン目の加工は、用紙表面(プリンタ印字面)から裏面方向に打ち抜き、膨らみがないよう にしてください。加工方向が逆の場合は、切り込みによる用紙突起部の周囲で印字不良や感光 ドラムへの障害が発生することがあります。

- (2) 折りミシン目は用紙端に対して直角で、かつー直線に加工されていることが必要です。直角度が損なわれると斜積や用紙の捩じれなどの原因となります。
- (3)使用するミシンカッタは、刃厚、切れ味の管理を十分におこなってください。刃厚が厚すぎた り切れ味が悪い場合は、ミシン目の膨らみが大きくなり、重送、反り、斜積、用紙のねじれな どの原因となります。刃厚が薄すぎたり切れ味が良すぎる場合は、用紙切れや逆折れなどの原 因となります。



図 3.8 用紙の変形

- (4) ミシン目の加工方法などにより紙粉が大量に発生し、搬送不良や印字品質低下の原因となることがあります。ミシン目加工は、極力鋭利なカッタで加工するとともに、必要により紙粉除去処理を行ってください。
- (5) 用紙を加工したあと、箱入れする前の折りたたんだ状態およびプリンタで印刷したあとの状態 で、垂直線に対し、前後左右の用紙端面の傾斜角は6°以内でなければなりません。



図 3.9 用紙の横倒れ

3.2.1.5 事前確認

- (1) ミシン寸法については、運用に先立ち用紙を試作し事前通紙確認を十分に実施してください。
- (2) 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカと十分に話し合い、一定品質の用紙供給が得られるよう確認することをお薦めします。

3.2.2 用紙の梱包条件

(1)カールやシワ、乾燥や吸湿を防ぐため、用紙は防湿性のフィルム(ポリエチレンが適している) に包み、内側が平坦で丈夫な防湿性の箱に入れてください。購入する場合にはこのような用紙 をお選びください。箱やフィルムの材質などについては、用紙メーカと十分にご相談ください。

- (2) 用紙箱の構造は、装置への用紙の繰り出しが用紙箱に引っ掛かることなく行われるように、以下の項目について考慮してください。
 - a) 用紙ホッパ部の構造上、用紙箱の高さは 300mm 以下にしてください。
 - b) 用紙箱の蓋は別形式(C式)のものとし、山ミシン目側の内箱が開く構造とします。

ただし、内箱の開閉部から吸湿しやすいため、防湿処理がなく、また再生紙など吸湿しやすい 用紙の場合は、A 式をお勧めします。

また、ビニール梱包の用紙やA式の用紙はビニールや用紙箱の蓋をきちんと折り返して、用紙の繰り出しがスムーズに行えるようにして、用紙をセットしてください。



図 3.10 用紙箱の形式

- c) 用紙箱の内糊は用紙の縦、横寸法に対して余裕のあるものを使用します。(図 3.11 参照)
- d) ホッチキスなどの突起物および接着剤などのはみ出しが用紙箱の内側にあるものは使用できません。(図 3.11 参照)
- e) 用紙箱の底は平坦にし、用紙を歪ませないよう工夫してください。(図 3.11 参照)



図 3.11 用紙箱の寸法

- (3) 用紙箱は、積み上げに耐える強度にすることが必要です。
- (4) 用紙箱外面に製造者名とロット番号を記入することをお薦めします。

3.3 用紙基本仕様についての解説

3.3.1 用紙の種類

本装置で使用できる用紙は電子写真印刷用に製造された上質紙またはこの用紙を加工したものです。 用紙は以下に説明する各種条件を考慮して製造される必要があります。

電子写真印刷を考慮せずに製造された用紙を使用すると、用紙の特性や用紙の中の含有物によって 装置破損の原因となったり、印字品質低下の原因となったりします。必ず電子写真印刷用に製造され た用紙(OCR 用紙を含む)を使用してください。

電子写真印刷用に最適な用紙とは、電子写真記録における特性を考慮して調製された特性を持つ用 紙を意味します。通常の用紙に対して注意すべき点を以下に挙げます。

- 用紙の特性:
 - (1) 用紙剛度
 - (2) 電気抵抗値
 - (3) 用紙両面間の特性の差
 - (4) 含水率(水分量)
 - (5) 灰分(パルプ以外の含有物の量)
- (6) 梱包・保管条件

3.3.2 用紙の坪量と填料

用紙を規定する場合の基本的な単位として坪量があります。規定方法は 1m² 当たりの質量を表し、 単位は g/m²です。この規定により、用紙の大体の厚さなども決まります。その他に連量で表現する 場合があり、これは四六版(0.788×1.091m)の用紙を 1000 枚重ねたときの重さを kg で表示し ます。

坪量(g/m²)と連量(kg)の関係は、次式で表されます。

坪量×0.86 = 連量

本装置には使用可能な用紙坪量が規定されています(表 3.1 参照)。規定以外の用紙を使用します と軽い(薄い)場合には用紙破れ、送り孔ガレ、スタック不良などの原因となり、重い(厚い)場合 は用紙のコシが強くなりすぎ、搬送不良(用紙バタツキ)、地汚れ、用紙外れなどの原因となります。 したがって、必ず規定坪量の用紙を使用してください。

用紙にはパルプ以外に、電気抵抗値を調整したり表面の平滑さを改善するなどの目的で各種の物質 を添加します。これらの物質を填料と呼びます。

坪量が規定値以内でも、填料を多くしてパルプを少なくしたような用紙の場合には、用紙のコシが 弱く、用紙づまり、紙折れ、シワの原因となることがあります。このような用紙は、坪量の割には厚 みが薄いのが一般的です。通常の 64g/m² 用紙の厚みは 85 µm 程度あります。用紙のコシの強さに ついては、目安となる値が規定されています。表 3.9 を参照してください。



特にタルク(酸化マグネシウム)などの填料の多い用紙は、上記し た問題以外にも印字品質の低下や装置の損傷の原因となることが あります。タルクなどを含む紙中填料率(配分率)は5%以下が望 ましいものとお考えください。

- 印刷性能:
 - (1) 印刷後のカール
 - (2) 定着性(トナーの紙への固着永続性)
 - (3) 用紙の搬送性

3.3.3 用紙の欠陥

用紙の欠陥は印字品質や用紙の搬送性を損なう重大な要因です。プリンタに使用する用紙は以下に 挙げるような欠陥を生じないようにすることが必要です。

- (1) 折れた用紙
- (2) 破れたり孔のあいた用紙(孔つき用紙については3.4.3 項をご覧ください)
- (3) 用紙端面または角部が損傷した用紙
- (4) カール、シワ、波打ち、くぼみがある用紙
- (5) 折り畳んで積み上げたときに傾きがある用紙
- (6)切れ端、送り孔のクズやその他の用紙クズ、固形異物(ロウ、金属片、糊、樹脂など)を含ん だ用紙
- (7) 蛍光強度が強い用紙
- (8) 糊や粘着テープの付着した特殊用紙(タック紙については 3.4.2 項、メールシール紙については 3.4.4 項、シールはがき紙については 3.4.5 項をそれぞれ参照してください。)

3.3.4 用紙の異物



用紙に付着した異物は、装置内で用紙から離脱してプリンタ装置 内部を汚損します。その結果装置の性能は低下し、最悪の場合に は装置が損傷することもあります。例えば、大量の紙粉が搬送路 にたまると、用紙がスリップして搬送不良を生じます。また、紙 片が搬送路にあると用紙が引っ掛かり、やはり搬送不良や像抜け の原因となります。硬い異物が用紙に付着すると、感光ドラムを 傷つけて印字品質を損ないます。 電子写真では電気信号を可視像に変えるために静電気力を用いる ため、用紙に導電性異物(静電気除電用のワイヤブラシなど)が 付着していると静電気力を作りだすことができず、印字品質を低

下させたり、装置に深刻な損傷を与えることがあります。したが って、異物の付着した用紙は絶対に使用してはいけません。

3.3.5 用紙の水分、電気抵抗値と印字品質について

電子写真印刷では、転写工程(感光体上のトナーを用紙に付着させる工程)で静電気を使用します。 水分量が少なく電気抵抗が高いと静電気が用紙上に残りやすくなるため、スタック不良の原因となっ たりします。水分量が多く電気抵抗が低いと、転写工程で適切な静電気を保持することができず、印 字品質低下の原因となったりします。

このため、電子写真印刷に使用する用紙は、適切な範囲に水分が制御されている必要があります。 水分量の目安としては 5.5±0.5%ですが、最適値は用紙に含まれる充填剤や抵抗制御剤によっても 変わります。

さらに、用紙の含水率は用紙の電気抵抗値にも影響しますので、用紙の電気抵抗値も印字品質に大きく影響します。規定の含水率の用紙における電子写真に最適な電気抵抗の参考値は 1×10⁹~1×10¹²Ωですが、この値もまた用紙に含まれる充填剤や抵抗制御剤によって変わります。

また、印刷済みの用紙は、含水率が低下して電気抵抗が高くなるため、印字品質が保証できません。

- (1) 用紙の表面固有抵抗値が規格外の場合の障害例
 - a) 低い場合(1×10⁹Ω以下)
 - ⇒ トナー転写不良による印字濃度むらなど
 - b) 高い場合(1×10¹²Ω以上)

 - ⇒ 脱煙フィルタに早期目づまり

 - ⇒ 帯電吸着による用紙の破損(送り孔ガレ)

3.3.6 用紙の水分量変化とカールについて

(1) 周囲環境変化における用紙の変化

用紙は水分を吸収しやすい特性をもっているため、用紙特性は非常に変化しやすいものです。 このため、製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管条件が悪いと特性が変化してし まい、搬送不良や印字品質低下の原因となることがあります。したがって、用紙の保管につい ても十分な配慮をする必要があります。



図 3.12 水分量変化による用紙のカール

(2) 用紙の水分量とカール

電子写真印刷では、定着工程(トナーを用紙上に定着する工程)で用紙に高熱が加わります。 このとき、用紙の水分が瞬間的に蒸発するため、用紙が収縮しカールや波打ちを生じます。水 分量が大きい用紙はカールや波打ちを生じやすいため、搬送不良の原因となったりします。こ のため、電子写真印刷に使用する用紙は、適切な範囲に水分が制御されている必要があります。 水分量の目安としては5.5±0.5%です。

また、プレプリントを施した用紙などで、印刷の影響により部分的な水分量が周囲と異なって いると、部分的な用紙の収縮が起こり紙面に凹凸を生じて印字カスレなどの印字品質低下の原 因となることがあります。

3.3.7 保管について

- (1) 用紙箱は直接床に置かないでください。床に直接用紙を置くと吸湿しやすくなります。用紙は 水平で凹凸のない棚かパレット上に水平に保管するようにしてください。
- (2) 変形を避けるため、用紙は高く積み上げないでください。箱に入った状態の用紙であっても高 く積み上げないようにしてください。目安として1メートル以上の積み上げは避けてください。



図 3.13 積載方法

- (3) 乾燥や吸湿を防ぐため、用紙箱を密閉した状態で10~30℃、相対湿度30~70%(最大湿球 温度29℃以下)で保管してください。 ただし、用紙箱を開いて防湿性が不十分な場合には、もっと良い環境に保管する必要がありま す。この場合には15~25℃、相対湿度40~50%で保管してください。乾燥や防湿処理が十 分で、保管環境が適切であっても6ヶ月を超える長期保管は避けてください。
- (4) 乾燥や吸湿を防ぐため、開封した用紙の長時間(12H以上)放置は避け、防湿フィルムに包んで保管してください。 またプリンタ内の用紙についても、長時間停止する場合はプリンタから外し防湿フィルムに包んで保管してください。
- (5) 乾燥や吸湿を防ぐため、用紙を急激な温度変化に晒さないでください。用紙箱はあらかじめ使用場所へ運び、移動先の温度に用紙をなじませてから梱包を開くことをお薦めします。下表は環境変化に用紙がなじむために必要な目安時間を示します。

温度差	必要時間
5°C	6 時間
10°C	12 時間
20°C	24 時間

表 3.6 放置時間

- a) 常温常湿環境から高温高湿環境に用紙を搬入した場合には、吸湿して用紙に波打ちが発生す る場合があります。
- b) 常温常湿環境から低温低湿環境に用紙を搬入した場合には、乾燥して用紙が上向きにカール する場合があります。(図 3.12 参照)

3.3.8 再生紙

再生紙とは、新聞・雑誌などの印刷済み用紙(一般に古紙と呼ばれている)を溶かしてパルプ状に し、インク類を分離・漂白したものを上質紙に配合したあとに抄造した用紙をいいます。

国内では再生紙の規格がないため、古紙の含有率や色合い(白色度)などは各製紙メーカごとに異なります。

再生紙には普通紙に対して次のような特性上の差異があるため、再生紙を採用する場合には特に印 字品質、折り畳み特性などの事前確認を十分に実施してください。また、ロットが変更になる場合に も事前確認することをお薦めします。

確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカと十分に話し合い、一定品質の用紙供給が得られ ることを確認することをお薦めします。

- 特性上の差異
 - (1) 密度が低い。同じ坪量の場合、紙厚が厚い。
 - (2) 白色度が低い。
 - (3) 剛度が低い。
 - (4) 引張強度、紙面強度、コシなどの機械的強度が劣る。
 - (5) 含水率が高くカールしやすい。
 - (6) 品質のバラツキが大きい。使用する古紙の種類により品質に差がでる。

3.3.8.1 再生紙取扱上の注意事項

- (1) 紙粉の発生量が多くなります。ローラ、センサ、搬送路、定着器、ドラムなどに付着する紙粉の量が多くなり、さまざまなトラブルの原因となるおそれがあります。紙粉清掃の作業をこまめに実施してください。
- (2) 搬送不良の頻度が多くなる場合があります。吸湿しやすくカールを発生しやすい、剛度が低い などの要因により、搬送不良の発生頻度が増加する場合があります。
- (3) 印字後のカールが大きいものは、搬送やスタックに支障をきたす場合があります。
- (4) 機械的強度が低いものは、送り孔ガレ、紙折れ、シワなどを起こす場合があります。
- (5) 平滑度が低いため、印字品質が劣る場合があります。
- (6) ロットごとの用紙特性バラツキが用紙搬送性、印字品質の差としてでる場合があります。
- (7) 再生紙は吸湿しやすいため、防湿フィルム梱包をして保管してください。

3.3.9 推奨紙一覧表

推奨用紙として富士通コワーコ株式会社より、ご提供中の用紙は次のとおりです。

品名	商品番号	備考
	0412110	2000 セット/ケース、
		381×279.4mm
№ P白紙フォーム 1511-1月 3000 λ	0412140	3000 セット/ケース、
		381×279.4mm
	0412180	2000 セット/ケース、
		452.1×304.8mm
	0410170	4×6面/セット、500セット/ケ
NLP 99999-13 (4) 1510	0412170	ース、382×254mm
	0414213	2000 セット/ケース、
		80%古紙含有、80%白色度
西井 NI D 白紙フォーム EC1511-1D	0111011	2000 セット/ケース、
	0414214	70%古紙含有、70%白色度

表 3.7 当社推奨紙

上記に関するお問い合わせ先

富士通コワーコ株式会社 お客様総合センター フリーダイヤル 0120-505-279 携帯電話・PHS・IP 電話 03-5520-5820

受付時間:月曜日~金曜日 9時~12時、13時~17時30分 (土・日曜日・祝祭日・当社指定の休日を除く)

3.4 特殊紙

上質紙以外の特殊紙は、従来他方式のプリンタ装置で使用していたものをそのまま電子写真式プリンタ装置に適用するのではなく、電子写真式プリンタに適した用紙のご使用を推奨いたします。 用紙メーカから新タイプの特殊帳票が各種開発・販売されていますが、これらの特殊帳票は、用紙 メーカでのテストは勿論のこと運用先においても事前に十分なテストの実施が必要です。テストでは 印字品質を確認するだけでなく、気化物質などによって操作者の環境衛生や装置に悪影響を与えない 帳票であることを確認してください。

3.4.1 プレプリント用紙(事前印刷用紙)

3.4.1.1 デザイン上の注意事項

- (1) ベースとなる用紙は「3.3 用紙基本仕様についての解説」に説明した基本特性に合致するものを使用します。
- (2) インクの量は極力少なくて済むデザインをしてください。インクの量で印刷濃度を出すのでは なく、インクの色でカバーし、インク量を減らしてください。
- (3) 印刷インクの影響で印字品質が低下する場合があります。このため、重要なデータを印刷する 部分へのプレプリントを避けたデザインとします。
- (4) ベタ印刷はインクが紙面を完全に覆うため、印字品質への影響が大きくなります。バックカラ ー印刷や地紋印刷などをする場合は、ベタ印刷を避け、網点印刷にしてください。
- (5) プレプリントした印刷枠の中にプリンタで印字する場合は、印字位置ずれが目立つことがあります。極力、枠印刷を避け、地紋印刷などにより代替するまたは地紋印刷した用紙にオーバレイで枠を印字する方法を採用してください。 プレプリントした印字枠が必要な場合は、印字位置精度を考慮して、枠の寸法を大きめにします。余白は 1mm 以上設けます。
- (6) ベタ縦線の連続は、インク転写が起き易く、印字品質の低下や紙面汚損の原因となるので避けてください。
- (7) プレプリント(オフセット印刷)によって用紙の水分量が増減する場合があります。この場合 でも含水量は5.5±0.5%としてください。
- (8)本装置には構造上、プレプリントのできない領域が規定されているので注意が必要です。(図 3.3 参照)

3.4.1.2 インク

(1) プレプリントには耐熱性のフラッシュ定着用 UV インク(紫外線硬化型インク)を使用してく ださい。

フラッシュ定着用 UV インク以外の使用や、UV インクのランプ照射条件が適切でなくインク 乾燥が不十分な場合には、以下のトラブルになる可能性があります。

- ・インクの変色
- ・インクの剥がれ
- ・インクの溶融による用紙の裏移りや用紙搬送路の汚れ
- ・感光ドラムにインク付着による印字不良

特に、カーボン入り墨インクはフラッシュの影響を受け易くなりますので、事前に 通紙確認をしてから使用してください。

なお、プレプリント用紙に使用されているインクについては、プレプリント用紙を作成されている用紙メーカに確認してください。

 (2) UV インクの印刷設備がない場合には酸化重合タイプのインクを使用してください。酸化重合 タイプのインクを使用する場合は、乾燥に十分注意してください。
 印刷後のインク乾燥および用紙含水率制御のための用紙乾燥調質を十分に行ってください。
 酸化重合タイプインクの乾燥所要時間は、一般的に 5~7 日といわれています。

- (3) 耐熱性の低いインクを使用すると、定着時の熱によるインクの変質や、定着器などへの付着が 発生し、印字品質の低下や搬送不良、異臭発生などの原因となります。200℃の熱に耐えるイ ンクを使用してください。
- (4) 金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインク、シリコン含有 量が多いインクの使用は絶対に避けてください。

3.4.1.3 取扱上の注意事項



3.4.1.4 事前確認

- (1) 運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙確認を十分行ってください。
- (2) 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカと十分に話し合い、一定品質の用紙供給が得られることを確認してください。

3.4.2 タック紙

タック紙とは、裏面に糊の付いたラベル紙を台紙の上に並べたもので、印刷後に台紙からラベルを 剥がして使用します。なお、用紙処理部(ジョブカッタ)での処理はできません。

3.4.2.1 推奨仕様

本装置に使用できるタック紙の推奨仕様を表3.8に示します。

Ĩ	頁 目		仕様	備 考	
用紙	ラベル紙 台 紙 糊	紙質坪紙 項項	上質紙 52g/m ² ~64g/m ² グラシン紙 81g/m ² ~93g/m ² アクリル系溶剤	 ・接着剤がカット部からはみ 出すと搬送不良や装置破損の原因となります。定着熱が加わっても接着剤がはみ 出したりラベル紙がめくれないことが必要です。 ・カット部が深く、台紙に傷が付くと用紙の腰が弱くなり搬送不良の原因となります。 	
ラベル	ラベル サイズ 軸方向寸法		30mm 以上		
サイス			30mm 以上	カット部で用紙剛性が小さくなるため、カット面が 多く入ったタック紙は搬送不良などの原因となりま す。	
ラベルス	ラベルフォーマット		かす取り禁止 送り孔部のかす取り 形状	ラベル部以外の台紙 が露出しないように してください 送り孔 送り孔 送り孔の周囲に接着 剤がはみ出すとトラ クタピンに接着剤が 多堆積搬送不良、印 字汚れの原因となり ます。	
糊の 接着力	剥離抵抗	(P)	30g 以上/インチ	ラベル紙 1インチ 180度ピール法で約30g/1インチの強度が必要で す。	
折りミミ ト比	折りミシン目タイ/カッ ト比		1030 (1:3)		
台紙の中	台紙の中間ミシン目		禁止		

表 3.8 タック紙の推奨仕様
3.4.2.2 取扱上の注意事項

- (1) タック紙の保管条件は、温度 15~32℃、湿度 40~70%RH とし、寿命は製造後 1 年を目安 とします。また、製造後、湿気が入らないよう、できるだけ早く防湿フィルムなどで完全包装 します。
- (2) カット部の影響により印字品質が低下する場合がありますので、カット面付近の印字を避けて ください。余白の目安は印字位置精度も考慮して約 2mm です。(図 3.2 参照)
- (3) ラベル紙と台紙の紙質や厚さが異なると、定着時の熱でカールを発生します。このため、ラベル紙、台紙ともに電子写真印刷用に製造され、かつ含水率を「3.3.5 用紙の水分と印字品質について」で説明した 5.5±0.5%以内とするなどの考慮をされた、熱によるカールの少ない用紙を使用してください。
- (4) 用紙の積み重ね量が増えると自重により底部の用紙に接着剤のはみ出しが発生する可能性があります。保管の際の用紙の積み重ね量については用紙メーカに確認してください。

3.4.2.3 事前確認

- (1) 運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙確認を十分行ってください。
- (2) 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカと十分に話し合い、一定品質の用紙供給が得られることを確認してください。

3.4.3 孔つき用紙

帳票の機能上で必要な、送り孔を除く孔つき用紙に関する注意事項は以下のとおりです。(送り孔に ついては図 3.6.1 および図 3.6.2 参照)

3.4.3.1 デザイン上の注意事項

- (1) ベースとなる用紙は「3.3 用紙基本仕様についての解説」で説明した基本特性に合致するものを使用します。
- (2) 孔部の凹凸やバリが印字品質低下の原因となります。凹凸やバリのない用紙を使用してください。
- (3) 孔近傍の印字を避けたデザインとしてください。余白の目安は、印字位置精度も考慮して約 3.5mm です。(図 3.2 参照)
- (4)本装置には、用紙の搬送を制御するセンサが搭載されています。用紙の孔がセンサにかかると 搬送エラーや搬送不良が発生するため、本装置では孔あけ禁止領域を規定しています。(図 3.3 参照)

3.4.3.2 事前確認

- (1) 運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙確認を十分行ってください。
- (2) 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカと十分に話し合い、一定品質の用紙供給が得られることを確認してください。

3.4.4 メールシール紙

用紙の隅に部分的に糊を塗布したもので、プリンタ装置で印字後、袋状に閉じて接着し、封書とし ます。糊部は通常は接着力を持ちませんが、加熱または加圧により接着力が得られます。これを郵送 し、送付先でミシン目部を切断して開封します。



図 3.14 メールシール紙

3.4.4.1 デザイン上の注意事項

- (1) ベースとなる用紙は「3.3 用紙基本仕様についての解説」で説明した基本特性に合致するものを使用します。
- (2) 接着剤の盛り上がりが、搬送不良や印字品質低下の原因となります。接着剤の盛り上がりのない用紙を選択するとともに、接着剤塗布部付近への重要データの印字を避けてください。余白の目安は約3,5mmです。(図3.2参照)



- ●接着剤(糊)が感光ドラムや定着器に付着すると、搬送不良や 印字品質低下、装置破損の原因となりますので、ドラムや定着 器、搬送路に糊が付着しないことを事前に十分確認してください。
- ●接着剤やインクに含まれる物質が、気化することによって装置 を劣化させたり、操作者に不快感を与える場合があるため、事 前に十分確認してください。

3.4.4.2 取扱上の注意事項

(1) 用紙の積み重ね量が増えると、自重により用紙にブロッキング(糊による貼り付き)が発生する可能性があります。
 用紙の保管の際の積み重ね量については、用紙メーカに確認してください。

(2) メールシール紙には、普通紙に比べて長期保存性の劣るものがあります。 用紙の保存期間、保管条件については、用紙メーカにご確認してください。

3.4.4.3 事前確認

- (1) 運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙確認を十分行ってください。
- (2) 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカと十分に話し合い、一定品質の用紙供給が得られることを確認してください。

3.4.5 シールはがき用紙

用紙の両面(または片面)にシール糊を全面塗布したもので、プリンタ装置で印字後、折り畳んで、 はがき状に接着します。糊部は通常は接着力を持ちませんが、折り畳み後加圧(シーラーと呼ぶ専用 機を用いる)することにより、接着力が得られます。

はがきとして郵送し、送付先で開封します。一度剥がすと再び貼り付けられないようになっているので、親展性が高まります。



図 3.15 シールはがき用紙

主なシールはがき用紙の名称例(五十音順)

〔用紙メーカ名〕 〔商品名称〕	
株式会社イセトー ワンタッチメー	ール
共同印刷株式会社 ポスメイト	
小林クリエイト株式会社 みつおりくん	
大日本印刷株式会社S メール	
トッパン・フォームズ株式会社POSTEX	

注)シールはがきの名称は、用紙メーカによって異なります。 新商品名称については用紙メーカに問合せください。 なお、商品名称が同じでも用紙の特性が異なる場合がありますので、合わせてメーカに問 い合わせてください。

また、帳票の種類は、上記に説明した三つ折りタイプ(両面にシール糊を塗工)の他に、往復はが きタイプ(片面にシール糊が塗工され1面だけ圧着)、ハーフタイプ(はがき1枚半の大きさで半面 だけ圧着)などがあります。(詳細図 3.16 参照)



図 3.16 各種シールはがき

3.4.5.1 デザイン上の注意事項

- (1) ベースとなる用紙は「3.3 用紙基本仕様についての解説」で説明した基本特性に合致するものを使用します。また、用紙の特性上プレプリント仕様(インク種類、色数)に制限がありますので、採用前に用紙メーカに確認してください。
- (2) 用紙の表裏に特殊な感圧糊が塗工されています。そのため、印字/印刷する際、圧着不良につ ながる可能性がありますので、相対する面の印字/印刷が極力左右対称とならないようなレイ アウトで設計してください。
- (3) 上記と同じ理由により、ベタ印刷は極力使用しないでください。また網点印刷も 15%を上限 としてください。
- (4) 用紙の圧着力は、事前印刷条件やプリンタ装置による印字量によって変化します。圧着力が強 すぎると開封時に破れやカールが発生し、弱すぎると郵送途中でのめくれなどが起こる可能性 があります。帳票デザインに適した加圧条件を、用紙メーカに確認してください。

3.4.5.2 取扱上の注意事項



- ●接着剤(糊)が感光ドラム、搬送ローラや定着器に付着すると、 印字にじみ、かぶりなどの印字品質低下、搬送不良による印字 ずれ、擦れ汚れなどの装置故障の原因となりますので、ドラム や定着器、搬送路(搬送ローラ、ガイドなど)に糊、インクが 付着しないことを事前に十分確認してください。(大量印刷後に 発生する場合もあります)。
- ●接着剤やインクに含まれる物質が、気化することによって装置 を劣化させたり、操作者に不快感を与える場合があるため、事 前に十分確認してください。
- ●圧着後の剥がした際のオフセット(裏写り)が糊加工の違いで 発生する可能性があります。本番業務前に確認してください。
- (1) 湿度の変化に弱いため、通常は防湿包装(ビニール袋など)のまま保管します。
- (2) 用紙の積み重ねの量が増えると、自重により底部でブロッキング(糊による貼り付き)が発生 する可能性がありますので、用紙の積み重ね量については、用紙メーカに確認してください。
- (3) 普通紙に比べて長期保存性に劣るものがあるので、用紙の保存期間、保管条件については用紙 メーカに確認してください。

3.4.5.3 事前確認

- (1)運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙、圧着品質の確認を十分行ってください。 なお、プレプリントの内容や出力データの領域によってシールはがきとしての品位が左右され るため、テスト時はデータフォーマット、印字濃度など、実運用と同じ条件下で行ってください。
- (2) 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカと十分に話し合い、一定品質の用紙供給が得られることを確認してください。

3.4.6 はがき印刷について

はがきは、 す法が 9×14cm~10.7×15.4cm の間、 重量は 2~6g の間に入っている必要があり ます。 本装置で使用できる用紙サイズは「3.1 基本仕様」に示したとおりで、 はがきそのもののサ イズは使用できません。

しかし、用紙を印刷後裁断することにより前記規定寸法にすることではがきとして使用できます。 したがって、前記規定により128.3 g/m²以上の坪量の用紙に印刷し、市販の裁断機などを使用して 裁断することによりはがき印刷ができます。

なお、少量印刷の場合はあらかじめミシン目を入れた用紙を使用し、手裁断することも可能ですが、 ミシン目に起因する不具合を防ぐためにも、ミシン目のない用紙を使用することをお薦めします。

3.4.7 色付き用紙

色付き用紙は、着色のための染料およびその結着剤を用紙の繊維中に含浸させるため、紙面の微細 な凹凸が少なく、溶融トナーが繊維中に浸透しにくくなるので、定着性が低下します。また、結着剤 (樹脂)とトナーの親和性が悪い場合は特に定着性が劣ります。このため、本装置では印字品質を保 証できませんので、色付き用紙の使用は避けてください。

やむを得ず使用する場合は十分に事前確認を行い、定着性の低下レベルを理解したうえで運用して ください。



図 3.17 色付き用紙とトナー定着

3.4.8 エンボス用紙

用紙に絞りを入れて社名ロゴなどを浮き彫りにした用紙をエンボス用紙と称します。用紙の一部に 厚さの差や凹凸があると、搬送不良や印字品質低下の原因となります。エンボス用紙またはこれに類 似した用紙(厚みに差のある用紙など)は使用できません。

3.4.9 シークレットラベル用紙

はがきを親展にするために、はがきの一部に部分的に貼り付ける、剥離可能、かつ再貼り付け不可 能なラベルをシークレットラベル用紙と称します。

事前にシークレットラベル用紙を貼り付けた用紙は、本装置では使用することはできません。通常の用紙に出力後、後処理でシークレットラベルを貼り付けてください。

なお、はがきサイズに裁断後ラベルを貼る機器と、裁断前にラベルを貼り、そのあと用紙を裁断す る機器が市販されています。業務に見合った機器を選択してください。

3.4.10 透かし入り用紙

ー度すいた紙に重ねてもうー度紙をすくことにより製造されたり、特殊な薬剤印刷によって製造された透かし入り用紙は、表と裏の用紙の特性差や印刷物質の剥落があり、用紙のカールや印字品質低下の原因になります。また、透かし部分の印字品質の保証もできません。したがって、原則的には透かし入り用紙は使用できません。

官公庁向け文書などでやむを得ず使用せざるを得ない場合は、十分に事前確認をしてください。

3.4.11 透明フィルム

本装置では透明フィルムは使用できません。

3.4.12 ノンカーボン紙

図のように、筆圧で発色する材料(感圧剤)を塗布した用紙3種を組み合わせた複写用紙です。 インパクトプリンタを使用する場合は3枚同時の印字が可能(2枚目以降は感圧剤で発色)となり ます。本装置のようなノンインパクトプリンタに関しては、3種を別々に印字したあと、2枚以上を 綴じ合わせる方法で使用される場合があります。



図 3.18 ノンカーボン紙

ノンカーボン紙使用における問題としては、下記の事項があります。

- 筆圧を伝えるため用紙1枚が薄く、坪量が規格の範囲以下である場合が多い。
 一一一搬送不良、スタック不良の原因となる。
- ② 感圧剤が定着部の熱で溶ける場合がある。 ――――溶けた成分が搬送系に付着することによる搬送障害や脱煙、脱臭フィルタ 系への負荷増加により早期交換が必要となる。

これらの問題により、ノンカーボン紙は基本的には使用不可ですが、やむを得ず使用する場合は、 +分に事前確認を行い、問題点を理解したうえで運用してください。特に③については、大量印刷を 行う場合にローラ清掃、保守部品交換など、保守条件の見直しが必要となりますので、注意してくだ さい。

なお、用紙処理部(ジョブカッタ)での処理はできません。

3.4.13 OCR 紙

用紙表面に帯電防止剤がコーティングされていると、文字や罫線がにじんだり、ぼやけたりすることがあります。これは、帯電防止剤がドラムに付着してドラムの帯電が損なわれるためです。 用紙加工メーカにご確認のうえ、帯電防止剤がコーティングされていない OCR 紙をご使用ください。

なお、用紙処理部(ジョブカッタ)での処理はできません。

3.4.14 カード媒体

用紙(台紙)の一部に剥離可能なカードを貼った帳票をカード媒体と称します。 このようなカード媒体は、会員証や健康保険証用にプリンタ装置で印刷後、郵送して受け取り人が 剥がして使用します。

本用紙の運用について以下に記述します。

- (1) カード媒体の形態には『フラットタイプ』と『段差タイプ』がありますが、本装置では『段差タイプ』は使用しないでください。
- (2) 『フラットタイプ』について
 - カード媒体は、形態/材質などの仕様が統一されていないため、各媒体により印字品質、搬送性、 スタッキング性に与える影響は大きく異なります。推奨紙以外の媒体を使用する必要がある場合 は、運用に先立って十分な検討と事前確認が必要となりますので注意してください。 ※ カード媒体のメーカと型番(詳細はメーカにお問い合わせください。)



図 3.19 カード媒体

3.4.14.1 デザイン上の注意事項



(1) カード周辺部 30mm の範囲の印刷は保証できません。 (印字抜けなどの印刷不良の発生が予想されます。カード媒体仕様によって影響度が異なりますので、サンプル評価など、十分事前調査を行ってください。)



図 3.20 カード周辺部の印字禁止範囲

(2) 下図の斜線範囲へのカードの貼り付けは、用紙走行不良となる可能性があるのでおやめください。



図 3.21 カード貼り付け禁止範囲

- (3) 折り畳みミシン目で折り重ねた時、カード同士が対面しない用紙レイアウトにしてください。 カード同士が対面すると、搬送路,転写部,スタッカ部での用紙詰まりや、積み重ね時に不安定と なります。
- (4) カード媒体の台紙は用紙連量 70kg 以上、且つ台紙,カード,保護シートを含めたトータル連量(※) が 135kg を越えないようにしてください。



(※)トータル連量用紙(台紙)、カード部分、保護シートを含めた連量。

(5) カードの接着力が弱く剥離抵抗が小さいと転写部やスタッカ部でカード剥がれの原因となります。 事前に用紙メーカにカード部分の接着強度を確認してください.

3.4.14.2 取扱上の注意事項



- ●カードにバリ、カエリなどの突起があるものは感光ドラム損傷の原因となるため使用できません。
- ●接着剤(糊)が感光ドラムや定着器に付着すると、搬送不良や 印字品質低下、装置破損の原因となりますので、糊が付着しな いことを事前に十分確認してください。
- (1) カード媒体の保管期間、条件については用紙メーカに事前確認し、条件を厳守してください。
- (2) カード材質や接着剤特性によって運用環境が制約されますので、用紙メーカに事前確認を行って ください。(使用環境温度は 15~32℃、湿度は 40~70%RH としてください)
- (3) プリンタ装置にセットしたまま、長時間放置しないでください。
- 3.4.14.3 装置使用上の注意事項(カード媒体使用時)
 - (1) カード媒体については最大許容スタック量が 500 枚です。1 箱分の印刷終了ごとに、必ずスタッカより媒体を取り出してください。カード部と台紙部の厚みが異なるため、スタッカ部で用紙が斜めに積まれる場合があります。
- 3.4.14.4 事前確認
 - (1) 運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙、印刷確認だけでなく封入封緘などの事後処理も確認 を十分行ってください。
 - (2) 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカと十分ご相談のうえ、安定した用紙供給が得られることを確認してください。
- 3.4.15 その他特殊用紙

封筒などの糊付け紙や、フィルムポケットのある用紙、合成紙といった特殊用紙を使用すると、定 着部の熱で糊やコート剤やフィルムが溶けることがあります。溶けた成分が感光ドラムや搬送路に付 着したり、定着器にダメージを与えたり、悪臭を発することがあるので、これらの特殊用紙の使用は 避けてください。やむを得ず使用する場合は十分に事前確認を行い、問題点を理解したうえで運用し てください。

3.5 **用紙の形態指**針

3.5.1 用紙の形態

印刷帳票のデザイン、購入、管理の指針を下表に示します。用紙購入に際しては、この指針に基づき納入元と仕様確認を行ってください。詳しくは各章の内容を確認してください。

項	項目	内容	参照資料
	用紙の基本仕様	表3.1「用紙の基本仕様」による、 表裏面は均一であり、コーティングやプ ラスチックなどを含まないこと。 用紙の厚さは、規定している範囲外の厚	3.3 用紙基本仕様についての解説
	(用紙坪量)	い用紙または薄い用紙は使用できません。 障害例: 厚い場合印字濃淡脱字、地汚れ 薄い場合用紙破れ、フィード不良	
用 紙	用紙の腰の強さ	用紙に必要な腰の強さは、用紙 2 シート を横ミシン目の箇所で折り、用紙の中央 を支え、垂れ下がった部分の寸法が下記 に示す値であることをお勧めします。 この値を満足しない場合は、印字後の折 り畳みがスムーズに行われません。 縦寸法 X'値 111~12 178mm(7 1)所以上 T7~T10 1/2 153mm(6 1)所以上 (障害例:用紙折畳み不良)	武票 カット
紙 <u></u> 物 性	用紙のカール	用紙に著しくカールがあると、搬送機構 での用紙づまりや、転写不良による脱字 現象がでやすくなるため使用できませ ん。	0000000 H
	シワ、くぼみ、 折れ、破れ	用紙にシワやくぼみ、破れ、折畳み部以 外の折れ目があると、その近辺に転写不 良による脱字現象がでやすくなるために 使用できません。	6000000000000000000000000000000000000

表 3.9 用紙の形態(続く)

表 3.9 用紙の形態(続く)

項	項目	内容	参照資料
	用紙の送り孔の 半抜け 綴じ孔	送り孔が完全に開けられてなく半抜け状態の用紙または"抜きかす"が用紙の間にはさまって残っている用紙は、用紙搬送不良や抜きかすによる脱字現象が発生する可能性があるので、使用できません。障害例:フィードエラー、脱字	半 抜 け 光 坊 け 光 坊 り 米 抜 け 米 抜 け 米 抜 け 米 抜 り 米 坂 り 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	横ミシン目と送 り孔の位置	横ミシン目の位置に対して送り孔が横ミ シン目に接するような場合は、用紙破れ の原因となります。 送り孔の位置は横ミシン目から離しま す。	横 ミシン 日 X
	ミシン目	ミシンの本数は、極力少ない方をお勧め します。	フォーム加工精度
bo	送り孔の形状と 位置	用紙の送り孔の形状不良、左右の位置が ずれている場合は、用紙張力不良や印字 不良の原因となります。 障害例:印字乱れ、用紙搬送不良	送
Н	異物の混入	用紙加工時の導電ブラシ、ミシン刃の欠 損物が、混入していないこと。 障害例:感光ドラムにダメージを与え、 印字障害となる。	
	孔あき用紙	用紙終了誤検出防止 用紙の左端からの距離 40mm~ 110mmにある図の斜線範囲に、孔あ け加工した用紙は使用できません。 障害例:用紙終了誤検出	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	用紙色 ・プレプリント 用紙 (事前印刷)	用紙は白、淡色系をお勧めします。 プレプリントのインクは、電子写真用の 耐熱インクを使用してください。 印刷色は明るいものにし、インク塗布量 も薄く処理したものを使用してください。	2.7mm
	・左耳部の色	用紙左耳部送り孔センタラインから 2.7 ~6.3mm の範囲に、プレプリントや縦 ミシン目加工、孔加工などがある用紙は 使用できません。 障害例:用紙送り誤検出、印字濃度異常	●

表 3.9 用紙の形態(続く)

項	項目	内容	参照資料
	特殊紙	タック紙、シールはがきなどの特殊用紙の	
加		ときは、事前テストを実施してください。	
–		同一加工メーカの製品でも原紙メーカが	
-		異なる場合かありますので、仕様の取り	
		次のを行ってくたさい。	
	用紙相の形状	用紙相の構造は、装直への用紙の繰り出しが用紙筋に引っ掛かることなく行われ	
		しか用紙相に5つ掛かるとこなく1111に スように 下記 / 頂日につき老虐します	
		日紙箱は積み上げに耐える強度の箱にし	
		てください。	
	 箱の蓋 	① 用紙箱の蓋は別形式(C式)のもの	
		にします。	
		さらに、処理速度の速い装置の場合	
		は、ホッパ部にセットした状態で箱の	
		右側(現像器側)が開く構造のものが	
		適しています。	(C式) (A式)
		ににし、内相の用闭部から収湿しや すいため、防児加囲がたく、また再生	
		901にの、防心処理がなく、よに再生 紙たど吸湿しめすい田紙の提合は A	
		式をお勧めします。	
	 箱の寸法 	 ② 箱の内寸法 	loc
		・用紙箱の蓋は別形式(右図参照)の	10000000000000000000000000000000000000
		ものとし、山ミシン目側の内箱が開	
		く構造にしてください。	開き方向
		・用紙箱の内糊は用紙の縦、横寸法に	
		Nして 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 	
		12000	
+			7 用紙箱の内側にホッチキス等の
↑困			
2			
			1
			会給があること
	 高さ 	用紙箱の高さ 300mm 以下	
			300mm以下
			198
			▲ 用紙歪みの悪い例⇔用紙を歪ませないように、
	• 空記物埜止	③ ホッチキスなどの空起物が用紙箱の	
	人也物水正	内側にあるものおよび箱の接着剤など	
		が内側にはみ出しているものは使用で	Anterna
		きません。	
		また、箱の折り返しが内側にくる場合	
		は、用紙の折畳みミシン側になるよう	
		にしてください。	内側の折り返しに用紙端が
		 障害例:文字にじみ、用紙づまり	引っ掛かり、用紙の送り込みの障害となる
	・田紙筠の序	田紙箔の底は平均で田紙を本ませたいと	のり呼可になる
		うにしてください。	
		 ・用紙サイズより大きなダンボール板を 	
		底に敷く。	

項	項目	内容	参照資料
	表示	用紙箱の外面には製造者名とロット番号 を記入することをお薦めします。	表示例 帳票仕様 帳票サイズ、数量 製造年月 または 使用期限 製造者名
管理・保管	納入形態	変形を避けるため、用紙は水平な棚、パ レット上に置いてください。 用紙は高く積み上げないでください。	
プレプリント	用紙裏面の プレプリント 禁止エリア	本装置では用紙のJAMを検知するた め、用紙両端のスプロケット穴の移動を、 用紙裏面より光学式反射型センサで監視 しています。 JAM誤検出の原因となる場合があるた め、右に示すハッチング領域(非印刷面 側)にはプレプリントは行わないでくだ さい。	(6mm) 6.7mm 6.7mm (6mm)

表 3.9 用紙の形態(続き)

3.6 印刷データの作成

3.6.1 データ作成上の注意

印刷データを作成する際、表 3.10 に示す記載事項に注意する必要があります。(ラインプリンタモード(互換モード)の場合)

項目	内容。
印刷データ	① 1バイトコードでX′40′をブランク以外で使用しないことが好
作成上の注意	
	(2) 最大用紙幅か 15 インチの装置 (F6715D、F6715E、F6700D、 「C719C」 「C719C/D」 「C7C9D/C」 では1 行の印刷データは
	F0712E、F0718C/D、F0702D/E) には1100印刷 デタは 346075mm(13625 インチ)以上は印刷されません。したが
	って、346.075(13.625 インチ)以上のデータを使用していた
	場合、本装置では 419.1mm (16.5 インチ) まで印刷されるため、
	これまで捨てられていたデータが出力されることがあるので注意が
	必要です。 トコ問題のなく担合け、ノンフト、川味のエ、ド汎中な行います
アンダライン	エ記问题ののる場合は、1ノストール時のモート設定を1111より。 重わ打ちコマンドによって生成されたアンダラインの位置と 1バイト
使用上の注意	系のアンダライン付文字セットを使用して生成したアンダラインの位置
	は、6行/25.4mm(1 インチ)モードは異なるので注意を要します。
	$f \in [\Lambda D 4.23 \text{ mm}(1/61/7)]$
	重ね打ちコマンドに アンダライン付
	よるアンダライン 文字セットの
	アンダライン
	, , , , , , , ,
	重ね打ちにおいて、アンダラインの位置ずれを防止するためには、以下
	の注意が必要です。
	 □ アンタンゴン13×4ビットを使用しない。 ② その他の文字セットのIDのビット0をオンにします。

表 3.10 データ作成上の注意

3.6.2 印刷パターンについて

(1) 線画と網掛け

オーバレイ、イメージ、および、図形印刷等の線画印刷時に、印刷解像度を 600dpi または 400dpi 指定して 1 ドットの線を印刷すると、かすれが生じる場合があります。また、網掛け の 1 ドットパターンも同様に印刷が薄れる場合があります。

このような事象を回避するために、プリンタ装置側で印刷濃度を濃く設定をするか、帳票の オーバレイ設定や図形描画ソフト側で1~2ドット程度太くしたパターンを作成し、試し印刷 したうえでご使用ください。

プリンタ装置側の設定方法については、「2.2.2.1 (2)印刷濃度調整機能」を参照ください。 ソフト側での現在の設定の確認方法および指定変更については、帳票作成に使用している Windows 等のソフトウェアのマニュアルをご確認ください。 なお、240dpi での印刷時にはこの現象は発生しません。

(2) 文字とバーコード

文字フォントを明朝体に指定して、600 dpi または 400 dpi の解像度で印刷する場合、文字の横線が 1 ドットになり、かすれが生じる場合があります。

プリンタ装置、もしくはドライバ側で印刷濃度を濃く設定するか、ゴシック体など線が細く なりにくい他の文字フォントで試し印刷したうえでご使用ください。

240 dpi での印刷時にはこの現象は発生しません。

なお、印刷濃度を濃く設定して、GS1-128(料金代理収納用)バーコードを論理エレメント 幅(バーコードの基準となる太さ)で印刷するとバーコード品質が低下しますので、プリンタ 側、またはバーコードの出力ソフトウェア側で論理エレメント幅を白黒補正にしたパターンを 試し印刷した上でご使用ください。

Windows 等のソフトウェアから出力される場合には、ソフトウェア側に論理エレメント幅を 補正する機能が必要です。

※GS1-128(料金代理収納用)バーコードは、300 dpi 以上の印刷解像度が必要となりますので、ご注意ください。

3.6.3 ОСR印字

OCR 印字した帳票を OCR 装置で読み取る場合、帳票の印字面が OCR 装置の紙送り機構(送りローラ、用紙ガイド)と接触すると、印字面や OCR 装置の紙送り機構を汚し、その結果、読取りエラーやリジェクトが発生しやすくなるおそれがあります。

運用に先立ち、当社営業部門または SE 部門に相談してください。

3.6.4 FCBの取扱い

ラインプリンタモード(互換モード)の場合

(1) FCB (forms control buffer)

ページ内の行制御のためのバッファであり、ジョブに先立ち Load FCB コマンドでロードさ れます。その内容は、行ピッチとチャネル番号とからなるキャリッジコードを1ページの行数 分並べて、1ページの行の構成とチャネル位置を定義するものです。 キャリッジコードは、次のような形式をもち、1バイトが1行に対応します。行ピッチは6、 8、12行/インチの3種であり、チャネル番号はX'1'~X'C'です。



1ページの長さは各キャリッジコードのピッチの合計で決まり、FCB は IMPL 直後、デフォルト状態となります。

デフォルト状態とは、全行6行/25.4mm(1インチ)のピッチ、チャネル1が4行目でFCB 長が装置にセットされた用紙長となる状態です。FCBデータの例を次に示します。



(2) FCB と用紙長

本装置は、FCB で定義されたページ単位で制御を行っています。印刷禁止領域の判別も FCB で行われるため、FCB で定義されたページ長と実際に使用する用紙の折畳み長とが一致してい ない場合、本来、印刷できる領域に印刷されなかったり、印刷できない領域に印刷される可能 性があります。また、エラー発生により停止した場合、用紙ずれの問題が生じます。 したがって、表 3.11 の組合せ以外の使用法はできません。用紙長 7.0 インチ未満を設定する と状態表示 "30" エラーとなります。

用紙処理部を使用する場合は、FCBと用紙長が一致していなければ印刷時に用紙長ノットレディ(状態表示 "30") エラーが発生し、印刷はできません。

FCB 定義 (mm(インチ))	用紙の折畳み長さ (mm(インチ))	FCB 定義 (mm(インチ))	用紙の折畳み長さ (mm(インチ))
88.9 (3.5)	177.8, 266.7, 355.6 (7, 10.5, 14)	241.3 (9.5)	241.3 (9.5)
101.6 (4)	203.2, 304.8 (8, 12)	254.0 (10)	254.0 (10)
114.3 (4.5)	228.6 (9)	266.7 (10.5)	266.7 (10.5)
127.0 (5)	254.0 (10)	279.4 (11)	279.4 (11)
139.7 (5.5)	279.4 (11)	292.1 (11.5)	292.1 (11.5)
152.4 (6)	304.8 (12)	304.8 (12)	304.8 (12)
165.1 (6.5)	330.2 (13)	317.5 (12.5)	317.5 (12.5)
177.8 (7)	177.8, 355.6 (7, 14)	330.2 (13)	330.2 (13)
190.5 (7.5)	190.5 (7.5)	342.9 (13.5)	342.9 (13.5)
203.2 (8)	203.2 (8)	355.6 (14)	355.6 (14)
215.9 (8.5)	215.9 (8.5)		
228.6 (9)	228.6 (9)		

表 3.11 FCB と用紙長

(3) FCB とフォームオーバレイ定義

フォームオーバレイパターンの垂直方向の長さが、FCB で定義されたページ長より大きいパタ ーンを出力すると、印刷時にオーバレイデータエラー(状態表示 "50")が発生します。 したがって、オーバレイパターンの垂直方向の長さは、FCB のページ長と同じか小さくなけれ ばなりません。

3.6.5 行マージ

重ね印字に対する行マージ規則は、「OS IV/F4 日本語ラインプリンタ装置使用手引書」を参照 してください。(ラインプリンタモード(互換モード)の場合)

3.6.6 GS1-128(料金代理収納用)バーコード印刷

ラインプリンタモード(互換モード)でGS1-128(料金代理収納用)バーコードの印刷が可能となります。バーコードとOCR文字を解像度 600dpiで展開し、他のデータは解像度変換で240 dpi を 600dpi に変換して出力します。このため、240 dpi で印刷した場合に比べて大きさが若干変化する可能性があります。運用に先立って、十分にご確認ください。

3.6.7 二次元コード(QRコード/マイクロQRコード)

二次元コードは富士通メインフレームからのチャネル接続環境と、オープン環境からのFNPエミレーションのネットワーク接続環境から出力することができます。QRコード(モデル2)とマイクロQRコードの印刷が可能です。

富士通メインフレームからは、PSAM(Presentation Service Access Method)とADJUSTソフトウェアが連携して富士通メインフレームコード系の文字入力を変換して二次元コードの印刷出力を 実現します。二次元コードの印刷には、プリンタ側にQRコード出力機構のオプションが必須です。

上位装置から二次元コードの出力方法は、印刷領域、誤り訂正レベルなどを指定して行います。二 次元コードの印刷領域を指定して二次元コードのデータ容量から算出したモジュール寸法以内のモ ジュール寸法を「表 3.12 選択可能なモジュール寸法」から選択して二次元コードを印刷します。 二次元コードのデータ容量によって二次元コードのシンボルサイズは大きくなりません。

ただし、印刷領域の指定から算出されるモジュール寸法が表 3.12 のモジュール寸法の最小値より小 さい場合、例外処理としてプリンタが選択可能な最小のモジュール寸法を選択します。意図された印 刷領域の指定より大きいサイズで印刷されることになりますので、以下の記述を参考にされて適切な サイズの印刷領域を指定されることを推奨します。二次元コードの基本仕様については、JIS X 0510「二次元コードシンボルーQRコードー基本仕様」を併せて参照ください。

なお、Windows サーバからの GDI 出力など図形イメージ出力の場合、上記説明とは異なります。それぞれ該当するマニュアルをご参照ください。

(1) 文字種

二次元コードに収納したいデータ容量と文字種の要因で収納する「型番」が変わります。

- ・ 数字モード : 数字0~9、数字3文字を10ビットに圧縮して符号化されます。
- 英数字モード : JIS X 0201 の以下のコード文字、2 文字を11ビットに圧縮して符号 化されます。
 - 数字0~9、大文字A~Z、スペース、8個の特殊文字(\$%*+-./:)
- 8ビットバイトモード: JIS X 0201 の8ビットのラテン文字・カタカナ用8ビット符号 に規定された文字 00 HEX~FF HEX。
- 漢字モード : JIS X 0208 の 8140_{HEX}~9FFC_{HEX}および E040_{HEX}~EBBF_{HEX}までの文字。13ビットに圧縮して符号化されます。
- (2) 誤り訂正レベル

二次元コードはコードが汚れたり、破損しても、コード自身でデータを復元する機能を持っています。「誤り訂正能力は QR コードでレベル L、M、Q、H の 4 段階、マイクロ QR コードでレベル L、M、Q の 3 段階、用意されており、使用環境に合わせてレベルを選択することができます。

誤り訂正レベル	レベルL	レベルM	レベルQ	レベルH
復元能力	$\sim 7\%$	~15%	~25%	~30%

誤り訂正レベルを上げれば、訂正能力は向上しますが、データが増えるのでコードのサイズは大きくなります。

(3) モジュール寸法 D とシンボルサイズ

本装置は、印刷領域を指定してその印刷領域に読取に必要なクワイエットゾーン(必要余白)も 含めて印刷可能な二次元コードのモジュール寸法 D を算出します。ただし、印刷領域にプリン タが印刷可能な最小の印刷領域以下を指定された場合、例外処理としてプリンタが印刷可能な最 小のシンボルサイズで印刷します。

- ① 文字種と誤り訂正レベルから算出したモジュール数Sに読取に必要なクワイエットゾーン加えて印刷モジュール数S_Tを求めます。QRコードとマイクロQRコードのモジュール数Sと必要クワイエットゾーンは異なります。
- 【QRコードの場合】
 - モジュール数:S = (〔型番の値〕 --1) × 4+21
 - クワイエットゾーン:コードの上下左右に4モジュール
 印刷モジュール数ST=S+8



図 3.22 QR コードシンボル

【マイクロQRコードの場合】

- モジュール数:S = (〔型番の値〕 -1) × 2+11
- クワイエットゾーン:コードの上下左右に2モジュール
 印刷モジュール数ST=S+4



図 3.23 マイクロ QR コードシンボル

- ② モジュール寸法Dの最大サイズD_{MAX}を印刷領域とシンボルモジュール数S_Tから算出します。
 ・ D_{MAX}=印刷領域÷S_T
- ③ 表 3.12 からプリンタが印刷可能なD_{MAX}に最も近いモジュール寸法 D を選択して、二次元コ ードのシンボルサイズを決定します。
 - D≤D_{MAX}のモジュール寸法を表から選択する。
 - ・ シンボルサイズ =S×D

モジュー	-ル寸法	240dpi	400dpi	600dpi				
D (インチ)	チ) ミリ換算 ドット		ドット数	ドット数				
1/120	0.21	2	_	_	(注1)			
1/100	0.25	_	4	6				
1/80	0.32	З	5					
1/75	0.34			8				
3/200	0.38	_	6	9	推奨			
1/60	0.42	4			(注2)			
1/50	0.51		8	12				
1/48	0.53	5						
1/40	0.64	6	10	15				
7/240	0.74 7							
3/100	0.76	_	12	18				

表 3.12 選択可能なモジュール寸法

—:出力不可

運用に先立ち読取りテストを行ってシンボルサイズを決定してください。

注1:モジュール寸法1/75インチ以下では、印刷品質を満足するかの判断が必要です。 装置ごとに適正な印刷濃度値の管理が必要になる場合があります。

注2:モジュール寸法3/200インチ以上では、推奨印刷濃度値(8~12)での運用を推奨します。

(4) QR コードの文字数と型番

■ 文字種が混在していない場合

表 3.13 QR コード誤り訂正レベル Lの型番と最大入力文字数

	誤り訂正レベル L (7%)										
		データ容量(最大入力文字数)						データ容量(最大入力文字数)			
型番	S	数字	英数字	8ビット バイト	漢字	型番	S	数字	英数字	8ビット バイト	漢字
1	21	41	25	17	10	21	101	2,232	1,352	929	572
2	25	77	47	32	20	22	105	2,409	1,460	1,003	618
3	29	127	77	53	32	23	109	2,620	1,588	1,091	672
4	33	187	114	78	48	24	113	2,812	1,704	1,171	721
5	37	255	154	106	65	25	117	3,057	1,853	1,273	784
6	41	322	195	134	82	26	121	3,283	1,990	1,367	842
7	45	370	224	154	95	27	125	3,517	2,132	1,465	902
8	49	461	279	192	118	28	129	3,669	2,223	1,528	940
9	53	552	335	230	141	29	133	3,909	2,369	1,628	1,002
10	57	652	395	271	167	30	137	4,158	2,520	1,732	1,066
11	61	772	468	321	198	31	141	4,417	2,677	1,840	1,132
12	65	883	535	367	226	32	145	4,686	2,840	1,952	1,201
13	69	1,022	619	425	262	33	149	4,965	3,009	2,068	1,273
14	73	1,101	667	458	282	34	153	5,253	3,183	2,188	1,347
15	77	1,250	758	520	320	35	157	5,529	3,351	2,303	1,417
16	81	1,408	854	586	361	36	161	5,836	3,537	2,431	1,496
17	85	1,548	938	644	397	37	165	6,153	3,729	2,563	1,577
18	89	1,725	1,046	718	442	38	169	6,479	3,927	2,699	1,661
19	93	1,903	1,153	792	488	39	173	6,743	4,087	2,809	1,729
20	97	2,061	1,249	858	528	40	177	7,089	4,296	2,953	1,817

	 誤り訂正レベル										
		データ容量(最大入力文字数)						データ容量(最大入力文字数)			
型番	S	数字	英数字	8ビット バイト	漢字	型番	S	数字	英数字	8ビット バイト	漢字
1	21	34	20	14	8	21	101	1,708	1,035	711	438
2	25	63	38	26	16	22	105	1,872	1,134	779	480
З	29	101	61	42	26	23	109	2,059	1,248	857	528
4	33	149	90	62	38	24	113	2,188	1,326	911	561
5	37	202	122	84	52	25	117	2,395	1,451	997	614
6	41	255	154	106	65	26	121	2,544	1,542	1,059	652
7	45	293	178	122	75	27	125	2,701	1,637	1,125	692
8	49	365	221	152	93	28	129	2,857	1,732	1,190	732
9	53	432	262	180	111	29	133	3,035	1,839	1,264	778
10	57	513	311	213	131	30	137	3,289	1,994	1,370	843
11	61	604	366	251	155	31	141	3,486	2,113	1,452	894
12	65	691	419	287	177	32	145	3,693	2,238	1,538	947
13	69	796	483	331	204	33	149	3,909	2,369	1,628	1,002
14	73	871	528	362	223	34	153	4,134	2,506	1,722	1,060
15	77	991	600	412	254	35	157	4,343	2,632	1,809	1,113
16	81	1,082	656	450	277	36	161	4,588	2,780	1,911	1,176
17	85	1,212	734	504	310	37	165	4,775	2,894	1,989	1,224
18	89	1,346	816	560	345	38	169	5,039	3,054	2,099	1,292
19	93	1,500	909	624	384	39	173	5,313	3,220	2,213	1,362
20	97	1,600	970	666	410	40	177	5,596	3,391	2,331	1,435

表 3.14 QR コード誤り訂正レベル Mの型番と最大入力文字数

表 3.15 QR コード誤り訂正レベル Q の型番と最大入力文字数

誤り訂正レベル						Q ((25%)				
		データ容量(最大入力文字数)						データ容量(最大入力文字数)			
型番	S	数字	英数字	8ビット バイト	漢字	型番	S	数字	英数字	8ビット バイト	漢字
1	21	27	16	11	7	21	101	1,224	742	509	314
2	25	48	29	20	12	22	105	1,358	823	565	348
З	29	77	47	32	20	23	109	1,468	890	611	376
4	33	111	67	46	28	24	113	1,588	963	661	407
5	37	144	87	60	37	25	117	1,718	1,041	715	440
6	41	178	108	74	45	26	121	1,804	1,094	751	462
7	45	207	125	86	53	27	125	1,933	1,172	805	496
8	49	259	157	108	66	28	129	2,085	1,263	868	534
9	53	312	189	130	80	29	133	2,181	1,322	908	559
10	57	364	221	151	93	30	137	2,358	1,429	982	604
11	61	427	259	177	109	31	141	2,473	1,499	1,030	634
12	65	489	296	203	125	32	145	2,670	1,618	1,112	684
13	69	580	352	241	149	33	149	2,805	1,700	1,168	719
14	73	621	376	258	159	34	153	2,949	1,787	1,228	756
15	77	703	426	292	180	35	157	3,081	1,867	1,283	790
16	81	775	470	322	198	36	161	3,244	1,966	1,351	832
17	85	876	531	364	224	37	165	3,417	2,071	1,423	876
18	89	948	574	394	243	38	169	3,599	2,181	1,499	923
19	93	1,063	644	442	272	39	173	3,791	2,298	1,579	972
20	97	1,159	702	482	297	40	177	3,993	2,420	1,663	1,024

誤り訂正レベル H (30%)											
		デー	-タ容量(最:	大入力文字	数)			データ容量(最大入力文字数)			
型番	S	数字	英数字	8ビット バイト	漢字	型番	S	数字	英数字	8ビット バイト	漢字
1	21	17	10	7	4	21	101	969	587	403	248
2	25	34	20	14	8	22	105	1,056	640	439	270
3	29	58	35	24	15	23	109	1,108	672	461	284
4	33	82	50	34	21	24	113	1,228	744	511	315
5	37	106	64	44	27	25	117	1,286	779	535	330
6	41	139	84	58	36	26	121	1,425	864	593	365
7	45	154	93	64	39	27	125	1,501	910	625	385
8	49	202	122	84	52	28	129	1,581	958	658	405
9	53	235	143	98	60	29	133	1,677	1,016	698	430
10	57	288	174	119	74	30	137	1,782	1,080	742	457
11	61	331	200	137	85	31	141	1,897	1,150	790	486
12	65	374	227	155	96	32	145	2,022	1,226	842	518
13	69	427	259	177	109	33	149	2,157	1,307	898	553
14	73	468	283	194	120	34	153	2,301	1,394	958	590
15	77	530	321	220	136	35	157	2,361	1,431	983	605
16	81	602	365	250	154	36	161	2,524	1,530	1,051	647
17	85	674	408	280	173	37	165	2,625	1,591	1,093	673
18	89	746	452	310	191	38	169	2,735	1,658	1,139	701
19	93	813	493	338	208	39	173	2,927	1,774	1,219	750
20	97	919	557	382	235	40	177	3,057	1,852	1,273	784

表 3.16 QR コード誤り訂正レベル Hの型番と最大入力文字数

■ 文字種が混在する場合

複数の文字種を収納する場合は、下記により、型番を算出します。

- QRコードに収納する文字種により、コードで表現するときのビット数を算出します。 (A_x:収納する文字数)
 - 数字だけ : A1 文字

 $B_1 = 10 \times (A_1 \div 3) + 4 + C + R$

- R: A1÷3の余りが0ならば0、1ならば4、2ならば7
- •英字、数字、記号 :A₂文字
 - $B_2 = 11 \times (A_2 \div 2) + 4 + C + 6 \times (A_2 \div 2 の余り)$
- •8ビットバイト :A3文字
 - $B_3 = 8 \times A_3 + 4 + C$
- 漢字、かな : A₄文字
 - $B_4 = 13 \times A_4 + 4 + C$
 - C:文字数指示子のビット数(下表から)

型番	数字	英数字	8ビット バイト	漢字
1~9	10	9	8	8
10~26	12	11	16	10
27~40	14	13	16	12

複数の文字種を収納する場合は、それぞれのビット数の合計を算出します。

 $B_T = B_1 + B_2 + B_3 + B_4$

② B_T[ビット]を収納するために必要な QR コードの型番とモジュール数Sを、下記の表から決定します。

型。		収納可能なデータビット数					ç	収納可能なデータビット数			
番	3	L	М	Q	Н	番	3	L	Μ	Q	Н
1	21	152	128	104	72	21	101	7,456	5,712	4,096	3,248
2	25	272	224	176	128	22	105	8,048	6,256	4,544	3,536
3	29	440	352	272	208	23	109	8,752	6,880	4,912	3,712
4	33	640	512	384	288	24	113	9,392	7,312	5,312	4,112
5	37	864	688	496	368	25	117	10,208	8,000	5,744	4,304
6	41	1,088	864	608	480	26	121	10,960	8,496	6,032	4,768
7	45	1,248	992	704	528	27	125	11,744	9,024	6,464	5,024
8	49	1,552	1,232	880	688	28	129	12,248	9,544	6,968	5,288
9	53	1,856	1,456	1,056	800	29	133	13,048	10,136	7,288	5,608
10	57	2,192	1,728	1,232	976	30	137	13,880	10,984	7,880	5,960
11	61	2,592	2,032	1,440	1,120	31	141	14,744	11,640	8,264	6,344
12	65	2,960	2,320	1,648	1,264	32	145	15,640	12,328	8,920	6,760
13	69	3,424	2,672	1,952	1,440	33	149	16,568	13,048	9,368	7,208
14	73	3,688	2,920	2,088	1,576	34	153	17,528	13,800	9,848	7,688
15	77	4,184	3,320	2,360	1,784	35	157	18,448	14,496	10,288	7,888
16	81	4,712	3,624	2,600	2,024	36	161	19,472	15,312	10,832	8,432
17	85	5,176	4,056	2,936	2,264	37	165	20,528	15,936	11,408	8,768
18	89	5,768	4,504	3,176	2,504	38	169	21,616	16,816	12,016	9,136
19	93	6,360	5,016	3,560	2,728	39	173	22,496	17,728	12,656	9,776
20	97	6,888	5,352	3,880	3,080	40	177	23,648	18,672	13,328	10,208

表 3.17 QR コードの型番と収納可能なデータビット数

(5) マイクロ QR コードの文字数と型番

複数の文字種を収納する場合は、下記により、型番を算出します。

- ① マイクロQRコードに収納する文字種により、コードで表現するときのビット数を算出します。
 (A_X:収納する文字数)
 ・数字だけ
 : A₁文字
 - - $B_1 = 10 \times (A_1 \div 3) + M + C + R$
 - R: A1÷3の余りが0ならば0、1ならば4、2ならば7
 - •英字、数字、記号 :A2文字
 - $B_2 = 11 \times (A_2 \div 2) + M + C + 6 \times (A_2 \div 2 の 余 0)$
 - •8ビットバイト :A3文字
 - $B_3 = 8 \times A_3 + M + C$
 - 漢字、かな : A4文字
 - $B_4 \quad = 13 \times A_4 + M + C$
 - C:文字数指示子のビット数(下表から)
 - M:モード指示子のビット数(下表から)

	文	マ字数指示子の	Dビット数:	С	モード指示子のビット数:M			
型番	数字	英数字	8ビット バイト	漢字	数字	英数字	8ビット バイト	漢字
M 1	0	-	-	-	3	-	-	-
M2	1	1	-	-	4	3	-	-
MЗ	2	2	2	2	5	4	4	3
M4	3	3	3	3	6	5	5	4

複数の文字種を収納する場合は、それぞれのビット数の合計を算出します。 BT = $B_1+B_2+B_3+B_4$

② B_T [ビット] を収納するために必要な QR コードの型番とモジュール数Sを、下記の表から決定します。

				データ容量(最大入力文字数)					
型番	S	誤り訂止 レベル	ァータ ビット数	数字	英数字	8ビット バイト	漢字		
M1	11	L	20	5	-	_	_		
M2 -	10	L	40	10	6				
	13	М	32	8	5				
	15	L	84	23	14	9	6		
IVIO		М	68	18	11	7	4		
		L	128	35	21	15	9		
M4	17	М	112	30	18	13	8		
		Q	80	21	13	9	5		

表 3.18 マイクロ QR コードの型番と最大入力文字数

3.6.8 文字間隔の指定について

以下の連携では、すべての文字間隔をプリンタの解像度で表現できません。このため、指定され た文字間隔とプリンタ動作が一致しない場合があるため注意が必要です。

・SPARC Servers、SPARC Enterprise、PRIMEPOWER、富士通 S series の cobol 印刷

cobol では、文字間隔を 0.01cpi~24.00cpi(単位:0.01cpi)の範囲で指定可能です。 ただし、0.01cpi~0.23cpi を指定しても無効となります。 指定された文字間隔は、以下に示す方法により各解像度でのドット数に換算されます。 半角文字の場合は、このドット数の半分になります。

文字間隔:A(cpi) 7200dpi におけるドット数に換算 (下一桁を四捨五入) D_1 (FyF) = 7200 ÷ A 240dpi におけるドット数に換算 D₂(ドット) = D₁ × 240÷7200 (端数は切り捨て) プリンタでは下記の文字間隔での動作となります。 $C (cpi) = 240 \div D_2$ (例) 文字間隔として 5.00cpi を指定した場合、本装置は 5cpi として動作します。 $D_1 = 7200 \div 5.00 = 1440 (\vdash \forall \vdash)$ $D_2 = 1440 \times 240 \div 7200 = 48 (F \cup F)$ $C = 240 \div 48$ = 5 (cpi) 文字間隔として 5.02cpi を指定した場合、本装置は約 5.11cpi として動作します。 D1 = 7200÷5.02 ≒ 1434 ≒ 1430 (ドット) (下一桁を四捨五入) D₂ = 1430×240÷7200 ≒ 47.6 ≒ 47 (ドット) (端数は切り捨て) $C = 240 \div 47$ ≒ 5.11 (cpi) 2 解像度 400dpi で印刷時 文字間隔:A(cpi) 7200dpi におけるドット数に換算 $D_1(F_{\forall}F) = 7200 \div A$ (一桁目を四捨五入) 400dpi におけるドット数に換算 $D_2 (\models \forall \models) = D_1 \times 400 \div 7200$ (端数は切り捨て) プリンタでは下記の文字間隔での動作となります。 $C (cpi) = 400 \div D_2$ (例) 文字間隔として 5.00cpi を指定した場合、本装置は 5cpi として動作します。 $D_1 = 7200 \div 5.00 = 1440 (FyF)$ $D_2 = 1440 \times 400 \div 7200 = 80 (F \lor F)$ $C = 400 \div 80$ = 5 (cpi) 文字間隔として 5.02cpi を指定した場合、本装置は約 5.06cpi として動作します。 D₁ = 7200÷5.02 ≒ 1434 ≒ 1430(ドット)(下一桁を四捨五入) D₂ = 1430×400÷7200 ≒ 79.4 ≒ 79(ドット) (端数は切り捨て) $C = 400 \div 79$ ≒ 5.06 (cpi) ③ 解像度 600dpi で印刷時 文字間隔:A(cpi) 7200dpi におけるドット数に換算 D₁(ドット) = 7200÷A (一桁目を四捨五入) 600dpi におけるドット数に換算 D_2 (ドット) = $D_1 \times 600 \div 7200$ (端数は切り捨て)

プリンタでは下記の文字間隔での動作となります。

C (cpi) = $600 \div D_2$

(例) 文字間隔として 5.00cpi を指定した場合、本装置は 5cpi として動作します。

 $D_1 = 7200 \div 5.00 = 1440 (\varkappa)$

 $D_2 = 1440 \times 600 \div 7200 = 120 (FyF)$

 $C = 600 \div 120 = 5 (cpi)$

文字間隔として 5.02cpi を指定した場合、本装置は約 5.04cpi として動作します。

- D₁ = 7200÷5.02 ≒ 1434 ≒ 1430(ドット)(下一桁を四捨五入)
- D₂ = 1430 × 600 ÷ 7200 ≒ 119.2 ≒ 119 (ドット) (端数は切り捨て)
- $C = 600 \div 119$ = 5.04 (cpi)

第4章 消耗品、消耗部品、および添付品

本章では、本装置で使用する消耗品、消耗部品、および添付品について説明します。

4.1 消耗品

本装置に使用する消耗品を表4.1 に示します。 使用状況をみながら常時補充、ストックしておく必要があります。 なお、消耗品を交換する場合には、使用期限を確認し、必ず新品の消耗品と交換してください。 旧品をそのまま使用すると、装置に障害を引き起こすことがあります。 消耗品は、富士通コワーコ㈱で販売しています。なお、指定消耗品以外は本装置に使用できません。

表 4.1 消耗品一覧

品名(商品番号)	仕様	構成	未使用品の保管条件
トナー	CA82201-0510	1.7kg 入りカートリッジ	0~32℃
(0875110)		×4/セット	30~70%RH
現像剤	CA82201-0500	2.8kg 入りボトル	0~32℃
(0875210)		1 セット	30~70%RH

(注)運用にあたっては、別冊(PS5000 シリーズ ページプリンタ装置 運用費用のご案内)を 併せて参照してください。

上記に関する問合せ先

富士通コワーコ株式会社 お客様総合センター フリーダイヤル 0120-505-279 携帯電話・PHS・IP 電話 03-5520-5820

受付時間:月曜日~金曜日 9時~12時、13時~17時30分 (土・日曜日・祝祭日・当社指定の休日を除く)





トナーを目や口に入れないでください。

トナーの交換時に手についたトナーは速やかに洗い落とし、目や口に 入れないでください。トナーをこぼしたときなどにこの粉塵を長いあ いだ多量に吸い込むと、肺に影響を及ぼすことがありますので、ご注 意ください。また、このようなときには、速やかに医師に相談してく ださい。



現像剤を目や口に入れないでください。

現像剤の交換時に手についた現像剤は速やかに洗い落とし、目や口に 入れないでください。また、誤って口に入れてしまったときには、速 やかに医師に相談してください。

4.2 消耗部品

本装置に使用する消耗部品を表 4.2 に示します。

消耗部品は状態表示によって交換するもので、印刷料金のご契約を頂くことにより当社保守技術員が適宜補充いたします。

なお、消耗部品を交換する場合には、必ず新品の消耗部品と交換してください。旧品をそのまま使 用すると、装置に障害を引き起こすことがあります。

ただし、ドラム組立とフラッシュランプは状態表示によらず、当社保守技術員が適宜交換作業を行 います。

品名	仕様	構成	使用個数/1 台	未使用品の保管条件
オゾンフィルタ	CA05855-9938	1個	1個	0~50°C 30~70%RH
キットF	CA05150-9903	クリーナブラシ 1個 クリーナブレード1個	1セット	0~50°C 30~70%RH
脱煙フィルタ	CA82201-0202	1個	1個	0~50°C 30~70%RH
ドラムユニットF	CA05855-9914	1個	1個	(注)
転写帯電器F	CA05150-9902	1個	1個	0~50℃ 30~70%RH
フラッシュランプ	CA82201-1201	1本	2本	0~50℃ 30~70%RH

表 4.2 消耗部品一覧

(注) 冷暗所に保管します(温度0~32℃、湿度70%以下をお勧めします)。

火気、および酸、アルカリ、金属蒸気の影響を受ける環境の元には置かないでください。

4.3 消耗品、消耗部品の廃却

- (1) お客様の廃却品 使用済みの消耗品、消耗部品は法令、条例に従って産業廃棄物としてお客様で処理処分をお願 いいたします。
- (2) 回収サービス

トナー/現像剤に関しては回収サービスを実施しています。(図 4.1 参照) お問い合わせのうえご利用ください。



図 4.1 回収サービス

消耗品内訳	マニュフェスト情報							
名称	種類	形状	重金属有無	備考				
トナー	廃プラスチック	固形	なし	回収サービス 対象品				
現像剤	金属、廃プラスチック	固形	なし	回収サービス 対象品				
キットF	廃布、紙、ゴム、金属	固形	なし	_				
脱煙フィルタ	廃木、布	固形	なし	_				

(3) 保守技術員交換

ドラム、フラッシュランプなどは保守技術員が引取処理をいたしますので、ご連絡ください。

4.4 添付品

本装置の添付品を表 4.4 に示します。

品名	個数	用途
ファイル	1	(保守作業用)
ペーパーナイフ	1	スタッカから用紙を取り出すときの用紙切断用
現像剤供給ジョウゴ	1	現像器に現像剤を補給するための継手
スクレーパ	1	定着器ガラスを清掃する工具
ダイザ	8	地震時のずれ対策
現像剤	1	(現像剤1本)
トナーカートリッジ	1	(トナーカートリッジ 1 本)
オペレータガイド	1式	消耗品交換作業用
取扱説明書	1	
+-	1	(保守作業用)
		副操作パネルカウンタースイッチ操作用
トナー回収ボトル	1	廃トナー回収用ボトル
USB キーボード	1	(保守作業用)システムインストール用
PS5230 インストール CD-ROM	1式	(保守作業用)システムインストール用
		CD-ROM(3 枚組) 使用許諾書
PrintWalker CD-R	1式	PrintWalker インストール用
		CD-R (2 枚組)
装置回路図	1	
用紙	1箱	15×11 インチ 55KG
用紙	1	18×11 インチ 55KG (約 100 枚)
保守用 USB メモリ	1	(保守作業用)
USB 延長ケーブル	1	(保守作業用)
		キーボード延長用
USB ケーブル	1	(保守作業用)
		メカコンバージョンアップ用
短絡コネクタ	1	PS5230C-CP だけ添付

表 4.4 添付品

第5章 設置諸元

本章では、本装置の設置条件、設置に対する注意について説明します。

5.1 設置条件

本設置の設置条件を表 5.1 に、外形寸法を図 5.1 に、保守エリアを図 5.2 に、排気部位置を図 5.3 に示します。

項	目		ſi	備考		
外形寸法	(mm)	幅 2410	奥 89	行 30	高 さ 1550	
質量	(kg)		約1	040		本体側 :約610 スタッカ側:約430
保守エリア	(mm)	前 900	後 900	左 900	右 900	方向は装置正面を基準 とします
	電 圧	AC200V±10%				
入力電源	相数		ŝ			
	周波数	5	60/60H			
所 要 電 力 量 〔KVA〕	制 御 中 非制御中		<u>約</u> 約(
発 熱 量	制御中		約	8600 kcal/H		
(MJ/H)	非制御中		約:	3.0		700 kcal/H
漏洩電流	(mA)	15以下				
	装置状態	稼働	中	休」	上中	
周田语	温 度 〔℃〕	15~	32	0~	~35	
許容範囲	湿 度 〔%RH〕	40~	70	201	~80	
	最 高 湿 球 温度〔℃〕	26	5	2	26	
許容塵埃量		0.168	3以下		ステアリン酸基準	
許容振動	1.96 以下				0.2G以下	
電源入力端子	M6 ボルト端子 1 系統			電源工事が必要		
騒 音	制御中	70(半無響室)(正面)				JIS Z8731 A 特性に
[dB(A)]	非制御中	55	(半無響	室)(正面	面)	よる
排 気 量	(m ³ /min)	約 44				

表 5.1 設置条件



○標準装置の場合

図 5.1 外形寸法



○標準装置の場合

図 5.2 保守エリア



図 5.3 排気部位置

- 注 1) 上記保守エリアは、装置の保守サービスを実施するのに必要なスペースです。 必ず確保してください。
- 注2) 装置背面には,装置稼働中約8,600 [Kcal/H]の排熱があります. 稼働中でも周囲環境許容範囲を維持できるよう,装置背面の空間,空調設備(排熱ダクト等) を設ける必要があります.
装置併設時の注意事項

ダクト(B部)(図5.3 排気部位置 参照)からの排気は流量・流速ともに高く、併設した プリンタ装置の用紙交換時に用紙バタツキ等操作上の障害が生じたり、排熱が併設装置に影響 を与える恐れがあるため、保守エリアのスペースを必ず確保してください。 また、以下の例に示すよう、装置背面からの排気がかからないように設置してください。 (↑F、F↓ : 装置正面)

- 後ろの装置をずらし、ダクト(B部)からの排気を避ける。(装置併設例1)
- 互いの装置背面部を外向きにする。(装置併設例2)



装置併設例1



第6章 トラブル事例

本章では、用紙の取扱いに対するトラブルの対応について説明します.

表 6.1 の参照項に示す(*)部については、以下のマニュアルを参照してください. 「ページプリンタ装置 用紙の設計と取扱い(連続帳票編)」

I	Ę	障害現象	原因	処置	参照項
搬送不	1	給紙部での用紙のつれ上 がりが発生して,ドラムに 用紙が巻き込まれる.	シールはがき、タック紙の 糊・プレプリント紙のイン ク付着・用紙の端部の折れ	用紙加工上, 糊・インク等 が付着しないよう用紙加 エメーカに依頼する.	(*)
良関			等により用紙が重なって 搬送された.		
連	2	用紙がトラクタビンから 外れる.	トラクタで用紙を張り過 ぎている.	トラクタでの用紙張りを 少し緩めてセットする.	2.3.2
			用紙左右の送り孔の間隔 ズレ.	送り孔間隔にズレがない よう用紙加工メーカへ依 頼する.	(*)
			用紙連量が装置の規定を 下回っていた。	規定内の用紙を使用する。	(*)
	3	用紙がバタツキ,搬送不良 となる.	用紙の引き力が弱い。	用紙引き力切替レバー(ス カッフローラー切換えレ バー)を強くする.	2.2.7
			用紙の横ミシン目が規定 寸法外である.	タイ/カット比を変更す る.	(*)
			プレプリント (裏面) イン クの定着性が悪い.	定着性を向上するよう用 紙加工メーカへ依頼する.	(*)
			コート紙, アート紙等の特殊用紙である.	規定内の用紙を使用する.	(*)
			AKDサイズ剤を使用し た中性〜アルカリ性紙で ある.	安定した品質管理の用紙 を使用する.	(*)
	4	用紙オートロード時にド ラムに用紙が巻き込まれ る.	用紙の先頭1ページを折 り返していない(折り返し 対象の用紙坪量の場合).	用紙の先頭 1 ページを折 り返ししてオートロード する.	2.3.2
			用紙を2枚重ねたときに 送り孔の位置が合わない.	折りミシン目,送り孔加工 の精度向上を用紙加工メ ーカへ依頼する.	(*)
			用紙連量が装置の規定を 下回っていた.	規定内の用紙を使用する よう顧客に依頼する.	(*)
	5	用紙が折りミシン目で切 断し,搬送不良となる.	用紙の引き力が強い。	用紙引き力切替レバー(ス カッフローラー切替レバ ー)を弱くする.	2.2.7
			ミシン加工不良(タイカッ トのカット寸法が大きい)	タイカット比を変更する.	(*)
			用紙端部がカットしてあ った.	端部をタイ部とするよう 用紙加工メーカへ変更依 頼する.	(*)

表 6.1 トラブル事例集(続く)

表 6.1 トラブル事例集(続く)

項		障害現象	原因	処置	参照項
搬	6	タック紙のオートロード	台紙にラベルの切り込み	台紙に刃物が当たらない	(*)
送		時に用紙折れ曲がりが発	が入り,用紙の腰が弱くな	よう、用紙加工メーカに依	
不		生する.	った.	· 頼する.	
R	7	タック紙のラベルが剥が	ラベル紙の剥離抵抗が小	剥離抵抗を30g/1インチ	(*)
関		れ、定者カラスに付着して	さい。(剥かれ易い)	以上にするよう、用紙加工	
浬		正有个民こなる.			(
	8	タック紙のフヘルの刺か	タック紙のラヘル部以外	フヘル部以外の台紙を露	(*)
		1, 搬达路 (スクツ刀・虹 宮部笠)に建り付いて田純	の百紙を、主し际云(刀人	山口にないよう、田祇加工	
		うまりとなる	取りしているために刺かっ		
				ラベル紙と台紙の博量が	(*)
			様を招えている。	使用範囲内になるよう用	(. ,
				紙加工メーカに依頼する。	
	9	トラクタピンに糊が付着	タック紙の送り孔部から	送り孔部のラベル紙を除	(*)
		して用紙穴の抜けが悪く	糊がはみ出し、トラクタピ	去して台紙のみとする(波	
		なり用紙づまりとなる。	ンに付着。	形状カス取り)よう依頼す	
				る.	
	10	用紙をセットしてもオー	トレーシングペーパのよ	規定内の用紙を使用する	(*)
		トロードしない.	うな透けて見える用紙を	よう顧客に依頼する.	
			使用している,もしくは,		
			孔あき等禁止領域に大き		
			な孔が開いている,もしく		
			は、用紙裏面が黒のノレノ		
			リノト寺で印刷されてい		
	11	カード媒体剥がれが発生	 用紙の腰の強さ(剛度)が	カード媒体のトータル連	(*)
		する、スタッカ部や転写部	強いため、剛度は連量に	量を 135Kg (坪量は	(. ,
		でカード部分が剥がれて	比例する.	157g/m2)以下になるよ	
		しまう.		う、用紙加工メーカへ依頼	
				する.	
			カード部分の剥離抵抗が	カード部分の剥離抵抗を	(*)
			小さいため.	高めるよう用紙加工メー	
				カへ依頼する.	
			用紙の総厚さが装置の規	カードを含めた用紙の総	(*)
			定値よりも厚いため。	厚さを0.35mm以下にな	
				るよう、用紙加上メーカへ	
	10	カードガネ田浜のオート		10根9る. 田紙の生商 1 ∧°ジ友+⊑	020
	12	りード妹やH和のクート ロード時かの副時に抛送	市職の元頭 ハーンを折 り版 ていス(垢り版	市祇の元頭 ハーンど折	2.3.2
		2 1 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	対象ではない田紙恒島の	ードする	
		<u>э</u> .	場合)		
			用紙の重量が重いため	カード媒体のトータル連	(*)
			(重量は連量に比例する)	量を 135Kg (坪量は	
				157g/m2)以下になるよ	
				う、用紙加工メーカへ依頼	
				する.	

Į	頁	障害現象	原因	処置	参照項
搬送不良関	13	カード媒体で用紙外れや 用紙詰まりが発生する。搬 送路やスタッカ部、転写部 などで用紙が詰まる。	用紙の総厚さが装置の規 定よりも厚いため.	カードを含めた用紙の総 厚さを0.35mm以下にな るよう、用紙加工メーカへ 依頼する.	(*)
阕 連			カード部分 加するため. (例) カード部分 カード部分 カード部分 カード部分 カード部分 カード部分 カード部分 カード部分 カード部分 カード部分 カード部分	カート向エか対面しない ような用紙レイアウトに、 用紙加工メーカへ依頼す る.	
	14	用紙排出時に ER21-01(用紙ジャム) を検知する。実際に用紙は 詰まっていない.	用紙の切断をトラクタ側 で行っているため	用紙ガイドよの外側で用 紙を切断する。 はまでは、ほうには、ほうには、 はまでは、は、ほうには、 はないで、 して、 の外ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	2.3.2

表 6.1 トラブル事例集(続く)

表 6.1 トラブル事例集(続く)

IJ	Ę	障害現象	原因	処置	参照項
印字関連	1	毎ページまたは折り周期 の同一箇所で印字がカス れる.	用紙の吸湿による転写不 良.	新しく開封した用紙箱の 用紙で印刷する。または、 適切な用紙保管環境に用 紙をなじませた後に印刷 する.	(*)
				用紙が吸湿しないようお 客様の用紙保管環境運用 管理を改善してください.	(*)
				開封した用紙を長時間 (12H以上)放置しない。 またプリンタ内の用紙に ついても、長時間停止する 場合はプリンタから外し 防湿フィルムに包んで保 管してください。	(*)
				調湿ならびに保管環境の 管理を行うよう用紙加工 メーカに依頼する. (製造工程での吸湿、ビニ ール梱包/用紙箱の防湿加 工など)	(*)
			用紙折れ,窪み傷による転 写不良.	用紙が損傷しないよう取 り扱う.	(*)
			用紙の凹凸変形による転 写不良.(用紙製造時また は吸湿)	凹凸変形が発生しないよ う用紙加工メーカへ依頼 する.	(*)
	2	用紙の桁方向の白抜け・文 字にじみが時々発生する。	用紙箱が小さいため,用紙 繰り出し時の負荷が転写 不良を引き起こした。	用紙箱から用紙を取り出 して印刷する。 改善する場合は、装置規格 に合ったサイズの用紙箱 を使用するよう用紙加工 メーカへ依頼する。	(*)
	3	毎ページに用紙中央部で 白抜け・文字カスレが発生 する.	用紙箱の底が平坦でない ため,用紙中央部が変形し 転写不良となった.	用紙箱の底にダンボール 紙を入れて平坦にするよう,用紙加工メーカへ依頼 する.	(*)

Į	頁	障害現象	原因	処置	参照項
ЕD	4	文字の上部にのみトナー	用紙の含水率が低く,用紙	用紙の電気抵抗値が規格	(*)
字		汚れが発生する。	電気抵抗値が高かった	内になるよう用紙加工メ	
関			(1×10 ¹³ Ω).	ーカへ依頼する.	
連				新しく開封した用紙箱の	(*)
				用紙で印刷する。または、	
				適切な用紙保管環境に用	
				紙をなじませた後に印刷	
					()
				用紙の乾燥しないよう、お	(*)
				谷林の田絋休官塚児連用	
					(*)
					(木)
				「「と」「以上」」放置しない。	
				ついても 長時間停止する	
				場合はプリンタから外し	
				防湿フィルムに包んで保	
				管してください.	
				調湿ならびに保管環境の	(*)
				管理を行うよう,用紙加工	
				メーカに依頼する.	
				(製造工程での吸湿、ビニ	
				ール梱包/用紙箱の防湿加	
				エなど)	
	5	黒点状の汚れや直径数ミ	印刷する前に既に用紙が	印刷する前の用紙を確認	(*)
		リ程度の白抜けが発生す	汚れているまたは凸凹変	する。既に用紙に異常があ	
		ත.	形している.	れは、印刷加上時に用紙を	
				方さない、変形させないよ	
				う用紙加上メーカへ依頼 オス	
				93. 田紙引あけ加工にて田紙	(*)
			新和力スが装置内に混入し	カスが残らぬよう 用紙加	(11)
				エメーカへ依頼する	
			タック紙で台紙とラベル	加工上、台紙とラベルのズ	(*)
			のズレが大きいため、糊が	しをなくすよう,用紙加工	. ,
			はみ出し,ドラムに付着.	メーカへ依頼する.	
			金属異物が混入しドラム	異物(ミシン歯溢れ、ブラ	(*)
			に傷が発生した。	シ等)が混入しないよう用	
				紙加工メーカへ依頼する.	
	6	全桁にわたり数行間印字	用紙に導電性異物が混入。	用紙の加工時に導電性異	(*)
		が抜けたり、転写帯電器工	(静電気除去用の除電ブ	物が混入しないよう,用紙	
		ラーが発生する.	ラシなど)	加工メーカへ依頼する。	
	7	地汚れ(カブリ)が部分的	日間する前に既に用紙が	日間加工時に用紙を汚さ	(*)
		に発生する。	ろれていた.	ないよつ, 用紙加工メーカ	
		国期的に合せけが発生す	田処路ち位合せて位美文	八110 期9 る。	()
	ð	内期的に日扱けが先生9 ス	円瓶相で按百90 按有剤 が田紙に拠洋されてドラ	円瓶相の按有上柱を以音 オストス 田鮮加エマーカ	(*)
		<i>°</i> ⊲.		ッつみ J, Hസ加工ス一月 へ広頓すス	
				「「以积ソる」	
			プレプリント紙で印刷イ	プレプリント印刷の乾燥	(*)
			ンクが半乾きのため. ドラ	工程を改善するよう、用紙	,
			ムに付着した。	加工メーカへ依頼する。	

表 6.1 トラブル事例集(続き)

項	障害現象	原因	処置	参照項
印 印字 関	印字が横方向に抜ける. 黒点が発生する.	用紙上に混入した金属繊 維等の導電性異物が,帯電 器類に入りリークを起こ す.	異物が入らないように,用 紙メーカに改善を依頼す る.	(*)
<u>ل</u> ا 10	 文字,罫線がにじんだり, ぼやけたりする. 	シール葉書の場合: 糊中に残留するアンモ ニアがドラムに付着し て,ドラムの帯電性能が 損なわれる.	アンモニアの除法,あるい は糊の量を減らすように 用紙加工メーカに改善を 依頼する.	(*)
		OCR 紙の場合: 用紙表面にコーティン グされた帯電防止剤が ドラムに付着して,ドラ ムの帯電性能が損なわ れる.	帯電防止剤をコーティン グしていない原反を使用 するように、用紙加工メー カに改善を依頼する。	(*)
1	11 カード媒体用紙でカード 部分での印字かすれ,印字 汚れ,文字縮み,および印 字ずれなどの印字障害が 発生する.	用紙の重量が重いため.重 量は連量に比例する.	カード媒体のトータル連 量を 135Kg (坪量は 157g/m2)以下になるよ う、用紙加工メーカへ依頼 する.	(*)
	[カード部での印字かすれ] PRINTER1 PRINTER1 PRINTER1 DALE ブリンク装置 高速レーサー AAAAAAAAAAAA Image: Comparison of the second secon	用紙の総厚さが装置の規定値よりも厚いため	カードを含めた用紙の総 厚さを0.35mm以下にな るよう、用紙加工メーカへ 依頼する.	(*)

表 6.1 トラブル事例集(続き)

項		障害現象	原因	処置	参照項
印字関連	12	 カード媒体用紙で印字抜けが発生する。 [カード部で印字抜け] 	台紙裏面にフィルムが使 用されているため.	台紙裏面のフィルムの材 質を紙に変更いただくよ う、用紙加工メーカへ依頼 する.	(*)
	13	カード媒体用紙で印字に じみや印字濃淡差が発生 する。 [印字にじみ] 半導体レーザーブリンタ 半導体レ=ザ=デリンタ 半導体レ=ザ=デリンタ 半導体レ=ザ=デリンタ	 台紙とカード部分や保護 シートで段差が生じ濃淡 差が生じる. (例)用紙断面図 カー間分 麺 価紙 麺 繊 5 (撮)-ト 	台紙とカード部分や保護 シートで段差が生じない ように用紙加工メーカへ 依頼する. 用紙のどの箇所でも総厚 さが0.35mm以下になる よう、用紙加工メーカへ依 頼する. 段差部には印字しないよ うにデータのレイアウト 変更をお願いします.	(*)

表 6.1 トラブル事例集(続き)

表 6.1 トフノル爭例集(続き)

]	頁	障害現象	原因	処置	参照項
印字関連	14	印刷後の印字がはがれる。	印字面を先の尖ったもの などでこすっているため.	定着性の確認は、印字面を 指の腹でこするなどで確 認する。(下図①) 以下は印字がはがれるた め実施しない。 ・爪や先のとがったもので 印字面をこする。(下図②) ・印字面にテープや付箋紙 を貼ってはがす。 ・印字面を折り曲げる。 (下図③)	(*)
				図①:指の腹でこする (正常)剥がれない (異常)剥がれる AAAAAA AAAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA	
				図②: 爪でこする (正常)剥がれる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
				図3: 折り曲げる (正常)剥がれる (正常)利がれる (正常)利がれる (本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本	

項		障害現象	原因	処置	参照項
印字関	14	印刷後の印字がはがれる. (続き)	推奨使用期限が過ぎた現 像剤やトナーを使用して いる.	推奨使用期限内の現像剤 やトナーを使用する。	4.1
浬			現像剤やトナーが熱の影響で変質しているため。 ※現像剤交換後やトナー 補充後にはがれる場合	現像剤やトナーの保管環 境の見直し/改善を行う. ※装置の排気が当たると ころに保管しない、温湿度 環境が管理されたところ で保管するなど.	4.1
			用紙表面をコーティング したようなトナーが融着 しにくい用紙のため.	15 段階印字濃度を下げ て印刷する。用紙メーカに 用紙加工の改善を依頼す る.	3.4.1 3
			装置設置環境が許容範囲 外のため。	装置設置環境の見直し/改 善を依頼する。15段階印 字濃度を下げて印刷する.	5.1
		印刷後の用紙を後処理機(バ ースターや紙折り機など)で 処理すると印字がはがれる.	後処理機で印字面を搬送 ローラやベルトなどでこ すっているため.	後処理機側に対応依頼す る.	(*)
折り畳み関連	1	厚紙使用中,中間横ミシン 目にてスタック不良(中折 れ)が発生.	中間横ミシン目の折り特 性が,折り畳みミシン目よ り強い(折れやすい)ため.	中間横ミシン目の折り特 性が折り畳ミシン目より 弱くなるタイ/カット比 に加工するよう,用紙加工 メーカへ依頼する.	(*)
	2	タック紙でミシン目前後 のラベルが剥がれ,スタッ ク不良や用紙づまりとな	用紙の折り畳みミシン目 部分のラベル紙除去(カス 取り)を行っている.	ミシン目部のカス取りを しないよう,用紙加工メー カへ依頼する。	(*)
		ି .	比べて重いため	使用範囲内になるよう用 紙メーカに依頼する.	(*)
	3	用紙が斜めに走行し,搬送 不良となる.	用紙が印刷前に大きくカ ールしている.	用紙加工時にカールさせ ないよう,用紙加工メーカ へ依頼する.	(*)
	4	用紙送り孔部の搬送によ る変形(孔ガレ)によりス タック不良となる.	用紙の引き力が強い。	用紙引き力切替レバー(ス カッフローラー切替レバ ー)を弱くする.	2.2.7
			トラクタ部で用紙の張り が強いため送り孔ガレが 発生した.	トラクタ合わせつまみで 用紙の張りを緩めて使用 する.	2.3.2
			用紙の連量不足により,送 り孔が搬送時に変形して, スタックした用紙両端が 盛り上がった.	装置規定に合った厚さの 用紙を使用する.	(*)
	5	用紙が斜めにスタックさ	用紙の斜傾もしくはミシ	用紙メーカに用紙加工の	(*)

ン目加工不良。

レが要因.

4項と同じく、用紙の孔ガ

れるもしくはスタック不

良となる.

表 6.1 トラブル事例集(続き)

(*)

改善を依頼する.

4項参照.

I	頁	障害現象	原因	処置	参照項
折り畳み	6	カード媒体印刷時にスタ ック不良となる.	用紙の総厚さが装置の規 定値よりも厚いため.	カードを含めた用紙の総 厚さを0.35mm以下にな るよう、用紙加工メーカへ 依頼する。	(*)
関連			用紙の腰の強さ(剛度)が 強いため.(剛度は連量に 比例する) カード部分の剛度が極端 に強くなるレイアウトに なっているため.	カード媒体のトータル連 量を 135kg (坪量は 157g/m2)以下になるよ う、用紙加工メーカへ依頼 する.	(*)
			カード部分とカード部分 の間隔が狭く用紙部分が 少ないことで用紙が折り 畳めない.	カード同士が対面せず、カ ード部分の間隔を開ける ようレイアウトを見直し てください.	(*)
異 臭 ・ 他	1	プレプリント紙に印刷を 行うと異臭やインキ擦れ が発生する.	プレプリントインクの材 質不良またはインクが半 乾きとなっている.	電子写真印刷に適した,フ ラッシュ定着用耐熱性イ ンク(UVインク)を使用 するよう,用紙加工メーカ へ依頼する.	(*)
			用紙に特殊な物質(のり, フィルム)が含まれてい る.	特殊な物質が含まれてい ない用紙に変更する.	(*)

表 6.1 トラブル事例集(続き)

付録1 PrintWalker/EM のご紹介

PrintWalker/EM(Eco Manager)は、PS5000 シリーズおよび VSP シリーズプリンタ装置の情報管理や状態表示を行うソフトウェアです。 本ソフトウェアには次の機能があります。

(1) 情報管理機能

プリンタ装置の消費電力情報や印刷情報などの統計情報を一元管理します。 お客様利用環境にて、消費電力や印刷出力量など環境負荷状況(CO2)を把握する方法を提供することで、 運用改善や最適配置の計画に役立てることができます。 本機能は Systemwalker Desktop シリーズと連携した環境配慮ソリューションとして提供 しています。

(2) プリンタ管理機能

プリンタ装置の状態や消耗品状況を表示したりログに記録することで、定期保守や消耗品管理の計画に役立てることができます。また、プリンター覧画面から、プリンタ装置の電源を OFF することができ(注1)、運用の利便性向上が期待できます。

本機能は従来の PrintWalker/RS_Light の機能に相当します。

注1)対象プリンタのみ。本装置は可能です。

付録2 鉛蓄電池のリサイクルについて



このマークは小形シール鉛蓄電池のリサイクルマークです。

本装置では、コントローラ部のバックアップ用 UPS で、小形制御弁式(シール)鉛蓄電池を使用 しております。(公称電圧 24V、容量 68W(15 分率)、山洋電気株式会社製)

鉛蓄電池からは、鉛を再生し、再び電池として再利用できます。ご使用済みの節は捨てないで、リ サイクルにご協力ください。

ご不明な点がありましたら、担当の保守技術員へお問い合わせをお願いいたします。

なお、UPSに使用されている鉛蓄電池は、資源の有効な利用の促進に関する法律 (平成13年4月1日改正)によりリサイクルが義務づけられております。

電池の取り出し方法:

① UPS 前カバーを取り外します。(ネジ4本)

- ② UPS のフロントカバーを取り外します。
- ③ ネジ1本を外し、右方向へスライドさせて、前面プレートを取り外します。
- ④ フックを押さえてながらコネクタを取り外します。
- ⑤ UPS バッテリーユニットを取り外します。

UPS バッテリーユニットは重量があるため、十分に注意して取り扱ってください。

注意:

装置廃却時以外は、鉛蓄電池を外さないでください。

また、取り出した鉛蓄電池は、短絡(ショート)防止のために端子を絶縁テープで貼るなどの対策 を講じたあと、乾電池などの電池と混ぜないようにしてください。 索 引

0	
Ox(状態表示)176	ç
1	
16進入力用キーボード46 1x(状態表示)182	ŀ
2	/
2-up印刷機能33 2x(状態表示)	E
3	
3x(状態表示)185	(
4	(
400dpi出力機構	(
5	-
5x(状態表示)186	E
6	
600dpi出力機構	F
6x(状態表示)187	F
7	F
7x(状態表示)189	F
8	F
8x(状態表示)190	

9

9x(状態表示)......193

А

Ax(状態表示)	194
Aモード変換テーブル	
Aモード文字セット管理	

В

С

CHANNEL A/B切替え設定	
[Channel A/B] ボタン	
CHANNEL MODE	
CS SAVEスイッチ	

Е

EAN128目視文字.......13,88,92,99,103 [EXT] ボタン......85

F

F66XXモード	2, 3, 4
FCBと用紙長	
FCBの取扱い	
FM設定	
FNP/FMモード	8
FNPエミュレーション機能	
FNP設定	
FNPタブ	93
FNPモード	210
Fモード標準	210

Ι

IF-BOX	36
[INT] ボタン	85
IOT-UI	36
IPP-BOX	36
IPアドレス	94
IPアドレス入力用キーボード	46
Iモード	

J

JEF/AP出力機構	3, 4
JEFタブ	81

Κ

Kモード文字セ	ット管理 ⁻	19
---------	-------------------	----

L

LANインタフェース	
LAN接続	
LED	
LP-EAN128出力機構	
	, 25, 83, 88, 104

Ν

Ο

OCR印字	
OCR紙	
OFF Lineボタン	
[OK] ボタン	49
ON Line/OFF Line切替え	
ON Lineボタン	
OVL位置の移動範囲	59
OVL位置の移動量	

Ρ

PCサーバ (Windows)	接続6
PRIMERGY、PRIMEQUEST	1000 (Linuxサーバ)
接続	6
PrintWalker	
PrintWalker/BPC	2, 3, 4, 26
PrintWalker/LXE	2, 3, 4, 26
PrintWalker/PM	
PrintWalker/RS_Light	

Q

QRコード	
-------	--

S

SCCI接続機構	
SCCI用2チャネルスイッチ	
[Shift] ボタン	
SPARC Servers、 SPARC Enterprise、	PRIMEPOWER、
富士通S series接続	5

U

UNIT EMERGENCY	
UPS	36
UPS部	34

V

```
VSPリクエスタ......27
```

W

×

X位置......74

Υ

Y位置......74

アウトラインフォントにの	よる文字の変形例…23
孔あき用紙	
孔つき用紙	
安全上の注意事項	V

い

イジェクトスイッチ43
異常時の処理
-般タブ56
一般的禁止iv
一般的注意iv
イメージ印刷
色付き用紙
インク
印刷位置情報
印刷位置調整機能
印刷位置の移動範囲58
印刷位置の移動量
印刷位置の設定
印刷開始制御
印刷禁止領域
印刷形態
[印刷設定変更] ボタン55
印刷速度
印刷中
印刷データの作成
印刷動作17
印刷動作概要図18
印刷濃度情報
印刷濃度調整
印刷濃度のむら172
印刷濃度不良170
印刷パターン
印刷品質の調整方法170
印刷品質不良174
印刷プロセス
印刷方式
印刷むら
印刷領域
印刷領域(Fモード標準)210
印刷領域(Iモード)211
印字禁止領域
印字抜け171
印字幅設定
印字ぼけ172
印字ぼけが生じたときの処理172
インタフェースユニット34

上カバー	
運搬時の注意	Viii

え

エマージェンシースイッチ	39, 135
エミュレーション設定	97
エラー	42
エンボス用紙	

お

オートローディング	
オートローディング機構	8
オートロードA部	
オートロードB部	
オートロード中	
オートロードパネル	34, 39, 128
オートロードパネルの機能	
オートロードパネルの配置	
オートロード部	
送り孔加工精度	
送り孔の位置	
送り孔の形状と位置	
送り孔の精度	
送り孔の直径	
オプション機構	14
折りミシン目	

か

カード媒体	
カール	
外観	1
外形寸法	
回収サービス	
解像度	8
回転物注意	iv
拡張オーバーレイメモリ	
拡張出力機構	
拡張文字パターン機構	
各部の名称	
加工禁止領域	
仮想キーボード	45
画像展開制御機構	19
仮想テンキー	
かぶり	

壁紙設定	
画面清掃	
[画面清掃] ボタン	
画面タブ機能	
換気について	viii
感光ドラム	
乾式電子写真記録技術	1
感電注意	iv

き

162
164
163
162
124
73
47
53
52
122
4, 125
3, 104
251
265
265

<

クリアプリント中	
クリアプリント動作	51
[クリアプリント] ボタン	51
クリーナブラシ	
クリーナブラシの交換作業	
クリーナブラシ蓋	
クリーナブレード	18, 40, 164
クリーナブレード未装着	
クリーニング中	

け

警告	i
警告表示	i

警告マークiv	/
罫線パターン249)
ゲートウェイアドレス95	5
ゲートウェイ補足116	3
現像器18	3
現像剤(F)の交換149)
現像剤(F)の交換作業155	5
現像剤(F)の交換フロー(O6表示時)	
	F
現像剤(F)の交換フロー(ニアライフ時)	
現像剤(F)の交換メッセージ(O6表示時)	
	ŀ
現像剤(F)の交換メッセージ(ニアライフ時)	
現像剤投入口40)
現像剤排出156	3
現像剤排出口38	3
現像部34	ŀ

C

高圧電源(HV)	34
高温注意	iv
高解像度印刷機構	
光学部	
構成	
後退(スイッチ)	129, 132
小形シール鉛蓄電池	
腰の強さ	
コメント編集	
コントローラ部	
コンビニ-EAN128	
	, 56, 63, 92
コンビニ-EAN128設定	

さ

再スタート手順	
再生紙	
削除処理	
サクションフィーダ部	
サブメニューエリア	

し

シークレットラベル用紙	
シールはがき用紙	
時刻設定	
[時刻設定] ボタン	

システムエラー	
システム構成	2
システム構成と接続形態	
システム設定	
質量	
周囲環境許容範囲	
主操作パネル	34, 36, 38, 41
主操作パネルの機能	41
主操作パネルの配置	41
主操作パネルの表示レイアウト	·
仕様	
使用可能な用紙サイズ	
詳細表示	
「状態表示」の上位桁の内容…	
情報転送サイクル	
消耗品	
消耗品,消耗部品の廃却	
消耗品一覧	
消耗品交换時期表示	
消耗品交換手順の表示例	
消耗品タブ	
「消耗品」タブ ニアライフ表症	示144
消耗品の交換	
消耗品の選択について	ix
「消耗品」ランプ	
消耗部品	
消耗部品一覧	
初期化中	
[初期化]ボタン	94, 125, 126
地汚れ	
除電LED	
所要電力量	

す

推奨紙一覧	
推奨ミシン目寸法	
スイッチ配置	
[スイッチ配置]ボタン	
透かし入り用紙	
スクリーンセーバ	
スクリーンセーバのモード設定	
図形印刷	
スタート	
スタート(スイッチ)	
スタートスイッチ	43
スタッカ	18, 35
スタッカ上カバー	
スタッカ各部	
スタッカテーブル	

スタッカパネル	
スタッカパネルの機能	131
スタッカパネルの実装位置	
スタッカパネルの配置	
スタッカ左カバー	
スタッカ部	
スタッカ右カバー	
ストップ	
ストップ(スイッチ)	
ストップスイッチ	43

せ

制御部2,3	3, 4
清掃2	206
清掃箇所2	206
[清掃終了] ボタン1	23
清掃頻度2	206
清掃用品2	206
接触禁止	iv
接続インタフェース	8
接続形態	5
設置条件2	265
設置に対する注意	∨iii
[設定]ボタン60, 94, 121, 1	25
セットアップ	.44
「セットアップ」タブ1	43
セットアップタブ 消耗品	.79
セットアップタブ リカバリ選択	.77
セットアップタブ レイアウト設定	.71
セットアップタブ レイアウト選択	.76
セットアップタブ(FNP)	.93
セットアップタブ(JEF)	.81
セットアップタブ(用紙)	.64
セットアップタブ機能	.56
セルフリカバリ	.77
前進(スイッチ)129,1	32
選択処理	90
前面各部	.37

そ

騒音	
操作エリア	
操作機能	44
操作スイッチ	43
操作方法	ix
装置概要	1
装置状態の表示	
像の乱れ	

第2FPDコメント編集画面	91
第2FPD削除処理	90
第2FPD設定	89
[第2FPD設定]ボタン	89
第2FPD選択処理	90
第2FPDプロテクト設定	91
タイトルバー	41
脱煙フィルタ	34
脱煙フィルタの交換	. 167
脱煙フィルタの交換作業	. 169
脱煙フィルタの交換フロー(OB表示時).	.168
脱煙フィルタの交換フロー(ニアライフ時)
	. 167
脱煙フィルタ部	39
タック紙	.230
タック紙の推奨仕様	.231
タッチパネル設定	. 122

ち

チャージカウンタ	132, 134
チャネルA/Bの切替え	
チャネルインタフェース	
チャネル切替え	8
チャネル接続	
注意	i
中間縦ミシン目	
中間横ミシン目	213, 215, 216
地汚れ	

τ

低圧電源(LV1)		
[定期交換部品]	ボタン	
定着サイクル		
定着部	18, 34, 3	35, 38, 200, 202
定着部窓ガラスの)清掃	
定着部右カバー…		
定着むら		
定着用電源(FV))	
停電後の電源投入	、について	ix
「データ」ランフ	ĵ	
データレート		
テーブルオート((スイッチ)	

テーブルストップ(スイッチ)	
テーブルダウン(スイッチ)	
テストプリント	61
デフォルト用紙コード	68
デフォルト用紙幅	96
デフォルトルータ	95
電気抵抗值	
電源	36
電源OFFスイッチ	43
電源の切断について	
電源パネル	34
転写サイクル	18
転写帯電部	18
転写部	34, 199
転写部ユニット	
転写ユニット	40
電池の取り出し	
電波障害防止について	viii
添付品	

と

劉作慨妥T (
動作モード選択49	
透明フィルム	
登録処理	
特殊記号入力時45	
特殊紙	
時計	
トナー(F)補給作業146	
トナーエンプティ177	
トナー回収ボトル付近の清掃	
トナー回収容器の交換158	
トナー回収容器の交換作業160	
トナー同収容空の六撮フロー (06ま子哇) 160	
ドノー回収合品の文換ノロー(05衣小吋)159	
トナー回収容器の交換フロー(こアライフ時)	
トナー回収容器の交換フロー(こアライフ時) 	
トナー回収容器の交換フロー(こアライフ時) 	
トナー回収容器の交換フロー(ニアライフ時) 	
トナー回収容器の交換フロー(二アライフ時) 	
トナー回収容器の交換フロー(Cアライフ時) 	
トナー回収容器の交換フロー(ニアライフ時) 158 トナー補給 145 トナー補給フロー(04表示時) トナー補給フロー(2アライフ時) 145 トナー補給フロー(145 トナー補給フロー(2アライフ時) 145 トナー補給フロー(34表示時) 145 トナー補給フロー(375) 145 トナー補給フロー(375) 145 トナー補給フロー(34表示時) 145 トナーボッパ部	
トナー回収容器の交換フロー(二アライフ時) 	
トナー回収容器の交換フロー(ニアライフ時) 158 トナー補給 145 トナー補給フロー(04表示時) トナー補給フロー(04表示時) 145 トナー補給フロー(04表示時) 145 トナー補給フロー(104表示時) 145 トナー補給フロー(104表示時) 145 トナー補給フロー(1000) 145 トナー補給フロー(1000) 145 トナー補給フロー(1000) 145 トナー補給フロー(1000) 145 トナー補給フロー(1000) 145 トナーボッパ部 138 トラクタ合わせつまみ 139, 139, 199, 202	
トナー回収容器の交換フロー(ニアライフ時) 158 トナー補給 トナー補給フロー(04表示時) トナー補給フロー(04表示時) 145 トナー補給フロー(04表示時) 145 トナー補給フロー(04表示時) 145 トナー補給フロー(104表示時) 145 トナー補給フロー(104表示時) 145 トナー補給フロー(104表示時) 145 トナー補給フロー(104表示時) 145 トナー補給フロー(104表示時) 145 トナー補給フロー(1000) 145 トナー補給フロー(1000) 145 トナーボッパ部 145 トラクタ合わせつまみ 18, 34, 39, 139, 199, 202 ドラム付近 40	

な

長い(スイッチ)	
中扉	
鉛蓄電池	

に

ニアライフ発生時の表示	143
入力電源	265

ね

ネットマスク	95
ネットワークアドレス設定	94
ネットワークモードの印刷機能	26

の

ノンインパクトプリンタ	1
ノンカーボン紙	239

は

バーコード	
バーコード印刷	
排気量	
排紙	
排出量確認ライン	
背面	
背面カバー	
はがき印刷	
パスワード誤り	
パスワード入力用キーボード	
パスワード変更用キーボード	
発火注意	iv
発熱量	
パトロールライト	
幅方向の印刷領域	210, 211
搬送部	

ひ

ヒートローラ定着器での定着について	ix
左前カバー	37
ビットマップメモリ	19
ビデオインタフェース	2, 3, 4
表示エリア	
表面固有抵抗	209, 223
ピンチローラユニット	

ISI

フォームオーバレイ	20, 251
フォント	
複写修正	21
副操作パネル	34, 36, 39, 126
副操作パネルカバー	
副操作パネルの配置	
富士通メインフレーム接続	5
プリセット値変更	
プリンタ管理ソフトウエア…	
プリンタ準備中	
プリンタジョブ管理ソフトウ	コエア26
プリンタステータス	
ブレードの交換作業	
プレプリント用紙	
プロテクト	
分解禁止	iv

\wedge

ページバッファ	19
ページプリンタモード	
ベクトル印刷	

ほ

ボイド	
保管条件	
保守エリア	
ホストリカバリ	77
ホッパ	
ホッパ部	

ま

前帯電部......18

み

短い(スイッチ)	右前カバー	37
 ミシン目加工	短い(スイッチ)	
 ミシン目寸法	ミシン目加工	
ミシン目の交点 217ミシン目の精度 214ミシン目の名称 213未定着用紙の除去 202	ミシン目寸法	
ミシン目の精度214 ミシン目の名称213 未定着用紙の除去	ミシン目の交点	
ミシン目の名称	ミシン目の精度	
未定着用紙の除去	ミシン目の名称	
	未定着用紙の除去	

め

メールシール紙	
メカコントロールユニット	
メッセージエリア	
メニューエリア	41
メンテナンス	

も

モード	
文字サイズの選択	
文字修飾	
文字セット管理	
文字と網点	
文字の回転	24
文字フォントの選択	
文字列(行)の傾き	

や

矢印ボタンの使い方	58
山,谷(表示)	129
山谷選択(スイッチ)	129

Ø

ユーザ管理者	
ユーザ権限変更	
ユーザ設定	
ユーザ設定タブ機能	

よ

用紙加工仕様	
用紙後退(スイッチ)	
用紙後退スイッチ	
用紙削除処理	
用紙情報選択	47
用紙情報の自動設定	
用紙前進(スイッチ)	
用紙前進/後退スイッチ	40, 132
用紙前進/後退スイッチの機能	
用紙前進/後退スイッチの配置	
用紙前進スイッチ	
用紙選択処理	
用紙装着各部	
用紙タブ	64
用紙坪量	
用紙づまり時の処理	

用紙づまりの対処方法	
用紙登録時の動作設定	70
用紙のカール	224, 244
用紙の紙質	
用紙の形態	209, 244
用紙の欠陥	
用紙の梱包条件	218
用紙の始端処理	137
用紙の種類	221
用紙の仕様	
用紙の切断処理	139
用紙のセット	137
用紙の装着	138
用紙の坪量と填料	221
用紙の取出し	140
用紙のフォーミング調整	141
用紙の保管	
用紙排出中	42
用紙箱ガイド	39, 137
用紙箱の形式	219
用紙箱の寸法	
用紙搬送部	35
用紙引き力切替レバー(スカッフロ-	-ラ切替レ
バー)	131
用紙ロード中止(スイッチ)	
用紙ロードロード(スイッチ)	
用紙をセットする前に	136
横ミシン目の位置	

5

ラインプリンタモード	
ランプ表示状態	

Ŋ

リカバリタブ	77
「リカバリ」ランプ	
リカバリランプが点灯	
リサイクル	
リセット(スイッチ)	
リセットスイッチ	43

n

レイアウト削除	
レイアウト情報	72
レイアウト情報選択	
レイアウト情報の登録	
レイアウトタブ	71

漏洩電流	
論理プリンタ設定	
論理ページ	74
論理用紙	

FUJITSU Printer PS5230C 取扱説明書

2013年10月初版発行2020年12月2版発行

All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 2013-2020

●本書を無断で他に転載しないようにお願いします。

●本書は、改善のため予告なしに変更されることがあります。

 ●本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、 その他の権利、損害については、当社はその責を負いません。
 ●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。



このマニュアルは再生紙を使用しています。